

한 달 만에 완성하는!

日本語

Japanese Language Textbook

N5 문법

N5 단어

한 권으로 끝내기!

N5

예문과 단어 음성 수록
한국어 번역 교재

— OHANA —

1
month

もくじ
目次 목차

べんきょう はじ まえ 勉強を始める前に	공부를 시작하기 전에	1
1日目 7		
じこしょうかい 自己紹介	자기소개	
めいし かつよう 名詞の活用	명사(N)의 활용	
けいようし かつよう な形容詞の活用	나형용사의 (na-A)활용	
けいようし かつよう い形容詞の活用	이형용사(i-A)의 활용	
2日目 17		
Nは~です	N은 ~입니다	
ねんがつび 年月日	연월일	
めいししゅうしょく 名詞修飾	명사수식의 규칙	
3日目 25		
これそれあれどれ	이것 · 그것 · 저것 · 어느 것	
このそのあのどの+めいし 名詞	이 · 그 · 저 · 어느 + 명사	
めいし か 名詞の代わりをする「の」	명사를 대신하는「의」	
どうし かつよう 動詞 (V) の活用	동사 (V) 의 활용	
4日目 39		
Nが好き/嫌い す きら	N을 좋아합니다 / 싫어합니다	
N(人/動物)がNをVます ひと どうぶつ	N(사람/동물)이 N을 V합니다	
N(場所)に/へ行きます/来ます ばしょ	N(장소)에 갑니다/옵니다	
5日目 47		
N(場所)にN(人)がいます/N(もの)があります ばしょ ひと	N(장소)에 N(사람/물건)이 있습니다	
じよすうし 助数詞	조수사	
N(場所)でVます ばしょ	N(장소)에서 V합니다	
6日目 57		
じかん 時間	시간	
N(時間)にVます じかん	N(시간)에 V합니다	
くらい/ぐらい	~정도	
じかん ばしょ じかん ばしょ N(時間 · 場所)から N(時間 · 場所)まで	N(시간 · 장소)부터/에서 N(시간 · 장소)까지	
7日目 67		
NをVます(移動 · 通過) いどう つうか	N을 V합니다 (이동 · 통과)	
NをVます(出発 · 分離) しゅっぱつ ぶんり	N을 V합니다 (출발 · 분리)	
NでVます(方法手段) ほうほうしゅだん	N로 V합니다 (방법 · 수단)	
かね お金	돈	
8日目 77		
N(人)にVます ひと	N(사람)에게 V합니다	
だけ/しか	뿐, 만/밖에	
N1はN2がi-A/na-Aです	N1는 N2가 i-A/na-A입니다	
AはBと言います い	A는 B라고 말합니다	
9日目 87		
Nがほしいです	N을 갖고 싶습니다	
あげます/もらいます/くれます	(내가)줍니다/받습니다/(나에게)줍니다	

10日目 97

V ますたいです	V 합니다 (하)고 싶습니다
までに	까지
V ます/N に V ます	V 합니다/N 에 V 합니다
N(期間) ^{きかん} に N	N(기간)에 N

11日目 107

N はどうですか	N 은 어떻게습니까?
V ますましょう・ませんか・ましょうか ^{かんゆうていあん} (勧誘提案)	V 합니다 합시다・하지 않겠습니까?・할까요? (권유, 제안)
V ますましょうか ^{もうで} (申し出)	V 합니다 할까요? (제시)

12日目 117

疑問詞 ^{ぎもんし} +か	의문사+가
疑問詞 ^{ぎもんし} も ~ません	의문사 ^{ぎもんし} も ~ません
疑問詞 ^{ぎもんし} +でも	의문사 + ^{ぎもんし} ても

13日目 125

動詞 (V) ^{けい} のて形	동사(V)의 て형
V てください	V 해 주세요
V て~, V て~	V 하고~, V 하고~

14日目 135

V ています ^{しんこう しゅうかん} (進行、習慣)	V 하고 있다 (진행, 습관)
V ています ^{けっか じょうたい} (結果의 状態)	V 하고 있다 (결과의 상태)
もう/まだ	이미, 벌써/아직

15日目 143

名詞、形容詞 ^{けい} のて形	명사, 형용사의 て형
動詞 (V) ^{けい} のた形	동사 (V)의 た형
V たり~V たり ^{れいじ へいれつ} (例示・並列)	V 하거나~V 하거나 (예시・나열)
V たり~V たり ^{くかえし} (繰り返し)	V 하거나~V 하거나 (반복)

16日目 153

~ ^{あと} 後	~한 후에/뒤에
~ ^{まえ} 前	~(하기)전에
動詞 (V) ^{ふつうけい} の普通形	동사(V)의 보통형
V ないてください	V 하지 말아주세요

17日目 165

~から	~하기 때문에/~해서
~ので	~때문에/~(하)니까
~けれども/けれど/けど/が ^{ぎやくせつ} (逆接)	~하지만 (역접)
~けれども/けれど/けど/が ^{たいひ} (対比)	~하지만 (대비)

18日目 175

~ ^{とき} 時	~(할) 때
動詞 ^{めいししゅうしよく} の名詞修飾	동사의 명사수식
と ^{おも} 思います	~라고 생각하다

19 日目 187

na-A に V/i-A く V	na-A(하)게 V/i-A(하)게 V
N になる/na-A になる/i-A くなる	N 가 되다/na-A 하게 되다/i-A 해지다
na-A にする/i-A くする	na-A 하게 하다/i-A 하게 하다
N にする (^{けつてい} 決定)	N 으로 하다 (결정)

20 日目 197

A は/A のほうが B より~です	A 는/A 가 B 보다 ~입니다
A は B ほど~ません	A 는 B 만큼/정도로 ~하지 않습니다
X で A が ^{いちばん} 一番~です	X 에서 A 가 가장/제일 ~입니다

21 日目 205

^{どうし} 動詞の ^{めいしか} 名詞化 (こと・の)	동사의 명사화 (こと・의)
「こと」と「の」の ^{つかい} 使い ^{わけ} 分け	「こと」와 「의」의 사용법
N1 は N2 です	N1 는 N2 입니다
ことができます	~할 수 있다
^{かのうけい} 可能形の ^{つく} 作り ^{かた} 方	가능형을 만드는 방법
^{かのうけい} 可能形	가능형

22 日目 219

^み 見えます、 ^き 聞こえます (^{じはつ} 自発)	보이다, 들리다 (자발)
~の+ ^{ちかくどうし} 知覚動詞 (^み 見る、 ^み 見える、 ^き 聞く、 ^き 聞こえる)	~の+지각동사 (보다, 보이다, 듣다, 들리다)
~のは X です/X からです (^{きょうちよう} 強調)	~의는 X 입니다/X 이기 때문입니다(강조)



べんきょう はじ まえ 勉強を始める前に



공부를 시작하기 전에

日本語の品詞

일본어 품사

品詞とは語を分類したグループのことで、日本語の文章は様々な品詞の組み合わせでできています。

품사란 언어를 분류하는 그룹으로, 일본어의 문장은 다양한 품사의 조합으로 구성되어 있습니다.

「名詞」、「い形容詞」、「な形容詞」、「動詞」、「副詞」、「接続詞」、「助詞」の7つが日本語の主な品詞です。

일본어의 주요 품사는 「명사」、「이형용사」、「나형용사」、「동사」、「부사」、「접속사」、「조사」가 있습니다.

【文章の構造】 文章の構造

日本語を勉強します。
名詞 助詞 動詞

일본어를 공부합니다.

勉強は楽しいです。でも、とても大変です。
名詞 助詞 い形容詞 接続詞 副詞 な形容詞

공부는 즐겁습니다. 하지만 정말 힘듭니다.

活用する品詞としない品詞

활용하는 품사와 하지않는 품사

日本語の品詞は現在か、過去か、肯定か否定かなどによって形が変わる(=活用する)品詞と、

形が変わらない(=活用しない)品詞の2種類です。

일본어의 품사는 현재인가 과거인가, 긍정인가 부정인가에 의해 형태가 바뀌는(=활용하는)품사와 형태가 바뀌지 않는(=활용하지 않는)품사 2 종류입니다.

■ 活用する(활용한다): 名詞 (명사)、な形容詞 (나형용사)、い形容詞 (이형용사)、動詞 (동사)

■ 活用しない(활용하지 않는다): 副詞 (부사)、接続詞 (접속사)、助詞 (조사)

例: 名詞「学生」の活用 예: 명사 「학생」의 활용

現在肯定形

… 「学生です。」 학생입니다.

現在否定形

… 「学生じゃありません。」 학생이 아닙니다.

過去肯定形

… 「学生でした。」 학생이었습니다.

過去否定形

… 「学生じゃありませんでした。」 학생이 아니었습니다.

過去肯定形

過去否定形

めいし 名詞 명사	もの ひと ばしょ なまえ あらわ 物、人、場所の名前などを表す。사물, 사람, 장소의 이름 등을 나타낸다.
	れい あめ せんせい がっこう 例 雨(비)、先生(선생님)、学校(학교)

どうし 動詞 동사	どうき じょうたい あらわ 動作、状態を表す。동작, 상태를 나타낸다.
	れい た ね 例 食べる(먹다)、寝る(자다)、いる(있다)

▼「**形容詞**」は2種類に分けられます。「**형용사**」는 2 종류로 나뉘어 집니다.

けいようし な形容詞 나형용사	もの かたち あらわ 物の形や、どういったものかを表す。사물이나 형태, 어떠한 상태인지를 나타낸다.
	れい げんき しず ひま 例 元気(건강하다)、静か(조용하다)、暇(한가하다)

けいようし い形容詞 이형용사	もの かたち あらわ 物の形や、どういったものかを表す。사물이나 형태, 어떠한 상태인지를 나타낸다.
	れい おお いそが 例 大きい(크다)、忙しい(바쁘다)、おいしい(맛있다)

「**な形容詞**」と「**い形容詞**」はどちらも**形容詞**ですが、**活用のルール**が異なるので、**区別**しないと**いけません**。

「**な형용사**」와 「**이형용사**」는 둘 다 **형용사**이지만, **활용의 규칙**은 다르기 때문에 **구분**을 하여야 합니다.

どうして「**な**」形容詞? 「**い**」形容詞?

어째서 「**나**」형용사? 「**이**」형용사」일까?

な形容詞: 名詞を修飾する場合、「**な**」を加えるから。

나형용사 : 명사를 수식하는 경우 「**나**」를 붙이기 때문에

例: 元気**な**先生(건강한 선생님)、静か**な**部屋(조용한 방)、暇**な**時間(한가한 시간)
名詞 名詞 名詞

い形容詞: 名詞を修飾する場合、最後の文字が「**い**」だから。

이형용사 : 명사를 수식하는 경우 마지막 글자가 「**이**」이기 때문에

例: 大き**い**りんご(큰 사과)、忙**しい**日(바쁜 날)、お**い**しい料理(맛있는 요리)
名詞 名詞 名詞

「名詞」「な形容詞」「い形容詞」「動詞」の活用は、丁寧形と普通形があります。

丁寧形も普通形も「現在肯定形」「現在否定形」「過去肯定形」「過去否定形」の4つで1セットになっています。

「명사」「나형용사」「이형용사」「동사」의 활용은 정중형과 보통형이 있습니다.

정중형도 보통형도 「현재긍정형」「현재부정형」「과거긍정형」「과거부정형」이 한 세트로 되어있습니다.

	ふつうけい 普通形(보통형) かぞくともだち はな とき つか 家族や友達と話す時に使う 가족이나 친구와 이야기 할 때 사용한다		ていねいけい 丁寧形(정중형) めうえひと し ひと はな とき つか 目上の人や知らない人と話す時に使う 윗사람이나 모르는 사람과 말할 때 사용한다	
	名詞 명사			
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형 げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형 かこうていけい 過去肯定形 과거긍정형 かこひていけい 過去否定形 과거부정형	雨	— じゃない だった じゃなかった	雨	です じゃありません でした じゃありませんでした
	な形容詞 な형용사			
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형 げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형 かこうていけい 過去肯定形 과거긍정형 かこひていけい 過去否定形 과거부정형	元気	— じゃない だった じゃなかった	元気	です じゃありません でした じゃありませんでした
	い形容詞 이형용사			
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형 げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형 かこうていけい 過去肯定形 과거긍정형 かこひていけい 過去否定形 과거부정형	おいし	い くない かった くなかった	おいし	いです くありません かったです くありませんでした
	動詞 동사			
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형 げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형 かこうていけい 過去肯定形 과거긍정형 かこひていけい 過去否定形 과거부정형	食べ	る ない た なかった	食べ	ます ません ました ませんでした

かつよう ひんし じ ひょうきほうほう
活用する品詞にはローマ字を使った表記方法があります。

활용하는 품사에는 로마자를 사용한 표기방법이 있습니다.

めいし 名詞	けいようし な形容詞	けいようし い形容詞	どうし 動詞
N	na-A	i-A	V

きょうかしよ ひょうきほうほう こと
※教科書によって表記方法は異なります。

※교과서에 의해 표기방법은 다릅니다.

また、どうし ふつうけい ていねいけいがい さまざま かたち ひょうき ほうほう
また、動詞は普通形と丁寧形以外にも様々な形があり、それぞれの表記の方法があります。

또한, 동사는 보통형과 정중형 이외에도 다양한 형태가 있으며, 각각의 표기방법이 있습니다.

じしょけい 辞書形	けい ます形	けい ない形	けい て形
Vる	Vます	Vない	Vて

けい た形	けい ている形	けい ば形	いこうけい 意向形
Vた	Vている	Vば	V(意向形)

かのうけい 可能形	うけみけい 受身形	しえきけい 使役形	しえきうけみけい 使役受身形
V(可能形)	V(受身形)	V(使役形)	V(使役受身形)

ぶんぽう べんきょう ひんし どうし かたち せつぞく じょうき じ
文法を勉強するとき、どのような品詞、どのような動詞の形に接続するかは上記のようなローマ字を

つか ひょうきほうほう あらわ おぼ
使った表記方法で表しているので、覚えておきましょう。

문법을 공부할 때 어떠한 품사, 어떠한 동사 형태로 접속하는가는 위와 같은 로마문자를

사용한 표기방법으로 나타내기 때문에 외워둡시다.

せつぞく れい ① 接続の例①: ~たいです(願望)

접속의 예①: ~하고싶다(희망)

V ~~ます~~ + たい

この文法は動詞の「ます形」の「ます」を取った形と接続するという意味です。

이 문법은 동사의 「ます형」의 「ます」를 뺀 형태와 접속한다는 의미입니다.

せつぞく れい ② 接続の例②: ~から(理由)

접속의 예②: ~때문에(이유)

N/na-A/i-A/V 普通形 + から
(※N だ/na-A だ)

この文法は、活用する4つの品詞全ての普通形に接続するという意味です。

また、※N だ/na-A だ これは名詞とな形容詞の現在肯定形に「だ」が付くという意味です。

이 문법은 활용하는 4 개의 품사 모두의 보통형에 접속한다는 의미입니다.

또한, ※N だ/na-A だ 이것은 명사와 な형용사의 현재긍정형에 「だ」가 붙는다는 의미입니다.

N	だ	na-A	だ	i-A	い	V	る
N	じゃない	na-A	じゃない	i-A	くない	V	ない
N	だった	na-A	だった	i-A	かった	V	た
N	じゃなかった	na-A	じゃなかった	i-A	くなかった	V	なかった

+
からです

このように、日本語の文法は普通形と組み合わせて使うものが非常に多いです。

普通形が分からないと、正しい日本語を話せるようになりません。

이와같이 일본어 문법은 보통형과 조합하여 사용하는 것이 매우 많습니다.

보통형을 알지 못하면 정확한 일본어를 사용할 수 없습니다.

ふくし 副詞 부사	どうき じょうたい ようす ていど はな ひと きも あらわ 動作・状態の様子や程度、話す人の気持ちを表す
	동작·상태의 모양이나 정도 화자의 기분을 나타낸다 例 <u>ゆっくり</u> 食べる。(천천히 먹다.) <u>たくさん</u> 寝る。(많이 자다.)

せつぞくし 接続詞 접속사	めいし ぶん 名詞や文をつなぐ。명사와 문장을 연결한다
	例 昨日は暑かったです。 <u>でも</u> 今日は寒いです。 어제는 더웠습니다. 하지만 오늘은 춥습니다.

じょし 助詞 조사	ご ご あいだ つき ぜんご ご かんけい あらわ 語と語の間に付き、前後の語の関係を表す。
	例 田中さんは日本人です。(主題) ラーメンを <u>食べ</u> ます。(対象)。 다나카씨는 일본인입니다. (주어) 라면은 <u>먹</u> 습니다. (대상)

べんきょう
勉強のポイント

① それぞれの文法に3つ例文があります。その文は暗記しましょう。

각각의 문법에 3 개의 예문이 있습니다. 그 문장을 암기합시다.

② 新しい単語を勉強した時は、「何の品詞か」「どのように活用するか」をしっかりと確認しましょう。

새로운 단어를 공부했을 때는 「어떤 품사인가」「어떻게 활용하는가」를 확실히 확인합시다.

③ まっすぐな下線がひいてある部分は、他の言葉を代入して自分で文を作りましょう。

밑줄선이 쳐있는 부분은 다른 말을 대입하여 스스로 문장을 만들어 봅시다.



自己紹介

자기소개



※自己紹介の中に出てくる文法や助詞などの使い方は今後の授業で詳しく勉強します。

※자기소개에서 사용하는 문법이나 조사 등의 사용법은 앞으로의 수업에서 공부합니다.

- はじめまして。
처음뵙겠습니다.

- (私の名前は) **名前** です。
(저의 이름은) 이름 입니다.

- 出身地** から来ました。 / **出身地** 出身です。
출신지 에서 왔습니다. / 출신지 출신 입니다.

例: 日本(일본)、中国(중국)、台湾(대만)、韓国(한국)、ネパール(네팔)...

- 仕事など** です。
일 등 입니다.

例: 留学生(유학생)、大学生(대학생)、主婦(주부)、会社員(회사원)...

- よろしくお願ひします。
잘 부탁드립니다.

ポイント

- 日本語では、敬称は名前の後ろに付けます。

일본어에서는 존칭을 이름 뒤에 붙입니다.

最もよく使われるのは「さん」、更に丁寧に言う時は「様」を付けます。

가장 자주 사용하는 「さん(씨)」, 좀 더 정중하게 말할 때에는 「様(님)」을 붙입니다.

②自己紹介で自分の名前を言う時は「~さん」と言いません。

자기소개에서 자신의 이름을 말할 때는 「~さん」이라고 하지 않습니다.



※その他の敬称 그 밖의 존칭

~先生 : 学校の先生や病院の先生を呼ぶ時に使います。

학교 선생님이나 병원의 선생님을 부를 때 사용합니다.

~ちゃん/くん : 友達など仲が良い人を呼ぶ時に使います。

「ちゃん」は子供や女性や動物、「くん」は男性に対してよく使われます。

친구 등 사이가 좋은 사람을 부를 때 사용합니다.

「ちゃん」은 어린아이나 여성, 동물, 「くん」은 남성에게 자주 사용됩니다.

色々なあいさつ

여러가지 인사

- おはようございます** あさ つか あいさつ 朝に使う挨拶です。 ※しょくば職場ではじかんかんけい時間関係なくつか使われることがおお多いです。
 안녕하세요 아침에 하는 인사입니다. ※직장에서는 시간과 관계없이 사용할 때가 많습니다.

この「は」の発音は「わ」と同じです。
 이 「は」의 발음은 「わ」와 같습니다.
- こんにちは** ひる くら 昼から暗くなるまでの時間帯に使う挨拶です。
 안녕하세요 점심부터 해가 지기 전까지의 시간대에 하는 인사입니다.
- こんばんは** よる つか あいさつ 夜に使う挨拶です。
 안녕하세요 저녁/밤에 하는 인사입니다.
- おやすみなさい** ね まえ つか あいさつ 寝る前に使う挨拶です。
 안녕히주무세요 자기 전에 하는 인사입니다.
- さようなら** わか とき つか あいさつ 別れの時に使う挨拶です。
 안녕히가세요 헤어지기 전에 하는 인사입니다.



めいし かつよう 名詞 (N) の活用



명사(N)의 활용

めいし ふつうけい ていねいけい ひょう
名詞の「普通形」と「丁寧形」の表です。

명사의 [보통형]과 [정중형]의 표입니다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형	あめ 雨	あめ 雨 です
げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형	あめ 雨 じゃない	あめ 雨 じゃありません ※1
かこうていけい 過去肯定形 과거긍정형	あめ 雨 だった	あめ 雨 でした
かこひていけい 過去否定形 과거부정형	あめ 雨 じゃなかった	あめ 雨 じゃありませんでした ※2

⇒「普通形」「丁寧形」は「勉強を始める前に」のページを参照してください。

「보통형」「정중형」은「공부를 시작하기 전에」의 페이지를 참조하여 주세요.

※1 「じゃありません」は「ではありません」「ではないです」「じゃないです」に置き換え可能。

「じゃありません」은「ではありません」「ではないです」「じゃないです」로 대체가능.

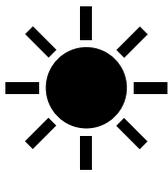
※2 「じゃありませんでした」は「ではありませんでした」「ではなかったです」「じゃなかったです」に置き換え可能。

「じゃありませんでした」은「ではありませんでした」「ではなかったです」「じゃなかったです」로 대체가능.

先に覚えよう!

먼저 외워 보자!

① 天気



は
晴れ

맑음



あめ
雨

비



くもり

흐림



ゆき
雪

눈

② 時間

12/30

おととい
一昨日

그저께

12/31

きのう
昨日

어제

1/1

きょう
今日

오늘

1/2

あした
明日

내일

1/3

あさって
明後日

내일모레

れんしゅう
練習 1

(1) ^は晴れ (맑음)

^は晴れ だ
^は晴れ じゃない
^は晴れ だった
^は晴れ じゃなかった

(2) ^{がくせい}学生 (학생)

^{がくせい}学生 だ
^{がくせい}学生 じゃない
^{がくせい}学生 だった
^{がくせい}学生 じゃなかった

れんしゅう
練習 2

(1) ^{ゆき}雪 (눈)

^{ゆき}雪 です
^{ゆき}雪 じゃありません
^{ゆき}雪 でした
^{ゆき}雪 じゃありませんでした

(2) ^{ほんとう}本当 (정말)

^{ほんとう}本当 です
^{ほんとう}本当 じゃありません
^{ほんとう}本当 でした
^{ほんとう}本当 じゃありませんでした

れんしゅう
練習 3

(1) ^{あした}明日、^は晴れです。(내일은 맑습니다)

^{きょう}今日 → 
^{오늘} 오늘 ^{あめ}雨
비

^{あした}明日 → 
내일 ^{くもり}흐림

^{あさって}明後日 → 
내일모레 ^{しごと}仕事
일

(2) ^{きのう}昨日、^は晴れでした。(어제는 맑았습니다)

^{きょう}今日 → 
^{오늘} 오늘 ^{あめ}雨
비

^{きのう}昨日 → 
어제 ^{ゆき}雪
눈

^{おととい}一昨日 → 
그저께 ^{やす}休み
휴식

※「^{きょう}今日」は^{げんざいけい}現在形、^{か こけい}過去形どちらも使います。これからのことなら^{げんざいけい}現在形、すでに起きたことなら「^{か こけい}過去形」です。

※「^{きょう}今日」는 현재형, 과거형 둘다 사용합니다. 앞으로의 일은 현재형, 이미 일어난 일은「과거형」입니다.



けいようし かつよう な形容詞 (na-A) の活用



나형용사 (na-A) 의 활용

けいようし ふつうけい ていねいけい ひょう
な形容詞の「普通形」と「丁寧形」の表です

나형용사의 「보통형」과 「정중형」의 표입니다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형	げんき 元気	げんき 元気 です
げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형	げんき 元気 じゃない	げんき 元気 じゃありません
かここうていけい 過去肯定形 과거긍정형	げんき 元気 だった	げんき 元気 でした
かこひていけい 過去否定形 과거부정형	げんき 元気 じゃなかった	げんき 元気 じゃありませんでした

かつよう めいし かんぜん おな
活用のルールは「名詞」と完全に同じです。

활용의 규칙은 「명사」와 완전히 동일합니다.

※1 「じゃありません」は「ではありません」「ではありません」「じゃないです」に置き換え可能。

「じゃありません」은「ではありません」「ではありません」「じゃないです」로 대체가능.

※2 「じゃありませんでした」は「ではありませんでした」「ではなかったです」「じゃなかったです」に置き換え可能。

「じゃありませんでした」은「ではありませんでした」「ではなかったです」「じゃなかったです」로 대체가능.

ちゅうい
注意!

주의!

「あつい」「さむい」など最後の一字が「い」の形容詞は「い形容詞」ですが、例外もあります。

「あつい」「さむい」등 마지막 글자가 「い」로 끝나는 형용사는 「い형용사」입니다만, 예외도 있습니다.

れい きら ゆうめい
例: 嫌い、きれい、有名 → これらは「な形容詞」です。

예: 嫌い(싫다), きれい(예쁘다), 有名(유명하다) → 이것들은 전부 「나형용사」입니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **きれい** (예쁘다)

きれい
きれい じゃない
きれい だった
きれい じゃなかった

(2) **だめ** (안되다)

だめ
だめ じゃない
だめ だった
だめ じゃなかった

れんしゅう
練習 2

(1) **便利** (편리하다)

便利
便利 です
便利 じゃありません
便利 でした
便利 じゃありませんでした

(2) **簡単** (간단하다)

簡単
簡単 です
簡単 じゃありません
簡単 でした
簡単 じゃありませんでした

(3) **静か** (조용하다)

静か
静か です
静か じゃありません
静か でした
静か じゃありませんでした

(4) **有名** (유명하다)

有名
有名 です
有名 じゃありません
有名 でした
有名 じゃありませんでした



けいようし かつよう い形容詞 (i-A) の活用



이형용사 (i-A) 의 활용

けいようし ふつうけい ていねいけい ひょう
い形容詞の「普通形」と「丁寧形」の表です。

이형용사의 「보통형」과「정중형」의 표입니다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형	あつ い	あつ いです
げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형	あつ くない	あつ くありません ※1
かここうていけい 過去肯定形 과거긍정형	あつ かった	あつ かったです
かこひていけい 過去否定形 과거부정형	あつ くなかった	あつ くありませんでした ※2

「い」はありません！

「い」는 없습니다!

「いい」の活用ルールは例外です。「いい」活用 규칙은 예외입니다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재형	い い	い いです
げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형	よ くない	よ くありません ※1
かここうていけい 過去肯定形 과거긍정형	よ かった	よ かったです
かこひていけい 過去否定形 과거부정형	よ くなかった	よ くありませんでした ※2

※1 「くありません」は「くないです」に置き換え可能。
오 카 카의

「くありません」은「くないです」로 대체가능.

※2 「くありませんでした」は「くなかったです」に置き換え可能。
오 카 카의

「くありませんでした」는「くなかったです」로 대체가능.

れんしゅう
練習 1

(1) 易しい (쉽다)

やさ
易し い
やさ
易し くない
やさ
易し かった
やさ
易し くなかった

(2) 忙しい (바쁘다)

いそが
忙し い
いそが
忙し くない
いそが
忙し かった
いそが
忙し くなかった

れんしゅう
練習 2

(1) 悪い (나쁘다)

わる
悪 いです
わる
悪 ありません
わる
悪 かったです
わる
悪 ありませんでした

(2) 難しい (어렵다)

むずか
難し いです
むずか
難し ありません
むずか
難し かったです
むずか
難し ありませんでした

れんしゅう
練習 3

(1) 今日、暑いです。(오늘은 덥습니다)



(2) 昨日、寒かったです。(어제는 추웠습니다.)



めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 自己紹介	じこしょうかい	자기소개
<input type="checkbox"/> 名前	なまえ	이름
<input type="checkbox"/> 出身	しゅっしん	출신
<input type="checkbox"/> 仕事	しごと	일
<input type="checkbox"/> 国	くに	나라
<input type="checkbox"/> 日本	にほん	일본
<input type="checkbox"/> 先生*	せんせい	선생님
<input type="checkbox"/> 教師*	きょうし	교사
<input type="checkbox"/> 学生	がくせい	학생
<input type="checkbox"/> 大学生	だいがくせい	대학생
<input type="checkbox"/> 留学生	りゅうがくせい	유학생
<input type="checkbox"/> 会社員	かいしゃいん	회사원
<input type="checkbox"/> 主婦	しゅふ	주부
<input type="checkbox"/> エンジニア		엔지니어
<input type="checkbox"/> 天気	てんき	날씨
<input type="checkbox"/> 晴れ	はれ	맑음
<input type="checkbox"/> 曇り	くもり	흐림
<input type="checkbox"/> 雨	あめ	비
<input type="checkbox"/> 雪	ゆき	눈
<input type="checkbox"/> 本当	ほんとう	정말
<input type="checkbox"/> 嘘	うそ	거짓말
<input type="checkbox"/> 休み	やすみ	휴일
<input type="checkbox"/> 今日	きょう	오늘
<input type="checkbox"/> 昨日	きのう	어제
<input type="checkbox"/> 一昨日	おととい	그저께

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 明日	あした	내일
<input type="checkbox"/> 明後日	あさって	내일모레

※「教師」は学業などを教える人のことで、職業を表します。
きょうし がくぎょう おし ひと
 ※「先生」は指導的な立場や学識がある人に使います。
せんせい しどうてき たちば がくしき ひと つか
 ※「 교사」는 학업 등을 가르치는 사람으로서 직업을 나타냅니다.
 「선생님」은 지도하는 위치에 있거나 학식이 있는 사람에게 사용합니다.

けいようし
な形容詞 (na-A)

<input type="checkbox"/> 元気	げんき	건강하다
<input type="checkbox"/> 簡単	かんたん	간단하다
<input type="checkbox"/> 便利	べんり	편리하다
<input type="checkbox"/> 不便	ふべん	불편하다
<input type="checkbox"/> だめ		안되다
<input type="checkbox"/> 暇	ひま	한가하다
<input type="checkbox"/> 有名	ゆうめい	유명하다
<input type="checkbox"/> きれい		예쁘다

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 良い	いい	좋다
<input type="checkbox"/> 悪い	わるい	나쁘다
<input type="checkbox"/> 難しい	むずかしい	어렵다
<input type="checkbox"/> 易しい	やさしい	쉽다
<input type="checkbox"/> 暑い	あつい	덥다
<input type="checkbox"/> 寒い	さむい	춥다
<input type="checkbox"/> 暖かい	あたたかい	따뜻하다
<input type="checkbox"/> 涼しい	すずしい	시원하다
<input type="checkbox"/> 忙しい	いそがしい	바쁘다

じぶん ほか ひと よ かた
自分や他の人の呼び方

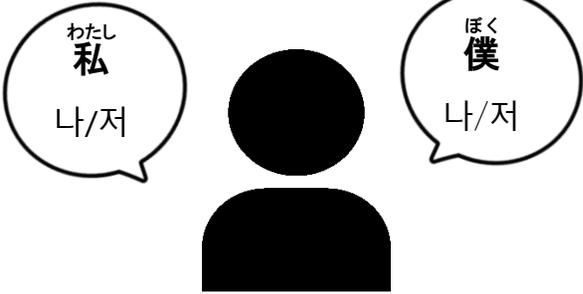
자신이나 다른 사람을 부를 때 호칭

① じぶん ことば ... わたし ぼく
自分のことを指す言葉 ... 私 (나/저)、僕 (나/저)

자신을 가리키는 말

わたし おも じょせい つか
私:主に女性が使います。ていねい はな だんじょ つか
丁寧に話すときは男女ともに使います。

나: 주로 여성이 사용합니다. 정중하게 말할 때는 남녀 모두
사용합니다.



ぼく おも だんせい つか
僕:主に男性が使います。

나: 주로 남성이 사용합니다.

② あいて ことば ... あなた
相手のことを指す言葉 ... あなた(당신)

상대를 가리키는 말

※ はな とき つか
話す時あまり使いません。あいて なまえ い おお
相手の名前を言うことが多いです。

※ 대화할 때는 그다지 사용하지 않습니다. 상대의 이름을 말하는 경우가 많습니다.

③ じぶん あいて ひと ことば ... かれ かのじょ
自分と相手の人を指す言葉 ... 彼(그)、彼女(그녀)

말하는 사람, 듣는사람 이외의 사람을 가리키는 말

④ ふくすう ひと ことば ... わたし ぼく ぼく
複数の人を指す言葉 ... 私たち、僕たち、僕ら(우리들)、

복수의 사람을 가리키는 말

かれ
彼ら(그들)、みんな、みなさん(모두/여러분)



Nは～です

N은 ~입니다



せつぞく
接続

Nは N・na-A・i-A です

この「は」の発音は「わ」と同じです。

이 「は」의 조사는 「わ」와 같습니다.

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) 私は日本人です。

저는 일본인입니다.

(2) 東京はにぎやかです。

도쿄는 번화가입니다.

(3) 日本語は難しいです。

일본어는 어렵습니다.

ポイント

① 助詞「は」は主題を表します。

「は」の直前の名詞について説明をしたり、自分の意見を言ったりするときに使います。

조사「は」는 주제를 나타냅니다.

「は」의 앞에 오는 명사에 대해 설명을 하거나 자신의 의견을 말할 때 사용합니다.



スカイツリーは高いです
스카이트리는 비쌉니다



サッカーは楽しいです
축구는 즐겁습니다

② 文末に「か」をつけると疑問文になります。

문장 끝에 「か」를 붙이면 의문문이 됩니다.

③ 質問を受けて肯定するときは「はい」、否定するときは「いいえ」と言います。

相手が友達なら、「うん」(肯定)、「ううん」(否定)もいいです。

질문을 받고 긍정을 할 때는 「はい」, 부정할 때는 「いいえ」라고 말합니다.

상대가 친구라면 「うん」(肯定), 「ううん」(부정)도 가능합니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N は N 。

わたし にほんじん
私(나/저) 日本人(일본인)

たなか せんせい
田中さん(다나카씨) 先生(선생님)

ちち かいしゃいん
父(아버지) 会社員(회사원)

(2) N は na-A 。

はな
花(꽃) きれい(예쁘다)

せんせい げんき
先生(선생님) 元気(건강하다)

にほんじん しんせつ
日本人(일본인) 親切(친절하다)

(3) N は i-A 。

べんきょう たの
勉強(공부) 楽しい(즐겁다)

にほんりょうり
日本料理(일본요리) おいしい(맛있다)

いもうと
妹(여동생) かわいい(귀엽다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 先生は日本人ですか。

선생님은 일본인입니까?

B: はい、日本人です。

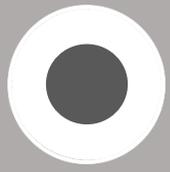
네. 일본인입니다.

(2) A: 日本語は簡単ですか。

일본어는 간단합니까?

B: いいえ、簡単じゃありません。

아니오. 간단하지 않습니다.



ねんがっぴ 年月日

연월일



かず 数

いち	に	さん	し/よん	ご	ろく	なな/しち	はち	きゅう	じゅう
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

じゅういち	じゅうに	じゅうさん	じゅうし/じゅうよん	じゅうご	じゅうろく	じゅうなな/じゅうしち	じゅうはち	じゅうきゅう/じゅうく	にじゅう
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

さんじゅう	よんじゅう	ごじゅう	ろくじゅう	ななじゅう	はちじゅう	きゅうじゅう	ひゃく	せん	いちまん
30	40	50	60	70	80	90	100	1000	10000

※「年数」を言いたいときは上の言い方に「年」を付けます。

「연수」를 말할 때는 위의 숫자에 「년」을 붙입니다.

例: 9年(きゅうねん)、15年(じゅうごねん)、34年(さんじゅうよねん)

つき 月

いちがつ	にがつ	さんがつ	しがつ	ごがつ	ろくがつ	しちがつ	はちがつ	くがつ	じゅうがつ	じゅういちがつ	じゅうにがつ
1月	2月	3月	4月	5月	6月	★ 7月	8月	★ 9月	10月	11月	12月

ひ 日

ついたち	ふつか	みっか	よっか	いつか	むいか	なのか	ようか	このか	とおか
★ 1日	★ 2日	★ 3日	★ 4日	★ 5日	★ 6日	★ 7日	★ 8日	★ 9日	★ 10日

じゅう	いちにち	ににち	さんにち	よっか	ごにち	ろくにち	ななにち しちにち	はちにち	くにち	はつか にじゅうにち
11日	12日	13日	★ 14日	15日	16日	17日	18日	★ 19日	★ 20日	

にじゅう	いちにち	ににち	さんにち	よっか	ごにち	ろくにち	ななにち しちにち	はちにち	くにち	さんじゅうにち	さんじゅういちにち
21日	22日	23日	★ 24日	25日	26日	27日	28日	★ 29日	30日	31日	

※「★」がついているところは特に読み方に注意しましょう。

「★」이 있는 숫자는 특히 읽는 법에 주의합니다.

れんしゅう
練習 1

わたし たんじょうび
私の誕生日は、4月1日(しがつ ついたち)です。

저의 생일은 4월 1일 입니다.

バレンタインデー(발렌타인데이)/2月14日(にがつ じゅうよつか)

クリスマス(クリスマス)/12月25日(じゅうにがつ にじゅうごにち)

れんしゅう
練習 2

何(なん)・・・はっきりしない物事を聞く時に使う

何(なん)・・・확실하지 않는 것을 물을 때

A : Bさんの誕生日は何月何日(なんがつ なんにち)ですか。

B 씨의 생일은 몇 월 몇 일 입니까?

B : 10月10日(じゅうがつ とおか)です。

10월 10일입니다.

でんわばんごう よ かた
電話番号の読み方

전화번호 읽는 법

090-1234-5678 ぜろきゅうぜろ (の) いちにさんよん (の) ごろくななはち
(し) (しち)

- でんわばんごう ゆうびんばんごう つか
電話番号や郵便番号に使われる「-」は「の」と読みますが、省略しても大丈夫です。

전화번호나 우편번호에 사용되는 「-」는 「의」라고 읽지만, 생략해도 됩니다.

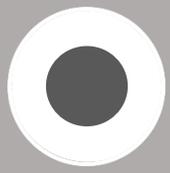
- にほん よ かた
「0」は日本の読み方では「れい(零)」ですが、電話番号や郵便番号では「ぜろ」と読みます。

しょうすうてん ばあい きおん てんなど い
小数点がある場合や気温、テストの点等は「れい」と言います。

「0」는 일본에서 「레이(零)」라고 읽지만, 전화번호나 우편번호는 「제로」라고 읽습니다.

소수점이 있는 경우나 기온, 테스트 점수는 「레이」라고 말합니다.

れい
例: 0.1(れいてんいち)、0度(れいど)、0点(れいてん)



めいししゅうしょく 名詞修飾のルール



명사수식의 규칙

日本語では名詞を修飾する品詞によって形が変化するので注意が必要です。

일본어에서는 명사를 수식하는 품사에 의해 형태가 변하기 때문에 주의가 필요합니다.

めいし 名詞の名詞修飾



名詞で名詞を修飾する場合、間に「の」が入ります。所有、所属、所在などの意味があります。

명사로 명사를 수식할 경우, 그 사이에 「의」가 들어갑니다. 소유, 소속, 소재 등의 의미가 있습니다.

例) 先生の本(선생님의 책)、中国の歴史(중국의 역사)、日本の動物園(일본의 동물원)

けいようし な形容詞の名詞修飾

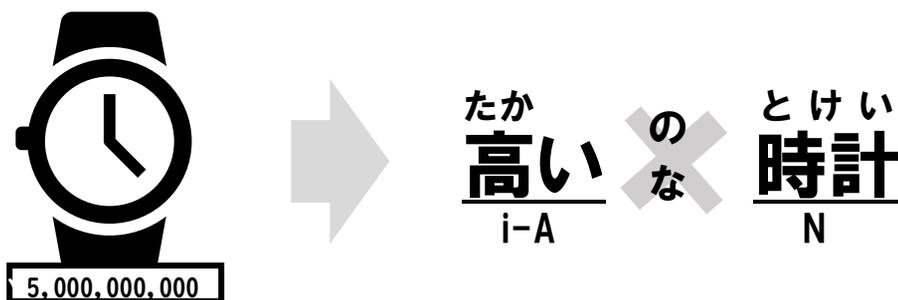


な形容詞で名詞を修飾する場合、間に「な」が入ります。

나형용사로 명사를 수식할 경우, 그 사이에 「나」가 들어갑니다.

例) 元気な人(건강한 사람)、有名な食べ物(유명한 음식)、綺麗な人(예쁜 사람)

けいようし い形容詞の名詞修飾



い形容詞で名詞を修飾する場合、間に何も入りません。

이형용사로 명사를 수식할 경우 그 사이에는 아무것도 필요 없습니다.

例) かわいい猫(귀여운 고양이)、安いチケット(싼 티켓)、大きいりんご(큰 사과)

れんしゅう
練習 1

(1) N の N

あに 兄(형,오빠) ノート(노트)

とうきょうだいがく 東京大学(동경대학의 학생) がくせい 学生(학생)

ともだち 友達(친구) たんじょうび 誕生日(생일)

(2) na-A な N

べんり 便利(편리하다) ばしょ 場所(장소)

しず 静か(조용하다) ひと 人(사람)

かんたん 簡単(간단하다) もんだい 問題(문제)

(3) i-A N

おいしい(맛있다) くだもの 果物(과일)

よい(좋다) パソコン(노트북)

ひろ 広い(넓다) へや 部屋(방)

れんしゅう
練習 2

どんな N ... 상태나 성질을聞く時に使う

どんな N ... 상태나 성질을 물어볼 때 쓴다

A: 渋谷はどんな場所ですか?

시부야는 어떤 장소입니까?

B: にぎやかな場所です。

번화한 장소입니다.

おお 大きな N ちい 小さな N
큰 N 작은 N

「大きい」と「小さい」は「い形容詞」です。「大きな」「小さな」は特別な言葉で、活用はしません。

いつも名詞と一緒に使います。

「 크다 」와 「 작다 」는 이형용사 입니다。「 큰 」과 「 작다 」는 특별한 말로 활용하지는 않습니다.

항상 명사와 함께 사용합니다.

例) 大きな声(큰 소리)、大きなみかん(큰 귤)、小さな家(작은 집)

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 日本語	にほんご	일본어
<input type="checkbox"/> 英語	えいご	영어
<input type="checkbox"/> 外国語	がいこくご	외국어
<input type="checkbox"/> ~語	~ご	~어
<input type="checkbox"/> 日本人	にほんじん	일본인
<input type="checkbox"/> 外国人	がいこくじん	외국인
<input type="checkbox"/> ~人	~じん	~인
<input type="checkbox"/> 性別	せいべつ	성별
<input type="checkbox"/> 家族	かぞく	가족
<input type="checkbox"/> 両親	りょうしん	부모
<input type="checkbox"/> 兄弟	きょうだい	형제
<input type="checkbox"/> 姉妹	しまい	자매
<input type="checkbox"/> 男	おとこ	남자
<input type="checkbox"/> 女	おんな	여자
<input type="checkbox"/> 人	ひと	사람
<input type="checkbox"/> 友達	ともだち	친구
<input type="checkbox"/> 誕生日	たんじょうび	생일
<input type="checkbox"/> クリスマス		크리스마스
<input type="checkbox"/> バレンタインデー		발렌타인 데이
<input type="checkbox"/> ホワイトデー		화이트데이
<input type="checkbox"/> ハロウィン		할로윈
<input type="checkbox"/> 電話番号	でんわばんごう	전화번호
<input type="checkbox"/> 郵便番号	ゆうびんばんごう	우편번호
<input type="checkbox"/> 場所	ばしょ	장소

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 大きい	おおきい	크다
<input type="checkbox"/> 小さい	ちいさい	작다
<input type="checkbox"/> 高い	たかい	높다
<input type="checkbox"/> 低い	ひくい	낮다
<input type="checkbox"/> 新しい	あたらしい	새롭다
<input type="checkbox"/> 古い	ふるい	오래되다
<input type="checkbox"/> おいしい		맛있다
<input type="checkbox"/> まずい		맛이 없다
<input type="checkbox"/> 長い	ながい	길다
<input type="checkbox"/> 短い	みじかい	짧다
<input type="checkbox"/> 広い	ひろい	넓다
<input type="checkbox"/> 狭い	せまい	좁다
<input type="checkbox"/> 重い	おもい	무무겁다
<input type="checkbox"/> 軽い	かるい	가볍다
<input type="checkbox"/> 面白い	おもしろい	재미있다
<input type="checkbox"/> 楽しい	たのしい	즐겁다
<input type="checkbox"/> つまらない		재미없다
<input type="checkbox"/> カッコいい		근사하다
<input type="checkbox"/> かわいい		귀엽다

けいようし
な形容詞 (na-A)

<input type="checkbox"/> 親切	しんせつ	친절하다
<input type="checkbox"/> ハンサム		잘생기다
<input type="checkbox"/> 静か	しずか	조용하다
<input type="checkbox"/> にぎやか		떠들썩하다
<input type="checkbox"/> 素敵	すてき	멋지다

かぞく めいし
家族の名詞

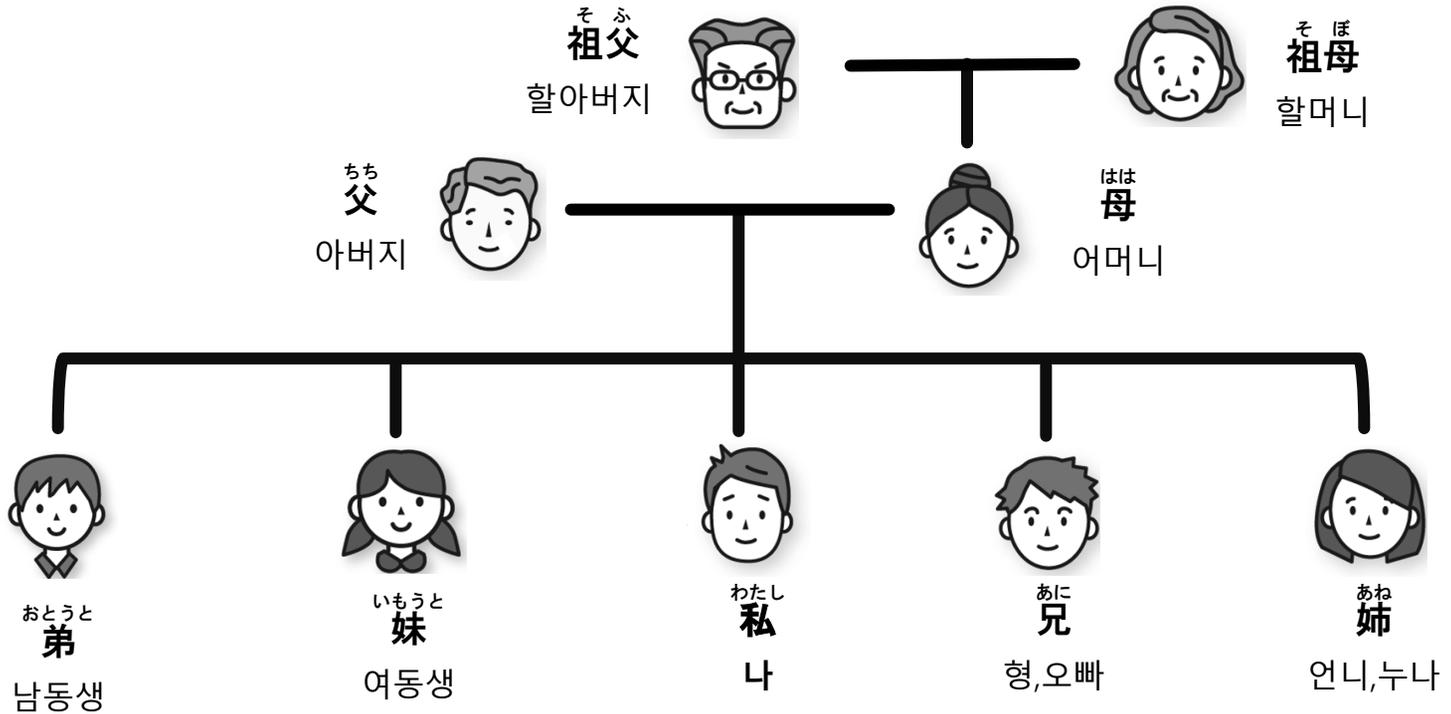
가족의 명사

日本語は自分の家族の呼び方と他の人の家族の呼び方が違います。

일본어는 자신의 가족을 부르는 법과 다른 사람의 가족을 부르는 법이 다릅니다.

① 他の人に自分の家族のことを話すときの呼び方

다른 사람에게 자신의 가족에 대해 말할 때의 호칭



例：私の父は元気です。(저희 아버지는 건강하십니다.)

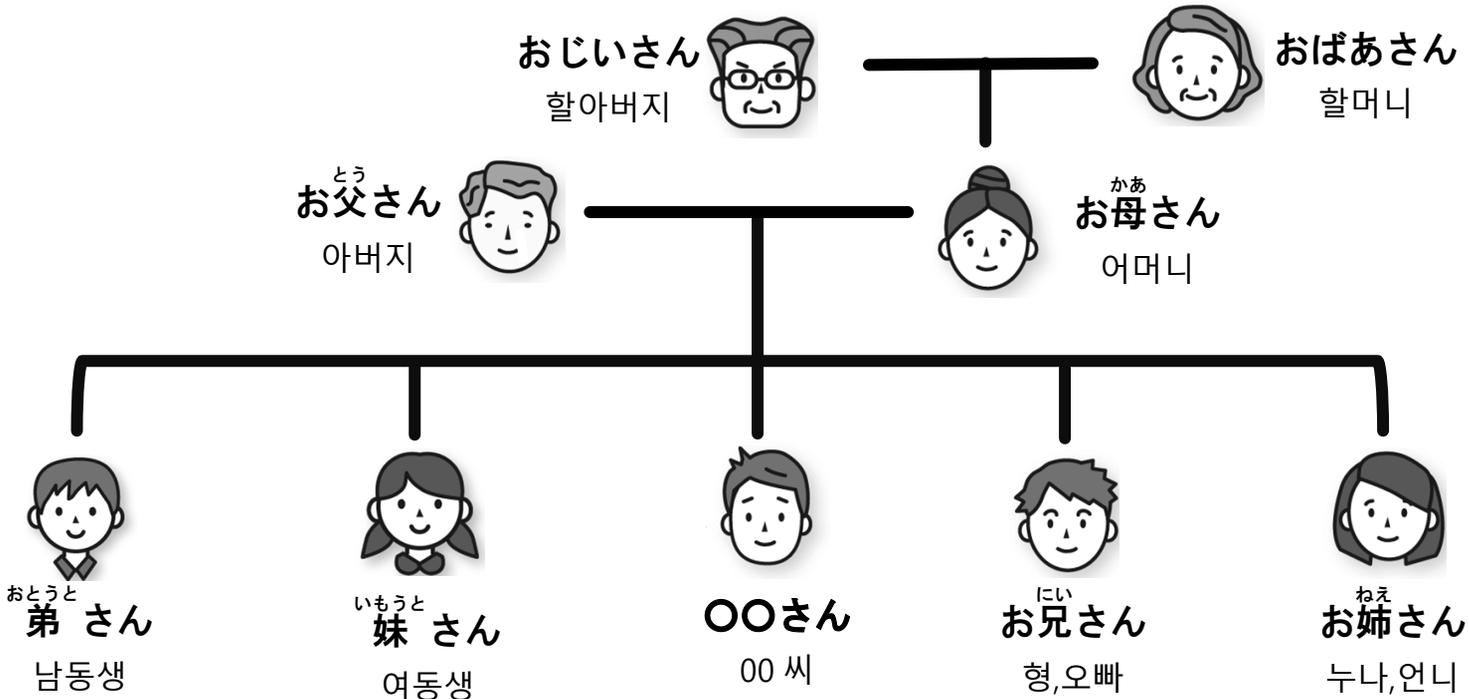
※友達と話す時や、正式な場でない時は自分の家族を以下のように呼ぶ人も多いです。

친구에게 말할 때나 공식적이지 않은 때는 자신의 가족을 아래와 같이 말하는 사람이 많습니다.

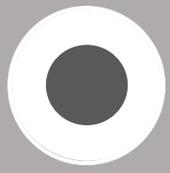
祖父→おじいちゃん 祖母→おばあちゃん 父→お父さん 母→お母さん
兄→お兄ちゃん 姉→お姉ちゃん

② 他のお人の家族の呼び方

다른 사람의 가족을 부를 때의 호칭



例：田中さんのお父さんは元気ですか。(다나카씨의 아버지는 건강하십니까?)



これ・それ・あれ・どれ



이것 · 그것 · 저것 · 어느 것

その場にあるものを指す時、そのものの代わりに使われる言葉です。

話す人と聞く人が近くにいるか離れた場所にいるかによって、使い方が変わるので注意しなければいけません。

자리에 있는 것을 가리킬 때 쓰는 말입니다.

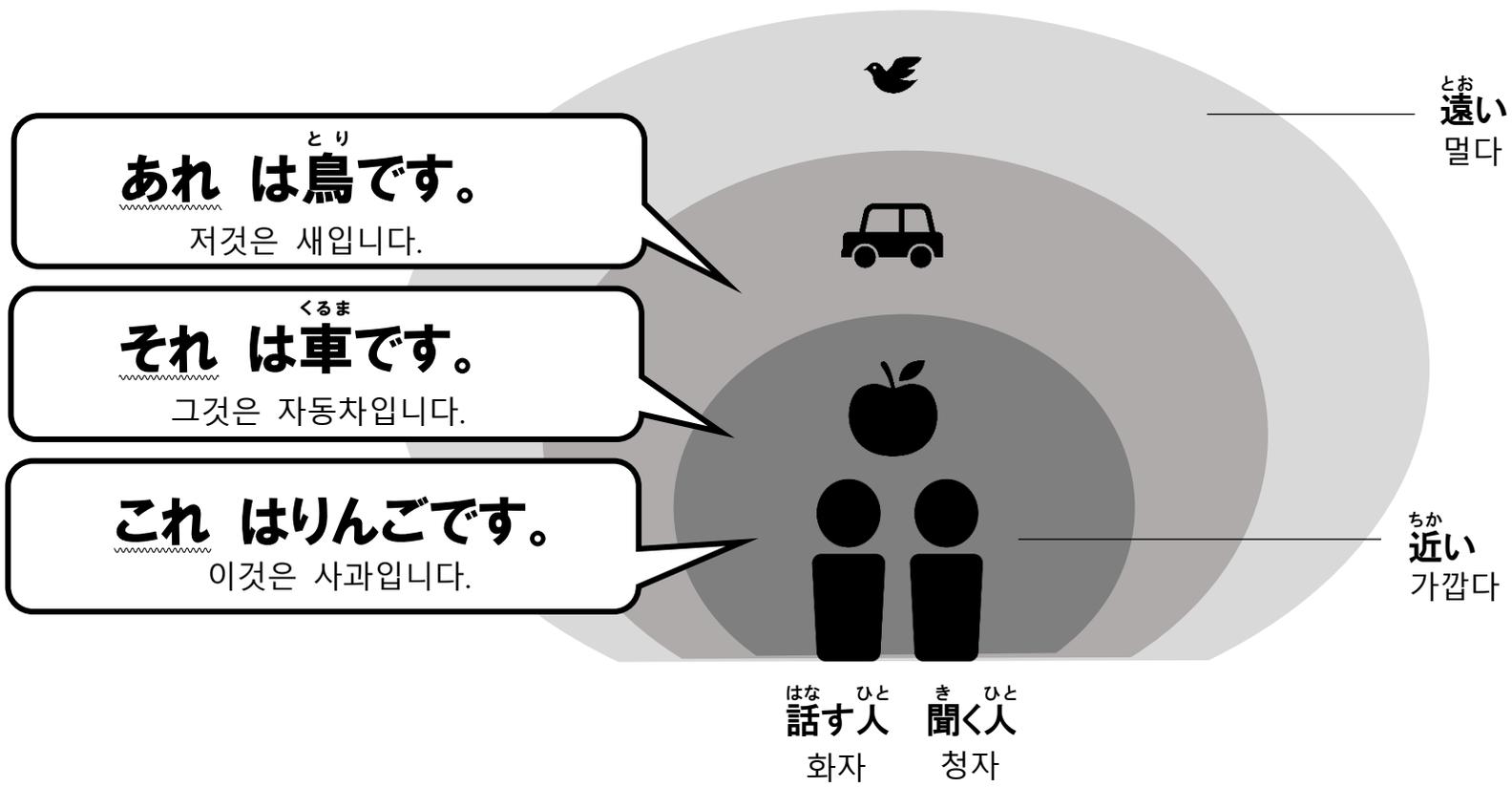
화자와 청자가 가까이 있는지 멀리 있는지에 따라 쓰임새가 다르므로 주의해야 합니다.

話す人と聞く人が近くにいるとき

화자와 청자가 가까이 있을 때

近くのを指すときは「これ」、遠くのを指すときは「あれ」、どちらでもないときは「それ」と言います。

가까운 것을 가리킬 땐 '이것', 멀리 있는 것을 가리킬 땐 '저것', 둘 다 아닐 시 '그것'이라고 합니다.



話す人と聞く人が離れた場所にいるとき

화자와 청자가 멀리 있을 때

話す人の近くのは「これ」、聞く人の近くのは「それ」、それ以外は「あれ」と言います。

화자 근처에 있는 건 '이것', 청자 근처에 있는 건 '그것', 이 외에는 '저것'이라고 합니다.

これ はプレゼントです。
이것은 선물입니다.

それ は私のバッグです。
그것은 제 가방입니다.

あれ は飛行機です。
저것은 비행기입니다.



れんしゅう
練習 1

これ/それ/あれ は N です。

これ(이것) --- パソコン(컴퓨터)/辞書(사전)/スマホ(스마트폰)

それ(그것) --- ノート(노트)/ボールペン(볼펜)/消しゴム(지우개)

あれ(저것) --- 飛行機(비행기)/鳥(새)/時計(시계)

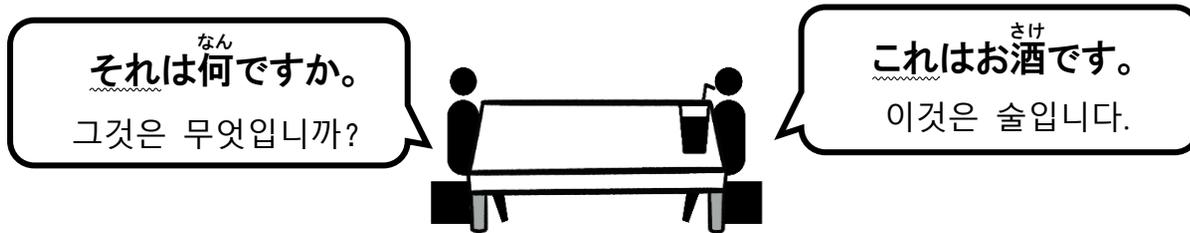
れんしゅう
練習 2

(1) A: それは何ですか。

그것은 무엇입니까?

B: これは日本のお菓子です。

이것은 일본의 과자입니다.



※同じものを指しているときでも、自分の近くか、相手の近くにあるかで「これ」と「それ」を使い分けます。

같은 것을 가리킬 때도 자신에게 가까운지 상대방에게 가까운지에 따라 「これ」와 「それ」를 구분하여 사용합니다.

どれ...複数ある中で何を指しているか聞く時に使います。

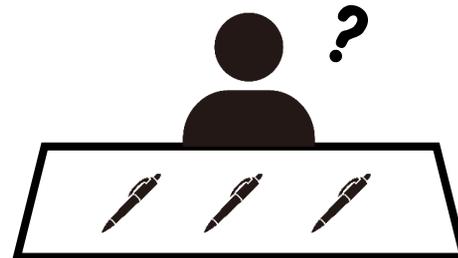
どれ...여러 개가 있을 때 어떤 걸 가리키는 지 물어볼 때 사용합니다.

(2) A: Bさんのペンはどれですか。

B 씨의 펜은 어느 것입니까?

B: これです。青いペンです。

이것입니다. 파란색 펜입니다.





この・その・あの・どの + 名詞

めいし



이·그·저·어느 + 명사

名詞の前に置いて、その名詞を限定する時に使います。「これ」「それ」「あれ」「どれ」は人を指す時に使えませんが、この言い方は「この人」「その人」など、人を指す時にも使うことができます。

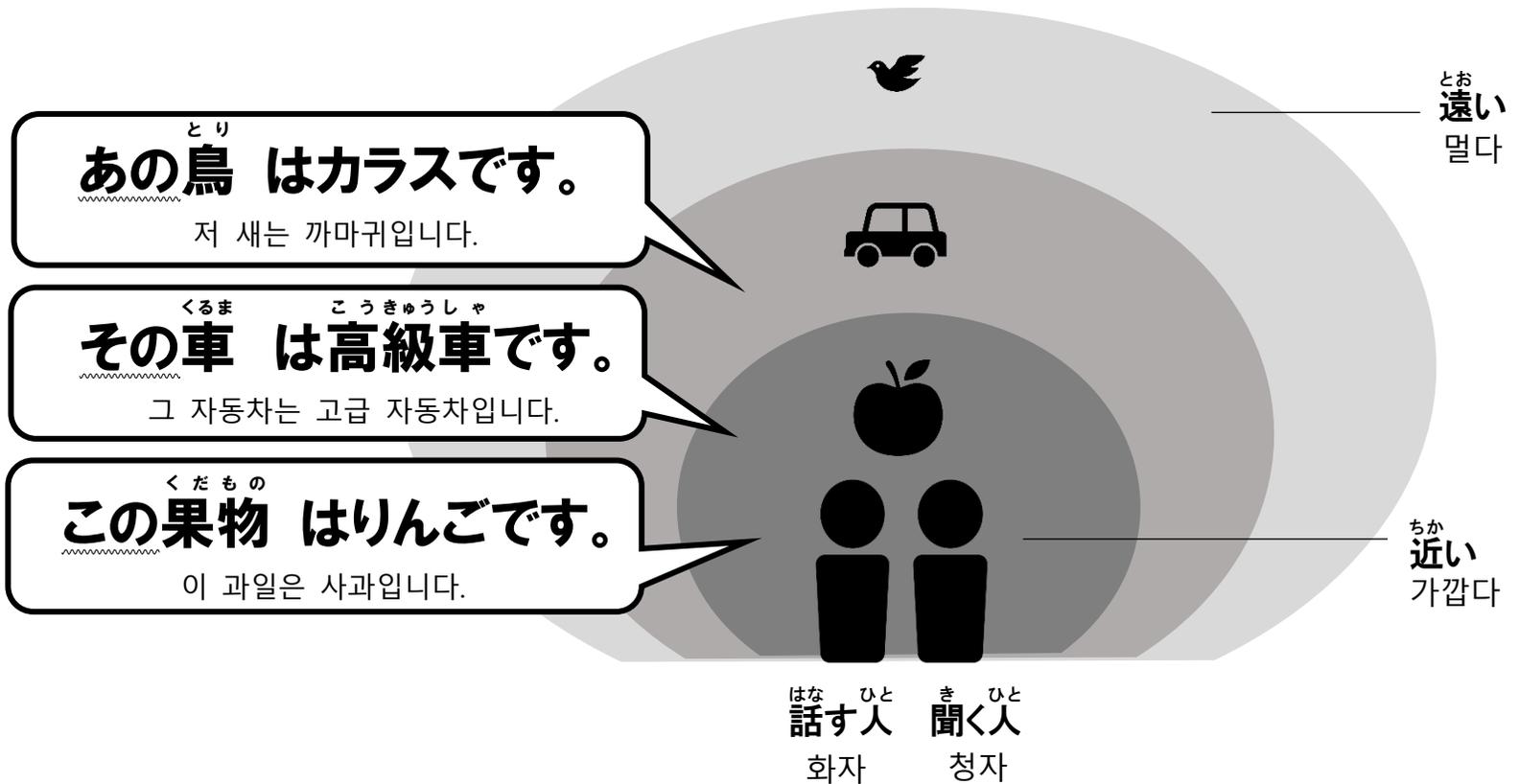
명사 앞에 쓰이며, 그 명사를 한정할 때 사용합니다. '이것' '그것' '저것' '어느 것'은 사람한테 쓰지 않지만, 사람을 가리킬 때에는 '이 사람' '저 사람'과 같이 쓸 수 있습니다.

はな ひと き ひと ちか
話す人と聞く人が近くにいるとき

화자와 청자가 가까이 있을 때

近くのを指すときは「この + 名詞」、遠くのを指すときは「あの + 名詞」、どちらでもないときは「その + 名詞」と言います。

가까운 것을 가리킬 땐 '이+명사', 멀리 있는 것을 가리킬 땐 '저+명사', 둘 다 아닐 시 '그+명사'라고 합니다.



はな ひと き ひと はな ばしょ
話す人と聞く人が離れた場所にいるとき

화자와 청자가 멀리 있을 때

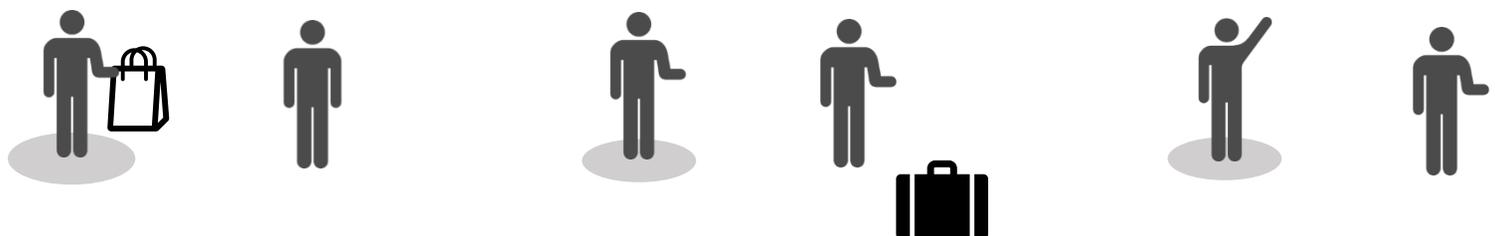
話す人の近くのは「この + 名詞」、聞く人の近くのは「その + 名詞」、それ以外は「あの + 名詞」と言います。

화자 근처에 있는 건 '이+명사', 청자 근처에 있는 건 '그+명사', 이 외에는 '저+명사'라고 합니다.

このぶくろは無料です。 (This bag is free.)

そのかばんは私のかばんです。 (That bag is my bag.)

あの人は社長です。 (That person is the president.)



れんしゅう
練習 1

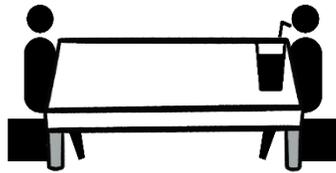
この/その/あの+N は N です。

この教科書(이 교과서)/田中さんの教科書(다나카씨의 교과서)

その人(그 사람)/先生(선생님)

あの駅(저 역)/東京駅(도쿄역)

その飲み物はお酒ですか。
그 음료는 술입니까?



この飲み物はジュースです。
이 음료는 주스입니다.

※同じものを指しているときでも、自分の近くか相手の近くかで「この+名詞」と「その+名詞」を使い分けます。
※같은 것을 가리킬 때에도, 자신의 근처나 상대방의 근처에 있는 지를 구분하여 '이+명사', '그+명사'를 사용합니다.

れんしゅう
練習 2

だれ ひと なまえ きとき つか
誰...人の名前を聞く時に使います。
だれ
誰...사람의 이름을 물을 때 사용합니다.

(1) A: このスマホは、誰のスマホですか。3456

이 스마트폰은 누구의 스마트폰입니까?

B: 先生のスマホです。

선생님의 스마트폰입니다.

先生のです。

(2) A: Bさんのペンはどのペンですか。

B 씨의 펜은 어느 펜입니까?

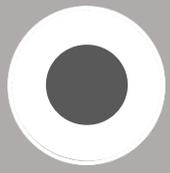
B: 赤いペンです。

빨간색 펜입니다.

赤いのです。

この言い方もいいです。
次の課で勉強しましょう。

이런 표현도 가능합니다.
다음 화에서 공부합시다.



めい し か 名詞の代わりをする「の」



명사를 대신하는「の」

まえ で めい し なん ど く かえ お か
前^{まえ}に出^でてきた名詞^{めいし}は、何^{なん}度も繰^くり返^{かえ}さず、「の」に置き換^おえること^かができます。

앞에 나온 명사는 몇 번이나 반복하지 않고 「의」로 대체할 수 있습니다.

めい し けいよう し けいよう し どう し
※名詞^{めいし}、い形容詞^{けいようし}、な形容詞^{けいようし}、動詞^{どうし}のうしろに「の」をつけることができますが、

こんかい とく つか めい し けいよう し つか かた べんきょう
今^{こん}回は特^{とく}によく使^{つか}われる「名詞^{めいし}/い形容詞^{けいようし}+の」の使^{つか}い方^{かた}を勉^{べん}強^{きょう}します。

※명사, 이형용사, 형용사, 동사의 뒤에 「의」를 붙일 수 있으나

이번에는 특히 자주 사용되는 「명사/이형용사+의」의 사용법을 공부합니다.

めい し 名詞+の

このノートは、^{わたし}私のノートです。 → このノートは、^{わたし}私の^のです。

이 노트는 제 노트입니다. → 이 노트는 제 것입니다.

にかいめ
2回^{にかいめ}目の「ノート」は言^いわなくてもわかるので、「の」に置き換^おえられ^かます。

2 번째의 「노트」는 말하지 않아도 알기 때문에, 「의」로 대체할 수 있습니다.



けいよう し い形容詞+の

わたし
私の^{わたし}ペン^のは、この^{あお}青^いペン^のです。 → 私の^{わたし}ペン^のは、この^{あお}青^いの^のです。

제 펜은 이 파란색 펜입니다. → 제 펜은 이 파란 것입니다.

にかいめ
2回^{にかいめ}目の「ペン」は言^いわなくてもわかるので、「の」に置き換^おえられ^かます。

2 번째의 「펜」은 말하지 않아도 알기 때문에, 「의」로 대체할 수 있습니다.



その^{ひと}人^のは、青^{あお}い服^{ふく}の^の人^{ひと}です。 → その^{ひと}人^のは青^{あお}い^のです。

「の」に置き換^おえられるのは物^{もの}です。「人^{ひと}」は「の」に置き換^おえられ^かません。

「の」로 대체할 수 있는 것은 사물입니다. 「사람」은 「의」로 대체할 수 없습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N + の

このパソコンは、^{たなか}田中さんのパソコンです。

이 컴퓨터는 다나카씨의 컴퓨터입니다.

その教科書は、^{がっこう}学校の教科書です。

그 교과서는 학교의 교과서입니다.

→ このパソコンは、^{たなか}田中さんのです。

이 컴퓨터는 다나카씨의 것입니다.

→ その教科書は^{がっこう}学校のです。

그 교과서는 학교의 것입니다.

(2) i-A + の

^{わたし}私の服は、^{あか}赤い服です。

제 옷은 빨간색 옷입니다.

この指輪は、^{やす}安い指輪です。

이 반지는 저렴한 반지입니다.

→ ^{わたし}私の服は、^{あか}赤いのです。

제 옷은 빨간 것입니다.

→ この指輪は^{やす}安いのです。

이 반지는 저렴한 것입니다.

れんしゅう
練習 2

(1) A: その^{ふく}かわいい服は^{だれ}誰のですか。

그 귀여운 옷은 누구 것입니까?

B: ^{わたし}私の^{いもうと}妹のです。

제 여동생의 것입니다.

(2) A: ^{たなか}田中さんの^{かばん}かばんはどれですか。

다나카씨의 가방은 어느 것입니까?

B: ^{ちやいろ}茶色いのです。

갈색의 것입니다.

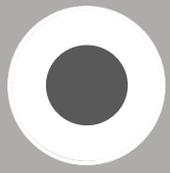
いろ
色

^{あか}赤、^{あお}青、^{くろ}黒、^{しろ}白、^{きいろ}黄色、^{ちやいろ}茶色の6つの名詞は、後ろに「い」をつけると「い形容詞」になります。

빨강, 파랑, 검정, 하얀, 노랑, 갈색 이 여섯가지 명사는 뒤에 「い」를 붙이면 「이형용사」가 됩니다.

	빨강	파랑	검정	하얀	노랑	갈색	초록	보라	분홍
N	^{あか} 赤	^{あお} 青	^{くろ} 黒	^{しろ} 白	^{きいろ} 黄色	^{ちやいろ} 茶色	^{みどり} 緑	^{むらさき} 紫	ピンク
i-A	^{あか} 赤い	^{あお} 青い	^{くろ} 黒い	^{しろ} 白い	^{きいろ} 黄色い	^{ちやいろ} 茶色い			

※「^き黄い」「^{ちや}茶い」とは言いません。(「黄い」「茶い」라고 하지 않습니다.)



動詞 (V) の活用



동사 (V) 의 활용

動詞の「普通形」と「丁寧形」の表です。

동사 「보통형」과 「정중형」의 표입니다.

辞書形(Vる) = 普通形の現在肯定形
사전형(Vる) = 보통형의 현재긍정형

ます形(Vます) = 丁寧形の現在肯定形
ます형(Vます) = 정중형의 현재긍정형

	普通形(보통형)	丁寧形(정중형)
現在肯定形 현재긍정형	食べる	食べ ます
現在否定形 현재부정형	食べ ない	食べ ません
過去肯定形 과거긍정형	食べ た	食べ ました
過去否定形 과거부정형	食べ なかった	食べ ませんでした

※普通形の活用のルール「-る」「-ない」「-た」「-なかった」は、全ての動詞の共通のルールではなく、
次のページで学習する動詞のグループによって異なります。

※보통형의 활용 규칙 「-る」「-ない」「-た」「-なかった」는 모든 동사의 공통의 규칙이 아니며,
다음 페이지에서 학습하는 동사의 그룹에 따라 다릅니다.

先に覚えよう!

動詞の辞書形 動사의 사전형



書く
쓰다



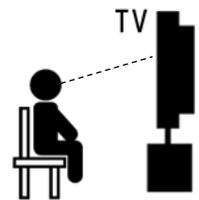
話す
말하다



読む
읽다



聞く
듣다



見る
보다



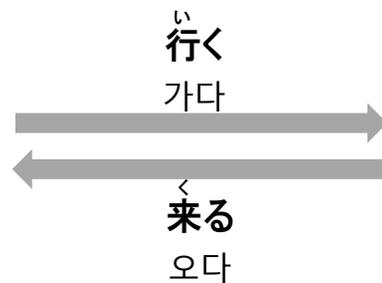
飲む
마시다



食べる
먹다



現在地
현재위치



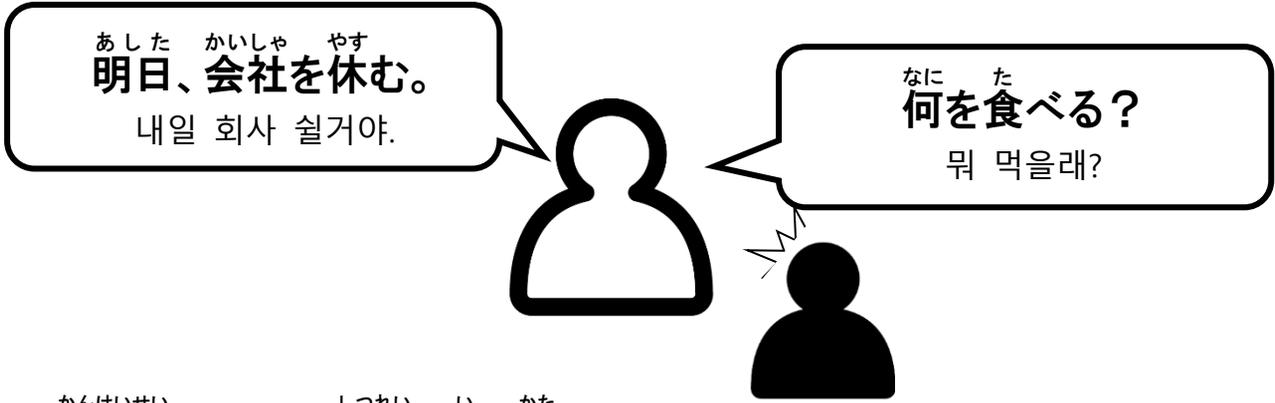
行く
가다
来る
오다



他の場所
다른 장소

※今いる位置から目的地に向かうことを「行く」、今いる位置に近づいて来ることを「来る」と言います。

지금 있는 위치에서 목적지로 향하는 것을 「行く」, 지금 있는 위치에 가까워지는 것을 「来る」라고 합니다.



普通形は相手との関係性によっては失礼な言い方になってしまいます。
 基本的に単語は辞書形で見えますが、辞書形から丁寧形に変える方法を見なければいけません。

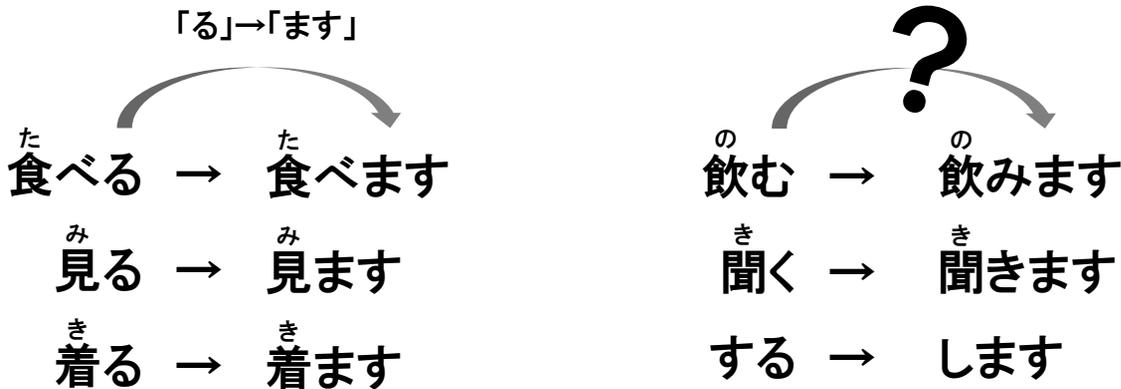
보통형은 상대와의 관계성에 따라 실례되는 표현이 되기도 합니다.
 기본적으로 단어는 사전형으로 외우지만, 사전형에서 정중형으로 바꾸는 방법을 외워야 합니다.

どうやって「辞書形」から「ます形」に変える？

어떻게 「사전형」에서 「ます형」으로 바꿀까?

動詞の丁寧形は「ます」がつきます。でも辞書形に「ます」を付けるだけではダメです。
 例: ×食べるます ×飲むます ×行くます

동사의 정중형은 「ます」가 붙습니다. 하지만 사전형에 「ます」를 붙이는 것 만으로는 안됩니다.



例えば左側の動詞なら、「る」を「ます」に変えただけですが、右側の動詞はそのルールは使えません。

예를 들어 왼쪽의 동사는 「る」를 「ます」로 바꾸기만 하면 되지만, 오른쪽의 동사는 그 규칙이 통하지 않습니다.

動詞には3つのグループがあり、それぞれ変化のルールが違います。

동사에는 3가지의 그룹이 있으며 각각 변화의 규칙이 다르기 때문입니다.

動詞のグループ

동사의 그룹

I 그룹

II 그룹、III 그룹以外の動詞 2 그룹, 3 그룹 이외의 동사

例: **話す**(말하다)、**飲む**(마시다)、**書く**(쓰다)、**読む**(읽다)、**聞く**(듣다)...

II 그룹

「-iる」/「-eる」の動詞 「-iる」/「-eる」 동사

「る」の前が「i段」の動詞、「る」の前が「e段」の動詞がIIグループです。

「る」 앞이 「i 단」인 동사, 「る」 앞이 「e 단」인 동사가 2 그룹입니다.

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	a
	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い		i ⇒ 例: いる 、 着る 、 起きる 、 見る 、 借りる
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	u
	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え		e ⇒ 例: 教える 、 食べる 、 出る 、 入れる など
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	o

※上記のルールに当てはまっても I グループに分類される例外の動詞もあります。

위 규칙에 해당하지만 1 그룹으로 분류되는 예외 동사도 있습니다.

例: **入る**(들어가다)、**走る**(달리다)、**切る**(자르다)、**知る**(알다)、**帰る**(돌아가다)...

III 그룹

「する」「来る」の2つだけ 「する」「来る」 2 개의 동사

※「N+する」の動詞もIIIグループに分けられます。

「N+する」의 동사도 3 그룹으로 분류됩니다.

例: **勉強する**(공부하다)、**買い物する**(쇼핑하다)、**掃除する**(청소하다)、**洗濯する**(빨래하다)

- | | | | | | | | |
|-------------|---|-------|------|-----------|---|-------|------|
| みる (보다) | ⇒ | Ⅱ | グループ | 話す (말하다) | ⇒ | _____ | グループ |
| 作る (만들다) | ⇒ | _____ | グループ | する (하다) | ⇒ | _____ | グループ |
| 切る (자르다) | ⇒ | _____ | グループ | 着る (입다) | ⇒ | _____ | グループ |
| 食事する (식사하다) | ⇒ | _____ | グループ | 使う (사용하다) | ⇒ | _____ | グループ |
| 食べる (먹다) | ⇒ | _____ | グループ | 来る (오다) | ⇒ | _____ | グループ |

じしょけい けい つく かた
辞書形→ます形の作り方

사전형→ます형으로 바꾸는 법

Iグループ	IIグループ	IIIグループ

Iグループ : 辞書形の最後の1文字を「i」段の音に変えて、「ます」をつける。

사전형의 마지막 한 글자를 「i」 단의 음으로 바꾸고, 「ます」를 붙인다.

IIグループ : 辞書形の最後の1文字の「る」を「ます」に変える。

사전형의 마지막 한 글자인 「る」를 「ます」로 바꾼다.

IIIグループ : 「する」→「します」「来る」→「来ます」

れんしゅう
練習 2

(1) Iグループ

はな **話す**(말하다) ⇒ **話** **し** **ます**

つく **作る**(만들다) ⇒ **ます**

か **書く**(쓰다) ⇒ **ます**

つか **使う**(사용하다) ⇒ **ます**

(2) IIグループ

み **見る**(보다) ⇒ **ます**

おぼ **覚える**(외우다) ⇒ **ます**

ね **寝る**(자다) ⇒ **ます**

た **食べる**(먹다) ⇒ **ます**

(3) IIIグループ

りょうり **料理する**(요리하다) ⇒ **ます**

く **来る**(오다) ⇒ **ます**

れんしゅう
練習 3

(1) の **飲み** **ます**(I) (마십니다)

の **飲み** **ます**
の **飲み** **ません**
の **飲み** **ました**
の **飲み** **ませんでした**

(2) き **聞き** **ます**(I) (듣습니다)

き **聞き**
き **聞き**
き **聞き**
き **聞き**

(3) おぼ **覚え** **ます**(II) (외웁니다)

おぼ **覚え**
おぼ **覚え**
おぼ **覚え**
おぼ **覚え**

(4) き **来** **ます**(III) (옵니다)

き **来**
き **来**
き **来**
き **来**



べんきょう
勉強する
공부하다



りょうり
料理する
요리하다



うんどう
運動する
운동하다



か もの
買い物する
쇼핑하다



せんたく
洗濯する
빨래하다



そうじ
掃除する
청소하다



でんわ
電話する
전화하다



デートする
데이트하다

れんしゅう
練習 4

(1) A: 明日掃除しますか。

내일 청소합니까?

B: はい、します。/いいえ、しません。

네, 합니다. /아니오, 안 합니다.

(2) A: 昨日勉強しましたか。

어제 공부했습니까?

B: はい、しました。/いいえ、しませんでした。

네, 했습니다. /아니오, 안 했습니다.

Ⅲグループの動詞

3 그룹 동사

「勉強します」、「料理します」など「N+します」の形のⅢグループの動詞は、
対象を表す助詞「を」を間に入れて使うこともできます。

「勉強します」、「料理します」等「N+します」의 형태인 3 그룹 동사는 대상을 나타내는 조사 「を」를
문장 사이에 넣어 사용할 수 있습니다.

例: 勉強をします(공부를 합니다)、料理をします(요리를 합니다)、運動をします(운동을 합니다)

※この使い方は「NをVます」の勉強のときに練習します。

이 표현은 「N을Vます」를 공부할 때 연습합니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 本	ほん	책
<input type="checkbox"/> 教科書	きょうかしょ	교과서
<input type="checkbox"/> 辞書	じしょ	사전
<input type="checkbox"/> 紙	かみ	종이
<input type="checkbox"/> ノート		노트
<input type="checkbox"/> 手帳	てちょう	수첩
<input type="checkbox"/> ファイル		파일
<input type="checkbox"/> ペンケース		필통
<input type="checkbox"/> 鉛筆	えんぴつ	연필
<input type="checkbox"/> ボールペン		볼펜
<input type="checkbox"/> シャープペンシル		샤프펜
<input type="checkbox"/> 消しゴム	けしごむ	지우개
<input type="checkbox"/> ホッチキス		호치키스
<input type="checkbox"/> セロテープ		셀로테이프
<input type="checkbox"/> はさみ		가위
<input type="checkbox"/> 糊	のり	풀
<input type="checkbox"/> 定規	じょうぎ	자
<input type="checkbox"/> 電卓	でんたく	계산기
<input type="checkbox"/> パソコン		컴퓨터
<input type="checkbox"/> スマートフォン(スマホ)		스마트폰
<input type="checkbox"/> 携帯電話	けいたいでんわ	휴대전화
<input type="checkbox"/> 時計	とけい	시계
<input type="checkbox"/> ホワイトボード		화이트보드

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 勉強(する)	べんきょう	공부(하다)
<input type="checkbox"/> 料理(する)	りょうり	요리(하다)
<input type="checkbox"/> 運動(する)	うんどう	운동(하다)
<input type="checkbox"/> 買い物(する)	かいもの	쇼핑(하다)
<input type="checkbox"/> 洗濯(する)	せんたく	세탁(하다)
<input type="checkbox"/> 掃除(する)	そうじ	청소(하다)
<input type="checkbox"/> 電話(する)	でんわ	전화(하다)
<input type="checkbox"/> デート(する)		데이트(하다)

どうし
動詞 (V)

(I)		
<input type="checkbox"/> 書く	かく	쓰다
<input type="checkbox"/> 話す	はなす	말하다
<input type="checkbox"/> 読む	よむ	읽다
<input type="checkbox"/> 聞く	きく	듣다
<input type="checkbox"/> 飲む	のむ	마시다
<input type="checkbox"/> 行く	いく	가다
<input type="checkbox"/> 切る	きる	자르다
<input type="checkbox"/> 作る	つくる	만들다
<input type="checkbox"/> 使う	つかう	사용하다
(II)		
<input type="checkbox"/> 食べる	たべる	먹다
<input type="checkbox"/> 見る	みる	보다
<input type="checkbox"/> 覚える	おぼえる	외우다/기억하다
(III)		
<input type="checkbox"/> する		하다
<input type="checkbox"/> 来る	くる	오다

ここ・そこ・あそこ

여기/거기/저기

「ここ」「そこ」「あそこ」は場所を指し示す時、名詞の代わりに使われる言葉です。

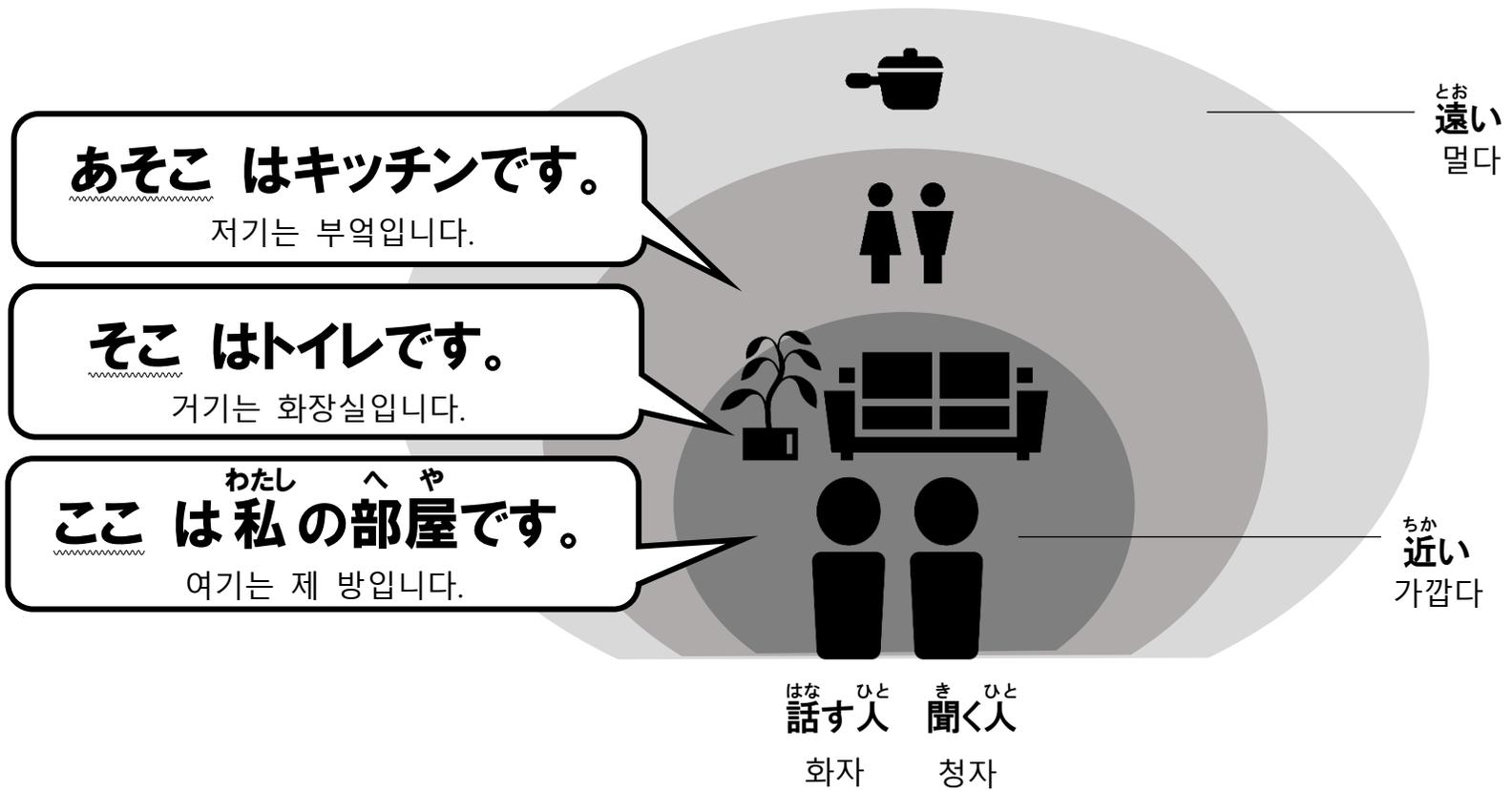
「ここ」「そこ」「あそこ」는 장소를 가리킬 때, 명사 대신에 쓰는 말입니다.

話す人と聞く人が近くにいるとき

화자와 청자가 가까이 있을 때

近くの場所を指すときは「ここ」、遠くの場所を指すときは「あそこ」、どちらでもないときは「そこ」と言います。

가까운 장소를 가리킬 땐「ここ」、멀리 있는 장소를 가리킬 땐「あそこ」、둘 다 아닐 시「そこ」라고 합니다.



話す人と聞く人が離れた場所にいるとき

화자와 청자가 떨어진 장소에 있을 때

話す人から近い場所は「ここ」、聞く人から近い場所は「そこ」、それ以外は「あそこ」と言います。

화자에게 가까운 장소는「ここ」、청자에게 가까운 장소는「そこ」、그 외에는「あそこ」라고 합니다.





N が ^す好きです / ^{きら}嫌いです



N 을 좋아합니다 / 싫어합니다

せつぞく
接続

N が na-A-i-A-V

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) ^{かのじょ}彼女は^{ねこ}猫が^す好きです。
그녀는 고양이를 좋아합니다.

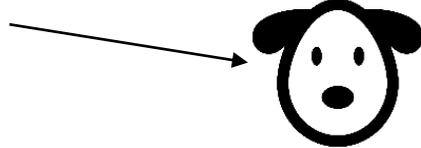
(2) ^{わたし}私は^{ぎゅうにゅう}牛乳が^{きら}嫌いです。
나는 우유를 싫어합니다.

(3) ^{わたし}私の^{はは}母は^{にほんご}日本語が^{わかりません}わかりません。
저의 어머니는 일본어를 모릅니다.

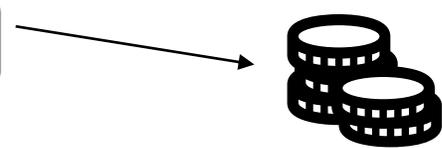
ポイント

① ^{かんじょう}感情の^む向かう^{たいしやう}対象は「が」で^{あらわ}表します。「が」の^{うし}後ろには、^{けいようし}形容詞、^{どうし}動詞がつづきます。

감정이 향하는 대상은 「가」로 나타냅니다. 「가」의 뒤에는 형용사, 동사가 따릅니다.



^{いぬ}犬が^す好きです
개를 좋아합니다.



^{かね}お金が^{ほしい}ほしいです
돈을 갖고 싶습니다.

② N5 のレベルでは以下のような^い単語と^{たんご}一緒に^{いっしょ}使います。^{つか}

N5 레벨에서는 아래와 같은 단어와 함께 공부합니다.

例: ^な形容詞 ^す好き(좋아하다)、^{きら}嫌い(싫어하다)

^い形容詞 ^よ良い(좋다)、^{わる}悪い(나쁘다)、^{ほしい}ほしい(갖고싶다)

^{どうし}動詞 ^{わかる}わかる(알다, 이해하다, 알아듣다)

れんしゅう
練習 1

(1) **N** が好きです。

日本料理(にほんりょうり) (일본 요리)/お寿司(おすし) (초밥)/味噌汁(みそじる) (된장국)/すき焼き(すきやき) (스키야키)

お菓子(かし) (과자)/ケーキ(けいき) (케이크)/クッキー(くっきー) (쿠키)/アイス(あ이스) (아이스크림)

お酒(さけ) (술)/ビール(びーる) (맥주)/コーヒー(こーひー) (커피)/紅茶(こうちゃ) (홍차)

(2) **N** がわかりません。

外国語(がいこくご) (외국어)/日本語(にほんご) (일본어)/中国語(ちゅうごくご) (중국어)/韓国語(かんこくご) (한국어)

ひらがな(히라가나)/かたかな(가타카나)/漢字(かんじ) (한자)

れんしゅう
練習 2

(1) A: Bさんは日本語がわかりますか。

B 씨는 일본어를 (할 줄) 압니까?

B: はい、わかります。/いいえ、わかりません。

네, 압니다. / 아니오, 모릅니다.

(2) A: Bさんは何が好き/嫌い ですか。

B 씨는 무엇을 좋아/싫어 합니까?

B: お酒が好き/嫌い です。

술을 좋아/싫어 합니다.

(3) A: 私は辛い食べ物が大好きです。

저는 매운 음식을 좋아합니다.

も…他のものと同様であるという意味を表す助詞。

も…다른 것과 같다는 의미를 나타내는 조사.

B: 私も好きです。/私には好きじゃありません。

저도 좋아합니다. / 저는 좋아하지 않습니다.



N(人/動物)がNをVます



N(사람/동물)이 N 을 V 합니다

せつぞく
接続

ひと どうぶつ
N(人/動物)がNをVます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) ご飯^{はん}を^た食べます。

밥을 먹습니다.

(2) 音楽^{おんがく}を^き聞きます。

음악을 듣습니다.

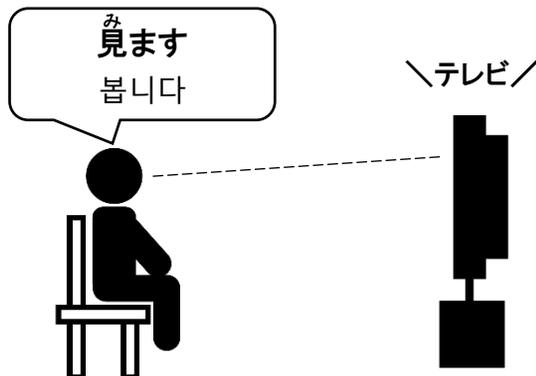
(3) 先生^{せんせい}が^に日本語^{にほんご}を^{おし}教えます。

선생님이 일본어를 가르칩니다.

ポイント

① 助詞「を」は対象の意味です。

조사「を」는 대상을 의미합니다.



テレビ^みを^みみます
TV 를 보^미니다



ごみ^すを^す捨てます
쓰레기^{쓰레기}를 버^미립니다

② 主語の後ろには助詞「が」をつけます。助詞の「が」は、主語を表します。

れい たなか ^の ^{さけ} ^の
例: 田中さんがお酒を飲みます。

주어의 뒤에는 조사「が」를 붙입니다. 조사「が」는 주어를 나타냅니다.

예 : 다나카씨는 술을 마십니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N を V 。

^{えい}が ^み
映画(영화) 見る(보다)

^{さけ} ^の
お酒(술) 飲む(마시다)

^{うた} ^{うた}
歌(노래) 歌う(부르다)

Ⅲグループの動詞は「Nをします」「Nします」どちらの形でもいいです。

3 그룹 동사는 「N을/를 합니다」「N합니다」 어느 쪽의 형태로도 사용할 수 있습니다.

(2) ひと/どうぶつ が N を V 。

^{ともだち} ^{りょうり}
友達(친구) 料理(요리) する(하다)

^{つま} ^{かし} ^{つく}
妻(아내) お菓子(과자) 作る(만들다)

ペット(애완동물, 반려동물) えさ(먹이/사료) 食べる(먹다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 明日何をしますか。

내일 무엇을 합니까(할 예정입니까)?

B: 漫画を読みます。

만화를 읽습니다(읽을 예정입니다).

(2) A: 誰がレストランを予約しましたか。

누가 레스토랑을 예약했습니까?

B: 田中さんが予約しました。

다나카씨가 예약했습니다.



N(場所) に/へ 行きます/来ます



N(장소)에 갑니다/옵니다

せつぞく
接続

N(場所) に/へ 行きます/来ます

じょし はつおん おな
助詞の「へ」の発音は「え」と同じです。
조사「へ」의 발음은 「え」와 같습니다.

あんき
暗記

れいぶん
例文

まいにちがっこう い
(1) 毎日学校 に/へ 行きます。

매일 학교에 갑니다.

おととい たなか びょういん い
(2) 一昨日田中さんが病院 に/へ 行きました。

그저께 다나카씨가 병원에 갔습니다.

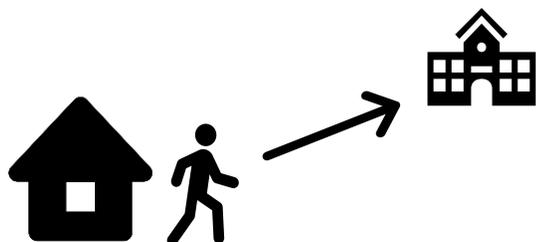
きのうともだち いえ き
(3) 昨日友達が家 に/へ 来ました。

어제 친구가 집에 왔습니다.

ポイント

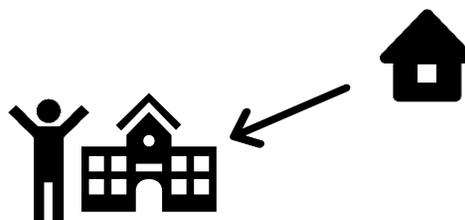
① 「に」と「へ」は方向や到着点を表す。

「に」と「へ」는 방향이나 도착점을 나타냅니다.



まいにちがっこう い
毎日学校に行きます

매일 학교에 갑니다



まいにちがっこう き
毎日学校に来ます

매일 학교에 옵니다

いま いち もくてきち む い いま いち ちか く く い
今いる位置から目的地に向かうことを「行く」、今いる位置に近づいて来ることを「来る」と言います。
지금 있는 위치에서 목적지로 향하는 것을 「行く」, 지금 있는 위치에 가까워지는 것을 「来る」라고 합니다.

② 助詞「に」には到着点以外にも、存在や時間など、意味が複数あります。

조사「に」에는 도착점 외에도 존재나 시간 등의 의미가 있습니다.

れい そんざい がっこう せんせい
例: 存在の「に」・・・学校に先生がいます。

존재の「に」・・・ 학교에 선생님이 있습니다.

じかん はちじ お
時間の「に」・・・ 8時に起きます。

시간의 「に」・・・ 8시에 일어납니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **N(場所)** に行きます。

えいがかん とうしょかん がっこう
映画館(영화관)/図書館(도서관)/学校(학교)/コンビニ(편의점)

れすとらん かいしや
レストラン(레스토랑)/カフェ(카페)/会社(회사)/カラオケ(노래방)

(2) **N(人)** が **N(場所)** に来ました。

はは にほん
母(엄마) 日本(일본)

ともだち わたし いえ
友達(친구) 私の家(우리 집)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 明日学校に行きますか。

내일 학교에 갑니까?

B: はい、行きます。/ いいえ、行きません。

네, 갑니다. / 아니오 가지 않습니다.

どこ…**場所**を聞く時に使います。

どこ…장소를 물을 때 사용합니다.

(2) A: 明日は休みです。どこに行きますか。

내일은 쉬는 날입니다. 어디에 갑니까(갈 예정입니까)?

B: 遊園地に行きます。

유원지에 갑니다(갈 예정입니다).

「行く」「来る」以外の動詞

「行く」「来る」이외의 동사

ほうこう とうちゃくてん あらわ
方向・到着点を表す「に/へ」と一緒に使える動詞は「行く」「来る」だけではありません。

방향·도착점을 나타내는 「に/へ」와 함께 사용할 수 있는 동사는 「行く」「来る」 뿐 만이 아닙니다.

かえ もど どうし つか
「帰る」「戻る」などの動詞も使うことができます。

かえ もど
「帰る」「戻る」 등의 동사도 사용할 수 있습니다.

れい くに かえ いえ もど
例: 国 に/へ 帰ります。(모국에 돌아갑니다.)、家 に/へ 戻ります。(집에 돌아갑니다.)

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 平仮名	ひらがな	히라가나
<input type="checkbox"/> 片仮名	かたかな	가타카나
<input type="checkbox"/> 漢字	かんじ	한자
<input type="checkbox"/> 食べ物	たべもの	음식
<input type="checkbox"/> 日本料理	にほんりょうり	일본요리
<input type="checkbox"/> お寿司	おすし	초밥
<input type="checkbox"/> 味噌汁	みそしる	된장국
<input type="checkbox"/> すき焼き	すきやき	스키야키
<input type="checkbox"/> ご飯	ごはん	밥
<input type="checkbox"/> パン		빵
<input type="checkbox"/> お菓子	おかし	과자
<input type="checkbox"/> ケーキ		케이크
<input type="checkbox"/> アイス		아이스크림
<input type="checkbox"/> クッキー		쿠키
<input type="checkbox"/> 飲み物	のみもの	마실 것
<input type="checkbox"/> 水	みず	물
<input type="checkbox"/> お湯	おゆ	끓인 물
<input type="checkbox"/> コーヒー		커피
<input type="checkbox"/> 紅茶	こうちゃ	홍차
<input type="checkbox"/> お茶	おちゃ	차
<input type="checkbox"/> 牛乳	ぎゅうにゅう	우유
<input type="checkbox"/> ジュース		주스
<input type="checkbox"/> お酒	おさけ	술
<input type="checkbox"/> ビール		맥주
<input type="checkbox"/> 動物	どうぶつ	동물

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> ペット		애완동물, 반려동물
<input type="checkbox"/> 犬	いぬ	개
<input type="checkbox"/> 猫	ねこ	고양이
<input type="checkbox"/> えさ		먹이/사료
<input type="checkbox"/> 音楽	おんがく	음악
<input type="checkbox"/> 歌	うた	노래
<input type="checkbox"/> 家	いえ	집
<input type="checkbox"/> 会社	かいしゃ	회사
<input type="checkbox"/> 学校	がっこう	학교
<input type="checkbox"/> 駅	えき	역
<input type="checkbox"/> ホテル		호텔
<input type="checkbox"/> コンビニ		편의점
<input type="checkbox"/> スーパー		슈퍼마켓
<input type="checkbox"/> デパート		백화점
<input type="checkbox"/> レストラン		레스토랑
<input type="checkbox"/> カフェ		카페
<input type="checkbox"/> 病院	びょういん	병원
<input type="checkbox"/> 図書館	としよかん	도서관
<input type="checkbox"/> 映画館	えいがかん	영화관
<input type="checkbox"/> 遊園地	ゆうえんち	유원지
<input type="checkbox"/> カラオケ		노래방
<input type="checkbox"/> 予約(する)	よやく	예약(하다)
<input type="checkbox"/> 毎日	まいにち	매일
<input type="checkbox"/> 毎月	まいつき	매월
<input type="checkbox"/> 毎年	まいとし	매년

けいようし
な形容詞 (na-A)

好き すき 좋아하다 (I)

嫌い きらい 싫어하다

けいようし
い形容詞 (i-A)

辛い からい 맵다 (II)

甘い あまい 달다

どうし
動詞 (V)

わかる 알아/이해하다/알아듣다

歌う うたう (노래)부르다

捨てる すてる 버리다

数える おしえる 가르치다

「何」の読み方

「何」의 읽는법

何は基本的には「なに」と読みますが、以下の場合には「なん」と読みます。

「何」는 기본적으로 「なに」라고 읽지만, 아래의 경우는 「なん」이라고 읽습니다.

① 数を聞くと き 数を問う とき

例: 何人(몇 명)、何個(몇 개)、何回(몇 회)

※読み方による意味の違いに気を付けましょう。

※읽는 법에 따라 의미가 달라지므로 주의합니다.

Q: 何人(なににん)ですか。(몇 명입니까?)

A: 3人です。(3 명입니다.)

Q: 何人(なにじん)ですか。(어디 사람입니까?)

A: 日本人です。(일본인입니다.)

Q: 何色(なんしよく)ですか。(몇 가지 색입니까?)

A: 3色です。(3 가지 색입니다.)

Q: 何色(なにいろ)ですか。(무슨 색입니까?)

A: 黄色です。(노란색입니다.)

種類やどんなものを聞く時は

「なに」と読みます。

종류나 어떤 것을 물을 때

「なに」라고 읽습니다.

② 後ろの音が「た行」、「だ行」、「な行」のとき

뒤에 오는 소리가 「た行」、「だ行」、「な行」일 때

例: 何ですか。(그것은 무엇입니까?) 何の話ですか。(무슨 이야기입니까?)



N(場所)に N(人)がいます/N(もの)があります



N(장소)에 N(사람/물건)이 있습니다

せつぞく
接続

N(場所)に N(人/動物)が います/N(場所)に N(もの)が あります

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) 教室に先生がいます。

교실에 선생님이 있습니다.

(2) 机の上に教科書があります。

책상 위에 교과서가 있습니다.

(3) 昨日公園に猫がいました。

어제 공원에 고양이가 있었습니다.

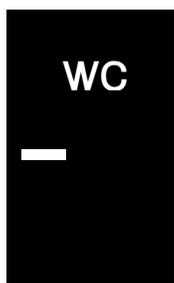
ポイント

① 助詞「に」は存在の意味です。

조사 「に」는 존재를 의미합니다.

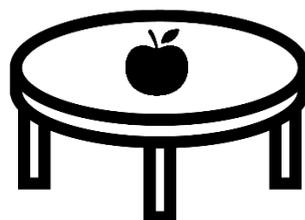
② 人や動物が存在する場合は「います」、ものが存在する場合は「あります」を使います。

사람이나 동물이 존재하는 경우는 「います」, 사물이 존재하는 경우는 「あります」를 사용합니다.



トイレに人がいます

화장실에 사람이 있습니다

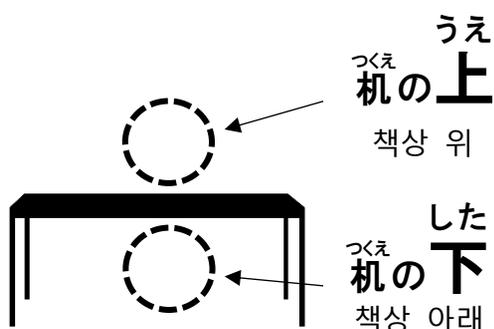


テーブルの上にりんごがあります

테이블 위에 사과가 있습니다

場所の言い方

장소를 말하는 표현

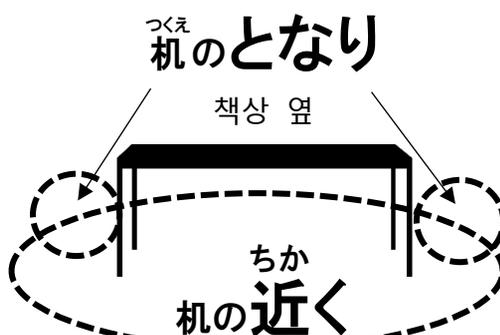


うえ
机の上

책상 위

した
机の下

책상 아래



机のとなり

책상 옆

ちか
机の近く

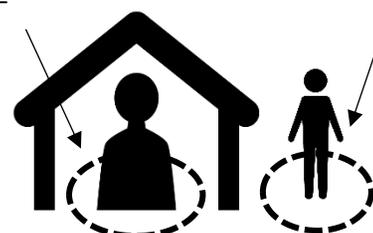
책상 근처

なか
家の中

집 안

そと
家の外

집 밖



れんしゅう
練習 1

(1) **場所** **に** **人/動物** **が**います。

ゆうびんきょく ともだち
郵便局(우체국) 友達(친구)

えき かのじょ
駅(역) 彼女(여자친구)

いえ まえ いぬ
家の前(집 앞) 犬(개)

(2) **場所** **に** **もの** **が**あります。

へや エアコン
部屋(방) 에어컨(에어컨)

あさくさ ゆうめい てら
浅草(아사쿠사) 有名なお寺(유명한 절)

れいぞうこ なか
冷蔵庫の中(냉장고 안) ケーキ(케이크)

れんしゅう
練習 2

(1) A: **教室** **に** **誰** **が**いますか。

교실에 누가 있습니까?

B: **先生** **が**います。/**先生** **と** **学生** **が**います。

선생님이 있습니다./선생님과 학생이 있습니다.

(2) A: **駅** **の** **近く** **に** **何** **が**ありますか。

역 근처에 무엇이 있습니까?

B: **パン屋** **が**あります。/**パン屋** **や** **本屋** **が**あります。

빵집이 있습니다./빵집과 서점이 있습니다.

へいれつじょし ちが
並列助詞「と」と「や」の違い

나열조사「と」와「や」의 차이

どちらも名詞と名詞を結び付ける助詞です。「や」は挙げたもの以外にも存在することを表します。

두 조사 모두 명사와 명사를 연결시키는 조사입니다. 「や」는 나열한 것 이외에도 존재하는 것을 나타냅니다.

ソファ**と**本棚**が**あります

소파와 책장이 있습니다.



ソファ**や**本棚**が**あります

소파나 책장 등이 있습니다.





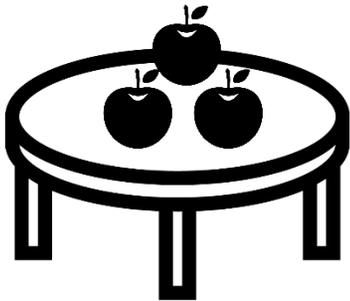
じょすうし 助数詞

조수사



日本語はものを数えるとき、「一個」「一冊」「一本」のように数えるものに合った助数詞をつけるルールがあります。

일본어는 사물의 수를 셀 때 「一個」「一冊」「一本」과 같이 그 사물에 맞는 조수사를 붙이는 규칙이 있습니다.



机の上 ^{つえ} ^{うえ} に りんご が **3個** ^{さんこ} あります。

책상 위에 사과가 3개 있습니다.

りんごを **3個** ^{さんこ} ^た 食べます。

사과를 3개 먹습니다.

~個/~つ  〈?〉 何個(なんこ)/いくつ

数える対象: ^{かぞ} ^{たいしょう} ^{ちい} ^{ぜんぱん} 小さいもの全般 세는 대상: 작은 것 대부분

一個/一つ
1개/한 개



二個/二つ
2개/두 개



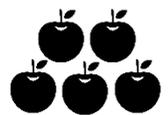
三個/三つ
3개/세 개



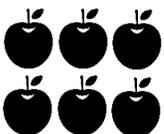
四個/四つ
4개/네 개



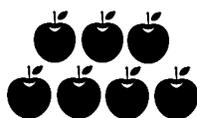
五個/五つ
5개/다섯 개



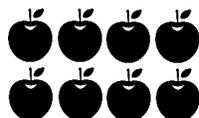
六個/六つ
6개/여섯 개



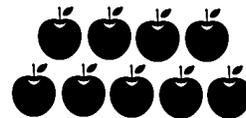
七個/七つ
7개/일곱 개



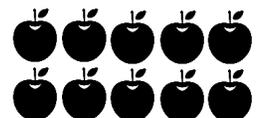
八個/八つ
8개/여덟 개



九個/九つ
9개/아홉 개



十個
10개/열 개



「~個」も「~つ」も同じように使うことができますが、「~つ」は1~9の場合にしか使えません。

「~個」に数の制限はありません。

「~個」와 「~つ」는 같이 쓸 수 있지만, 「~つ」는 1~9의 경우에만 사용할 수 있습니다.

「~個」에는 개수의 제한이 없습니다.

※「★」がついているところは特に読み方に注意しましょう。

※★이 붙어있는 곳은 특히 읽는 법에 주의합니다.

ひと
~人



〈?〉何人(なんにん)

かぞ たいしやう にん
数える対象:人

세는 대상:사람

ひとり	ふたり	さんにん	よにん	ごにん	ろくにん	ななにん	はちにん	きゆうにん	じゆうにん
★ 一人	★ 二人	三人	四人	五人	六人	七人	八人	九人	十人

まい
~枚



〈?〉何枚(なんまい)

かぞ たいしやう かみ さら ひら
数える対象:紙、皿などの平たいもの

세는 대상:종이, 그릇 등 평평한 것

いちまい	にまい	さんまい	よんまい	ごまい	ろくまい	ななまい	はちまい	きゆうまい	じゆうまい
一枚	二枚	三枚	四枚	五枚	六枚	七枚	八枚	九枚	十枚

だい
~台



〈?〉何台(なんだい)

かぞ たいしやう きかい の もの
数える対象:機械や乗り物

세는 대상:기계, 탈 것(자동차) 등

いちだい	にだい	さんだい	よんだい	ごだい	ろくだい	ななだい	はちだい	きゆうだい	じゆうだい
一台	二台	三台	四台	五台	六台	七台	八台	九台	十台

さつ
~冊



〈?〉何冊(なんさつ)

かぞ たいしやう ほん さつし
数える対象:本や冊子

세는 대상:책, 책자 등

いっさつ	にさつ	さんさつ	よんさつ	ごさつ	ろくさつ	ななさつ	はっさつ	きゆうさつ	じゅっさつ
★ 一冊	二冊	三冊	四冊	五冊	六冊	七冊	★ 八冊	九冊	★ 十冊

さい
~歳



〈?〉何歳(なんさい)/いくつ

かぞ たいしやう ねんれい
数える対象:年齢

세는 대상:연령

いっさい	にさい	さんさい	よんさい	ごさい	ろくさい	ななさい	はっさい	きゆうさい	じゅっさい
★ 一歳	二歳	三歳	四歳	五歳	六歳	七歳	★ 八歳	九歳	★ 十歳

※ 20歳は「にじゅっさい」と「はたち」2つの読み方があります。

20살은 「にじゅっさい」와 「はたち」 두 가지 방법으로 읽습니다.

かい
~階



〈?〉何階(なんかい)

かぞ たいしやう たてもの かい
数える対象: 建物の階

세는 대상: 건물의 층수

いっかい	にかい	さんかい	よんかい	ごかい	ろっかい	ななかい	はっかい	きゅうかい	じゅっかい
★ 一階	二階	三階	四階	五階	★ 六階	七階	★ 八階	九階	★ 十階

かい
~回



〈?〉何回(なんかい)

かぞ たいしやう かいすう
数える対象: 回数

세는 대상: 횟수

いっかい	にかい	さんかい	よんかい	ごかい	ろっかい	ななかい	はっかい	きゅうかい	じゅっかい
★ 一回	二回	三回	四回	五回	★ 六回	七回	★ 八回	九回	★ 十回

ほん
~本



〈?〉何本(なんぼん)

かぞ たいしやう かいすう
数える対象: ペン、傘などの棒状のもの

세는 대상: 펜, 우산 등 봉 모양의 사물

いっぼん	にほん	さんぼん	よんぼん	ごぼん	ろっぼん	ななぼん	はっぼん	きゅうぼん	じゅっぼん
★ 一本	二本	★ 三本	四本	五本	★ 六本	七本	★ 八本	九本	★ 十本

ひき
~匹



〈?〉何匹(なんびき)

かぞ たいしやう ちやうるい い がい ちい どうぶつ
数える対象: 鳥類以外の小さい動物

세는 대상: 조류 이외의 작은 동물

いっぴき	にひき	さんびき	よんひき	ごひき	ろっぴき	ななひき	はっぴき	きゅうひき	じゅっぴき
★ 一匹	二匹	★ 三匹	四匹	五匹	★ 六匹	七匹	★ 八匹	九匹	★ 十匹

れんしやう
練習 I

(1) A: 教室に先生が何人いますか。

교실에 선생님이 몇 명 있습니까?

B: 1人います。

한 명 있습니다.

(2) A: Bさんの部屋は何階にありますか。

B 씨의 방은 몇 층에 있습니까?

B: 5階です。

5층입니다.

みせ
店などでほしいものと言うときは、「**N**をください。」と言います。

ほしいものの数量も言うときは「**N**を**かず** **じょうすうし**ください。」と言います。

가게 등에서 원하는 것을 말할 때는 「**N**をください。」라고 합니다.

원하는 것의 수량도 말할 때는 「**N**을**かず** **じょうすうし**ください。」라고 합니다.

ポテトをください。
포테이토 주세요.

ハンバーガーを**ふた**つください。
햄버거 2개 주세요.



れんしゅう 練習 2

A: すみません。**ふくろ** **にまい** **にまい** ください。

저기요, 봉지 2장 주세요.

B: はい。わかりました。

네. 알겠습니다.

じょうすうし よ かた 助数詞の読み方のルール

조수사 읽는 법

じょうすうし だくおんか はんたくおんか ぎょう はじ ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう とくべつ
助数詞が濁音化・半濁音化できる行で始まるもの(か行・さ行・た行・は行)は、特別なルールがあります。

조수사가 탁음화·반탁음화 가능한 행으로 시작하는 것(카행·사행·타행·하행)은 특별한 규칙이 있습니다.

れい
例: ~回(かい)、~歳(さい)、~冊(さつ)、~杯(はい)、~本(ほん)、~匹(ひき)

① 「1・6・8・10」のとき、**すうじ** **そくおんか** 数字が促音化します。

「1・6・8・10」의 경우 숫자를 축음화 합니다.

れい
例: いち→いつ ろく→ろっ はち→はっ じゅう→じゅっ

② 「は行」の場合は、「1・6・8・10」のとき**はんたくおんか** 半濁音化し、「3」のとき、**だくおんか** 濁音化します。

「は行」의 경우는 「1·6·8·10」을 읽을 때 반탁음화 하고, 「3」을 읽을 때 탁음화 합니다.

れい
例: 一本(いっ**ぽん**)、三本(さん**ぽん**)、六本(ろっ**ぽん**)、八本(はっ**ぽん**)、十本(じゅっ**ぽん**)

※これらのルールには**れいがい** **おお** 例外も多いです。 이러한 규칙에는 예외도 많습니다.



ばしょ N(場所)で V ます



N (장소) 에서 V 합니다

せつぞく
接続

ばしょ
N(場所)で V ます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) まいにちがっこう べんきょう
毎日学校で勉強します。

매일 학교에서 공부를 합니다.

(2) カラオケ うた うた
カラオケで歌を歌います。

노래방에서 노래를 부릅니다.

(3) いえ えいが み
家で映画を見ます。

집에서 영화를 봅니다.

ポイント

① じょし どうさ ばしょ あらわ
助詞「で」は動作の場所を表します。

조사「で」는 동작의 장소를 나타냅니다.



いえ しごと
家で仕事します

집에서 일을 합니다



しょくじ
レストランで食事します

레스토랑에서 식사를 합니다

② 「ばしょ 場所」で「V」は、どうさ こうどう あらわ どうし つか
動作、行動を表す動詞を使いますが、

「ばしょ 場所」に/へ「V」は、い く かえ いどう あらわ どうし つか
「行く」「来る」「帰る」などの移動を表す動詞を使います。

「ばしょ 場所」で「V」는 동작, 행동을 나타내는 동사를 사용하지만,

「ばしょ 場所」に/へ「V」는 「行く」「来る」「帰る」 등의 이동을 나타내는 동사를 사용합니다.

れんしゅう
練習 1

ぼしよ
N(場所) で V。

がっこう にほんご べんきょう
学校(학교) 日本語を勉強する(일본어를 공부하다)

すーぱー やさい か
スーパー(슈퍼마켓) 野菜を買う(야채를 사다)

かふぇ の
カフェ(카페) コーヒーを飲む(커피를 마시다)

いえ ともだち えいが み
家(집) 友達と映画を見る(친구와 영화를 보다)

と...どうき いっしょ あいて あらわ
と...動作と一緒にする相手を表します。
と...동작을 함께하는 상대를 나타냅니다.

れんしゅう
練習 2

(1) A: 明日、何をしますか。
내일 무엇을 합니까(할 예정입니까)?

B: 家で勉強します。
집에서 공부를 합니다(할 예정입니다).

(2) A: 昨日どこに行きましたか。
어제 어디에 갔습니까?

B: 公園に行きました。
공원에 갔습니다.

A: 公園で何をしましたか。
공원에서 무엇을 했습니까?

B: 友達とテニスをしました。
친구와 테니스를 했습니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 家具	かぐ	가구
<input type="checkbox"/> テーブル		테이블
<input type="checkbox"/> 机	つくえ	책상
<input type="checkbox"/> 椅子	いす	의자
<input type="checkbox"/> ベッド		침대
<input type="checkbox"/> エアコン		에어컨
<input type="checkbox"/> 棚	たな	책장
<input type="checkbox"/> ソファ		소파
<input type="checkbox"/> 家電	かでん	가전
<input type="checkbox"/> テレビ		TV
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫	れいぞうこ	냉장고
<input type="checkbox"/> 洗濯機	せんたくき	세탁기
<input type="checkbox"/> 掃除機	そうじき	청소기
<input type="checkbox"/> 電子レンジ	でんしレンジ	전자렌지
<input type="checkbox"/> 上	うえ	위
<input type="checkbox"/> 下	した	아래
<input type="checkbox"/> 左	ひだり	좌
<input type="checkbox"/> 右	みぎ	우
<input type="checkbox"/> 前	まえ	앞
<input type="checkbox"/> 後ろ	うしろ	뒤
<input type="checkbox"/> 中	なか	안
<input type="checkbox"/> 外	そと	밖
<input type="checkbox"/> 隣	となり	옆
<input type="checkbox"/> 近く	ちかく	근처

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 教室	きょうしつ	교실
<input type="checkbox"/> 会議室	かいぎしつ	회의실
<input type="checkbox"/> 事務所	じむしょ	사무소
<input type="checkbox"/> 受付	うけつけ	접수
<input type="checkbox"/> 郵便局	ゆうびんきょく	우체국
<input type="checkbox"/> 銀行	ぎんこう	은행
<input type="checkbox"/> ~屋	~や	가게
<input type="checkbox"/> 公園	こうえん	공원
<input type="checkbox"/> 駐車場	ちゅうしゃじょう	주차장
<input type="checkbox"/> お寺	おてら	절
<input type="checkbox"/> 神社	じんじゃ	신사
<input type="checkbox"/> 部屋	へや	방
<input type="checkbox"/> トイレ*		화장실
<input type="checkbox"/> お手洗い*	おてあらい	화장실

※トイレが最も一般的な言い方です。お手洗いの方が丁寧で、トイレに行くとはっきり言いたくない状況でも使われます。
※「トイレ」が 가장 일반적인 표현입니다. 「お手洗い」는 정중한 표현으로, 화장실에 간다고 명확하게 말하고 싶지 않은 상황에도 사용할 수 있습니다.

どうし
動詞 (V)

(I)		
<input type="checkbox"/> ある		있다
<input type="checkbox"/> 買う	かう	사다
<input type="checkbox"/> 売る	うる	팔다
(II)		
<input type="checkbox"/> いる		있다

「いる」「ある」の他の使い方

「いる」「ある」의 다른 사용법

① 使う状況によって語順と助詞が変化します。

사용하는 상황에 따라 어순과 조사가 변합니다.

- ・ **場所** **に** **人/もの** **が** いる/ある → **ある** **場所** **に** **人/もの** **が** **存在**していることを示します。
어떤 장소에 사람이나 사물이 존재하고 있는 것을 나타냅니다.
- ・ **人/もの** **は** **場所** **に** いる/ある → **ある** **人/もの** **の** **場所** **を** 示します。
어떤 사람이나 사물의 장소를 나타냅니다.

場所を聞くと、**場所**を答えるときは以下の言い方が自然です。

장소를 묻거나 대답할 때는 아래와 같은 표현이 자연스럽습니다.

例: Q: 先生はどこにいますか。 ——— A: 先生は会議室にいます。

Q: 선생님은 어디에 있습니까?

A: 선생님은 회의실에 있습니다.

② **場所** **に** **N** **が** いる/ある の言い方のとき、人・動物・ものがある場所に存在していることを

あらわ 表しますが、物や能力、かんがえ、きもち、かんかく、しよゆうなどを所有しているという意味でも

「いる」「ある」を使うことができます。

場所 **に** **N** **が** いる/ある 라는 표현은 사람・동물・사물이 어떤 장소에 존재하고 있다는 것을 나타내지만, 사물이나 능력, 생각, 기분, 감각 등을 소유하고 있다는 의미로도 「いる」「ある」를 사용할 수 있습니다.

例: 兄弟が2人います。

형제가 2명 있습니다.

日本人の友達がいます。

일본인 친구가 있습니다.

お金があります。

돈이 있습니다.

お願いがあります。

부탁이 있습니다.

少し熱があります。

열이 조금 있습니다.



じかん 時間

시간



じかん 時間

시간

※「★」がついているところは特に読み方に注意しましょう。
「★」이 붙어있는 곳은 특히 읽는 법에 주의합니다.

〈?〉何時(なんじ) 몇 시

いちじ	にじ	さんじ	よじ	ごじ	ろくじ	しちじ	はちじ	くじ	じゅうじ	じゅういちじ	じゅうにじ
1時	2時	3時	★4時	5時	6時	7時	8時	★9時	10時	11時	12時

〈?〉何分(なんぷん) 몇 분

いっぷん	にふん	さんぷん	よんぷん	ごふん	ろっぷん	ななふん	はっぷん	きゅうふん	じゅうぷん
★1分	2分	★3分	★4分	5分	★6分	7分	★8分	9分	★10分

〈?〉何秒(なんびょう) 몇 초

いちびょう	にびょう	さんびょう	よんびょう	ごびょう	ろくびょう	ななびょう	はちびょう	きゅうびょう	じゅうびょう
1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒	8秒	9秒	10秒



あさ
朝
아침

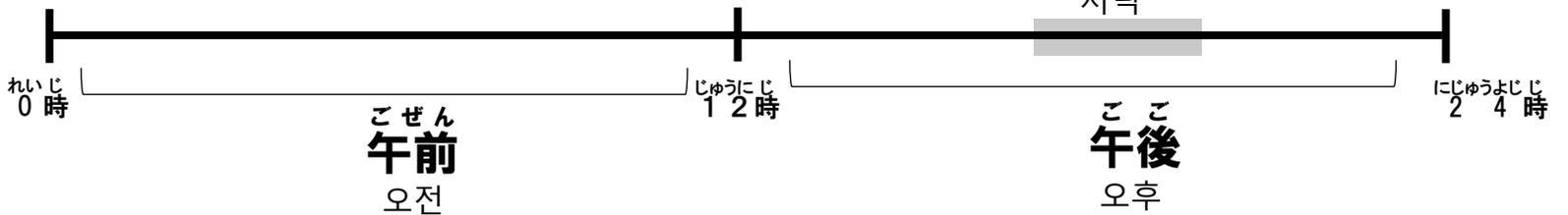


ひる
昼
점심

ゆうがた
夕方
저녁



よる
夜
밤



きかん 期間

기간

「～年間」、「～か月間」、「～週間」のように、「間」をうしろにつけることで、期間を表すことができます。

「～年間」、「～か月間」、「～週間」과 같이 「間」을 뒤에 붙임으로써 기간을 나타낼 수 있습니다.

〈?〉何年間(なんねんかん) 몇 년간

いちねんかん	にねんかん	さんねんかん	よねんかん	ごねんかん	ろくねんかん	ななねんかん	はちねんかん	きゅうねんかん	じゅうねんかん
1年間	2年間	3年間	4年間	5年間	6年間	7年間	8年間	9年間	10年間

〈?〉何か月間(なんかげつ) 몇 개월간

いっかげつかん	にかげつかん	さんかげつかん	よんかげつかん	ごかげつかん	ろっかげつかん	ななかげつかん	はっかげつかん	きゅうかげつかん	じゅうかげつかん
★1か月間	2か月間	3か月間	4か月間	5か月間	★6か月間	7か月間	★8か月間	9か月間	★10か月間

〈?〉何週間(なんしゅうかん) 몇 주간

いっしゅうかん	にしゅうかん	さんしゅうかん	よんしゅうかん	ごしゅうかん	ろくしゅうかん	ななしゅうかん	はっしゅうかん	きゅうしゅうかん	じゅうしゅうかん
★1週間	2週間	3週間	4週間	5週間	6週間	7週間	★8週間	9週間	★10週間

〈?〉何日間(なんにちかん) 며칠간

いちにち	ふつかかん	みっかかん	よっかかん	いつかかん	むいかかん	なのかかん	ようかかん	このかかん	とおかかん
★1日(間)	★2日間	★3日間	★4日間	★5日間	★6日間	★7日間	★8日間	★9日間	★10日間

「1日間(いちにちかん)」ではなく「1日(いちにち)」と言います。

「1日間(いちにちかん)」이 아니라 「1日(いちにち)」라고 말합니다.

〈?〉何時間(なんじかん) 몇 시간

いちじかん	にじかん	さんじかん	よじかん	ごじかん	ろくじかん	ななじかん	はちじかん	くじかん	じゅうじかん
1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	★9時間	10時間

〈?〉何分間(なんぷんかん) 몇 분간

いっぷんかん	にぷんかん	さんぷんかん	よんぷんかん	ごぷんかん	ろっぷんかん	ななぷんかん	はっぷんかん	きゅうぷんかん	じゅうぷんかん
★1分間	2分間	★3分間	★4分間	5分間	★6分間	7分間	★8分間	9分間	★10分間

〈?〉何秒間(なんびょうかん) 몇 초간

いちびょうかん	にびょうかん	さんびょうかん	よんびょうかん	ごびょうかん	ろくびょうかん	ななびょうかん	はちびょうかん	きゅうびょうかん	じゅうびょうかん
1秒間	2秒間	3秒間	4秒間	5秒間	6秒間	7秒間	8秒間	9秒間	10秒間

※ 期間を言うとき、「～年間」「～か月間」「～日間」「～分間」「～秒間」の「間」は省略することができます。

기간을 말할 때 「～年間」「～か月間」「～日間」「～分間」「～秒間」의 「間」은 생략할 수 있습니다.

例: 1年勉強しました。(1년 공부했습니다.) 3か月休みます。(3개월 쉽니다.)

曜日 요일

〈?〉何曜日(なんようび)

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
월요일	화요일	수요일	목요일	금요일	토요일	일요일

練習

(1) A: 今何時何分ですか。

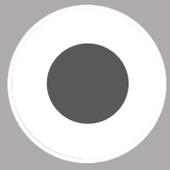
지금 몇 시 몇 분 입니까?

B: 3時半です。

3시 반입니다.

※ 「30分」と言うとき、「半(はん)」と言ってもいいです。 ※ 「30分」이라고 할 때 「半(はん)」이라고 말해도 됩니다.

例: 9:30 → 9時30分(くじさんじゅうぷん)/9時半(くじはん)



N(時間)に V ます

N(시간)에 V 합니다



せつぞく
接続

N(時間)に V ます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) 毎日10時に寝ます。

매일 10 시에 잡니다.

(2) 15日に国へ帰ります。

15 일에 귀국합니다.

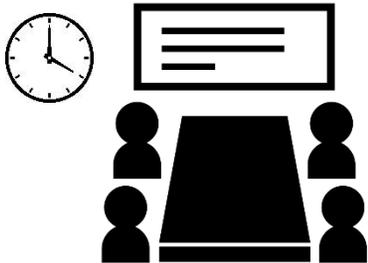
(3) 去年の8月に旅行しました。

작년 8 월에 여행했습니다.

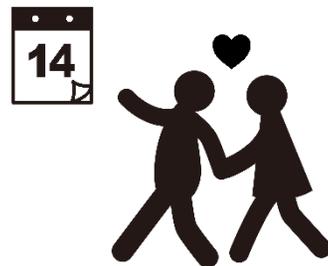
ポイント

① 助詞「に」は時間を表します。～年、～月、～日、～時、～分などの後ろにつけます。

조사 「に」는 시간을 나타냅니다. ~년, ~월, ~일, ~시, ~분 등의 뒤에 붙입니다.



よじ かいぎ
4時に会議します
4 시에 회의합니다



じゅうよっか
14日にデートします
14 일에 데이트합니다

② 今の時間を基準とした「今日」「明日」「今週」「再来週」などの時間を表す名詞は、「に」はつきません。

지금 시간을 기준으로 「오늘」「내일」「이번 주」「다다음 주」 등의 시간을 나타내는 명사는 「に」를 붙이지 않습니다.

例: × 今週に旅行します。 → ○ 今週旅行します。 (이번주에 여행합니다.)

× 昨日にスーパーに行きました。 → ○ 昨日スーパーに行きました。 (어제 슈퍼에 갔습니다.)

れんしゅう
練習 1

N(時間) に V。

はちじ お
8時(8 시) 起きる(일어나다)

いちじ ひる た
1時(1 시) 昼ごはんを食べる(점심을 먹다)

さんがつ い
3月(3 월) アメリカへ行く(미국에 가다)

じゅうにがつ くに かえ
12月(12 월) 国に帰る(귀국하다)

れんしゅう
練習 2

(1) A : 毎日何時に寝ますか。

매일 몇 시에 잡니까?

B : 11時に寝ます。

11시에 잡니다.

いつ…時間じかんを聞く時ときにつか使つかいます。

いつ…시간을 물을 때 사용합니다.

(2) A : いつ日本にほんに来きましたか。

언제 일본에 왔습니까?

B : 去年きょねんの12月じゅうにがつごろに来きました。

작년 12월경(에) 왔습니다.

「ごろ」のつか使かたい方

「ごろ」의 사용법

「ごろ」は時間じかんの後ろうしにつけて大体だいたいの時間じかんを表あらわします。このとき、助詞じょしの「に」は省略しょうりやくできます。

「ごろ」는 시간의 뒤에 붙여 대략적인 시간을 나타냅니다. 이 때 조사 「に」는 생략할 수 있습니다.

相手あいてに質問しつもんする時ときは「いつごろ」、「何なん～ごろ」の形かたちになります。

상대방에게 질문할 때는 「いつごろ」、「何なん～ごろ」의 형태가 됩니다.

例れい: いつごろ家いえに帰かえりますか。 (언제쯤 집에 돌아갑니까?)

何なんじ時ねごろ寝ねますか。(몇 시쯤 잡니까?)



~くらい/~ぐらい

~정도



せつぞく
接続

N くらい/ぐらい

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) きのうはちじかん ^き ^の ^う ^は ^ち ^じ ^か ^ん ^ね ^ら ^い / ^ぐ ^ら ^い ^ね ^ま ^し ^た [。]

어제 8 시간 정도 잤습니다.

(2) ^{まい} ^{つき} ^{ほん} ^{じゅ} ^っ ^{さつ} ^よ ^ら ^い / ^ぐ ^ら ^い ^よ ^み ^ま ^す [。]

매월 책을 10 권 정도 읽습니다.

(3) ^{いち} ^{ねん} ^に ^{ほん} ^ご ^{べん} ^{きょう} ^ら ^い / ^ぐ ^ら ^い ^に ^{ほん} ^ご ^{べん} ^{きょう} ^し ^ま ^し ^た [。]

1 년 정도 일본어를 공부했습니다.

ポイント

① 「くらい/ぐらい」はその大体の数量や期間を表します。

※「くらい」と「ぐらい」はどちらでも構いませんが、本テキストでは今後「ぐらい」を利用します。

「くらい/ぐらい」는 대략적인 수량이나 기간을 나타냅니다.

※「くらい」と「ぐらい」 둘 다 사용할 수 있지만, 본 교재에서는 「ぐらい」를 사용할 예정입니다.

② 「何+助数詞」の形で数量や期間を尋ねることができますが、「どのぐらい」を使うこともできます。

「何+조수사」의 형태로 수량이나 기간을 묻는 것이 가능하지만, 「どのぐらい」를 사용하는 것도 가능합니다.

例: ^{なん} ^じ ^{かん} ^{べん} ^{きょう} ^か [。] → ^ど ^の ^ぐ ^ら ^い ^{べん} ^{きょう} ^か [。]

몇 시간 공부했습니까? 얼마나 공부했습니까?

^{なん} ^{げつ} ^に ^{ほん} ^に ^い ^ま ^す ^か [。] → ^ど ^の ^ぐ ^ら ^い ^に ^{ほん} ^に ^い ^ま ^す ^か [。]

몇 개월 일본에 있습니까? 얼마나 일본에 있습니까?

※「どのぐらい」「どのくらい」「どれぐらい」「どれくらい」意味は全て同じです。

「どのぐらい」「どのくらい」「どれぐらい」「どれくらい」의 의미는 모두 동일합니다.

れんしゅう
練習 1

N(数量・期間) ぐらい V 。

ひやくにん くる
100人(100 名)来る(오다)

じゅっさつ ほん よ
10冊(10 권)本を読む(책을 읽다)

さんじかん べんきょう
3時間(3 시간)勉強する(공부하다)

いっしゅうかん りょこう
1週間(1 週間)旅行する(여행하다)

れんしゅう
練習 2

A : 毎日どのぐらい寝ますか。

매일 얼마나 잡니까?

B : 7時間ぐらい寝ます。

7시간 정도 잡니다.

「ごろ」と「ぐらい」の違い

「ごろ」와 「ぐらい」의 차이

だいたい じこく あらわ だいたい すうりょう きかん あらわ つか
大体の時刻を表すときは「ごろ」、大体の数量や期間を表すときは「ぐらい」を使います。

대략적인 시각을 나타낼 때는 「ごろ」, 대략적인 수량이나 기간을 나타낼 때는 「ぐらい」를 사용합니다.

じゅうじ さんじゅつぶん ね
10時30分ごろ寝ます。

じゅうじ さんじゅつぶん ちか じこく ね
=10時30分に近い時刻に寝る

10시 30분에 가까운 시각에 잔다



さんじゅつぶん ね
30分ぐらい寝ます。

ね じかん だいたいさんじゅつぶんかん
=寝る時間が大体30分間

자는 시간이 대략 30분 정도

しかし、大体の時刻を表すときも「ぐらい」を使う人が増えています。その場合は助詞「に」が必要です。

그러나 대략적인 시각을 나타낼 때도 「ぐらい」를 쓰는 사람이 늘고 있습니다. 이 경우 조사 「に」가 필요합니다.

例: 12時ごろ行きます。 12時ぐらいに行きます。 (12시경/정도에 갑니다.)

どちらも大体の時刻を表しています。 모두 대략적인 시각을 나타내고 있습니다.



じかん ばしょ N(時間・場所) から N(時間・場所) まで



N(시간・장소)부터/에서 N(시간・장소)까지

せつぞく
接続

じかん じかん ばしょ ばしょ
N(時間)から N(時間)まで/N(場所)から N(場所)まで

あんき
暗記

れいぶん
例文

くじ じゅうにじ がっこう べんきょう
(1) 9時から12時まで学校で勉強します。

9시부터 12시까지 학교에서 공부합니다.

げつようび きんようび しごと
(2) 月曜日から金曜日まで仕事です。

월요일부터 금요일까지 일합니다.

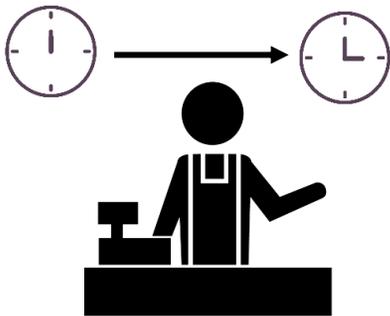
いえ かいしゃ いちじかん
(3) 家から会社まで1時間ぐらいです。

집에서 회사까지 1시간 정도 걸립니다.

ポイント

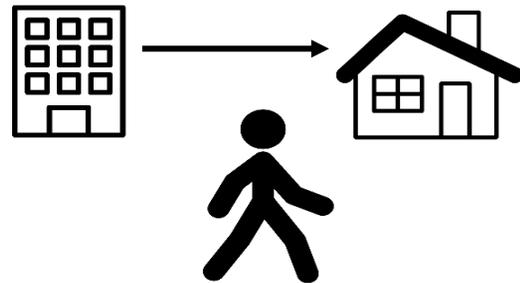
①「から」「まで」はじかん ばしょ きてん しゅうりょうてん あらわ
時間と場所の起点と終了点を表します。

「から」「まで」는 시간과 장소의 기점과 종료점을 나타냅니다



じゅうにじ さんじ
12時から3時までバイトします。

12시부터 3시까지 아르바이트를 합니다.



かいしゃ いえ ある
会社から家まで歩きます。

회사에서 집까지 걸어갑니다.

②「から」と「まで」はいっしょ つか おお たんどく つか
一緒に使うことも多いですが、それぞれ単独で使うこともできます。

「から」と「まで」는 함께 사용하는 경우가 많지만, 각각 단독으로 사용할 수도 있습니다.

A: なんじ しごと
何時から仕事ですか。 B: じゅうにじ しごと
12時から仕事です。

몇 시까지 일합니까? 12시까지 일합니다.

A: どこまでいきますか。 B: いけぶくろ い
どこまで行きますか。 B: 池袋まで行きます。

어디까지 갑니까? 이케부쿠로까지 갑니다.

れんしゅう
練習 1

N(時間・場所) から N(時間・場所) まで _____

ろくじ じゅうじ いそが
6時(6시) 10時(10시) 忙しい(바쁘다)

こんしゅう さらいしゅう やす
今週(이번 주) 再来週(다다음 주) 休み(휴일)

じゅうがつ じゅうにがつ にほん
10月(10월) 12月(12월) 日本にいる(일본에 있다)

えき ごふん
駅(역) コンビニ(편의점) 5分(5분)

にほん かんこく にじかん
日本(일본) 韓国(한국) 2時間ぐらい(2시간 정도)

れんしゅう
練習 2

(1) A : 何時から何時まで働きますか。

몇 시부터 몇 시까지 일합니까?

B : 9時から6時まで働きます。

9 시부터 6 시까지 일합니다.

(2) A : 家から学校まで何分ぐらいですか。

집에서 학교까지 몇 분 정도 걸립니까?

B : 40分ぐらいです。

40 분 정도 걸립니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 時間	じかん	시간
<input type="checkbox"/> 再来週	さらいしゅう	다다음 주
<input type="checkbox"/> 来週	らいしゅう	다음 주
<input type="checkbox"/> 今週	こんしゅう	이번 주
<input type="checkbox"/> 先週	せんしゅう	지난 주
<input type="checkbox"/> 先々週	せんせんしゅう	지지난 주
<input type="checkbox"/> 再来月	さらいげつ	다다음 달
<input type="checkbox"/> 来月	らいげつ	다음 달
<input type="checkbox"/> 今月	こんげつ	이번 달
<input type="checkbox"/> 先月	せんげつ	지난 달
<input type="checkbox"/> 先々月	せんせんげつ	지지난 달
<input type="checkbox"/> 再来年	さらいねん	내후년
<input type="checkbox"/> 来年	らいねん	내년
<input type="checkbox"/> 今年	ことし	올해
<input type="checkbox"/> 去年	きょねん	작년
<input type="checkbox"/> 一昨年	おととし	재작년
<input type="checkbox"/> 月曜日	げつようび	월요일
<input type="checkbox"/> 火曜日	かようび	화요일
<input type="checkbox"/> 水曜日	すいようび	수요일
<input type="checkbox"/> 木曜日	もくようび	목요일
<input type="checkbox"/> 金曜日	きんようび	금요일
<input type="checkbox"/> 土曜日	どようび	토요일
<input type="checkbox"/> 日曜日	にちようび	일요일
<input type="checkbox"/> 朝	あさ	아침

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 昼	ひる	낮/점심
<input type="checkbox"/> 夕方	ゆうがた	저녁
<input type="checkbox"/> 夜	よる	밤
<input type="checkbox"/> 午前	ごぜん	오전
<input type="checkbox"/> 午後	ごご	오후
<input type="checkbox"/> 平日	へいじつ	평일
<input type="checkbox"/> 土日	どにち	토일
<input type="checkbox"/> 週末	しゅうまつ	주말
<input type="checkbox"/> 月末	げつまつ	월말
<input type="checkbox"/> 年末	ねんまつ	연말

<input type="checkbox"/> アルバイト(する)		아르바이트(하다)
<input type="checkbox"/> 旅行(する)	りょこう	여행(하다)
<input type="checkbox"/> 残業(する)	ざんぎょう	잔업(하다)
<input type="checkbox"/> 出張(する)	しゅつちょう	출장(하다)

どうし
動詞 (V)

(I)		
<input type="checkbox"/> 働く	はたらく	일하다
<input type="checkbox"/> 休む	やすむ	쉬다
<input type="checkbox"/> 帰る	かえる	돌아가다
<input type="checkbox"/> 戻る	もどる	돌아가다
(II)		
<input type="checkbox"/> 起きる	おきる	일어나다
<input type="checkbox"/> 寝る	ねる	자다

종조사

しゅうじょし ぶんまつ じょし で きごと たい はな て きも たいど あらわ
終助詞は文末につく助詞で、出来事に対する話し手の気持ちや態度を表します。

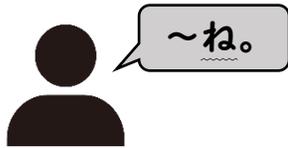
종조사는 문장 끝에 붙는 조사로 사건에 대한 화자의 기분, 태도를 나타냅니다.

い か みつ とく かいわ つか しゅうじょし しょきゅう だんかい ただ つか むずか
以下の3つは特によく会話で使われる終助詞ですが、初級の段階では正しく使うことはとても難しいです。

まわ にほんじん つか いしき すこ な
周りの日本人がどのように使っているかを意識して、少しずつ慣れていきましょう。

아래 세 가지는 특히 회화에서 자주 사용되는 종조사이지만 초급 단계에서 정확하게 사용하기 매우 어렵습니다.

주변에 있는 일본인들이 어떻게 사용하고 있는지 의식하며 조금씩 익숙해져 갑시다.



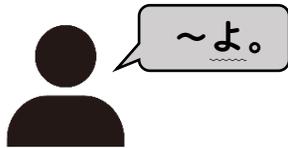
①

し おも かくにん どうい きょうかん もと つか
知っていると思われることについて、確認したり、同意、共感を求めるときに使います。

알고 있다고 생각되는 것에 대해서 확인하거나 공감, 동의를 구할 때 사용합니다.

きょう さむ A:今日は寒いですね。 B:そうですね。

오늘은 춥네요. 그렇네요.



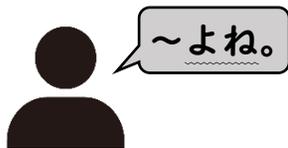
②

し ちゅうい む つか
知らないことに注意を向けさせるときに使います。

모르는 일에 대해 관심을 끌 때 사용합니다.

きのう ゆうえんち い B:えっ、私も行きましたよ。

어제 유원지에 갔습니다. 앗, 저도 갔어요.



③

おな つか かくにん つか ば あい ふたし じしん いんしょう
「ね」と同じように使います。確認するときに使う場合は、「ね」より不確かで自信がない印象になります。

「ね」와 동일하게 사용합니다. 확인할 때 사용하는 경우는 「ね」보다 불확실하거나 자신이 없는 인상을 줍니다.

きょう たなか たんじょうび B:そうですね。 B:そうですよ。

오늘은 다나카씨의 생일이지요. 맞아요.

※ 「今日は田中さんの誕生日ですね。」よりも、誕生日かどうか確信を持っていません。

「今日は田中さんの誕生日ですね。」보다 생일인지 아닌지 확신을 가지고 있지 않습니다.



NをVます (移動・通過)



N을 V합니다 (이동·통과)

せつぞく
接続

ばしょ いどう つうか
N(場所)を V(移動・通過)ます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) この道^{みち}を歩^{ある}きます。

이 길을 걷습니다.

(2) 12月^{がつ}に大阪^{おおさか}を旅行^{りょこう}します。

12월에 오사카를 여행합니다.

(3) 友達^{ともだち}と公園^{こうえん}を散歩^{さんぽ}します。

친구와 공원을 산책합니다.

ポイント

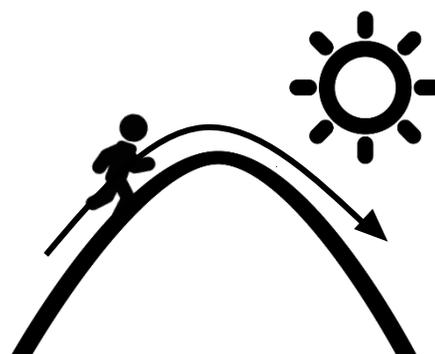
① 助詞「を」は移動・通過する場所^{ばしょ}を表^{あらわ}します。

조사 「을」은 이동·통과하는 장소를 나타냅니다.



はし わた
橋を渡ります

다리를 건넵니다



やま のぼ
山を登ります

산을 오릅니다

② よく一緒^{いっしょ}に使^{つか}われる動詞^{どうし}は、「散歩^{さんぽ}する」「旅行^{りょこう}する」「渡^{わた}る」「登^{のぼ}る」「進^{すす}む」「歩^{ある}く」「飛^とぶ」など、その場所^{ばしょ}にとどまらずに移動^{いどう}するイメージの動詞^{どうし}です。

자주 함께 사용되는 동사는 「산책하다」「여행하다」「건너다」「오르다」「나아가다」「걷다」「날다」 등으로, 그 장소에 머물지 않고 이동하는 이미지의 동사입니다.

※ 「行く」「来る」も移動^{いどう}している動詞^{どうし}ですが、「行く」「来る」には必ず到着^{かなら}点^{とうちやくてん}や目的^{もくてきち}地^ちがあります。

この文法^{ぶんぽう}で使^{つか}われる移動^{いどう}動詞^{どうし}とは種類^{しゅるい}が違^{ちが}うので、「N(場所)を行^いく/来^くる」とは言^いえません。

「行く」「来る」도 이동하는 동사이지만 「行く」「来る」에는 반드시 도착^{도착}점^점이나 목적^{목적}지^지가 있습니다.

이 문법에서 사용되는 이동^{이동}동사^{동사}와는 종류^{종류}가 다르기 때문에 「N(場所)を行^いく/来^くる」라고 말^말할 수 없^없습니다.

ぼしよ
N(場所) を V。

きょうと りょこう
京都(교토)旅行する(여행하다)

いえ ちか さんぽ
家の近く(집 근처)散歩する(산책하다)

ふじさん のぼ
富士山(후지산)登る(오르다)

みち はし
道(길)走る(달리다)

そら と
空(하늘)飛ぶ(날다)

ほか じよし お か かのう ばあい
他の助詞に置き換え可能な場合

다른 조사로 대체 가능한 경우

いどう つうか あらわ
移動・通過を表す「を」は他の助詞に置き換えられる場合もあります。

이동·통과를 나타내는 「を」는 다른 조사로 대체가 가능한 경우도 있습니다.

①



こうえん さんぽ
公園を散歩します

こうえん さんぽ
公園で散歩します

공원을 산책합니다

공원에서 산책합니다

こうえん さんぽ
公園を散歩します

→ さんぽ いどうはんい いちぶ こうえん ふく
散歩の移動範囲の一部に公園が含まれています。

공원을 산책합니다

산책의 이동범위 일부에 공원이 포함되어 있습니다.

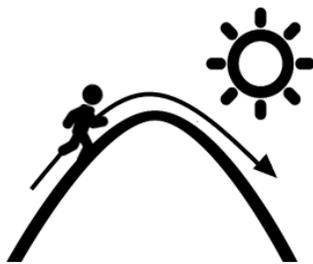
こうえん さんぽ
公園で散歩します

→ さんぽ どうさ こうえんない げんてい
「散歩する」という動作が公園内に限定されています。

공원에서 산책합니다

「산책하다」라는 동작이 공원 내로 한정되어 있습니다.

②



やま のぼ
山を登ります

やま のぼ
山に登ります

(산을 오릅니다)

산에 오릅니다)

やま のぼ
山を登ります

→ さいしゅうもくてきち べつ ぼしよ とき つか やま つうかてん
最終目的地は別の場所にある時などに使います。山は通過点です。

산을 오릅니다

최종 목적지가 다른 장소에 있을 때 사용합니다. 산은 통과 지점입니다.

やま のぼ
山に登ります

→ 「に」は到着点を表す助詞です。山に登ることが目的です。

산에 오릅니다

「に」는 도착(지)점을 나타내는 조사입니다. 산에 오르는 것이 목적입니다.



NをVます (出発・分離)

N을 V합니다 (출발·분리)



せつぞく
接続

ばしょ しゅっぱつ ぶんり
N(場所)をV(出発・分離)ます

あんき
暗記

れいぶん
例文

がっこう やす
(1) 学校を休みます。

학교를 쉽니다.

らいねんだいがく そつぎょう
(2) 来年大学を卒業します。

내년에 대학을 졸업합니다.

まいにちはちじ いえ で
(3) 毎日8時に家を出ます。

매일 8시에 집을 나섭니다.

ポイント

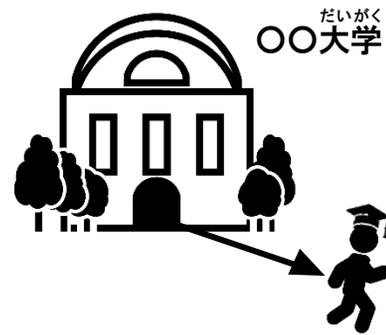
① 助詞「を」は出発点やその場から離れることを表します。

조사 「을」은 출발(지)점이나 그 장소에서 멀어지는 것을 나타냅니다.



いえ で
家を出ます

집을 나섭니다



だいがく そつぎょう
大学を卒業します

대학을 졸업합니다

② よく一緒に使われる動詞は、「出る」「休む」「卒業する」「出発する」「降りる」などです。

자주 함께 사용되는 동사는 「나오다」「쉬다」「졸업하다」「출발하다」「내리다」 등이 있습니다.

れんしゅう
練習 1

N(場所) を V。

かいしゃ で
会社(회사)出る(나오다)

こうこう そつぎょう
高校(고등학교)卒業する(졸업하다)

でんしゃ お
電車(전차)降りる(내리다)

しごと やす
仕事(일)休む(쉬다)

れんしゅう
練習 2

A: 今日何時ごろ家を出ましたか。

오늘 몇 시쯤 집을 나섰습니까?

B: 9時ごろ出ました。

9 시쯤 나왔습니다.

「を」は「から」に置き換え可能

「を」는 「から」로 대체 가능

しゅっぱつ ぶんり あらわ
出発・分離を表す「を」は「から」に置き換えることができます。

출발・분리를 나타내는 「を」는 「から」로 대체가 가능합니다.

れい いえ で
例: 家を出ます

→ いえ から で
家から出ます

집에서 나옵니다

くるま お
車を降ります

→ くるま から お
車から降ります

차에서 내립니다

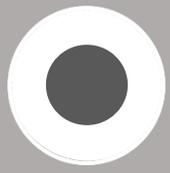
とうきょうえき しゅっぱつ
東京駅を出発します

→ とうきょうえき から しゅっぱつ
東京駅から出発します

도쿄역에서 출발합니다

※ 「卒業する」「休む」など物理的に離れる意味ではない動詞の場合は「から」に置き換えることができません。

「졸업하다」「쉬다」 등 물리적으로 멀어지는 의미가 아닌 동사의 경우 「から」로 대체할 수 없습니다.



NでVます (方法・手段)

N로 V합니다 (방법·수단)



せつぞく
接続

NでV(方法・手段)ます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) 電車で大学に行きます。

전차로 대학교에 갑니다.

(2) フォークでケーキを食べます。

포크로 케이크를 먹습니다.

(3) 日本語で友達と話します。

일본어로 친구와 이야기합니다.

ポイント

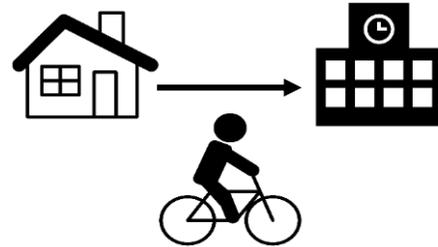
① 「で」は方法や手段を表します。

「で」는 방법이나 수단을 나타냅니다.



はしで寿司を食べます。

젓가락으로 초밥을 먹습니다



自転車です学校に行きます。

자전거로 학교에 갑니다

② よく使われる名詞は、以下の通りです。

자주 사용되는 명사는 아래와 같습니다.

- 乗り物(탈 것): 車(자동차)、飛行機(비행기)、自転車(자전거)、バス(버스)など
- 道具(도구): はし(젓가락)、スプーン(숟가락)、ペン(펜)、スマホ(스마트폰)など
- 言語(언어): 日本語(일본어)、英語(영어)、漢字(한자)、平仮名(히라가나)など

手や足など、体の一部も使うことができます。

손이나 발 등 몸의 일부도 사용할 수 있습니다.

例: 手でパンを食べます。 손으로 빵을 먹습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N(乗り物) ^の ^{もの} で N(場所) ^の ^{ばしょ} に行きます

飛行機(비행기) ^{ひこうき} 北海道(홋카이도) ^{ほっかいどう}

バス(버스) ^{としょかん} 図書館(도서관)

地下鉄(지하철) ^{ちかてつ} 東京駅(도쿄역) ^{とうきょうえき}

(2) N(道具) ^{どうぐ} で V

コップ(컵) ^{ぎゅうにゅう} 牛乳を飲む(우유를 마시다)

はさみ(가위) ^{かみ} 紙を切る(종이를 자르다)

辞書(사전) ^{じしょ} 単語を調べる(단어를 찾다) ^{たんご} ^{しら}

れんしゅう
練習 2

どうやって...手段や方法を聞く時に使います。

수단이나 방법을 물을 때 사용합니다.

(1) A : どうやって会社に行きますか。

어떻게 회사에 갑니까?

B : 電車でいきます。 / 歩いていきます。 ※「歩いて」(て形): この形は後で勉強します。

전차로 갑니다. / 걸어서 갑니다.

「歩いて」(て형): 이 형태는 추후에 공부합니다.

(2) A : 何でお寿司を食べますか。

무엇으로 초밥을 먹습니까?

B : はしで食べます。

젓가락으로 먹습니다.

「どうやって」と「何で」の違い

「どうやって」と「何で」의 차이

「どうやって～か。」は方法や手段を聞きますが、「何で～か。」はどんなものを使うか聞きます。

「どうやって～か。」는 방법이나 수단을 묻지만 「何で～か。」는 어떤 것을 사용하는 지를 묻습니다.

Q: どうやって食べますか。

어떻게 먹습니까?

手で食べます

손으로 먹습니다

焼いて食べます

구워서 먹습니다

生で食べます

날 것으로 먹습니다

はしで食べます

젓가락으로 먹습니다

切って食べます

잘라서 먹습니다

Q: 何で食べますか。

무엇으로 먹습니까?

手で食べます

손으로 먹습니다

はしで食べます

젓가락으로 먹습니다

フォークで食べます

포크로 먹습니다



かね お金

돈



にほん かね たんい えん
日本のお金の単位は「円」です。

일본 돈의 단위는 「엔」입니다.

こぜに
小銭

동전



えん
1円



えん
5円



えん
10円



えん
50円



えん
100円



えん
500円

さつ
お札

지폐



えん
1,000円



えん
5,000円



えん
10,000円

れんしゅう 練習 I

(1) 100,000円

||

10万円

(じゅうまんえん)

10 만엔

(2) 1,000,000円

||

100万円

(ひゃくまんえん)

100 만엔

(3) 10,000,000円

||

1000万円

(いっせんまんえん)

1000 만엔

(4) 100,000,000円

||

1億円

(いちおくえん)

1 억엔

みせ かいわ お店での会話

가게에서의 대화

いくら...値段を聞く時に使います。

가격을 물을 때 사용합니다.

きやく
客: すみません。これはいくらですか。

실례합니다。 이것은 얼마입니까?

てんいん ごひやくえん
店員: 500円です。

500 엔입니다.

きやく みつつ
客: 3つください。

3 개 주세요.

てんいん みつつ せんごひやくえん
店員: 3つで1,500円です。

3 개에 1500 엔입니다.

げんきん はら
客: 現金で払いますか。クレジットカードで払いますか。

현금으로 결제하시나요? 카드로 결제하시나요?

きやく げんきん はら にせんえん はら
客: 現金で払います。(2000円を払う)

현금으로 결제하겠습니다。(2000 엔 지불)

てんいん ごひやくえん
店員: おつりは500円です。ありがとうございます。

거스름돈은 500 엔입니다. 감사합니다.



みっつ せんごひやくえん
3つで1500円です。

3개에 1500 엔입니다.

「で」はまとまりを表します。

「で」는 정리를 나타냅니다.

例: 5人でいきます。(5 명이 갑니다.) みんなで旅行します。(함께 여행합니다.)

どのぐらいかかりますか

얼마나 걸립니까?

しんじゆく
新宿



しぶや
渋谷

Q: 新宿から渋谷まで どのぐらいかかりますか。

신주쿠에서 시부야까지 얼마나 듭니까/걸립니까?

A: 150円ぐらいかかります。

150 엔 정도 듭니다.

A: 15分ぐらいかかります。

15 분 정도 걸립니다.

「かかる」は必要なお金や時間を言うときに使います。

「かかる」는 필요한 돈이나 시간을 말할 때 사용합니다.

お金か時間ははっきりさせたい場合は、次のように質問しましょう。

돈인지 시간인지 명확하게 하고 싶을 때는 다음과 같이 질문해 봅시다.

例: 新宿から渋谷までいくらですか。/いくらぐらいかかりますか。(お金)

신주쿠에서 시부야까지 얼마입니까? /얼마정도 듭니까? (돈)

新宿から渋谷まで何分ですか。/何分ぐらいかかりますか。(時間)

신주쿠에서 시부야까지 몇 분입니까? /몇 분 정도 걸립니까? (시간)

練習 2

(1) A: そのお弁当はいくらですか。

그 도시락은 얼마입니까?

B: 650円です。

650 엔입니다.

(2) A: 東京から大阪までどのぐらいかかりますか。

도쿄에서 오사카까지 얼마나 듭니까/걸립니까?

B: (新幹線で)1万2千円ぐらいかかります。/(新幹線で)2時間ぐらいかかります。

(신칸센으로) 12,000 엔정도 듭니다。/(신칸센으로) 2 시간 정도 걸립니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 道	みち	길	<input type="checkbox"/> ナイフ	ナイフ	나이프
<input type="checkbox"/> 橋	はし	다리	<input type="checkbox"/> カップ	컵/잔	컵/잔
<input type="checkbox"/> 空	そら	하늘	<input type="checkbox"/> コップ	컵/잔	컵/잔
<input type="checkbox"/> 海	うみ	바다	<input type="checkbox"/> 千	せん	천
<input type="checkbox"/> 山	やま	산	<input type="checkbox"/> 万	まん	만
<input type="checkbox"/> 川	かわ	강	<input type="checkbox"/> 億	おく	억
<input type="checkbox"/> 小学校	しょうがっこう	초등학교	<input type="checkbox"/> お金	おかね	돈
<input type="checkbox"/> 中学校	ちゅうがっこう	중학교	<input type="checkbox"/> 金額	きんがく	금액
<input type="checkbox"/> 高校	こうこう	고등학교	<input type="checkbox"/> おつり	잔돈/거스름돈	잔돈/거스름돈
<input type="checkbox"/> 大学	だいがく	대학교	<input type="checkbox"/> 小銭	こぜに	동전
<input type="checkbox"/> 日本語学校	にほんごがっこう	일본어학교	<input type="checkbox"/> お札	おさつ	지폐
<input type="checkbox"/> 専門学校	せんもんがっこう	전문학교	<input type="checkbox"/> 現金	げんきん	현금
<input type="checkbox"/> 車	くるま	자동차	<input type="checkbox"/> クレジットカード	신용카드	신용카드
<input type="checkbox"/> タクシー		택시	<input type="checkbox"/> 客	きゃく	손님
<input type="checkbox"/> バス		버스	<input type="checkbox"/> 店員	てんいん	점원
<input type="checkbox"/> バイク		바이크	<input type="checkbox"/> 散歩(する)	さんぽ	산책(하다)
<input type="checkbox"/> 自転車	じてんしゃ	자전거	<input type="checkbox"/> 出発(する)	しゅつぱつ	출발(하다)
<input type="checkbox"/> 電車	でんしゃ	전차	<input type="checkbox"/> 入学(する)	にゅうがく	입학(하다)
<input type="checkbox"/> 地下鉄	ちかてつ	지하철	<input type="checkbox"/> 卒業(する)	そつぎょう	졸업(하다)
<input type="checkbox"/> 新幹線	しんかんせん	신칸센	どうし 動詞 (V)		
<input type="checkbox"/> 船	ふね	배	(I)		
<input type="checkbox"/> 飛行機	ひこうき	비행기	<input type="checkbox"/> 進む	すすむ	나아가다
<input type="checkbox"/> はし		젓가락	<input type="checkbox"/> 通る	とおる	지나다/통과하다
<input type="checkbox"/> スプーン		숟가락	<input type="checkbox"/> 渡る	わたる	건너다
<input type="checkbox"/> フォーク		포크	<input type="checkbox"/> 飛ぶ	とぶ	날다
			<input type="checkbox"/> 登る	のぼる	오르다

どうし
動詞 (V)

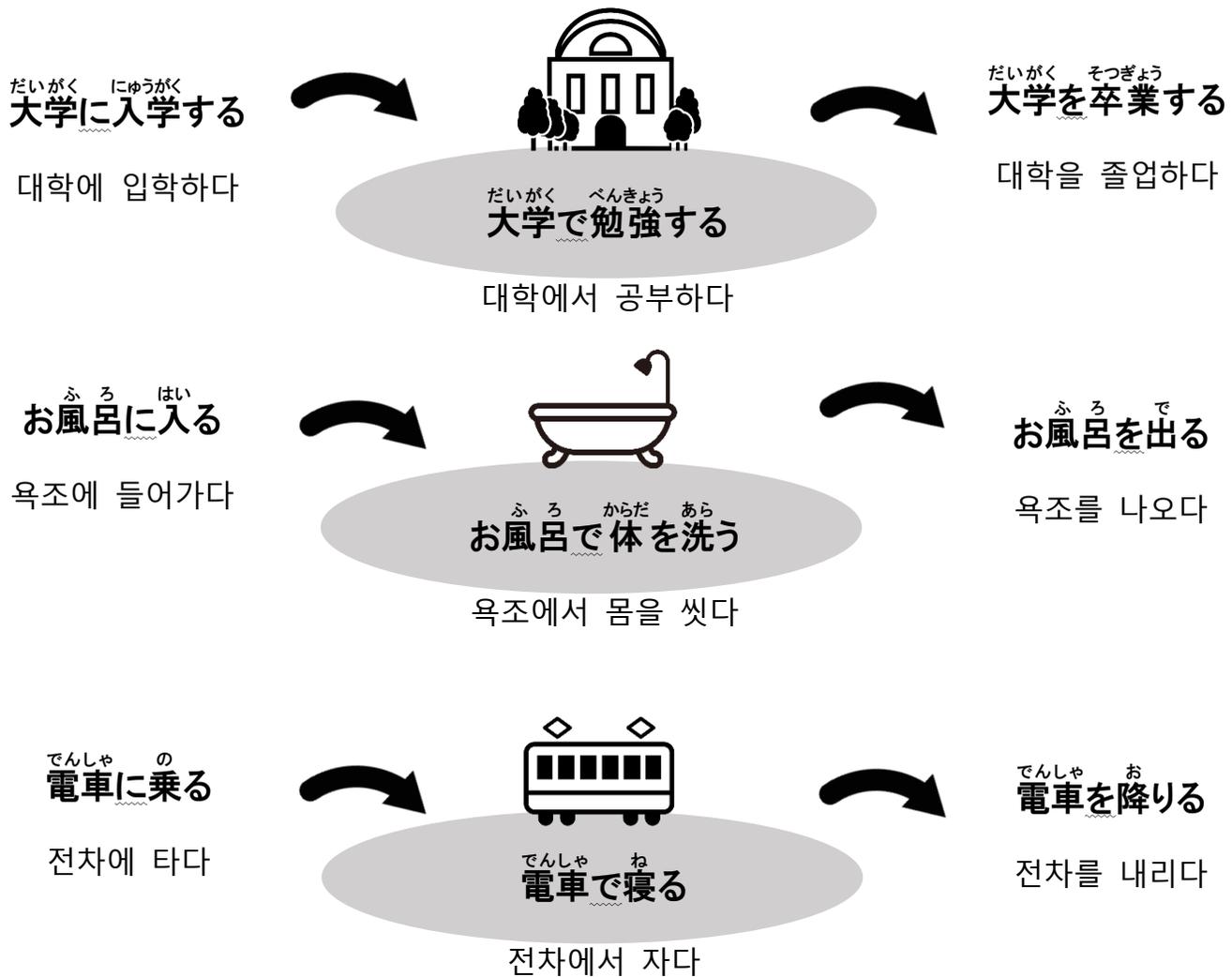
<input type="checkbox"/> 泳ぐ	およぐ	헤엄치다	(II)	<input type="checkbox"/> 調べる	しらべる	조사하다
<input type="checkbox"/> 歩く	あるく	걷다		<input type="checkbox"/> 降りる	おりる	내리다
<input type="checkbox"/> 走る	はしる	달리다		<input type="checkbox"/> 出る	でる	나오다
<input type="checkbox"/> 乗る	のる	타다				
<input type="checkbox"/> 入る	はいる	들어가다				
<input type="checkbox"/> 払う	はらう	지불하다				
<input type="checkbox"/> かかる		걸리다/(돈이)들다				

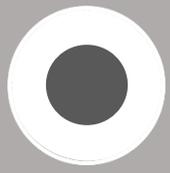
とうたつてん とうたつてん とうたつてん
到達点「に」 場所「で」 出発点「を」

도착(지)점 「に」 장소 「で」 출발(지)점 「을」

「に」「で」「を」 この3つの助詞はセットで覚えておくとイメージがつかみやすいです。

「に」「で」「を」 이 세 개의 조사는 세트로 외워 두면 이미지를 떠올리기 쉽습니다.





N(人)にVます

N(사람)에게 V 합니다



せつぞく
接続

ひと
N(人)にVます

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) 先生に質問します。

선생님에게 질문합니다.

(2) 友達にいいレストランを紹介합니다。

친구에게 좋은 레스토랑을 소개합니다.

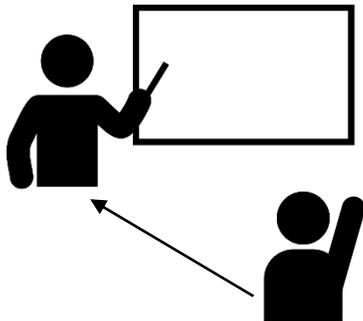
(3) 一昨日駅で社長に会いました。

그저께 역에서 사장님을 만났습니다.

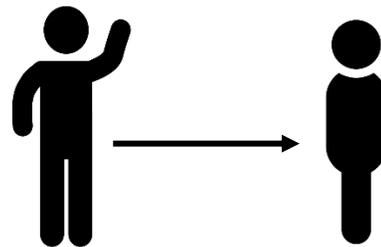
ポイント

① 「に」は動作作用の相手を表します。

「に」는 동작이 작용하는 상대를 나타냅니다.



先生に質問します。
선생님에게 질문합니다



友達に会います。
친구를 만났습니다

② よく使われる動詞は、以下の通りです。

자주 사용되는 동사는 아래와 같습니다.

- ・ 会う(만나다)、言う(말하다)、話す(이야기하다)、聞く(문다)、質問する(질문하다)
- ・ 電話する(전화하다)、紹介する(소개하다)、説明する(설명하다)

ひと N(人) に V

かぞく 家族(가족) ^あ会う(만나다)

ぶちょう 部長(부장님) ^{はな}話す(이야기하다)

かのじょ 彼女(여자친구) ^{でんわ}電話する(전화하다)

いしゃ 医者(의사) ^{しつもん}質問する(질문하다)

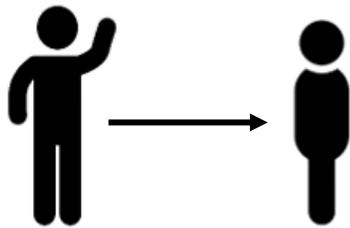
けいさつかん 警察官(경찰관) ^{みち き}道を聞く(길을 묻다)

「N(人)に V」と「N(人)と V」の違い

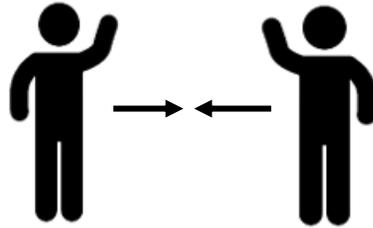
「N(사람)에 V」와 「N(사람)과 V」의 차이

「と」は動作と一緒に行く相手を表します。

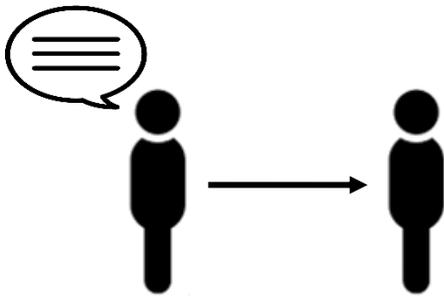
「と」는 동작을 함께 행하는 상대를 나타냅니다.



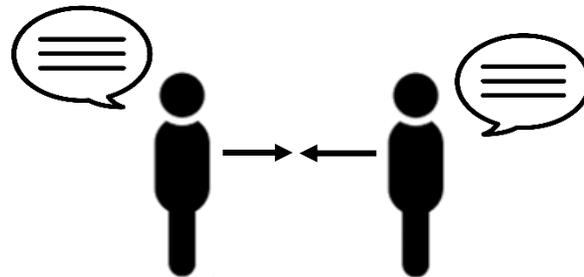
ともだち ^あ友達に会います。
친구를 만납니다



ともだち ^あ友達と会います。
친구와 만납니다



ともだち ^{はな}友達に話します。
친구에게 이야기합니다



ともだち ^{はな}友達と話します。
친구와 이야기합니다.

一方的な動作の場合は「に」、相手と一緒に行っている場合は「と」を使いましょう。

일방적인 동작의 경우는 「に」、상대와 함께하는 경우는 「と」를 써 봅시다.



だけ/しか

뿐, 만/밖에



意味

げんてい あらわ
限定を表す。

한정을 나타낸다.

接続

N だけ/N しか ~ません

暗記

例文

(1) にほんじん せんせい
日本人は先生だけです。

일본인은 선생님뿐입니다.

(2) えいご すこ
英語が少しだけわかります。

영어를 조금밖에 모릅니다.

(3) きょうしつ がくせい ひとり
教室に学生が一人しかいません。

교실에 학생이 한 명 밖에 없습니다.

ポイント

① 「だけ」の後ろは肯定形・否定形どちらでもいいですが、「しか」の後ろは必ず否定形です。

「だけ」の 뒤에는 긍정형·부정형 모두 사용 가능하지만, 「しか」의 뒤에는 반드시 부정형이 옵니다.

② 「だけ」も「しか」も意味は同じですが、「しか」を使うと、話し人の「少ない」「足りない」という

否定的な気持ちがより強調されます。

「だけ」와 「しか」는 의미가 동일하지만, 「しか」를 사용하면 화자의 「少ない」「足りない」라는 부정적인 기분이 좀 더 강조됩니다.

じじつ い
事実を言っただけ
사실을 말했을 뿐



やす いちにち
休みは1日だけです。

휴일은 하루뿐입니다.



やす いちにち
休みは1日しかありません。

휴일은 하루 밖에 없습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N だけ V 。

じゅうぶん ね
10分(10分) 寝る(자다)

いっこ た
1個(1개) 食べる(먹다)

(2) N しか V(否定形) 。

みず の
水(물) 飲む(마시다)

たばこ か
たばこ(담배) 買う(사다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 日本語がわかりますか。

일본어를 (할 줄)압니까?

B: 簡単な単語だけわかります。

간단한 단어만 압니다.

(2) A: 冷蔵庫に卵が いくつ/何個 ありますか。

냉장고에 달걀이 몇 개 있습니까?

B: 2つしかありません。

두 개 밖에 없습니다.

ふくし
副詞

부사

「副詞」は動詞・い形容詞・な形容詞を修飾する品詞です。

「부사」는 동사·이형용사·나형용사를 수식하는 품사입니다.

例: ちょっと(조금) 朝ご飯をちょっとだけ食べました。 아침밥을 조금만 먹었습니다.

すこ せいご すこ
少し(조금) 英語は少ししかわかりません。 영어를 조금 밖에 할 줄 모릅니다.

「ちょっとだけ/しか」「少しだけ/しか」はよく使うので「N+だけ/しか」と一緒に覚えておきましょう。

「ちょっとだけ/しか」「少しだけ/しか」는 자주 사용하기 때문에 「N+だけ/しか」와 함께 외워둡시다.



N1 は N2 が i-A/na-A です



N1 는 N2 가 i-A/na-A 입니다

意味

N1 の性質や特徴の説明

N1 의 성질이나 특징의 설명

接続

N1 は N2 が i-A/na-A です

暗記

例文

(1) 象は鼻が長いです。

코끼리는 코가 길니다.

(2) 先生は声が大きいです。

선생님은 목소리가 큼니다.

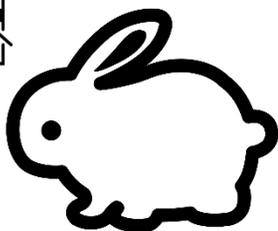
(3) あのレストランはコーヒーがおいしいです。

그 레스토랑은 커피가 맛있습니다.

ポイント

① N1 の性質や特徴を説明するときに使う構文で、N2 は N1 の一部分や持ち物が入ります。

N1 의 성질이나 특징을 설명할 때 사용하는 구문으로, N2 는 N1 의 일부분이나 소유물이 들어갑니다.



うさぎは耳が長いです。

토끼는 귀가 길니다



彼は目が大きいです。

그는 눈이 큼니다

※助詞「は」と「が」がどのような役割をしているかを初級の段階で理解することは大変難しいです。

そのため、現段階では意味と構文の形をそのまま覚えるようにしてください。

조사「は」와 「가」가 어떠한 역할을 하고 있는지 초급 단계에서 이해하는 것은 매우 어렵습니다. 그렇기 때문에 현 단계에서는 의미와 구문의 형태를 그대로 외울 수 있도록 해주세요.

N は N2 が i-A/na-A 。

きりん(기린) ^{くび}首(목) ^{なが}長い(길다)

この犬(이 강아지) ^{あし}足(다리) ^{みじか}短い(짧다)

日本語(일본어) ^{ぶんぽう}文法(문법) ^{むずか}難しい(어렵다)

北海道(홋카이도) ^{らーめん}ラーメン(라면) ^{ゆうめい}有名(유명)

彼女(여자친구) ^め目(눈) ^{きれい}きれい(예쁘다)

A: 先生は髪が長いですか。

선생님은 머리가 길니까?

B: はい、長いです。/いいえ、長くありません。

네, 길니다./아니요, 길지 않습니다.

N1 の N2 は i-A/na-A です

N1 의 N2 는 i-A/na-A 입니다

「N1 は N2 が i-A/na-A」と「N1 の N2 は i-A/na-A」は、^{おな い み あらわ}ほぼ同じ意味を表しますが、

^{しゅだい あらわ}主題を表す助詞「は」の位置が異なるので、^{しゅだい}主題が異なります。

「N1 은 N2 가 i-A/na-A」와 「N1 의 N2 는 i-A/na-A」는 거의 동일한 의미이지만,

주어를 나타내는 조사 「は」의 위치가 다르기 때문에 주어가 다릅니다.

① **N1** は N2 が i-A/na-A → N1 ^{とくちよう}の特徴を述べる N1 의 특징을 서술한다

② **N1 の N2** は i-A/na-A → N1 ^{とくちよう}の N2 の特徴を述べる N1 의 N2 의 특징을 서술한다

そのため、N2 ^{わだ い}が話題になっている場合は②の方が自然です。

그렇기 때문에 N2 가 화제가 되는 경우는 ②가 조금 더 자연스럽습니다.

例 A: ^{れい}象の鼻は長いですか。(=^{ぞう}主な話題は「象」ではなく「象の鼻」)

B: ○ ^{ぞう}象の鼻は長いです。 × ^{ぞう}象は鼻が長いです。

코끼리의 코는 길니까? (=주요 화제는 코끼리가 아니라 코끼리의 코)

○ 코끼리의 코는 길니다. × 코끼리의 코가 길니다.



AはBと言います



A는 B 라고 말합니다

意味

助詞「と」は定義を表し、A=B の関係が成り立つ。

조사「と」는 정의를 나타내며, A=B 의 관계가 성립한다.

接続

AはBと言います

暗記

例文

(1) “Thank you”は日本語で「ありがとう」と言います。

“Thank you”는 일본어로 「ありがとう」라고 말합니다.

(2) 「誕生日おめでとう」は英語で“Happy Birthday”と言います。

「誕生日おめでとう」는 영어로 “Happy Birthday”라고 말합니다.

(3) 「おやすみなさい」は中国語で「晚安」と言います。

「おやすみなさい」는 중국어로 「晚安」이라고 말합니다.

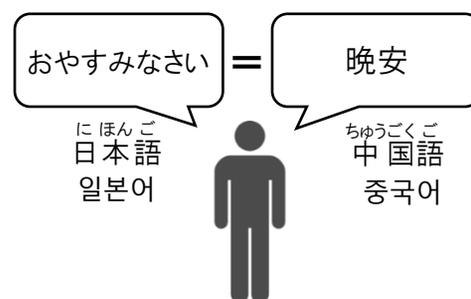
ポイント

① 助詞「と」は定義を表し、A=B の関係が成り立ちます。

조사「と」는 정의를 나타내고, A=B 의 관계가 성립합니다.



“Thank you”는 일본어로 「ありがとう」라고 말합니다.



「おやすみなさい」는 중국어로 「晚安」이라고 말합니다.

② 話し言葉では「と」を「って」と言い換えることができます。

例: 「日本」は英語で“Japan”って言います。

회화체에서는 「と」를 「って」로 바꿔 말할 수 있습니다.

「日本」은 영어로 “Japan”이라고 말합니다.

※ 「何と言いますか。」は、話し言葉では「何て言いますか。」と言います。

「何と言いますか。」는 회화체에서는 「何て言いますか。」라고 말합니다.

れんしゅう
練習 1

A は ^{げんご}言語 で B ^いと言います。

こんにちは(안녕하세요) ^{えいご}英語(영어) Hello(안녕하세요)

watch (시계) ^{にほんご}日本語(일본어) ^{とけい}時計(시계)

れんしゅう
練習 2

A: “school”は^{にほんご}日本語で何^{なん}と言^いいますか。

“school”은 일본어로 뭐라고 말합니까?

B: ^{がっこう}学校^いと言^います。

학교라고 말합니다.

~と^か書^よきます/~と^よ読^よみます

~라고 씁니다/~라고 읽습니다

「~^い言^いいます」^い以外^いにも「~^か書^よきます」や「~^よ読^よみます」^{つか}なども使^{つか}うことができます

「~^い言^いいます」^い以外^い에도 「~^か書^よきます」나 「~^よ読^よみます」^이 등도 使^{つか}용할 수 있습니다.

れい 例: ・ 「^{がくせい}がくせい」は^{かんじ}漢字で「^{がくせい}学生」と^か書^よきます。

「^{がくせい}がくせい」는 한자로 「^{がくせい}学生」이라고 씁니다.

・ 「^{せんせい}先生」は「^{せんせい}せんせい」と^よ読^よみます。

「^{せんせい}先生」는 「^{せんせい}せんせい」라고 읽습니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 社長	しゃちょう	사장님
<input type="checkbox"/> 部長	ぶちょう	부장님
<input type="checkbox"/> 課長	かちょう	과장님
<input type="checkbox"/> 医者	いしゃ	의사
<input type="checkbox"/> 看護師	かんごし	간호사
<input type="checkbox"/> 警察官	けいさつかん	경찰관
<input type="checkbox"/> 駅員	えきいん	역무원
<input type="checkbox"/> クラスメイト		동급생/반 친구
<input type="checkbox"/> 恋人	こいびと	연인
<input type="checkbox"/> 彼氏	かれし	남자친구
<input type="checkbox"/> 彼女	かのじょ	여자친구
<input type="checkbox"/> 単語	たんご	단어
<input type="checkbox"/> 文法	ぶんぽう	문법
<input type="checkbox"/> 発音	はつおん	발음
<input type="checkbox"/> ローマ字	ローマじ	로마자
<input type="checkbox"/> 牛	うし	소
<input type="checkbox"/> 豚	ぶた	돼지
<input type="checkbox"/> 猿	さる	원숭이
<input type="checkbox"/> 象	ぞう	코끼리
<input type="checkbox"/> 馬	うま	말
<input type="checkbox"/> ライオン		사자
<input type="checkbox"/> キリン		기린
<input type="checkbox"/> うさぎ		토끼
<input type="checkbox"/> 頭	あたま	머리

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 顔	かお	얼굴
<input type="checkbox"/> 髪	かみ	머리카락
<input type="checkbox"/> 目	め	눈
<input type="checkbox"/> 鼻	はな	코
<input type="checkbox"/> 口	くち	입
<input type="checkbox"/> 歯	は	치아
<input type="checkbox"/> 耳	みみ	귀
<input type="checkbox"/> のど		목
<input type="checkbox"/> 体	からだ	몸
<input type="checkbox"/> おなか		배
<input type="checkbox"/> 手	て	손
<input type="checkbox"/> 足	あし	발
<input type="checkbox"/> 背	せ	키
<input type="checkbox"/> 質問(する)	しつもん	질문(하다)
<input type="checkbox"/> 紹介(する)	しょうかい	소개(하다)
<input type="checkbox"/> 説明(する)	せつめい	설명(하다)

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> 少し	すこし	조금
<input type="checkbox"/> ちょっと	ちよつと	조금

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 会う	あう	만나다
<input type="checkbox"/> 言う	いう	말하다

다양한 인사표현

いちにちめ あいさつ べんきょう にほんご ほか あいさつ
1 日目にいくつかの挨拶を勉強しましたが、日本語には他にもさまざまな挨拶があります。
にちじょうせいかつ つか ひょうげん おぼ ひょうげん ていねい ひょうげん
日常生活でよく使う表現を覚えておきましょう。(★がついている表現は丁寧な表現です。)

1 일 짜에 몇 가지 인사를 공부했지만 일본어에는 그 밖에도 다양한 인사가 있습니다.

일상생활에서 자주 사용하는 표현을 외워 둡시다.(★이 붙어있는 표현은 정중한 표현입니다)

いってきます …その場を離れる時に、その場に残る人に言います。

그 장소를 떠날 때 그 곳에 남은 사람에게 말합니다.

いってらっしゃい …その場を離れる人に言います。

그 장소를 떠나는 사람에게 말합니다.

ただいま …元いた場所に戻って来たときに言います。

원래 있던 장소로 돌아왔을 때 말합니다.

★ おかえりなさい …他の人が戻って来たときに言います。

おかえり 다른 사람이 돌아왔을 때 말합니다.

いただきます …食事の前に言います。

식사 전에 말합니다.

★ ごちそうさまでした …食事の後に言います。

ごちそうさま 식사 후에 말합니다.

★ ありがとうございます …感謝の気持ちを伝える時に言います。

ありがとう 감사하는 마음을 전할 때 말합니다.

どういたしまして …人からお礼を言われた時に言います。

누군가에게 감사하다는 말을 들었을 때 말합니다.

★ すみませんでした …謝る時に言います。

※すみません 사과를 할 때 말합니다.

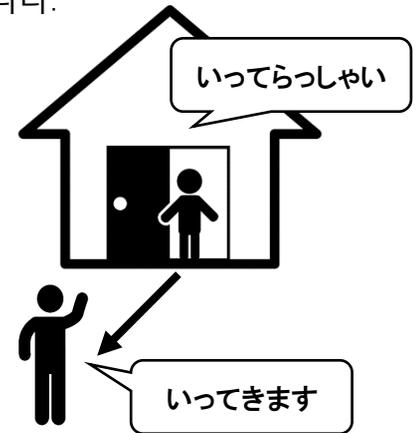
★ ごめんなさい ※「すみません」は謝る時以外にも、声を掛ける時や感謝する時にも使います。

ごめん 「すみません」은 사과할 때 외에도 말을 걸거나 감사표현을 할 때에도 사용합니다.

例: すみません。池袋駅はどこですか。(声を掛ける)

실례합니다. 이케부쿠로역은 어디입니까? (말을 걸 때)

いろいろ たす かんしゃ
色々すみません。助かりました。(感謝)





N がほしいです

N 을 갖고 싶습니다



意味

^{がんぼう} ^{あらわ} 願望を表す。 소망을 나타낸다.

接続

Nがほしい

暗記

例文

(1) ^{あたら}新しいかばんがほしいです。

새 가방을 갖고 싶습니다.

(2) ^{ともだち}友達がたくさんほしいです。

친구를 많이 갖고(사귀고) 싶습니다.

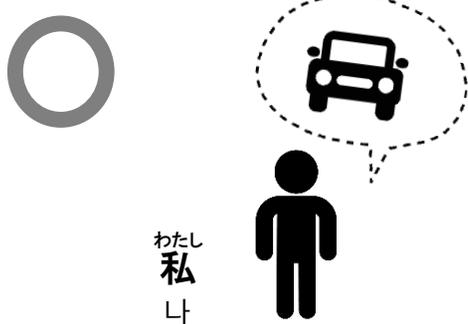
(3) ^{たんじょうび} ^{ふく} ^{とけい}誕生日に服や時計がほしいです。

생일에 옷이나 시계를 갖고 싶습니다.

ポイント

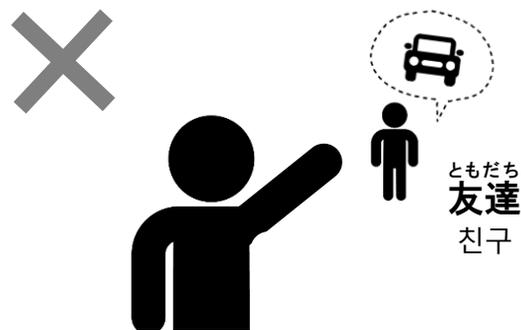
① ^{はな} ^{ひと} ^{わたし} ^{がんぼう} ^{あらわ} 話す人(私)の願望を表すため、^{だいさんしゃ} ^{がんぼう} ^{あらわ} 第三者の願望を表すことはできません。

말하는 사람(나)의 소망을 나타내기 때문에 제 3 자의 소망을 나타낼 수 없습니다.



^{わたし} ^{くるま} 私は車がほしいです。

나는 차를 갖고 싶습니다.



^{わたし} ^{ともだち} ^{くるま} 私の友達は車がほしいです。

내 친구는 차를 갖고 싶습니다.

② 「N+する」のⅢグループの動詞のNは使うことができません。

「N+する」의 3 그룹 동사 N 은 사용할 수 없습니다.

③ 否定文の場合は助詞「が」ではなく、「は」を使います。

부정문의 경우 조사 「가」가 아닌 「は」를 사용합니다.

例: ^{れい} ^{ようふく} ^ほ 洋服は欲しくありません。 옷은 갖고 싶지 않습니다.

(1) N がほしいです。

服(옷)/靴(신발)/かばん(가방) /財布(지갑)

広い部屋(넓은 방)/高いパソコン(비싼 컴퓨터)/新しい洗濯機(새 세탁기)

可愛い彼女(귀여운 여자친구)/かっこいい彼氏(멋진 남자친구)/時間(시간)

(2) N はほしくありません。

お金(돈)/恋人(애인)/友達(친구)

指輪(반지)/ネクタイ(넥타이)/安いバッグ(저렴한 가방)

古いスマホ(낡은 스마트폰)/狭い家(좁은 집)

じゆんじょ あらわ じよすうし ばん
順序などを表す助数詞「番」

순서 등을 나타내는 조수사 「番」

(1) A: 今、何が一番ほしいですか？

지금 무엇을 가장 갖고 싶습니까?

B: 可愛い服やアクセサリがほしいです。

귀여운 옷이나 액세서리를 갖고 싶습니다.

(2) A: どんなパソコンがほしいですか？

어떤 컴퓨터를 갖고 싶습니까?

B: 安いパソコンがほしいです。

저렴한 컴퓨터를 갖고 싶습니다.

だいさんしゃ がんぼう あらわ かた
第三者の願望の表し方

제 3 자의 소망을 나타내는 방법

「～ほしいそう」「～ほしいと言っている」「～ほしがっている」のように伝聞や引用の形など
で、第三者の願望を表すことができます。 ※N4 レベルで勉強します。

「～ほしいそう」「～ほしいと言っている」「～ほしがっている」와 같이 전언이나 인용의 형태 등으로 바꿈으로써

제 3 자의 소망을 나타낼 수 있습니다. ※N4 레벨에서 공부합니다.



あげます / もらいます / くれます

(내가)줍니다/받습니다/(나에게)줍니다



意味

授受表現

수수표현

接続

Nをあげます/もらいます/くれます

暗記

例文

(1) サンタクロースは子供たちにプレゼントをあげます。

산타클로스는 아이에게 선물을 줍니다.

(2) 田中さんが(私に)花をくれました。

다나카씨가 (나에게) 꽃을 주었습니다.

(3) 昨日(私は)友達にお土産をもらいました。

어제 (나는) 친구에게 선물을 받았습니다.

ポイント

① 「あげる」「くれる」「もらう」は誰かと物のやり取りをする時に使う動詞です。

「あげる」「くれる」「もらう」는 누군가와 사물을 주고받을 때 사용하는 동사입니다.

・「あげる」「くれる」…主語である与える人が物を受ける人に与える。(英語の“give”のイメージです)

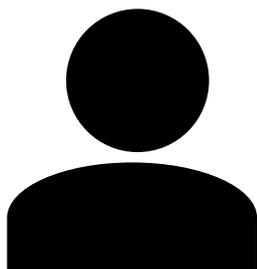
주어인 주는 사람이 물건을 받는 사람에게 전달한다.(영어 “give”의 이미지입니다)

・「もらう」…主語である受ける人が物を与える人から受け取る。(英語の“receive”のイメージです)

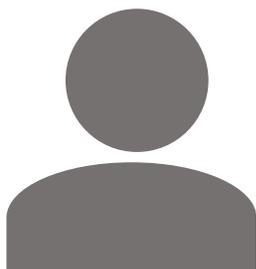
주어인 받는 사람이 물건을 주는 사람으로부터 받는다.(영어 “receive”의 이미지입니다)

② この文法を理解する時は人を3種類のタイプに分けて考えることが大事です。

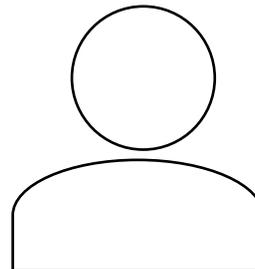
이 문법을 이해할 때 사람을 세 종류의 타입으로 나누어 생각하는 것이 중요합니다.



(1) 私
나



(2) 私の家族(母、兄…)
나의 가족(엄마, 형, 오빠…)



(3) その他(田中さん、友達…)
그 외(다나카씨, 친구…)

あげる・くれる

give のイメージ
give 의 이미지

「N(人)に V ます」で勉強した動作作用の相手を表す「に」
「N(人)に V ます」에서 공부한 동작작용인 상대를 나타내는 「に」

あた ひと 与える人 주는 사람 は/が う ひと 受ける人 받는 사람 に もの 物 물건 を あげます

あた ひと 与える人 주는 사람 は/が う ひと 受ける人 받는 사람 に もの 物 물건 を くれます

この絵のような状況では、以下のような2つの言い方があります。

이 그림과 같은 상황에서는 아래와 같이 두 가지의 표현방법이 있습니다.



- ① A は/が B に プレゼントをあげました。 A 는/가 B 에게 선물을 주었습니다.
- ② A は/が B に プレゼントをくれました。 A 는/가 B 에게 선물을 주었습니다.

「あげる」「くれる」は与える人(A)が主語になります。「その他(A)→私(B)」「家族(A)→私(B)」「その他(A)→家族(B)」の3つのケースでは「くれる」を使います。

「あげる」「くれる」는 주는 사람(A)이 주어가 됩니다。「그 외(A)→나(B)」「가족(A)→나(B)」「그 외(A)→가족(B)」이 세 가지의 케이스에서는 「くれる」를 사용합니다.

以下の3つのケースを覚えましょう。 아래의 세 가지 케이스를 외읍시다.



たなか 田中さんが私に プレゼントをくれました。
다나카씨는 나에게 선물을 주었습니다.



いもうと 妹が私に プレゼントをくれました。
여동생이 나에게 선물을 주었습니다.



たなか 田中さんが妹に プレゼントをくれました。
다나카씨가 여동생에게 선물을 주었습니다.

(1) 明日(私は)友達にプレゼントを_____。

(2) 昨日兄が(私に)お金を_____。

(3) 先週 (私 ・ 兄 ・ 友達) は(私の)妹にコンサートのチケットをくれました。

(4) 毎年 (姉 ・ 田中さん) は(私の)母に花をあげます。

(5) 昨日の午後クラスメイトが私に花を_____。

(6) 明日の父の誕生日に母が父に時計を_____。

(7) 先月のクリスマスに弟は (母 ・ 私 ・ 先生) にネクタイをくれました。

(8) 一昨日彼氏は (私 ・ 父 ・ 彼氏の妹) に財布をあげました。

もらう

receive のイメージ
receive 의 이미지

動作の出どころを表す「に」「から」に置き換え可能)

동작의 출처를 나타내는 「に」「から」로 대체 가능)



この絵のような状況では、以下のような言い方ができます。



A は/が B に/から プレゼントをもらいました。 A 는/가 B 에게/로부터 선물을 받았습니다.

「もらう」は受ける人が主語になります。物を与える人(B)は私以外の人です。

「もらう」는 받는 사람이 주어가 됩니다. 물건을 주는 사람(B)은 나 이외의 사람입니다.

れんしゅう 練習 2

(1) 田中さんは (友達 ・ 私) にプレゼントをもらいました。

(2) 毎年妹は (私 ・ 母) に誕生日カードをもらいます。

(3) 昨日(私 ・ 田中さん) は姉に花をもらいました。

※主語である「受ける人」には私に近い関係の人がくるのが自然です。上記の場合「姉」が近い人であり、

「昨日田中さんは姉に花をもらいました。」は不自然です。この場合は「昨日姉は田中さんに花をあげました。」と

するのが自然です。余裕がある人は覚えておきましょう。

※ 주어인 「받는 사람」에는 나와 가까운 관계인 사람이 오는 것이 자연스럽습니다. 위의 경우 「언니」가 가까운 사람이며, 「어제 다나카씨는 언니에게 꽃을 받았습니다。」는 부자연스럽습니다. 이 경우는 「어제 언니는 다나카씨에게 꽃을 주었습니다。」라고 하는 것이 자연스럽습니다. 여유가 있을 때 외웁시다.

(1) A: ^{らいしゅう たなか たんじょうび なに}来週田中さんの誕生日ですね。何をあげますか。

다음주 다나카씨의 생일이네요. 무엇을 줄 예정인가요?

B: ^{にほんごほん}日本語の本をあげます。

일본어 책을 줄 예정입니다.

(2) A: ^{きょねん なに}去年のクリスマスに何をもらいましたか。

작년 크리스마스에 무엇을 받았습니까?

B: ^{ともだちさいふ}友達に財布をもらいました。

친구에게 지갑을 받았습니다.

「もらう」と「くれる」の使い分け

「もらう」と「くれる」의 구분법

「くれる」は与える人が自発的に相手に物を与えている様子を表します。

「くれる」은 주는 사람이 자발적으로 상대방에게 물건을 주고 있는 모습을 나타냅니다.

①



田中さんは(私に)お菓子をくれました。
다나카씨는 (나에게) 과자를 주었습니다.

②



(私は)田中さんにお菓子を受けました。
(나는) 다나카씨에게 과자를 받았습니다.

①の場合はお菓子を求められていないのに田中さんはお菓子をあげました。

これは自発的なので「くれる」を使う方が自然です。

①의 경우는 과자를 달라고 하지 않았지만 다나카씨는 과자를 주었습니다.

이것은 자발적이기 때문에 「くれる」을 사용하는 것이 자연스럽습니다.

②の場合は私が「お菓子をください」と求めたので、田中さんはお菓子をあげました。

これは自発的ではないので、「もらう」を使う方が自然です。

②의 경우는 내가 「과자를 주세요」라고 원했기 때문에, 다나카씨는 과자를 주었습니다.

이것은 자발적이지 않기 때문에 「もらう」을 사용하는 것이 자연스럽습니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> プレゼント		선물
<input type="checkbox"/> お土産	おみやげ	선물/기념품
<input type="checkbox"/> 카드		카드
<input type="checkbox"/> 花	はな	꽃
<input type="checkbox"/> 服	ふく	옷
<input type="checkbox"/> シャツ		셔츠
<input type="checkbox"/> セーター		스웨터
<input type="checkbox"/> コート		코트
<input type="checkbox"/> スーツ		수트
<input type="checkbox"/> 上着	うわぎ	상의/겉옷
<input type="checkbox"/> 下着	したぎ	속옷
<input type="checkbox"/> パンツ*		속옷/바지
<input type="checkbox"/> ズボン		바지
<input type="checkbox"/> スカート		치마
<input type="checkbox"/> 靴	くつ	신발
<input type="checkbox"/> 靴下	くつした	양말
<input type="checkbox"/> 帽子	ぼうし	모자
<input type="checkbox"/> 眼鏡	めがね	안경
<input type="checkbox"/> ネクタイ		넥타이
<input type="checkbox"/> アクセサリー		액세서리
<input type="checkbox"/> 指輪	ゆびわ	반지
<input type="checkbox"/> かばん		가방
<input type="checkbox"/> バッグ		가방
<input type="checkbox"/> 財布	さいふ	지갑

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 高い	たかい	비싸다
<input type="checkbox"/> 安い	やすい	싸다
<input type="checkbox"/> ほしい		갖고 싶다

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> たくさん	많이
-------------------------------	----

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> もらう	받다
<input type="checkbox"/> いただく	받다
<input type="checkbox"/> くださる	주시다
<input type="checkbox"/> やる	주다/하다

(II)

<input type="checkbox"/> あげる	주다
<input type="checkbox"/> さしあげる	드리다
<input type="checkbox"/> くれる	(나에게)주다

※ 「パンツ」は下半身に身につける下着という意味で使われますが、「ズボン」の意味でも使われます。

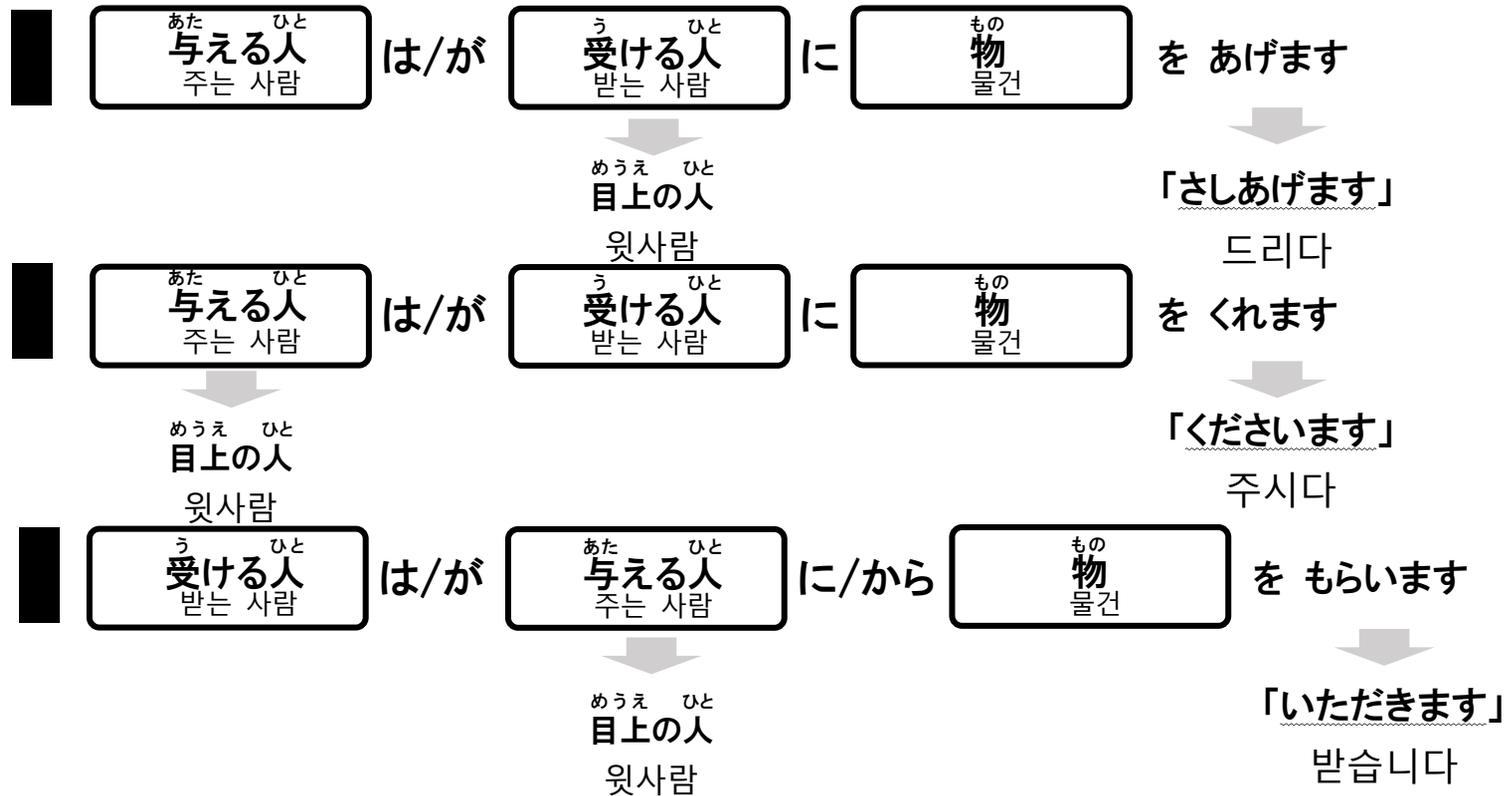
팬츠는 하반신에 착용하는 속옷의 의미로 사용하지만, 바지의 의미로도 사용됩니다.

あげる・くれる・もらう

(내가)주다 · (나에게)주다 · 받다

「あげる」「くれる」「もらう」にはそれぞれ敬語表現があります。

「あげる」「くれる」「もらう」에는 각각 경어표현이 있습니다.



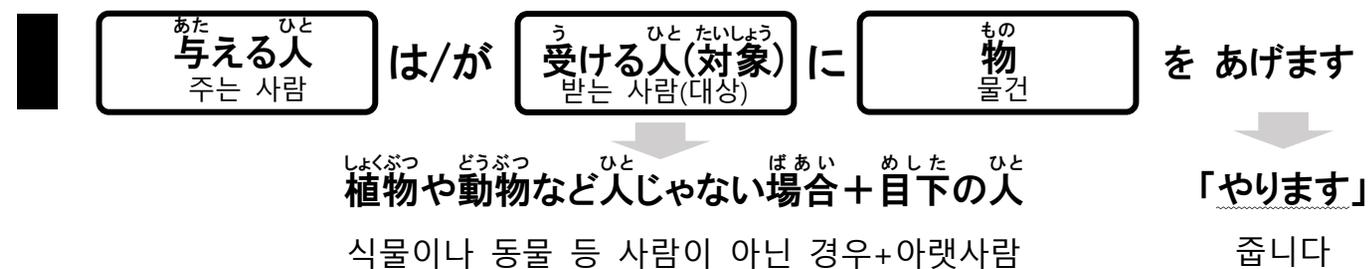
例: 私はお客様にプレゼントをさしあげます。 저는 손님에게 선물을 드립니다.

社長が私にお土産をくださいました。 사장님이 저에게 선물을 주셨습니다.

私は先生に飲み物をいただきました。 저는 선생님에게 음료를 받았습니다.

また、「あげる」は「受ける人(対象)」によっては「やる」と言う場合があります。

또한 「あげる」는 「받는 사람(대상)」에 따라 「やる」라고 말하는 경우가 있습니다.



例: 毎日私は花に水をやります。 매일 나는 꽃에 물을 줍니다.

田中さんが犬にえさをやります。 다나카씨가 개에게 먹이를 줍니다.

私は子供にお菓子をやります。 나는 아이에게 과자를 줍니다.

※「やります」は動物や子供を目下として捉えている表現なので、使わない人も多いです。

「やります」는 동물이나 아이를 아랫사람으로 인식하는 표현이기 때문에 사용하지 않는 사람도 많습니다.



Vますたいです

V합니다 (하)고 싶습니다



意味

はな ひと よっきゅう きぼう あらわ
話す人の欲求や希望を表す。

말하는 사람의 욕구나 희망을 나타낸다.

接続

Vます たい

暗記

例文

(1) **大きな家を買いたいです。**

큰 집을 사고 싶습니다.

(2) **アメリカに留学したかったです。**

미국에 유학하고 싶었습니다.

(3) **週末会社に行きたくありません。**

주말에 회사에 가고 싶지 않습니다.

ポイント

① 「Vます+たい」は「い形容詞」になるので、「い形容詞」と同じルールで活用します。

「Vます+たい」는 「이형용사」가 되기 때문에 「이형용사」와 같은 규칙으로 활용합니다.

② 「ほしい」と同じように、**話す人(私)の願望を表すため、第三者の願望を表すことはできません。**

「ほしい」와 같이 말하는 사람(나)의 소망을 나타내기 때문에 제 3 자의 소망을 나타낼 수 없습니다.

③ 「Nがほしい」の**文法は、「N+する」のⅢグループの動詞のNには接続できません。**

Ⅲグループの動詞の場合は「たい」を使きましょう。

「Nがほしい」 문법은 「N+する」의 3 그룹 동사 N 에는 접속할 수 없습니다.

3 그룹 동사의 경우는 「たい」를 사용합시다.



旅行がほしいです。



旅行をしたいです。

旅行したいです。

여행을 하고 싶습니다.

れんしゅう
練習 1

V ます たいです。

みやげ か
お土産を買う(기념선물을 사다)

コンビニでバイトする(편의점에서 아르바이트를 하다)

がいこく い
外国に行く(외국에 가다)

ともだち あそ
友達と遊ぶ(친구와 놀다)

かぞく あ
家族に会う(가족을 만나다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 来月沖繩に行きますね。何をしたいですか。

다음달 오키나와에 가는군요. 무엇을 하고 싶습니까?

B: きれいな海を見たいです。

예쁜 바다를 보고 싶습니다.

(2) A: どんなパソコンを買いたいですか。

어떤 컴퓨터를 사고 싶습니까?

B: 安いパソコンを買いたいです。

저렴한 컴퓨터를 사고 싶습니다.



までに

까지



意味

期限・限度を表す。

기한・한도를 나타낸다.

接続

N(時間・曜日など)までに

暗記

例文

(1) 火曜日までに宿題を出します。

화요일까지 숙제를 제출합니다.

(2) 30歳までに結婚したいです。

30세까지(안에) 결혼하고 싶습니다.

(3) 5時までに家に帰ります。

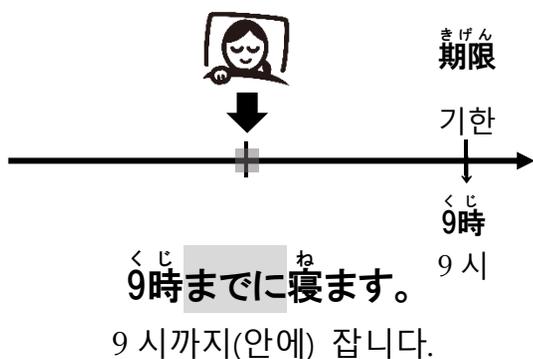
5시까지 집에 돌아갑니다.

ポイント

① 「までに」はある動作の時間的な限度・期限を表しますが、「まで」はある動作がある時までずっと続くことを表します。

「までに」는 어떤 동작의 시간적 정도・기한을 나타내지만,

「まで」는 어떤 동작이 있을 때까지 계속 이어지는 것을 나타냅니다.



② 「までに」は主に継続しない一回きりの動作を表す動詞を使いますが、否定文の場合はその状態の継続を表すため、「までに」は使えなくなります。

「までに」는 주로 지속되지 않는 한 번뿐인 동작을 나타내는 동사를 사용하지만, 부정문의 경우 그 상태의 지속을 나타내기 위해 「までに」는 사용할 수 없게 됩니다.

例: 30歳(○まで/×までに)結婚しない。(結婚しない状態を30歳まで継続する。)

30세(○까지/×까지는) 결혼하지 않는다. (결혼하지 않은 상태를 30세까지 유지한다.)

N までに V。

とおか (10 일) ^{れんらく}連絡する (연락하다)

くじ (9 시) ^ね寝る (자다)

じゅうにじ (12 시) ^{しゅっぱつ}出発する (출발하다)

しゅうまつ (주말) ^{しゅくだい}宿題を出す (숙제를 내다)

きんようび (금요일) ^{へや}部屋を掃除する (방을 청소하다)

すいようび (수요일) ^{かいしゃ}会社に電話する (회사에 전화하다)

A: Bさん、40歳までに何をしたいですか。

B 씨, 40 세까지(안에) 무엇을 하고 싶습니까?

B: はい。40歳までに家を買いたいです。

네. 40 세까지 집을 사고 싶습니다.

いっしょ ^{つか} ^{どうし}
一緒に使われる動詞

함께 사용되는 동사

「までに」「まで」と一緒に使われる動詞には以下の特徴があります。

「までに」「まで」와 함께 사용되는 동사에는 아래와 같은 특징이 있습니다.

までに : ^{いっかい}一回きり、^{けいぞく}継続しない行為・^{こうい}動作・^{できごと}出来事を表す動詞

한 번뿐, 지속되지 않는 행위·동작·사건을 나타내는 동사

例: ^{れい}決める(정하다)、^お終わる(끝나다)、^{けっこん}結婚する(결혼하다)、^{ていしゅつ}提出する(제출하다)など

まで : ^{けいぞく}継続する行為・^{こうい}動作・^{できごと}出来事を表す動詞

지속되는 행위·동작·사건을 나타내는 동사

例: ^{れい}続ける(계속하다)、^ま待つ(기다리다)、^{いる}いる(있다)、^{はたら}働く(일하다)、^{やす}休む(쉬다)など



Vます/N に V ます

V 합니다/N 에 V 합니다



意味

もくてき あらわ 目的を表す。

목적을 나타낸다.

接続

Vます/N に V

暗記

例文

はは こうえん さんぽ い (1) 母と公園へ散歩しに行きます。

엄마와 공원에 산책하러 갑니다.

ともだち いえ あそ き (2) 友達の家遊びに来ました。

친구 집에 놀러 왔습니다.

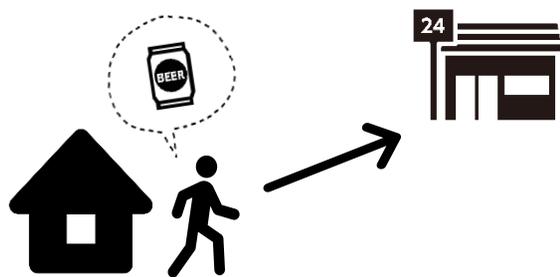
もくようび おおさか しゅつちよう い (3) 木曜日に大阪へ出張に行きます。

목요일에 오사카로 출장갑니다.

ポイント

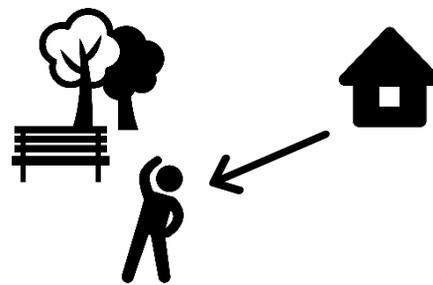
① 「行く」「来る」「帰る」「戻る」などの動詞を使い、どの動作をする目的を表します。

「行く」「来る」「帰る」「戻る」等の動사를 사용하여 어느 동작을 하는 목적을 나타냅니다.



コンビニへお酒を買いに行きます。

편의점에 술을 사러 갑니다.



公園へ運動に来ました

공원에 운동하러 갑니다.

② Ⅲグループの動詞(N+する)は「NにV ます」と「NしにV ます」の2つの言い方があります。

3 그룹 동사(N+する)는 「N에 V ます」와 「N시에 V ます」 두 가지의 표현이 있습니다.

例: 公園へ運動に行きます。/公園へ運動しに行きます。

공원에 운동(하러) 갑니다。/공원에 운동하러 갑니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N(場所)へ Vますに行く/来る。

ともだち いえ と泊まる(묵다/숙박하다)
友達の家(친구 집)

ゆうびんきょく てがみ だ 出す(편지를 부치다)
郵便局 (우체국) 手紙

ぎんこう かね お金をおろす(돈을 인출하다/찾다)
銀行 (은행)

がっこう こども むか 迎える(아이를 마중하다)
学校(학교) 子供

(2) N(場所)へ Nに行く/来る。

にほん りゅうがく 留学(유학)
日本(일본)

レストラン (레스토랑) 食事(식사)
レ스토랑

おおさか りょこう 旅行(여행)
大阪 (오사카)

にほん ごがっこう じゅぎょう けんがく 授業の見学(수업 견학)
日本語学校(일본어학교)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 明日は休みですね。どこに行きますか。

내일은 휴일이네요. 어디에 갈 예정인가요?

か…選択肢をいくつか挙げ、どれか1つを選ぶ時に使う。

か…선택지를 몇 가지 나열하여 그 중 한 가지를 선택할 때 사용한다.

B: 友達の家に遊びに行きます。/図書館か学校へ勉強に行きます。

친구 집에 놀러갈 예정입니다. /도서관이나 학교에 공부하러 갈 예정입니다.

(2) A: 先週北海道に行きました。

지난주 홋카이도에 갔습니다.

B: 何をしに行きましたか。

무엇을 하러 갔습니까?

A: 友達に会いに行きました。

친구를 만나러 갔습니다.



きかん N(期間)にN

N(기간)에 N



意味

ひんど あらわ
頻度を表す。

빈도를 나타낸다.

接続

きかん
N(期間)にN

暗記

例文

にしゅうかん いっかい
(1) 2週間に1回テニスをします。

2 주에 한 번 테니스를 칩니다.

いちにち さんじかん にほんご べんきょう
(2) 1日に3時間日本語を勉強します。

하루에 3 시간 일본어를 공부합니다.

いっ げつ さんさつ ほん よ
(3) 1か月に3冊ぐらい本を読みます。

한 달에 3 권 정도 책을 읽습니다.

ポイント

① ある期間の間に行われる動作の頻度や割合を表します。

うし めいし かいすう じかん りょう はい
後ろの名詞には回数や時間、量などが入ります。

어느 기간 안에 행해지는 동작의 빈도나 비율을 나타냅니다.

뒤의 명사에는 횟수나 시간, 양 등이 옵니다.

② 期間が「1週間」「1か月(間)」「1年(間)」のとき、省略することができます。

※「に」を省略することもできます。

기간이 「1 주간」「1 개월(간)」「1 년(간)」일 때 생략할 수 있습니다.

※「に」를 생략할 수도 있습니다.

例: いっしゅうかん かい → しゅう かい / しゅう かい
1週間に●回 → 週に●回 / 週●回 주에 ●회 / 주●회

いっ げつ かん かい → つき かい / つき かい 월에 ●회 / 월●회
1か月(間)に●回 → 月に●回 / 月●회

いちねん かん かい → ねん かい / ねん かい 연에 ●회 / 연●회
1年(間)に●回 → 年に●回 / 年●회

れんしゅう
練習 1

N に N V。

よじかん 4時間(4 시간) 1回(1 회) 休む(쉬다)

みっか 3日(3 일) 1回(1 회) 買い物する(쇼핑하다)

いちにち 1日(하루) 30分(30 분) 文法の勉強をする(문법 공부를 하다)

いっしゅうかん 1週間(일주일) 3日(3 일) 会社に行く(회사에 가다)

いちねん 1年(1 년) 10冊ぐらい(10 권 정도) 本を読む(책을 읽다)

いちにち 1日(하루) 100人ぐらい(100 명 정도) お客様が来る(손님이 오다)

れんしゅう
練習 2

A: 私わたしはよくテニスをします。

저는 자주 테니스를 칩니다.

B: 1か月に何回なんかいぐらいテニスをしますか。/ 1か月にどのぐらいテニスをしますか。

한 달에 한 번 정도 테니스를 칩니까? / 한 달에 얼마나 테니스를 칩니까?

A: 1か月に3回さんかいぐらいテニスをします。

한 달에 3회 정도 테니스를 칩니다.

ひんど あらわ ふくし
頻度を表す副詞

빈도를 나타내는 부사

「N(期間)に N(回数)」は具体的な数字で頻度を表しますが、大体の頻度を副詞で表すこともできます。

「N(기간)に N(횟수)」은 구체적인 숫자로 빈도를 나타내지만, 대략의 빈도를 부사로 나타낼 수 있습니다.

- ・ **いつも** (항상) **例:** 彼はいつも遅刻ちこくします。 그는 항상 지각합니다.
- ・ **よく** (자주) **例:** 彼はよく遅刻ちこくします。 그는 자주 지각합니다.
- ・ **時々** (때때로) **例:** 彼は時々遅刻ちこくします。 그는 때때로 지각합니다.
- ・ **たまに** (가끔) **例:** 彼はたまに遅刻ちこくします。 그는 가끔 지각합니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> サッカー		축구
<input type="checkbox"/> 野球	やきゅう	야구
<input type="checkbox"/> 卓球	たつきゅう	탁구
<input type="checkbox"/> バドミントン		배드민턴
<input type="checkbox"/> テニス		테니스
<input type="checkbox"/> ゴルフ		골프
<input type="checkbox"/> ジョギング		조깅
<input type="checkbox"/> スキー		스키
<input type="checkbox"/> ダンス		댄스
<input type="checkbox"/> 水泳	すいえい	수영
<input type="checkbox"/> バasketボール		농구
<input type="checkbox"/> バレーボール		배구
<input type="checkbox"/> ポスト		우편
<input type="checkbox"/> 手紙	てがみ	편지
<input type="checkbox"/> はがき		엽서
<input type="checkbox"/> 年賀状	ねんがじょう	연하장
<input type="checkbox"/> 一緒	いっしょ	함께
<input type="checkbox"/> 練習(する)	れんしゅう	연습(하다)
<input type="checkbox"/> 見学(する)	けんがく	견학(하다)
<input type="checkbox"/> 留学(する)	りゅうがく	유학(하다)
<input type="checkbox"/> 結婚(する)	けっこん	결혼(하다)
<input type="checkbox"/> 食事(する)	しょくじ	식사(하다)

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> いつも		항상
<input type="checkbox"/> よく		자주
<input type="checkbox"/> 時々	ときどき	때때로
<input type="checkbox"/> たまに		가끔

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 遊ぶ	あそぶ	놀다
<input type="checkbox"/> 泊まる	とまる	묵다/숙박하다
<input type="checkbox"/> おろす		찾다/인출하다
<input type="checkbox"/> 出す	だす	내다

(II)

<input type="checkbox"/> 迎える	むかえる	마중하다
------------------------------	------	------

「NをVますたい」? 「NがVますたい」?

「N을 V 합니다(하)고 싶습니다」? 「N이 V 합니다(하)고 싶습니다」?

「N을 V ますたいです」の文章は、「を」を「が」に置き換えることができる場合もあります。

「N을 V 합니다(하)고 싶습니다」 문장은 「을」를 「가」로 대체할 수 있는 경우가 있습니다.

■ 「を」も「が」も使える場合

- ・ パン を/が 食べたいです。

빵을/이 먹고 싶습니다.

- ・ ビール を/が 飲みたいです。

맥주를/가 마시고 싶습니다.

- ・ 本 を/が 読みたいです。

책을/이 읽고 싶습니다.

(対象の「を」 ※対象が人以外)

(대상의 「을」 ※대상이 사람이외)

■ 「を」しか使えない場合

- ・ 空 を 飛びたいです。(通過点の「を」)

하늘을 날고 싶습니다. (통과점의 「을」)

- ・ 大学 を 卒業したいです。(起点の「を」)

대학을 졸업하고 싶습니다. (기점의 「을」)

- ・ 田中さん を 殴りたいです。(対象の「を」 対象が人)

다나카씨를 때리고 싶습니다. (대상의 「을」 대상이 사람)

- ・ 今日はお酒 を 友達と一緒に飲みたいです。(「を」と動詞の間に他の要素がある場合)

오늘은 술을 친구와 함께 마시고 싶습니다. («을」와 동사 사이에 다른 요소가 있는 경우)

「〇〇さんの料理が食べたいです」のように、「〇〇さんの料理」と詳しく特定されている場合などは

「が」を使った方が自然ですが、上記のように「が」が使えないケースがいくつかあるので、

初級の段階では「を」を使うようにしておくといいいでしょう。

「〇〇씨의 요리가 먹고 싶습니다」와 같이 「〇〇씨의 요리」라고 상세하게 특정되는 경우는

「が」를 사용하는 편이 자연스럽지만 위와 같이 「가」가 사용되는 케이스가 몇 가지 있기 때문에

초급 단계에서는 「을」를 사용하도록 하는 것이 좋습니다.



Nはどうですか

N은 어떻게습니까?



意味

あいて いけん いんしょう かんそう き
相手に意見や印象、感想などを聞く。

상대방에게 의견이나 인상, 감상 등을 묻는다.

接続

Nはどうですか

暗記

例文

(1) にほんご べんきょう
日本語の勉強はどうですか。

일본어 공부는 어떻게습니까?

(2) しごと
仕事はどうですか。

일은 어떻게습니까?

(3) らいしゅう にちようび
来週の日曜日はどうですか。

다음주 일요일은 어떻게습니까?

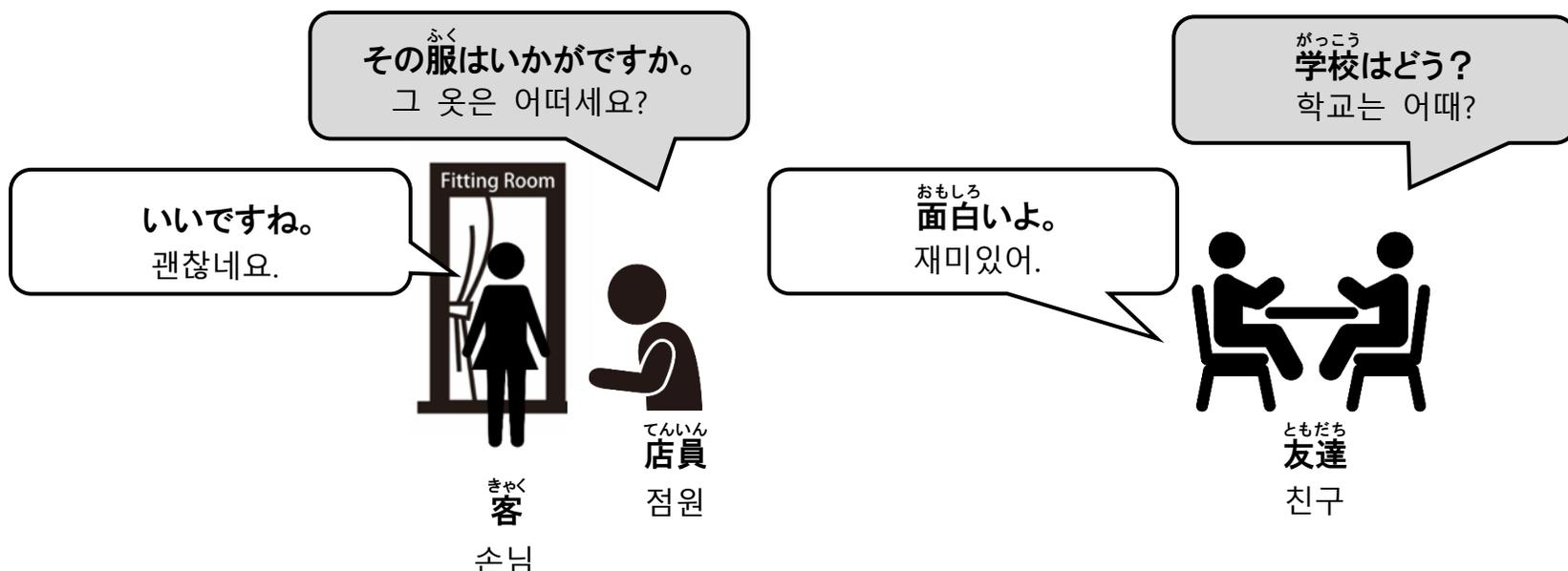
ポイント

お客様や目上の人に対しては、「Nはいかがですか」「Nはいかがでしょう」と言います。

손님이나 윗사람에게는 「Nはいかがですか」「Nはいかがでしょう」라고 말합니다.

また、家族や友人など、親しい人に対しては「Nはどう?」と言います。

또한, 가족이나 친구 등 친한 사람에게는 「Nはどう?」라고 말합니다.



N はどうですか。

にほん しごと
日本の仕事(일본의 일)

たいわん りょうり
台湾の料理(대만요리)

かんこく
韓国のコンビニ(한국의 편의점)

らいしゅう げつようび
来週の月曜日(다음주 월요일)

あさって じ
明後日の6時(내일모레 6시)

(1) A: 私は先月アメリカへ旅行に行きました。

저는 지난 달 미국으로 여행을 갔습니다.

B: アメリカの食べ物はどうですか。

미국의 음식은 어떻습니까?

A: 美味しかったです。

맛있었습니다.

ほか つか かた
他の使い方

다른 표현

「Nはどうですか」は、おすすめしたり提案したりする時にも使います。

「Nはどうですか」는 추천을 하거나 제안을 할 때도 사용합니다.

てんいん みず すく み みず
店員: (コップの水が少ないのを見て)お水はどうですか。

(컵의 물이 적은 것을 보고) 물 더 드릴까요?

きゃく ねが
客: はい、お願いします。

네. 부탁드립니다.

わたし かいがいりょこう い
私: 海外旅行に行きたいです。

해외여행을 가고 싶습니다.

ともだち たいわん
友達: 台湾はどうですか。

대만은 어떻습니까?



V ます ましょう・ませんか・ましょうか(勧誘、提案)

かんゆう ていあん



V 합니다 합시다 · 하지 않겠습니까? · 할까요? (권유, 제안)

意味

きひとたい かんゆう ていあん あらわ
聞く人に対する勧誘、提案を表す。

듣는 사람에게 권유, 제안을 나타낸다.

接続

V ます ましょう · V ます ませんか · V ます ましょうか

暗記

例文

(1) きょう よるしんじゆく えいが み い
今日の夜新宿に映画を見に行きましょう。

오늘 밤 신주쿠에 영화를 보러 갑시다.

(2) しゅうまつわたし いえ あそ き
週末私 の家に遊びに来ませんか。

주말에 우리 집에 놀러 오지 않겠습니까?

(3) 택시かえで帰らましょうか。

택시로 돌아갈까요?

ポイント

① 「V ますましょう」「ますましょうか」「V ますませんか」には勧誘・提案の意味があり、

これらは誘う人と誘われる人が一緒に何かの行動をする時に使います。

「V ますましょう」「ますましょうか」「V ますませんか」에는 권유·제안의 의미가 있으며,

이 표현들은 권유하는 사람과 권유 받는 사람이 함께 무언가 행동을 할 때 사용합니다.

多くの場合置き換えられますが、その時の状況や、話す人の気持ちによって使い分けます。

대부분의 경우 대체가 가능하지만, 그 때의 상황이나 말하는 사람의 기분에 따라 나눠서 사용합니다.

② それぞれに勧誘・提案以外の意味があり、その場合は置き換えられないので注意しましょう。

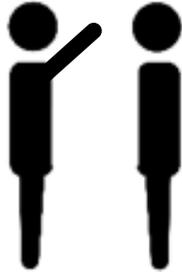
각각 권유·제안 이외의 의미도 있으며, 그 경우에는 대체가 불가능하니 주의합니다.

ましょう

積極的に自分の意志を伝えて誘う時に使います。指示の意味も含む場合があります。

적극적으로 자신의 의지를 전하며 권유할 때 사용합니다. 지시의 의미도 포함하는 경우가 있습니다.

カフェに行きましょう。
카페에 갑시다.



例: 授業を始めましょう。

수업을 시작합니다.

お酒の飲みに行きましょう。

술을 마시러 갑시다.

※主に自分の意志を表現する言い方なので、相手がそれを受け入れてくれる状況でない場合に使う

と強引な印象で失礼になる場合があるので注意しましょう。

주로 자신의 의지를 나타내는 표현으로, 상대가 그것을 받아들여 주는 상황이 아닌 경우에

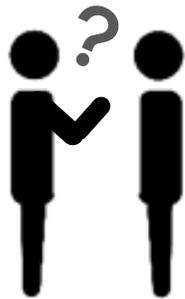
사용하면 강인한 인상을 주어 실례가 될 수 있으니 주의합니다.

ましょうか

おそらく相手も望んでいると思われることについて、相手の意見を尊重して誘う時に使います。

상대가 바라고 있다고 생각되는 것에 대해서 상대의 의견을 존중하여 권하는 경우에 사용합니다.

カフェに行きませんか。
카페에 갈까요?



例: 夜の11時ですよ。家に帰りませんか。

밤 11 시입니다. 집에 돌아갈까요?

(新しい映画に興味がある相手に)来週見に行きませんか。

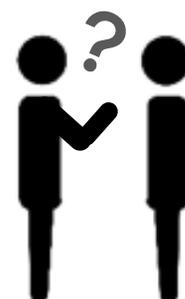
(새 영화에 관심이 있는 상대에게)다음주에 보러 갈까요?

ませんか

相手が望んでいるか望んでいないかに関係なく、相手の意見を尊重して誘う時に使います。

상대가 바라고 있는지 바라고 있지 않는지 관계없이 상대의 의견을 존중하여 권할 때 사용합니다.

カフェに行きませんか。
카페에 가지 않으실래요?



例: 明日ひまですか。私と勉強しませんか。

내일 한가하신가요? 저와 공부하지 않겠습니까?

来週私とデートしませんか。

다음주에 저와 데이트하지 않겠습니까?



① Bさん、^{こんどわたし きょうと い}今度私と京都に行きませんか。

B 씨, 이번에 저와 교토에 가지 않겠습니까?

② ^いいいですね。行きましょう。あ、^{にほん しんかんせん たか}日本の新幹線は高いですね。

좋네요. 갑시다. 아, 일본의 신칸센은 비싸죠.



③ ^いはい。バスで行きませんか。

네. 버스로 갈까요?



① Bさんの^{きも}気持ちはわからないので、^{きも かくにん}気持ちを^{つか}確認するため、「^{つか}ませんか」を使う。

B 씨의 기분은 모르기 때문에 기분을 확인하기 위해 「^{つか}ませんか」를 사용한다.

② Aさんも^{きょうと い}京都に行きたいことがわかって^{じょうきょう}いる^{つか}状況のため、「^{つか}ましよう」を使う。

A 씨도 교토에 가고 싶다는 것을 알고 있는 상황이기 때문에 「^{つか}ましよう」를 사용한다.

③ ^{のぞ}おそらくBさんも^{やす い ほうほう ていあん}望んでいる^{つか}安く行ける方法の^{つか}提案をするため、「^{つか}ましようか」を使う。

B 씨도 바라고 있는 저렴하게 갈 수 있는 방법을 제안하기 위해 「^{つか}ましようか」를 사용한다.

れんしゅう
練習 1

V ます ましよう・ましようか・ませんか。

^{どようびしょくじ}土曜日食事する (토요일에 식사하다)

^{らいげつ}来月^{ふじさん のぼ}みんなで富士山に登る(다음달 다같이 후지산을 등반한다)

^{えき}駅の^{ちか}近くの^{あた}新しい^いレストランに行く(역 근처의 새로 생긴 레스토랑에 가다)

れんしゅう
練習 2

A: ^{こんばんわたし いえ さけ の}今晚私の家でお酒を飲みませんか。

오늘밤 저의 집에서 술을 마시지 않겠습니까?

B: ^いいいですね。^の飲みましよう。/すみません。^{こんばん}今晚はちよつと…。

좋네요. 마십시다. /죄송합니다. 오늘밤은 좀….

「～はちよつと」は^{さそ}誘いを^{ことわ}断る^{とき}時によく^{つか}使う^{ひょうげん}表現です。
「～はちよつと」는 초대를 거절할 때 사용하는 표현입니다.

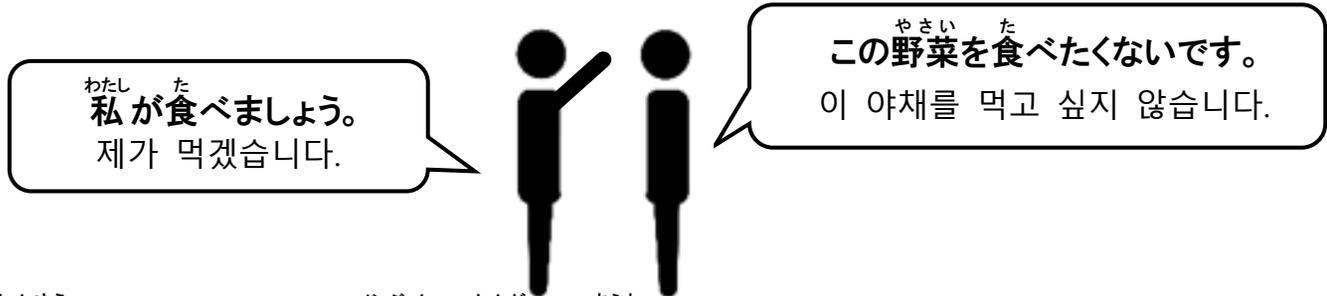
권유, 제안 이외의 사용법

「V ますましょう」「V ますませんか」「V ますましょうか」にはそれぞれ**勧誘・提案以外の意味**があります。

「V ますましょう」「V ますませんか」「V ますましょうか」에는 각각 권유·제안이외의 의미가 있습니다.

① **意志を表す時に使う「V ますましょう」**

의지를 나타낼 때 사용하는 「V ますましょう」

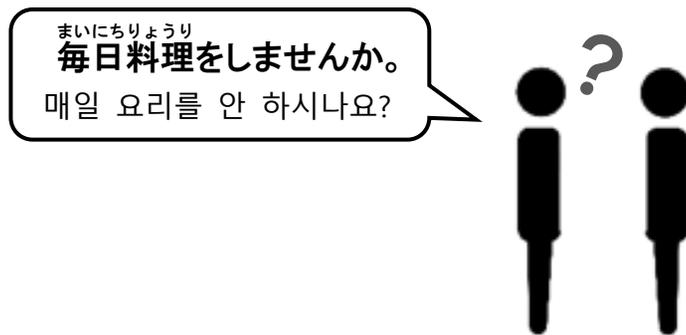


この場合、**勧誘**しているのではなく**自分の考え**を表しています。

이 경우 권유하고 있는 것이 아닌 자신의 생각을 나타내고 있습니다.

② **否定疑問文で使う「V ますませんか」**

부정 의문문에서 사용하는 「V ますませんか」



「**否定形+か**」の**形**で**疑問文**を作ることができます。

「 **부정형+か**」의 형태로 의문문을 만들 수가 있습니다.

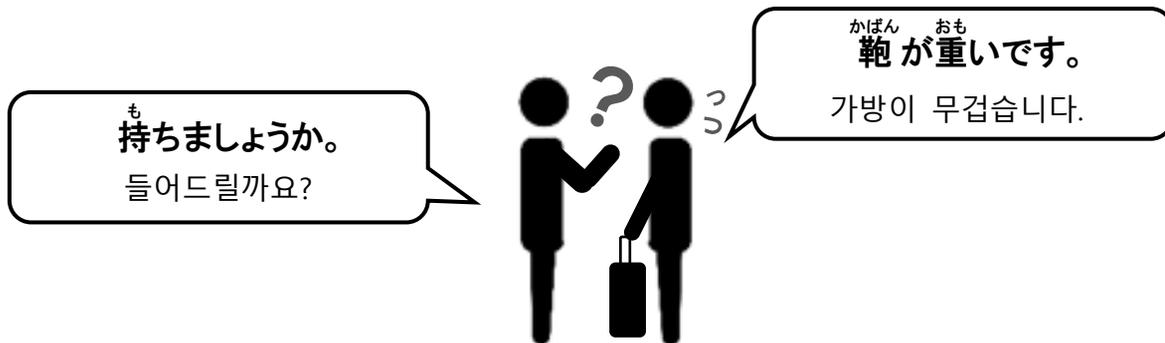
明日学校に行くかどうか聞きたい時、以下の2つの言い方ができます。

내일 학교에 가는지 안 가는지 묻고 싶을 때 아래의 두가지 표현이 가능합니다.

- ・明日学校に行きますか。 내일 학교에 갑니까?
- ・明日学校に行きませんか。 내일 학교에 가지 않습니까?

③ **申し出る時に使う「V ますましょうか」**

스스로 나설 때 사용하는 「V ますましょうか」



※この使い方は次のページで詳しく勉強します。

이 표현은 다음 페이지에서 자세하게 공부합니다.



Vます でしょうか(申し出)



V합니다 할까요? (제시)

意味

聞く人に対する申し出を表す。

듣는 사람에게 의견을 제시하는 것을 나타낸다.

接続

Vます でしょうか

暗記

例文

(1) (私が)買い物に行きましょうか。

(내가) 장보러 갈까요?

(2) (私が)ホテルを予約しましょうか。

(내가) 호텔을 예약할까요?

(3) (私が)駅まで迎えに行きましょうか。

(내가) 역까지 데리러 갈까요?

ポイント

① 前置きとして「よかったら~」「よろしければ~」など言葉と一緒に使うことが多いです。

머리말로서 「괜찮다면~」「괜찮으시다면~」 등의 표현과 같이 사용하는 경우가 많습니다.

例:よかったら、写真を撮りましょうか。 괜찮다면 사진을 찍어드릴까요?

② 申し出に対する返事は以下のような表現があります。

제시에 대한 대답은 아래와 같은 표현이 있습니다.

お願いする時 : はい、お願いします。 / ありがとうございます、お願いします。

断る時 : 大丈夫です。 / 結構です。

부탁할 때 : 네, 부탁드립니다。 / 감사합니다, 부탁드립니다。

거절할 때 : 괜찮습니다。 / 됐습니다。

※「結構です」は状況によって断り方が強く聞こえる場合があるので、

初級の段階では「大丈夫です」を使う方がいいでしょう。

「結構です」는 상황에 따라 거절이 강하게 들리는 경우가 있기 때문에

초급의 단계에서는 「大丈夫です」를 사용하는 편이 좋습니다。

れんしゅう
練習 1

V ます ましょうか。

りょうり つく
料理を作る(요리를 하다)

がっこう しょうかい
学校を紹介する(학교를 소개하다)

にほんご おし
日本語を教える(일본어를 가르치다)

れんしゅう
練習 2

A: よかったら、家まで迎えに行きましょうか。

괜찮다면 집까지 데리러 갈까요?

B: はい、お願いします。 / 大丈夫です。

네. 부탁드립니다. / 괜찮습니다.

だいじょうぶ けっこう
大丈夫です/結構です

괜찮습니다/됐습니다

こんかいべんきょう もう で たい ひつよう ひていてき かいとう ぼめん つか
今回勉強したように申し出に対して「必要ない」という否定的な回答をする場面で使われますが、
それとは逆に肯定的な意味で使われることがあるので、混乱してしまう日本語学習者が多いです。

이번에 공부한바와 같이 제시에 대한 「필요없다」라는 부정적인 대답을 하는 경우 사용하지만,

반대로 긍정적인 의미로 사용할 때도 있기 때문에 혼란스러워하는 일본어학습자도 많습니다.

こうていてき い み つか ばあい い い み つか
肯定的な意味で使われる場合は「それで良い」という意味で使われます。

긍정적인 의미로 사용하는 경우는 「그걸로 됐다」라는 의미로 사용합니다.

れい
例: A: この資料で大丈夫ですか。

だいじょうぶ
B: 大丈夫です。

이 자료로 괜찮습니까?

괜찮습니다.

A: 明日の会議は 10時でいいですか。

B: 結構です。よろしくお願いします。

내일 회의는 10 시로 괜찮습니까?

괜찮습니다. 잘 부탁드립니다.

ふた い み じょうきょう き hito かんちが
2つの意味があるため、状況によって聞く人が勘違いしてしまうことがあるので、

だいじょうぶ けっこう hitoこと あいて ほか ことば そ
「大丈夫です」「結構です」の一言だけじゃなく、相手がわかるように他の言葉を添えるといいでしょう。

두 가지의 의미가 있기 때문에 상황에 따라 듣는 사람이 착각을 할 수도 있으므로 「大丈夫です」

けっこう
「結構です」라는 한마디 뿐 아니라, 상대방이 알 수 있도록 다른 말을 덧붙이면 좋습니다.

めいし
名詞 (N)

アジア 아시아

- | | | |
|----------------------------------|-------|-------|
| <input type="checkbox"/> 中国 | ちゅうごく | 중국 |
| <input type="checkbox"/> 韓国 | かんこく | 한국 |
| <input type="checkbox"/> 台湾 | たいわん | 대만 |
| <input type="checkbox"/> 香港 | ほんこん | 홍콩 |
| <input type="checkbox"/> モンゴル | | 몽골 |
| <input type="checkbox"/> ベトナム | | 베트남 |
| <input type="checkbox"/> タイ | | 태국 |
| <input type="checkbox"/> ミャンマー | | 미얀마 |
| <input type="checkbox"/> カンボジア | | 캄보디아 |
| <input type="checkbox"/> マレーシア | | 말레이시아 |
| <input type="checkbox"/> シンガポール | | 싱가포르 |
| <input type="checkbox"/> インドネシア | | 인도네시아 |
| <input type="checkbox"/> フィリピン | | 필리핀 |
| <input type="checkbox"/> ネパール | | 네팔 |
| <input type="checkbox"/> インド | | 인도 |
| <input type="checkbox"/> バングラデシュ | | 방글라데시 |
| <input type="checkbox"/> スリランカ | | 스리랑카 |

ヨーロッパ 유럽

- | | | |
|-------------------------------|--|------|
| <input type="checkbox"/> イギリス | | 영국 |
| <input type="checkbox"/> フランス | | 프랑스 |
| <input type="checkbox"/> ドイツ | | 독일 |
| <input type="checkbox"/> スペイン | | 스페인 |
| <input type="checkbox"/> イタリア | | 이탈리아 |
| <input type="checkbox"/> ロシア | | 러시아 |

めいし
名詞 (N)

きた
北アメリカ 북아메리카

- | | | |
|-------------------------------|--|-----|
| <input type="checkbox"/> アメリカ | | 미국 |
| <input type="checkbox"/> カナダ | | 캐나다 |
| <input type="checkbox"/> メキシコ | | 멕시코 |

みなみ
南アメリカ 남아메리카

- | | | |
|---------------------------------|--|-------|
| <input type="checkbox"/> ブラジル | | 브라질 |
| <input type="checkbox"/> アルゼンチン | | 아르헨티나 |
| <input type="checkbox"/> チリ | | 칠레 |

ちゅうとう
中東・アフリ카 중동・아프리카

- | | | |
|----------------------------------|--|---------|
| <input type="checkbox"/> トルコ | | 터키 |
| <input type="checkbox"/> エジプト | | 이집트 |
| <input type="checkbox"/> サウジアラビア | | 사우디아라비아 |

オセアニア 오세아니아

- | | | |
|-----------------------------------|--|---------|
| <input type="checkbox"/> オーストラリア | | 오스트레일리아 |
| <input type="checkbox"/> ニュージーランド | | 뉴질랜드 |

※この国の一覧は、日本語学習者の数が多い国を地域別に並べたものです。

여기에 적합한 나라 리스트는 일본어 학습자 수가 많은 나라를 지역별로 나열하였습니다.

くに なまえ
国の名前

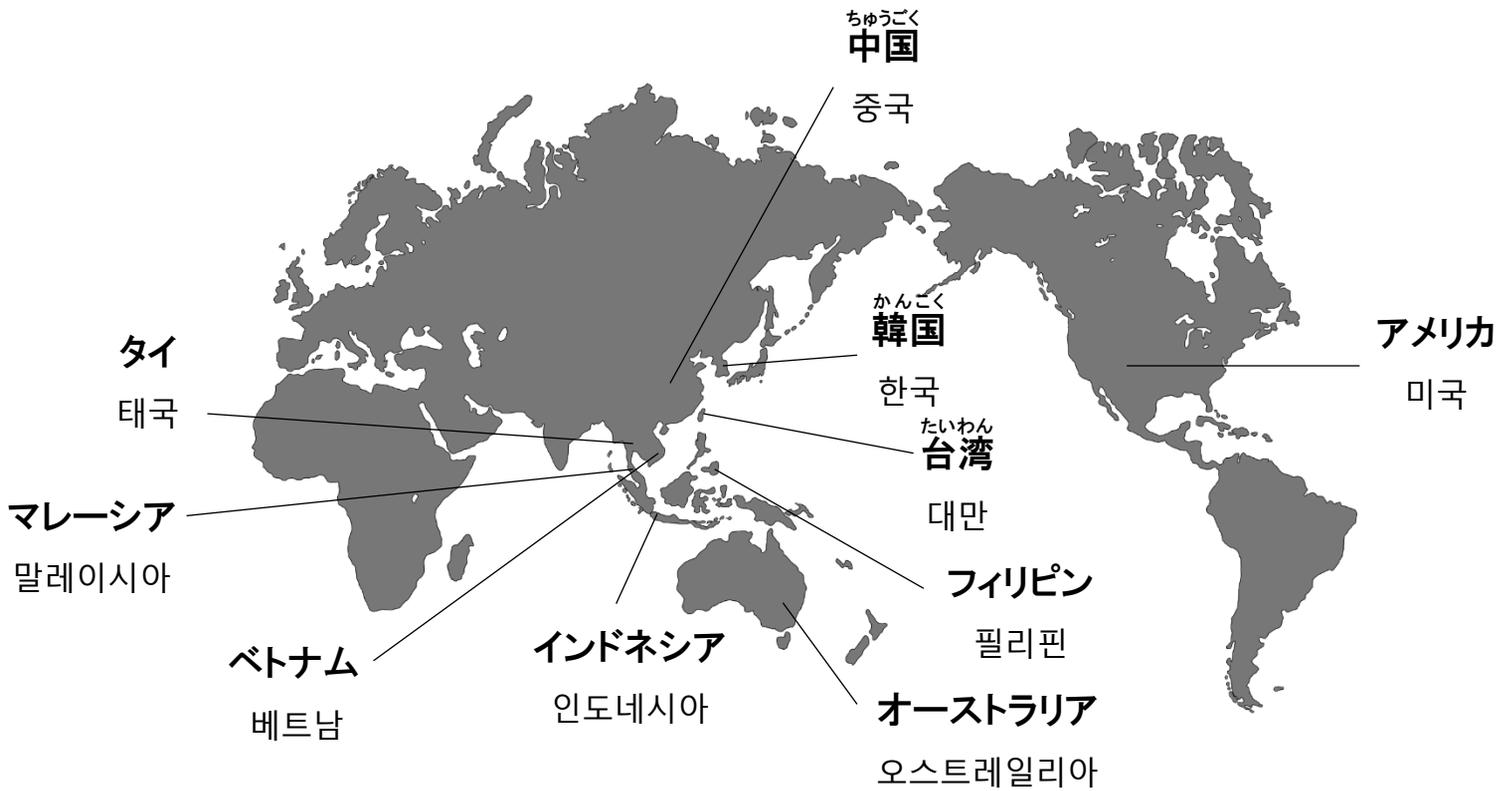
나라명

日本語は140 か国以上の国で学ばれ、日本語を勉強している人は世界に400万人近くいるといわれています。特にどの国の学習者が多いのでしょうか。

일본어는 140 개국 이상의 나라에서 배우고 있으며, 일본어를 공부하는 사람은 세계에서 400 만 명 가까이 있습니다. 그중에서도 어떤 나라에 학습자가 많을까요?

日本語学習者が多い国トップ10

일본어 학습자가 많은 나라 탑 10



その他の日本語学習者が多い国 그 외 일본어 학습자가 많은 나라

インド	인도	シンガポール	싱가포르
ミャンマー	미얀마	ロシア	러시아
ニュージーランド	뉴질랜드	モンゴル	몽골
ブラジル	브라질	スペイン	스페인
ほんこん 香港	홍콩	スリランカ	스리랑카
フランス	프랑스	イタリア	이탈리아
イギリス	영국	カンボジア	캄보디아
カナダ	캐나다	ネパール	네팔
ドイツ	독일	アルゼンチン	아르헨티나
メキシコ	멕시코	バングラデシュ	방글라데시



ぎもんし 疑問詞+か



의문사+か

意味

ふとくてい たいしょう とき ばしょ あらわ
不特定の対象や時、場所を表す。

불특정 대상이나 시간, 장소를 나타냅니다.

接続

ぎもんし じょし
疑問詞+か+(助詞)

()の中の助詞は省略できます。

() 안에 조사는 생략할 수 있습니다.

暗記

例文

(1) 誕生日に何か(を)もらいましたか。

생일에 무언가(를) 받았습니까?

(2) 教室に誰か(が)いますか。

교실에 누군가(가) 있습니까?

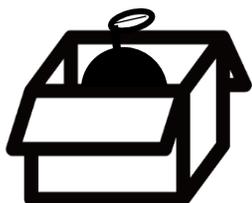
(3) 週末一緒にどこか(に/へ)行きましょう。

주말에 함께 어딘가(에/로) 갑시다.

ポイント

① 「疑問詞+か」は不特定の物事を言う時に使います。

「의문사+か」는 불특정한 모든 것을 말할 때 사용합니다.



箱の中にりんごがあります。

상자 안에 사과가 있습니다.



箱の中に何か(が)あります。

상자 안에 무언가(가) 있습니다.

箱の中にもものがあることは確かですが、それが何かわからないという状況です。

상자 안에 사물이 있는 것은 확실하지만, 그것이 무엇인지 모르는 상황입니다.

② 「疑問詞+か」を使った疑問文では、「はい」か「いいえ」で答えます。

「의문사+か」를 사용한 의문문에서는 「네」 혹은 「아니요」로 대답합니다.

例 Q: 教室に誰か(が)いますか。

A: はい、います。/いいえ、いません。

교실에 누군가(가) 있습니까?

네, 있습니다./아니요, 없습니다.

Q: 明日どこか(に/へ)行きませんか。

A: はい、行きます。/いいえ、行きません。

내일 어딘가(에/로) 갑니까?

네, 갑니다./아니요, 안 갑니다.

れんしゅう
練習 1

なに だれ 何/誰/どこ/いつ か (助詞) V。

※「いつか」には時間を表す助詞「に」などは使いません。
「いつか」에는 시간을 나타내는 조사「に」는 사용하지 않습니다.

- なに 何(무엇) --- ある(있다)/食べる(먹다)/あげる(주다)
- だれ 誰(누구) --- いる(있다)/会う(만나다)/話す(이야기하다)
- どこ(어디) --- 行く(가다)/旅行する(여행하다)/休む(쉬다)
- いつ(언제) --- 留学する(유학하다)/国に帰る(귀국하다)/引越する(이사하다)

れんしゅう
練習 2

A: 春休みにどこか(に/へ)行きますか。

봄 방학에 어딘가(에/로) 갑니까?

B: はい、京都に行きます。/いいえ、行きません。

네, 교토에 갑니다./아니요 안 갑니다.

※「どこかに行きますか」と聞かれているので、「はい」か「いいえ」と答えれば十分ですが、
質問者は具体的にどこに行くか知りたいのが通常ですので、「はい、〇〇に行きます」と答える方が自然です。
「어딘 가에 갑니까?」라고 질문을 받았기 때문에 「네」 혹은 「아니요」로 대답해도 충분하지만, 질문자는 구체적으로 어디에 가는지 알고 싶은 것이 일반적이므로 「네, 〇〇에 갑니다」라고 대답하는 것이 자연스럽습니다.

じょし しょうりやく
助詞の省略

조사의 생략

助詞「が」「を」、方向や到着点を表す「に/へ」は省略できますが、その他の助詞は省略できません。

조사 「가」「을」, 방향이나 도착점을 나타내는 「に/へ」는 생략할 수 있지만, 그 외 조사는 생략할 수 없습니다.

じょし しょうりやく
助詞が省略できる例

조사를 생략할 수 있는 예

- 誰か(が)います。 누군가(가) 있습니다.
- 何か(を)食べたいです。 무언가(를) 먹고 싶습니다.
- どこか(に/へ)行きます。 어딘가(에/로) 갑니다.

じょし しょうりやく
助詞が省略できない例

조사를 생략할 수 없는 예

- 誰かに会います 누군가를 만납니다.
- どこかで勉強します。 어딘가에서 공부합니다.



ぎもんし 疑問詞も～ません



의문사도～ない

意味

たいしょう ばしょ かんぜん あらわ
対象や場所などが完全にないことを表す。

대상이나 장소 등이 완전히 없는 것을 나타낸다.

接続

ぎもんし じょし
疑問詞+(助詞)+も～ません

暗記

例文

れいぞうこ なか た もの なに
(1) 冷蔵庫の中に食べ物が何もありません。

냉장고 안에 먹을 것이 아무것도 없습니다.

(2) パーティーに誰も来ませんでした。

파티에 아무도 오지 않았습니다.

(3) 先週末どこ(に/へ)も遊びに行きませんでした。

지난 주말 어디(에/로)도 놀러 가지 않았습니다.

ポイント

① 「疑問詞も」の後ろは否定文になります。

「의문사도」의 뒤는 부정문이 됩니다.

② 疑問詞の後ろの助詞に注意しましょう。

의문사 뒤의 조사에 주의합니다.

・ 方向や到着点を表す助詞「に/へ」：省略してもしなくてもどちらでもいい

방향이나 도착점을 나타내는 조사「に/へ」：생략을 해도, 안 해도 괜찮다.

・ 「が」「を」：必ず省略する

「が」「を」：반드시 생략한다.

例：どこ(に/へ)も行きません。

어디(에/로)도 가지 않습니다.

誰 ~~が~~ もいません。

누구 ~~가~~ 도 없습니다.

何 ~~を~~ も食べません。

※その他の助詞は省略できません。

무엇 ~~을~~ 도 먹지 않습니다.

이 외 조사는 생략할 수 없습니다.

れんしゅう
練習 1

なに だれ
何/誰/どこ

(助詞) も V ません。

なに
何(무엇) ---あげる(주다)/わかる(알다)/買う(사다)

だれ
誰(누구) ---来る(오다)/話す(이야기하다)/会う(만나다)

どこ(어디) ---ある(있다)/いる(있다)/旅行に行く(여행가다)

れんしゅう
練習 2

A: いまいえ だれ
A: 今家に誰か(가)いますか。

지금 집에 누군가(가) 있습니까?

B: はい、つま
B: はい、妻(가)います。/いいえ、だれ
誰もいません。

네, 아내가 있습니다./아니요 아무도 없습니다.

ぎもんし
疑問詞いつ+も

의문사いつ+も

「いつ」も疑問詞ですが、「いつも」は「常に、毎回」の意味を表す副詞として使われます。

今回の文法とは異なり、後ろが肯定文でも否定文でも使うことができます。

「いつ」도 의문사이지만, 「いつも」는 「평소, 매번」이라는 의미를 나타내는 부사로서 사용됩니다.

이번 문법과는 다르며, 긍정문과 부정문 모두에 사용할 수 있습니다.

れい かれ ちこく
例: 彼はいつも遅刻します。 그는 항상 지각합니다.

わたし なつやす りょこう
私は夏休みにいつも旅行します。 저는 여름휴가 때 항상 여행합니다.

かれ
彼はいつも朝ご飯を食べません。 그는 항상 아침을 먹지 않습니다.



ぎもんし 疑問詞+でも



의문사+でも

意味

もの、ひと、とき、ばしょ、かずなどの制限しないことを表す。

사물, 사람, 시간, 장소, 수 등을 제한하지 않는 것을 나타낸다.

接続

ぎもんし 疑問詞+でも/どのN+でも/どんなN+でも/何+助数詞+でも

暗記

例文

(1) A:何を食^{なに た}べたいですか。

무엇을 먹고 싶습니까?

B:何でも^{なん}いいです。

무엇이든/아무거나 괜찮습니다.

(2) A:どこ^いに行きたいですか。

어디에 가고 싶습니까?

B:どこ^いでもいいです。

어디라도 좋습니다.

(3) A:何時^{なんじ}から一緒に勉強^{いっしょ べんきょう}しますか。 B:何時^{なんじ}でもいいです。

몇 시부터 함께 공부할까요?

몇 시라도 괜찮습니다.

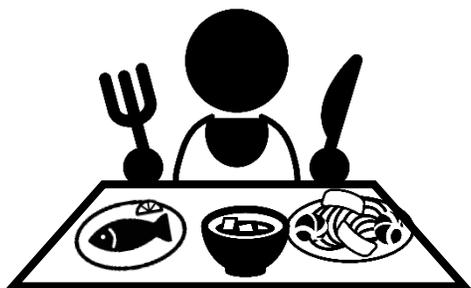
ポイント

「疑問詞+でも」の文は全面的に肯定する表現のため、肯定文になります。

「疑問詞+も~ない」が必ず否定文になることと比較して覚えましょう。

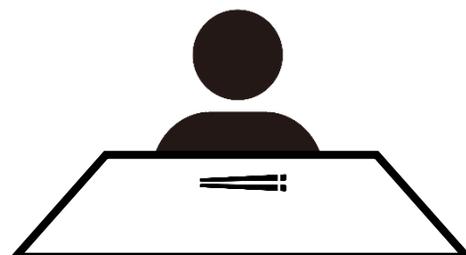
「의문사+でも」 문장은 전체적으로 긍정하는 표현이기 때문에 긍정문이 됩니다.

「의문사+も~ない」가 반드시 부정문이 된다는 것과 비교하며 외웁시다.



なん 何でも た 食べます。

무엇이든/아무거나 먹습니다.



なに 何も た 食べません。

아무것도 먹지 않습니다.

※上の例のように「疑問詞+でも」の後ろは「いいです」以外の様々な単語を使うことができますが、

今回はよく使う「疑問詞+でもいいです」の形で練習します。

위 예시와 같이 「의문사+でも」의 뒤에는 「いいです」 이외의 여러가지 단어를 사용할 수 있지만,

이번에는 자주 사용하는 「의문사+でもいいです」의 형태로 연습합니다.

れんしゅう
練習 1

ぎもんし 疑問詞 / どの N / どのな N / なん じよすうし 何 + 助数詞 でもいいです。

ぎもんし 疑問詞 --- なん (무엇) / だれ (누구) / どこ (어디) / いつ (언제)

どの N --- どのペン (어느 펜) / どのパソコン (어느 컴퓨터) / どの会社 (어느 회사)

どのな N --- どのなプレゼント (어떤 선물) / どのな服 (어떤 옷) / どのな靴 (어떤 신발)

なん じよすうし 何 + 助数詞 --- なん こ (몇 개) / なん さつ (몇 권) / なん さい (몇 살)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 何時がいいですか。

몇 시가 좋습니까?

B: 何時でもいいです。

몇 시라도 좋습니다.

どちら... 二つからどちらを**えら**ぶときに**つか**います。
どちら... 두 가지 중 어느 쪽을 선택할 때 사용합니다.

(2) A: 赤と青と緑、どれがいいですか? / 赤と青、どちらがいいですか?

빨강과 파랑과 초록, 어느 것이 좋습니까? / 빨강과 파랑, 어느 쪽이 좋습니까?

B: どれでもいいです。/どちらでもいいです。

어느 것이든 좋습니다。/ 어느 쪽이든 좋습니다。

(3) A: 映画館に映画を見に行きませんか。

영화관에 영화를 보러 가지 않겠습니까?

B: いいですね。行きましょう。どんな映画が見たいですか。

좋네요. 갑시다. 어떤 영화가 보고 싶습니까?

A: どんな映画でもいいです。

어떤 영화라도 좋습니다。

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 箱	はこ	상자
<input type="checkbox"/> ケース		케이스
<input type="checkbox"/> 夫*	おっと	남편
<input type="checkbox"/> 妻*	つま	아내
<input type="checkbox"/> ご主人*	ごしゅじん	남편
<input type="checkbox"/> 奥さん*	おくさん	아내
<input type="checkbox"/> 肉	にく	고기
<input type="checkbox"/> 牛肉	ぎゅうにく	소고기
<input type="checkbox"/> 豚肉	ぶたにく	돼지고기
<input type="checkbox"/> 鶏肉	とりにく	닭고기
<input type="checkbox"/> 魚	さかな	생선
<input type="checkbox"/> 卵	たまご	달걀
<input type="checkbox"/> 納豆	なっとう	натто
<input type="checkbox"/> 野菜	やさい	야채
<input type="checkbox"/> キムチ		김치
<input type="checkbox"/> 果物	くだもの	과일
<input type="checkbox"/> りんご		사과
<input type="checkbox"/> みかん		귤
<input type="checkbox"/> ぶどう		포도
<input type="checkbox"/> いちご		딸기
<input type="checkbox"/> バナナ		바나나
<input type="checkbox"/> レモン		레몬
<input type="checkbox"/> サンドイッチ		샌드위치
<input type="checkbox"/> おにぎり		주먹밥

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> ラーメン		라면
<input type="checkbox"/> うどん		우동
<input type="checkbox"/> そば		소바
<input type="checkbox"/> てんぷら		튀김
<input type="checkbox"/> さしみ		회
<input type="checkbox"/> パスタ		파스타
<input type="checkbox"/> チャーハン		볶음밥
<input type="checkbox"/> カレーライス		카레라이스
<input type="checkbox"/> ハンバーグ		햄버그
<input type="checkbox"/> 餃子	ぎょうざ	만두
<input type="checkbox"/> ピザ		피자
<input type="checkbox"/> 砂糖	さとう	설탕
<input type="checkbox"/> 塩	しお	소금
<input type="checkbox"/> 醤油	しょうゆ	간장

※ 「夫」「妻」は他の人に自分の家族のことを話す時の呼び方で、「ご主人」「奥さん」は他の人の家族の呼び方です。
「夫」「妻」는 다른 사람에게 자신의 가족을 말할 때 쓰는 호칭이며, 「ご主人」「奥さん」은 다른 사람의 가족을 말할 때 쓰는 호칭입니다.

ぎもんし
疑問詞まとめ

의문사 정리

ぎもんし なに だれ ぎもん あらわ ことば おも あいて しつもん つか
疑問詞とは「何」「誰」「どこ」などの疑問を表す言葉のことで、主に相手に質問するときに使います。

의문사란 「무엇」「누구」「어디」 등의 의문을 나타내는 말로서, 주로 상대방에게 질문할 때 사용합니다.

いま べんきょう ぎもんし ふくしゅう
今まで勉強した疑問詞を復習しましょう。

지금까지 공부한 의문사를 복습해 봅시다.

なに 何	무엇	Q: <u>それは何</u> ですか。 A: <u>これはペン</u> です。	그것은 무엇입니까? 이것은 펜입니다.
なん じょすうし 何+助数詞	몇+조수사	Q: <u>りんごが何個</u> ありますか。 A: <u>3個</u> あります。	사과가 몇 개 있습니까? 3 개 있습니다.
どのぐらい	어느 정도	Q: <u>どのぐらい</u> お酒を飲みましたか。 A: <u>2杯</u> 飲みました。	어느 정도/얼마나 술을 마셨습니까? 2 잔 마셨습니다.
いくら	얼마	Q: <u>これはいくら</u> ですか。 A: <u>100円</u> です。	이것은 얼마입니까? 100 엔입니다.
だれ 誰	누구	Q: <u>あの人は誰</u> ですか。 A: <u>田中さん</u> です。	저 사람은 누구입니까? 다나카씨입니다.
いつ	언제	Q: <u>誕生日はいつ</u> ですか。 A: <u>10月10日</u> です。	생일은 언제입니까? 10 월 10 일입니다.
どこ	어디	Q: <u>トイレはどこ</u> ですか。 A: <u>あそこ</u> です。	화장실은 어디입니까? 저기입니다.
どれ	어느 것	Q: <u>先生のペン</u> は <u>どれ</u> ですか。 A: <u>これ</u> です。	선생님의 펜은 어느 것입니까? 이것입니다.
どのN	어느 N	Q: <u>どの教科書</u> が <u>先生の</u> ですか。 A: <u>この教科書</u> です。	어느 교과서가 선생님의 것 입니까? 이 교과서입니다.
どちら	어느 쪽	Q: A と B、 <u>どちら</u> がいいですか。 A: <u>A</u> がいいです。	A 와 B, 어느 쪽이 좋습니까? A 가 좋습니다.
どんなN	어떤 N	Q: <u>どんな料理</u> が <u>好き</u> ですか。 A: <u>日本料理</u> が <u>好き</u> です。	어떤 요리를 좋아합니까? 일본요리를 좋아합니다.
どうやって	어떻게	Q: <u>どうやって</u> <u>学校へ</u> 行きますか。 A: <u>電車</u> で行きます。	어떻게 학교에 갑니까? 전차로 갑니다.



どうし 動詞 (V) のて形



동사(V)의 て형

「て形」とは動詞の活用形の一つで、「食べて」「飲んで」「来て」など「て」または「で」の形で終わるものです。

この活用形は日本語のさまざまな文法で使われるため、しっかりと理解しましょう。

「て形」이란 동사의 활용형 중 하나로서 「食べて」「飲んで」「来て」 등 「て」 또는 「で」의 형태로 끝나는 것입니다.

이 활용형은 일본어의 다양한 문법에서 사용되므로 정확하게 이해합시다.

「て形」を使う文法

「て形」을 사용하는 문법

以下は N5~N4 で学習する「て形」を使った文法の一部です。

아래는 N5~N4 에서 학습하는 「て형」을 사용한 문법의 일부입니다.

文法 文법	意味 의미	例文 예문
~てください	~해 주세요	窓を開けてください 창문을 열어주세요
~て	~하고/해	ご飯を食べて、寝ます 밥을 먹고 잡니다
~ている	~하고 있다	勉強しています 공부하고 있습니다
~てあげる	~해 주다	日本語を教えてください 일본어를 가르쳐 주겠습니다
~てほしい	~해 주면 좋겠다	日本語を教えてください 일본어는 가르쳐 주면 좋겠습니다.
~てしまう	~해 버렸다	時計が壊れてしまいました 시계가 고장나 버렸습니다
~ているところ	~하던 중이다	料理を作っているところです 요리를 만들고 있던 중입니다
~てばかり	~하기만 하다	遊んでばかりいます 놀이만 하고 있습니다
~てはいけない	~해서는 안된다	ここに入っははいけません 이 곳에 들어가면 안됩니다
~てもいい	~해도 된다	ここで食べてもいいです 이 곳에서 먹어도 됩니다
~ても	~해도	雨が降っても行きます 비가 와도 가겠습니다

多くの日本語学習者は「て形」を勉強する理由がわからず、理解しないまま先に進んでしまうことが多いです。

上の表からもわかるように「て形」は多くの文法に使われているので、確実に覚えなければいけません。

많은 일본어 학습자들은 「て형」을 공부하는 이유를 모르고, 이해하지 못한 채 넘어가 버리는 경우가 많습니다.

위 표에서 알 수 있듯이 「て형」은 많은 문법에 사용되므로 확실하게 외워야 합니다.

「た形」

動詞の「た形」は「食べた」「飲んだ」「来た」など「た」または「だ」の形で終わる活用形です。「た形」も使った文法

もたくさんあります。「た形」は「て形」の「て/で」を「た/だ」に変えるだけなので「て形」を理解していれば難しくな

いので、まずは「て形」のルールをしっかりと覚えましょう。

동사 「た형」은 「食べた」「飲んだ」「来た」 등 「た」 또는 「だ」의 형태로 끝나는 활용형입니다. 「た형」을 사용한 문법도

매우 많습니다. 「た형」은 「て형」의 「て/で」를 「た/だ」로 바꾸기만 할 뿐이기 때문에 「て형」을 이해하고 있다면 어렵지

않으므로 먼저 「て형」의 규칙을 확실하게 외웁시다.

例: 食べる → 食べて(て形) → 食べた(た形)

飲む → 飲んで(て形) → 飲んだ(た形)

動詞のグループ

동사 그룹

「て形」の作り方を覚えるには、「動詞のグループ」を理解しなければいけないので、復習しましょう。

「て形」으로 만드는 법을 외우기 위해서는 「동사 그룹」을 이해해야 하기 때문에 복습해 봅시다.

I 그룹

II 그룹、III 그룹以外の動詞 2 그룹, 3 그룹 외의 동사

例: 話す(이야기하다)、飲む(마시다)、書く(쓰다)、読む(읽다)、聞く(듣다) など

II 그룹

「-iる」/「-eる」の動詞 「-iる」/「-eる」인 동사

「る」の前が「i段」の動詞、「る」の前が「e段」の動詞がIIグループです。

「る」의 앞이 「i 단」「e 단」인 동사가 2 그룹입니다.

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	a
	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い		i ⇒ 例: <u>い</u> る、 <u>着</u> る、 <u>起</u> きる、 <u>見</u> る、 <u>借</u> りる
	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う		u
	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え		e ⇒ 例: <u>教</u> える、 <u>食</u> べる、 <u>出</u> る、 <u>入</u> れる など
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	o

※上記のルールに当てはまっても I グループに分類される例外の動詞もあります。

위의 규칙에 부합하지만 1 그룹으로 분류되는 예외 동사도 있습니다.

例: 入る(들어가다)、走る(달리다)、切る(자르다)、知る(알다)、帰る(돌아가다) など

III 그룹

「する」「来る」の2つだけ 「する」「来る」 두가지 뿐

※「N+する」の動詞もIIIグループに分けられます。

「N+する」 동사도 3 그룹으로 분류됩니다.

例: 勉強する(공부하다)、買い物する(쇼핑하다)、掃除する(청소하다)、洗濯する(빨래하다)

Iグループの動詞はて形の作り方が複雑です。先にIIグループとIIIグループの作り方を覚えましょう。

1 그룹 동사는 て형을 만드는 방법이 복잡합니다. 먼저 2 그룹과 3 그룹으로 만드는 방법을 외웁시다.

IIグループ	IIIグループ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> -いる -える </div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> -い て -e て </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> する </div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> して </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> くる </div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 来て </div>

IIグループ 辞書形の最後の1文字の「る」を「て」に換える。

기본형의 마지막 한 글자 「る」를 「て」로 바꾼다.

例: 見る → 見て 食べる → 食べて
 着る → 着て 覚える → 覚えて

IIIグループ 「する」→「して」「来る」→「来て」

Iグループ		
___う	___ぶ	___く + いて
___う + って	___む + んで	___ぐ + いで
___る	___ぬ	___ず + して
※例外 (예외) 行く → 行って		

Iグループ 辞書形の最後の1文字によって異なります。

기본형의 마지막 한 글자에 따라 다릅니다.

例: 会う → 会って 遊ぶ → 遊んで 聞く → 聞いて
 立つ → 立って 読む → 読んで 脱ぐ → 脱いで
 頑張る → 頑張って 死ぬ → 死んで 消す → 消して

(1) IIグループ

^{おぼ}**覚える**(외우다) ⇒ _____

あげる(주다) ⇒ _____

^{しら}**調べる**(조사하다) ⇒ _____

^お**起きる**(일어나다) ⇒ _____

(2) IIIグループ

^く**来る**(오다) ⇒ _____

する(하다) ⇒ _____

^{べんきょう}**勉強する**(공부하다) ⇒ _____

^{りょこう}**旅行する**(여행하다) ⇒ _____

(3) Iグループ

^{かえ}**帰る**(돌아가다) ⇒ _____

^{はな}**話す**(이야기하다) ⇒ _____

^い**言う**(말하다) ⇒ _____

^か**書く**(쓰다) ⇒ _____

^か**買う**(사다) ⇒ _____

^{およ}**泳ぐ**(헤엄치다) ⇒ _____

^{のぼ}**登る**(오르다) ⇒ _____

^{はたら}**働く**(일하다) ⇒ _____

^{はい}**入る**(들어가다) ⇒ _____

^と**飛ぶ**(날다) ⇒ _____

^{すす}**進む**(나아가다) ⇒ _____

^{あそ}**遊ぶ**(놀다) ⇒ _____

^あ**会う**(만나다) ⇒ _____

^た**立つ**(일어서다) ⇒ _____

^し**死ぬ**(죽다) ⇒ _____

^の**飲む**(마시다) ⇒ _____

^の**乗る**(타다) ⇒ _____

^{ある}**歩く**(걸다) ⇒ _____

^{やす}**休む**(쉬다) ⇒ _____

おろす(내리다) ⇒ _____

わかる(알다) ⇒ _____

^{はら}**払う**(지불하다) ⇒ _____



V てください

V 해 주세요



意味

なに 何かをしてもらうための指示、依頼、お勧めなど。

무언가를 하게 하기 위한 지시, 의뢰, 권유 등

接続

V てください

暗記

例文

(1) **皆さん立ってください。**

모두 일어서 주십시오.

(2) **すみませんが、窓を開けてください。**

죄송하지만, 창문 좀 닫아 주세요.

(3) **どうぞ、座ってください。**

어서 앉으세요.

ポイント

主に3つの使い方があります。 주로 세 가지 사용법이 있습니다.

- ・ **指示** (지시) ... **目上の人**が**目下の人**に**指示**する。윗사람이 아랫사람에게 지시한다.
- ・ **依頼** (의뢰) ... **相手**に**お願い**をする。상대방에게 부탁을 한다.
- ・ **勧め** (권유) ... **相手**に**お勧め**する。상대방에게 권유한다.

状況によっては、聞く人が指示されたように感じて嫌な気持ちになる場合があるので、

「すみませんが」「どうぞ」などの言葉と一緒に使うことが大切です。

상황에 따라서는 듣는 사람이 지시 받은 것처럼 느껴 불쾌해질 수도 있기 때문에 「すみませんが」「どうぞ」 등의 표현과 함께 사용하는 것이 중요합니다.

すみませんが、**座**ってください。(依頼)

죄송하지만, 앉아주세요. (의뢰)

どうぞ、**座**ってください。(勧め)

어서 앉으세요. (권유)



れんしゅう
練習 1

(1) **Vて** ください。(指示) (지시)

宿題を出す(숙제를 내다)/日本語で話す(일본어로 말하다)/電車に乗る(전차에 타다)

タクシーを呼ぶ(택시를 부르다)/単語を覚える(단어를 외우다)/右に曲がる(오른쪽으로 돌다)

まっすぐ進む(직진하다)/5時まで働く(5 시까지 일하다)

(2) すみませんが、**Vて** ください。(依頼) (의뢰)

手伝う(돕다)/ドアを閉める(문을 닫다)/窓を開ける(창문을 열다)/塩を取る(소금을 집다)

教科書を貸す(교과서를 빌려주다)/もう一度言う(한번 더 말하다)/意味を教える(의미를 알려주다)

(3) どうぞ、**Vて** ください。(勧め) (권유)

お菓子を食べる(과자를 먹다)/ジュースを飲む(주스를 마시다)/私のペンを使う(내 펜을 쓰다)

部屋で休む(방에서 쉬다)/ソファに座る(소파에 앉다)/私に質問する(나에게 질문하다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: すみませんが、コピーしてください。(依頼)

죄송하지만, 복사 좀 해주세요. (의뢰)

B: はい、わかりました。/はい、いいですよ。

네, 알겠습니다. /네, 알겠어요.

(2) A: どうぞ、休んでください。(勧め)

그럼 쉬십시오. (권유)

B: ありがとうございます。

감사합니다.

はいりょ
配慮

배려

「Vてください」は「指示」「依頼」「勧め」以外に、相手に配慮する場面で使うことができます。

これらの表現はそのまま暗記するといいでしょ。

「V 해주세요」는 「지시」「의뢰」「권유」 외에 상대방을 배려하는 상황에서 사용할 수 있습니다.

이러한 표현은 그대로 암기하면 좋습니다.

例: 頑張ってください

힘내세요

気を付けてください

조심하세요



Vて~, Vて~

V 하고~, V 하고~



意味

^{じゆん} ^お ^{どうさ} ^{あらわ}
順に起こる動作を表す。

순서대로 일어나는 동작을 나타냅니다.

接続

V て、V て

暗記

例文

(1) ^{かお} ^{あら} ^は ^{みが}
顔を洗って、歯を磨きます。

세수를 하고 이를 닦습니다.

(2) ^{いえ} ^{かえ} ^{べんきょう}
家に帰って、勉強します。

집에 돌아가서 공부를 합니다.

(3) ^{とうきょう} ^い ^{ともだち} ^あ ^{しょくじ}
東京に行って、友達に会って、食事しました。

도쿄에 가서 친구를 만나고 식사했습니다.

ポイント

① ^{ふた} ^{いじょう} ^{ぶん} ^{つな}
2つ以上の文を繋ぐことができます。 두 개 이상의 문장을 연결할 수 있습니다.

例: 「^{れい} ^{ゆうしょく} ^た ^は ^{みが} ^ね
夕食を食べます」(저녁을 먹습니다) + 「^は ^{みが} ^ね
歯を磨きます(이를 닦습니다)」 + 「^ね
寝ます(잡니다)」

→ ^{ゆうしょく} ^た ^は ^{みが} ^ね
夕食を食べて、歯を磨いて、寝ます。

저녁을 먹고, 이를 닦고, 잡니다.

② ^{どうさ} ^{じゆんじょ} ^{きょうちょう} ^{ばあい} ^{つか}
動作の順序を強調する場合は、「V てから」を使うことができますが、

「V てから」は一文に一度しか使えません。

동작의 순서를 강조하는 경우 「V てから」를 사용할 수 있지만,

「V てから」는 한 문장에 한 번 밖에 사용할 수 없습니다.

例: ^{しょくじ} ^{べんきょう} ^ね
食事してから、勉強してから、寝ます。



식사하고나서, 공부하고나서 잡니다.



^{しょくじ} ^{べんきょう} ^ね
食事してから、勉強して、寝ます。

^{しょくじ} ^{べんきょう} ^ね
食事して、勉強してから、寝ます。

^{しょくじ} ^{べんきょう} ^ね
食事して、勉強して、寝ます。

れんしゅう
練習 1

(1) V て、 V ます/V ました。

あきはばら い 秋葉原に行く(아키하바라에 가다)/ あた新しいパソコンをか買う(새 컴퓨터를 사다)

からだ あら 体を洗う(몸을 씻다)/ ふる はいお風呂に入る(목욕을 하다)

(2) V て、 V て、 V ます/V ました。

としょかん べんきょう図書館で勉強する(도서관에서 공부하다)/ か もの買い物する(쇼핑하다) / いえ かえ家に帰る(집에 돌아가다)

シャワーをあ浴びる(샤워를 하다)/ あさ はん た朝ご飯を食べる(아침밥을 먹다) / かいしゃ い会社に行く(회사에 가다)

れんしゅう
練習 2

A: きょういえ かえ今日家に帰ってから何をなにしますか。

오늘 집에 돌아가서 무엇을 할 예정입니까?

B: みテレビを見て、はん たご飯を食べて、べんきょう勉強します。

TV 보고, 밥 먹고, 공부할 예정입니다.

せつぞくし
接続詞 「そして」「それから」

접속사 「そして」「それから」

「V て～V て～」のように2つの文をふた ぶん つな繋げるとき、せつぞくし接続詞を使ってつか つな繋げることもできます。

「V て～V て～」와 같이 두 문장을 연결할 때 접속사를 사용하여 연결할 수 있습니다.

例: れい家に帰って、いえ かえご飯を食べます。 → いえ かえ家に帰ります。そして/それから、はん たご飯を食べます。

집에 돌아가서 밥을 먹습니다.

집에 돌아갑니다. 그리고/그리고 나서 밥을 먹습니다.

※ 「そして」と「それから」のちが違いの理解は初級りかいの段階しよきゅう だんかいではむずか難しいです。「そして」は順序じゆんじよい以外がいにも

はばひろ幅広いつか使い方があり、「それから」は主おもに動作どうさの順序じゆんじよを強調きょうちようしたい場合ばあいに使うと覚えておきましょう。おぼ

「そして」와 「それから」의 차이를 초급 단계에서 이해하기 어렵습니다. 「そして」는 순서 이외에도

폭 넓은 사용법이 있으며, 「それから」는 주로 동작의 순서를 강조하고 싶을 때 사용한다고 외웁시다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> お風呂	おふろ	목욕/욕실
<input type="checkbox"/> シャワー		샤워
<input type="checkbox"/> 窓	まど	창문
<input type="checkbox"/> ドア		문
<input type="checkbox"/> ボタン		버튼
<input type="checkbox"/> スイッチ		스위치
<input type="checkbox"/> 交差点	こうさてん	교차점
<input type="checkbox"/> 信号	しんごう	신호
<input type="checkbox"/> 角	かど	모퉁이/구석
<input type="checkbox"/> 宿題	しゅくだい	숙제
<input type="checkbox"/> 意味	いみ	의미
<input type="checkbox"/> 答え	こたえ	대답
<input type="checkbox"/> コピー(する)		복사(하다)
<input type="checkbox"/> メール(する)		메일(보내다)

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> ゆっくり		천천히
<input type="checkbox"/> まっすぐ		똑바로
<input type="checkbox"/> もう一度	もういちど	한 번 더

せつぞくし
接続詞 (Conj)

<input type="checkbox"/> そして		그리고
<input type="checkbox"/> それから		그리고나서

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 立つ	たつ	일어서다
<input type="checkbox"/> 座る	すわる	앉다
<input type="checkbox"/> 押す	おす	누르다
<input type="checkbox"/> 引く	ひく	당기다
<input type="checkbox"/> 取る	とる	잡다
<input type="checkbox"/> 呼ぶ	よぶ	부르다
<input type="checkbox"/> 曲がる	まがる	구부러지다/돌다
<input type="checkbox"/> 貸す	かす	빌려주다
<input type="checkbox"/> 返す	かえす	돌려주다
<input type="checkbox"/> 送る	おくる	보내다
<input type="checkbox"/> 急ぐ	いそぐ	서두르다
<input type="checkbox"/> 洗う	あらう	씻다
<input type="checkbox"/> 磨く	みがく	닦다
<input type="checkbox"/> 頑張る	がんばる	힘내다

(II)

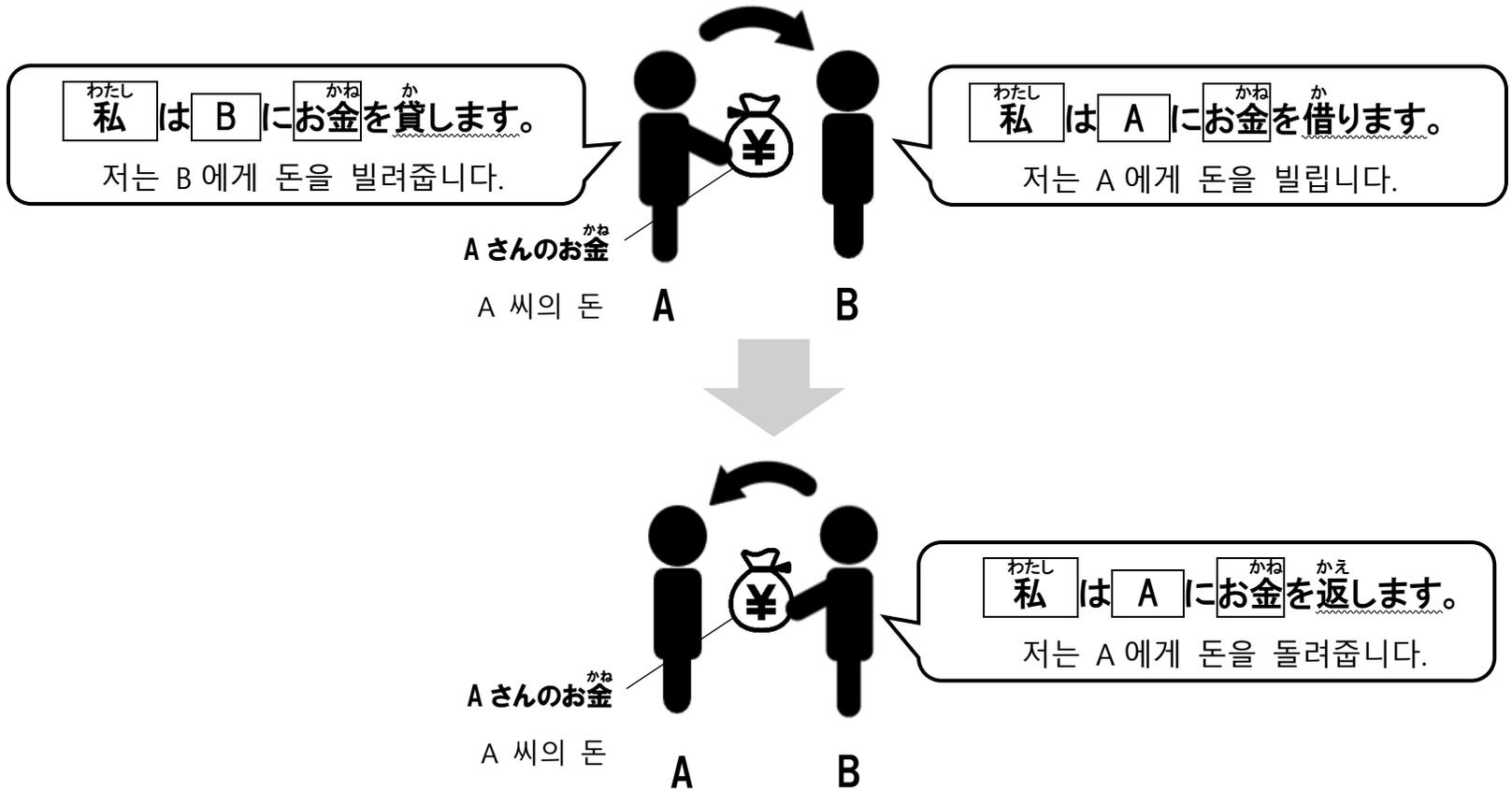
<input type="checkbox"/> 開ける	あける	열다
<input type="checkbox"/> 閉める	しめる	닫다
<input type="checkbox"/> 見せる	みせる	보여주다
<input type="checkbox"/> 借りる	かりる	빌리다
<input type="checkbox"/> 浴びる	あびる	(샤워를)하다
<input type="checkbox"/> 気を付ける	きをつける	조심하다

「貸す」「借りる」「返す」

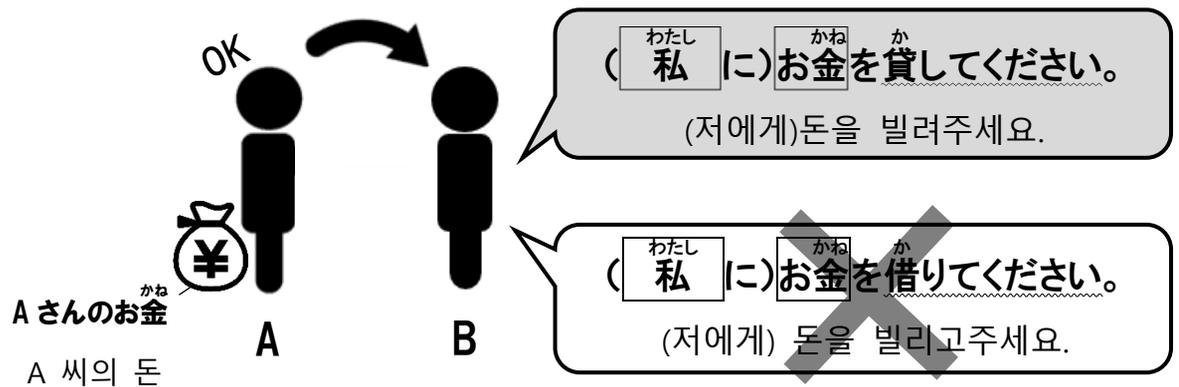
「 빌려주다」「 빌리다」「 돌려주다」

「貸す」「借りる」「返す」の使い方と助詞に注意しましょう。

「 빌려주다」「 빌리다」「 돌려주다」의 사용법과 조사에 주의합시다.



相手にお金を貸してもらいたいときは、「借りてください。」ではなく、「お金を貸してください。」と言います。 상대방에게 돈을 빌리고 싶을 때는 「借りてください。」가 아닌 「お金を貸してください。」라고 말합니다.



※「Vてください」の文法のVての部分、相手の行動を言うので、「借りる」ではなく、「貸す」を使います。

「V 해주세요」의 문법 V해의 부분은 상대방의 행위를 말하기 때문에 「借りる」가 아닌 「貸す」를 사용합니다.

同じように「見る」と「見せる」も間違えやすいので気を付けましょう。

마찬가지로 「見る」와 「見せる」도 헷갈리기 쉽기 때문에 주의합시다.

例: ・ すみません、ペンを貸してください。

죄송하지만, 펜 좀 빌려주세요.

・ 教科書を見せてください。

교과서를 보여주세요.



V ています (進行、習慣)

V 하고 있다 (진행, 습관)



意味

動作、出来事が進行中であることを表す。

동작, 일이 진행중인 상태를 나타낸다.

接続

V て+います V: 継続動詞 ある時間継続して行なわれる動作を表す動詞(例: 歩く、読むなど)

일정시간 계속해서 행해지는 동작을 나타내는 동사 (예: 걷다, 읽다 등)

暗記

例文

(1) 彼は教室で勉強しています。

그는 교실에서 공부를 하고 있습니다.

(2) 妹は友達と電話で話しています。

여동생은 친구와 전화로 이야기하고 있습니다.

(3) 毎朝家の近くでジョギングしています。

매일 아침 집 근처에서 조깅을 하고 있습니다.

ポイント

① 継続動詞と接続します。

계속동사와 접속합니다.

② 頻度を表す言葉と一緒に使うと習慣的に続けているという意味で使われます。

빈도를 나타내는 말과 함께 사용하면 습관적으로 계속하고 있다는 의미로 사용됩니다.

例: 毎晩8時にお風呂に入っています。

매일 밤 8시에 목욕을 합니다.

1週間に3回学校で日本語を勉強しています。

일주일에 3번 학교에서 일본어를 공부합니다.

③ 職業について表すこともできます。

직업에 대해 표현할 수도 있습니다.

例: 私はエンジニアの仕事をしています。

저는 엔지니어 일을 하고 있습니다.

姉は日本語学校で働いています。

언니/누나는 일본어학교에서 일하고 있습니다.

れんしゅう
練習 1

V て います。

しんこう
進行
진행

こうえん
公園でテニスをする(공원에서 테니스를 치다)

しょくじ
レストランで食事をする(레스토랑에서 식사를 하다)

へ や はん た
となりの部屋でご飯を食べる(옆 집/방에서 밥을 먹는다)

しゅうかん
習慣
습관

まいあさりょうり つく
毎朝料理を作る(매일 아침 요리를 만들다)

まいにち に ほん み
毎日日本のドラマを見る(매일 일본 드라마를 보다)

いっしゅうかん いっかいやきゅう
1週間に1回野球をする(일주일에 한 번 야구를 하다)

しごと
仕事
일

かいしゃいん
会社員をする(회사원을 하다)

いざかや
居酒屋でアルバイトをする(선술집에서 아르바이트를 하다)

に ほん ごがっこう はたら
日本語学校で働く(일본어학교에서 일을 하다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 金曜日の午後8時ごろ、いつも何をしていますか。

금요일 오후 8 시쯤 항상/보통 무엇을 합니까?

B: 家族と晩御飯を食べています。

가족과 저녁을 먹습니다.

(2) A: Bさんは何をしていますか。(職業)

B 씨는 무슨 일을 하고 있습니까? (직업)

B: エンジニアをしています。/工場で働いています。/東京で英語を教えています。

엔지니어를 하고 있습니다. /공장에서 일하고 있습니다. /도쿄에서 영어를 가르치고 있습니다.



V ています (結果の状態)

V 하고 있다 (결과의 상태)



意味

その動作、出来事が起きた後の結果の状態を表す。

그 동작, 일이 일어난 후 결과의 상태를 나타낸다.

接続

V て+います V: 瞬間動詞 瞬間に終わる動作を表す動詞(例:死ぬ、始まる、終わるなど)

순간으로 끝나는 동작을 나타내는 동사 (예: 죽다, 시작하다, 끝나다 등)

暗記

例文

(1) 彼は黄色い服を着ています。

그는 노란 옷을 입고 있습니다.

(2) 父は東京に住んでいます。

아빠는 도쿄에 살고 있습니다.

(3) 部屋で虫が死んでいます。

방에 벌레가 죽어 있습니다.

ポイント

① 瞬間動詞と接続します。

순간동사와 접속합니다.

② 着脱動詞(例:着る、はくなど)や移動動詞(例:行く、来るなど)は、
継続動詞と瞬間動詞の2つの意味を持つため、使う状況によって意味が異なります。

착탈동사(예: 입다, 신다 등)나 이동동사 (예: 가다, 오다 등)는,

계속동사와 순간동사 두 가지 의미를 가지기 때문에 상황에 따라 의미가 달라집니다.



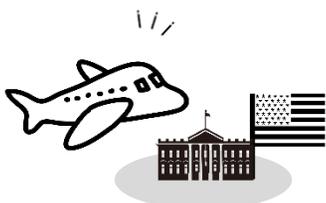
服を着ています(継続動詞)

옷을 입고 있습니다. (계속동사)



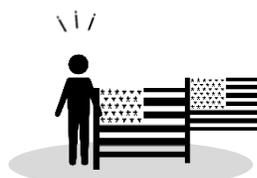
服を着ています(瞬間動詞)

옷을 입고 있습니다. (순간동사)



アメリカに行っています(継続動詞)

미국에 가고 있습니다. (계속동사)



アメリカに行っています(瞬間動詞)

미국에 가 있습니다. (순간동사)

V て います。

あか ふく き 赤い服を着る(빨간 옷을 입다)/黒い靴をはく(검은 구두를 신다)

なが 長いスカートをはく(긴 치마를 입다)/指輪をする(반지를 끼다)

きいろ かさ 黄色い傘をさす(노란색 우산을 쓰다)/沖縄に住む(오키나와에 살다)

(1) A: 今どこに住んでいますか。

지금 어디에 살고 있습니까?

B: 3年前から池袋に住んでいます。

3년 전부터 이케부쿠로에 살고 있습니다.

(2) A: 東京スカイツリーを知っていますか。

도쿄 스카이트리를 알고 있습니까?

B: はい、知っています。/いいえ、知りません。

네, 알고 있습니다. /아니요, 모릅니다.

どうし し
動詞「知る」

동사「知る」

通常「～ていますか」と聞かれた場合、「はい、～ています」「いいえ、～ていません」と答えます。

보통 「～ていますか」라고 질문을 받은 경우 「はい、～ています」「いいえ、～ていません」이라고 대답합니다.

例 A: 日本に住んでいますか。 B: はい、住んでいます。/いいえ、住んでいません。

일본에 살고 있습니까?

네, 살고 있습니다. /아니요, 살고 있지 않습니다.

しかし、「知る」は特別で「知っていません」とは言えず、「知りません」と言います。

그러나 「知る」는 특별히 「知っていません」이라고 말하지 않고 「知りません」이라고 말합니다.

例 A: 田中さんを知っていますか。 B: はい、知っています。/いいえ、知りません。

다나카씨는 알고 있습니까?

네, 알고 있습니다. /아니요, 모릅니다.



もう/まだ

이미, 벌써/아직



意味

ある行動や動作が完了している、または完了していないことを表す。

어느 행동이나 동작이 완료되었거나 혹은 완료되지 않은 상태를 나타낸다.

接続

もう V ました/まだ V ていません

暗記

例文

(1) A: もう夕飯を食べましたか。 B: はい、もう食べました。/いいえ、まだ食べていません。

벌써 저녁을 먹었습니까?

네, 이미 먹었습니다./아니요, 아직 먹지 않았습니다.

(2) A: もう家に帰りましたか。 B: はい、もう帰りました。/いいえ、まだ帰っていません。

벌써 집에 돌아갔습니까?

네, 이미 돌아왔습니다./아니요, 아직 돌아가지 않았습니다.

(3) A: もうデートしましたか。 B: はい、もうしました。/いいえ、まだしていません。

벌써 데이트를 했습니까?

네, 이미 했습니다./아니요, 아직 하지 않았습니다

ポイント

① 「V ました」は通常過去の意味を表しますが、完了の意味を表す場合があります。

「V 했습니다」는 보통 과거의 의미를 나타내지만, 완료의 의미를 나타내는 경우가 있습니다.

(1)

朝ご飯を食べましたか。
아침을 먹었습니까?

AM11:00



(2)

朝ご飯を食べましたか。
아침을 먹었습니까?

AM7:00



(1)의 경우는 11시에 아침밥 이야기를 하고 있으므로 과거의 의미를 나타내고 있습니다.

(2)의 경우는 「아침식사를 끝냈는가」를 묻고 있다고 생각할 수 있습니다.

(1)의 경우 11시에 아침 밥 이야기를 하고 있으므로 과거의 의미를 나타내고 있습니다.

(2)의 경우 「아침식사를 끝냈는가」를 묻고 있다고 생각할 수 있습니다.

「過去」か「完了」か明確にするために完了を表す副詞「もう」、未完了を表す副詞「まだ」を使います。

「과거」인지 「완료」인지 명확하게 하기 위해 완료를 나타내는 부사 「もう」、미완료를 나타내는 부사 「まだ」를 사용합니다.

A: 朝ご飯をもう食べましたか。 B: はい、もう食べました。/まだ、食べていません。

아침을 이미 먹었습니까? 네, 이미 먹었습니다. /아직 먹지 않았습니다.

否定の場合は「朝ご飯を食べない」という状態が継続的に続いていることを表すので、動作や状態の継続を表す「V ている」を使います。

부정의 경우 「아침을 먹지 않은」 상태가 계속적으로 진행되고 있다는 것을 나타내기 때문에 동작이나 상태의 계속을 나타내는 「V ている」를 사용합니다.

れんしゅう 練習 1

もう V ました /まだ V ています

夕飯を食べる(저녁을 먹다)/家に帰る(집에 돌아가다)/宿題を出す(숙제를 내다)

スーパーで買い物する(마트에서 장을 보다)/部長に電話する(부장님에게 전화하다)

社長に話す(사장님에게 이야기하다)

れんしゅう 練習 2

(1) A: もう夏休みの予定を決めましたか。

이미 여름휴가 일정을 정했습니까?

B: はい、もう決めました。/いいえ、まだ決めていません。

네, 이미 정했습니다. /아니요, 아직 정하지 않았습니다.

(2) A: もう新しいスマホを売っていますか。

벌써 새로운 스마트폰을 팔고 있습니까?

B: はい、もう売っています。/いいえ、まだ売っていません。

네, 이미 팔고 있습니다. /아니요, 아직 팔고 있지 않습니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> マンション		맨션
<input type="checkbox"/> 아파트		아파트
<input type="checkbox"/> シェア하우스		쉐어하우스
<input type="checkbox"/> 建物	たてもの	건물
<input type="checkbox"/> ビル		빌딩
<input type="checkbox"/> 庭	にわ	정원
<input type="checkbox"/> 地下	ちか	지하
<input type="checkbox"/> 店	みせ	상점/가게
<input type="checkbox"/> 工場	こうじょう	공장
<input type="checkbox"/> 今	いま	지금
<input type="checkbox"/> 最近	さいきん	최근
<input type="checkbox"/> 毎朝	まいあさ	매일 아침
<input type="checkbox"/> 毎晩	まいばん	매일 저녁/밤
<input type="checkbox"/> 今朝	けさ	오늘 아침
<input type="checkbox"/> 今晚	こんばん	오늘 저녁/밤
<input type="checkbox"/> 準備(する)	じゅんび	준비(하다)
<input type="checkbox"/> 案内(する)	あんない	안내(하다)
<input type="checkbox"/> 研究(する)	けんきゅう	연구(하다)
<input type="checkbox"/> パーティー(する)		파티(하다)
<input type="checkbox"/> ホームステイ(する)		홈스테이(하다)

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 持つ	もつ	가지다
<input type="checkbox"/> 待つ	まつ	기다리다
<input type="checkbox"/> 住む	すむ	살다
<input type="checkbox"/> 脱ぐ	ぬぐ	벗다
<input type="checkbox"/> かぶる		(모자 등을)쓰다
<input type="checkbox"/> はく		입다/신다
<input type="checkbox"/> (傘を)さす	かさをさす	(우산을)쓰다
<input type="checkbox"/> 知る	しる	알다
<input type="checkbox"/> (雨が)降る	あめがふる	(비가) 오다
<input type="checkbox"/> 習う	ならう	배우다

(II)

<input type="checkbox"/> 着る	きる	입다
<input type="checkbox"/> (眼鏡を)かける	めがねをかける	(안경을)쓰다
<input type="checkbox"/> 考える	かんがえる	생각하다
<input type="checkbox"/> 決める	きめる	정하다

(III)

<input type="checkbox"/> (指輪を)する	ゆびわをする	(반지를)끼다
----------------------------------	--------	---------

동사의 종류

今回、**継続動詞**と**瞬間動詞**を学習しましたが、**動詞**には4つの種類があるのでここで整理します。

이번에 계속동사와 순간동사를 학습했습니다만, 동사에는 네 종류가 있기 때문에 다시 한번 정리하겠습니다.

① **継続動詞**: **ある時間継続して行なわれる動作を表す動詞**

접속동사 일정 시간 계속 행해지는 동작을 나타내는 동사

→「**ている**」と**接続**すると、「**動作の進行**」を表す。

「ている」와 접속하면 「동작의 진행」을 나타낸다.

例: **食べる** (먹다)、**歩く** (걷다)、**泳ぐ** (헤엄치다)、**走る** (달리다)

② **瞬間動詞**: **瞬間に終わる動作を表す動詞**

순간동사 순간에 끝나는 동작을 나타내는 동사

→「**ている**」と**接続**すると、「**結果の状態**」を表す。

「ている」와 접속하면 「결과」의 상태」를 나타낸다.

例: **決める** (정하다)、**死ぬ** (죽다)、**知る** (알다)、**座る** (앉다)

③ **存在動詞**: **存在を表す動詞**

존재동사 존재를 나타내는 동사

→「**ている**」의 **形**がない。

「ている」의 형태가 없다.

例: **ある** (있다)、**いる** (있다)

④ **形容詞的動詞**

형용사적 동사

→常に「**ている**」의 **形**がついて、**形容詞**としての**意味**を表す。

항상 「ている」의 형태가 붙어 형용사로서 의미를 나타낸다.

例: **とがっている** (날카롭다)、**澄んでいる** (맑다)、**似ている** (닮다)、**優れている** (뛰어나다)

今後**も**「**ている**」と同じように**動詞**の種類によって**意味**が変わったり、**使用制限**があったりする**文法**があるので、このような**動詞**の種類があることを知っておきましょう。

앞으로도 「ている」와 같이 동사의 종류에 따라 의미가 달라지거나 사용제한이 있는 문법이 있으므로 이와 같은 동사의 종류가 있다는 것을 알아 둡시다.



めいし けいようし けい 名詞、形容詞のて形



명사, 형용사의 て형

動詞と同様に、名詞、形容詞も「て形」を使うことで2つ以上の文を繋ぐことができます。

동사와 같이 명사, 형용사도 「て형」을 사용함으로써 두 개 이상의 문장을 연결할 수 있습니다.

例: 「小さい女の子です」+「かわいい女の子です」 「작은 여자아이 입니다.」+「귀여운 여자아이 입니다.」

→小さくて、かわいい女の子です。 작고 귀여운 여자아이입니다.

名詞・形容詞の後ろにさらに名詞・形容詞が続くとき、前の名詞や形容詞を「て形」にして文をつなげます。

명사・형용사 뒤에 다시 명사・형용사가 올 때, 앞의 명사나 형용사를 「て형」으로 바꾸어 문장을 연결합니다.

めいし けい 名詞の「て形」

肯定形 (긍정형) : Nで

否定形 (부정형) : Nじゃなくて

にじゅうだい おとこ ひと
20代の男の人
20대 남자



げんき おとこ ひと
元気な男の人
건강한 남자



にじゅうだい
20代
N



げんき おとこ ひと
元気な男の人

けいようし けい な形容詞の「て形」

肯定形 (긍정형) : na-A で

否定形 (부정형) : na-A じゃなくて

しんせつ せんせい
親切な先生
친절한 선생님



まじめ せんせい
真面目な先生
성실한 선생님



しんせつ
親切
na-A



まじめ せんせい
真面目な先生

けいようし けい い形容詞の「て形」

肯定形 (긍정형) : i-A くて

否定形 (부정형) : i-A くない

やす くだもの
安い果物
싼 과일



おいしい くだもの
おいしい果物
맛있는 과일



やす
安い
i-A



くだもの
おいしい果物

プラスのイメージのものと、マイナスイメージのことを並べて言うことはできません。

긍정적 이미지인 것과 부정적 이미지인 것을 나열하여 말할 수 없습니다.

例: ~~便利で遠い~~コンビニ(편리하고 먼 편의점)、

~~つまらなくて優しい~~人(재미없고 착한 사람)

れんしゅう
練習 1

(1) N で N/na-A/i-A + N です。

にじゅうだい げんき おんな ひと
20代(20 대) 元気(건강하다) 女の人(여자)

どくしん おとこ ひと
独身(독신) かわいい(멋있다) 男の人(남자)

(2) na-A で N/na-A/i-A + N です。

べんり みせ
便利(편리하다) にぎやか(활기차다) 店(가게)

しず ばしょ
静か(조용하다) いい(좋다) 場所(장소)

(3) i-A くて N/na-A/i-A + N です。

きいろ あま くだもの
黄色い(노랑색) 甘い(달다) 果物(과일)

やさ しんせつ せんせい
優しい(다정하다) 親切(친절하다) 先生(선생님)

(4) N は N/na-A/i-A + N/na-A/i-A です。

わたし いえ えき ちか ひろ
私の家(우리 집) 駅から近い(역에서 가깝다) 広い(넓다)

りょうり たか
この料理(이 요리) 高い(비싸다) まずい(맛없다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 渋谷はどんな場所ですか?

시부야는 어떤 장소입니까?

B: にぎやかで面白い場所です。

활기차고 재미있는 장소입니다.

しゅご こと ぶん つな
主語が異なる文も繋げる

주어가 다른 문장도 연결한다

けい しゅご こと ふた ぶん つな
て形で主語が異なる二つの文を繋げることもできます。

て형으로 주어가 다른 두 문장을 연결할 수 있습니다.

ちやうじよ じゅうにさい しょうがくろくねんせい じじよ じゅうさい しょうがくよんねんせい
「長女は12歳で小学六年生です。」+「次女は10歳で小学四年生です。」

「장녀는 12 살이고, 초등학교 6 학년입니다。」+ 「차녀는 10 살이고, 초등학교 4 학년입니다。」

ちやうじよ じゅうにさい しょうがくろくねんせい じじよ じゅうさい しょうがくよんねんせい
→長女は12歳で小学六年生で、次女は10歳で小学四年生です。

장녀는 12 살이고 초등학교 6 학년이며, 차녀는 10 살이고 초등학교 4 학년입니다.



どうし 動詞 (V) のた形 けい



동사 (V)의 た형

どうし けい どうし ふつうけい か ここうていけい
動詞の「た形」とは動詞の普通形の過去肯定形です。

동사 (V)의 た형은 동사 보통형의 과거 긍정형입니다.

い か どうし ふつうけい ていねいけい ひょう
以下、動詞の「普通形」と「丁寧形」の表です。 아래는 동사의 「보통형」과 「정중형」의 표입니다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형	食べる	食べます
げんざいひていけい 現在否定形 현재부정형	食べない	食べません
か ここうていけい 過去肯定形 과거긍정형	食べた	食べました
か こひていけい 過去否定形 과거부정형	食べなかった	食べませんでした

けい ふつうけい か ここうていけい
た形(Vた) = 普通形の過去肯定形

た형 (Vた) = 보통형의 과거긍정형

ふつうけい にほんご ぶんぽう ただ つか かなら しゅうとく かたち
普通形は日本語の文法を正しく使うために必ず習得しなければならない形です。

ひと
そのうちの一つの「た形(過去肯定形)」を今回勉強します。

보통형은 일본어 문법을 올바르게 사용하기 위해 반드시 학습해야 하는 형태입니다.

그 중에 하나인 「た형 (과거긍정형)」을 이번에 공부할 예정입니다.

けい つく かた た形の作り方

た형 만드는 방법

けい けい さいご か つく
「た形」は「て形」の最後の「て/で」を「た/だ」に変えることで作ることができます。

「た형」은 「て형」의 마지막 글자 「て/で」를 「た/だ」로 바꾸어 만들 수 있습니다.

Ⅱグループ	Ⅲグループ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">-いる</div> ➡ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">-い て → た</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">する</div> ➡ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">し て → た</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">くる</div> ➡ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">き て → た</div>

Iグループ

か
買う←
ま
待つ + っで←→た
すわ
座る←

よ
呼ぶ←
の
飲む + んで←→だ
し
死ぬ←

か
書く + いて←→た
およ
泳ぐ + いて←→だ
はな
話す + して←→た

※例外(예외) 行く → 行って / →た

れんしゅう
練習 I

(1) IIグループ

おぼ
覚える(외우다) ⇒ _____

あげる(주다) ⇒ _____

しら
調べる(조사하다) ⇒ _____

お
起きる(일어나다) ⇒ _____

(2) IIIグループ

く
来る(오다) ⇒ _____

する(하다) ⇒ _____

べんきょう
勉強する(공부하다) ⇒ _____

りょこう
旅行する(여행하다) ⇒ _____

(3) Iグループ

かえ
帰る(돌아가다) ⇒ _____

はな
話す(이야기하다) ⇒ _____

い
言う(말하다) ⇒ _____

か
書く(쓰다) ⇒ _____

はい
入る(들어가다) ⇒ _____

と
飛ぶ(날다) ⇒ _____

すす
進む(나아가다) ⇒ _____

あそ
遊ぶ(놀다) ⇒ _____

あ
会う(만나다) ⇒ _____

た
立つ(일어서다) ⇒ _____

し
死ぬ(죽다) ⇒ _____

け
消す(지우다/끄다) ⇒ _____

の
飲む(마시다) ⇒ _____

の
乗る(타다) ⇒ _____



V たり~V たり (例示・並列)



V 하거나~V 하거나 (예시·나열)

意味

複数の動作の中から例を挙げる。

복수의 동작 중에서 예시를 나열한다.

接続

V たり~、V たり~

暗記

例文

(1) 昨日は家で本を読んだり、日本語を勉強したりしました。

어제는 집에서 책을 읽기도 하고 일본어를 공부하기도 했습니다.

(2) 週末は彼女と一緒に映画を見たり、買い物したりしたいです。

주말에는 여자친구와 함께 영화를 보거나 쇼핑을 하고 싶습니다.

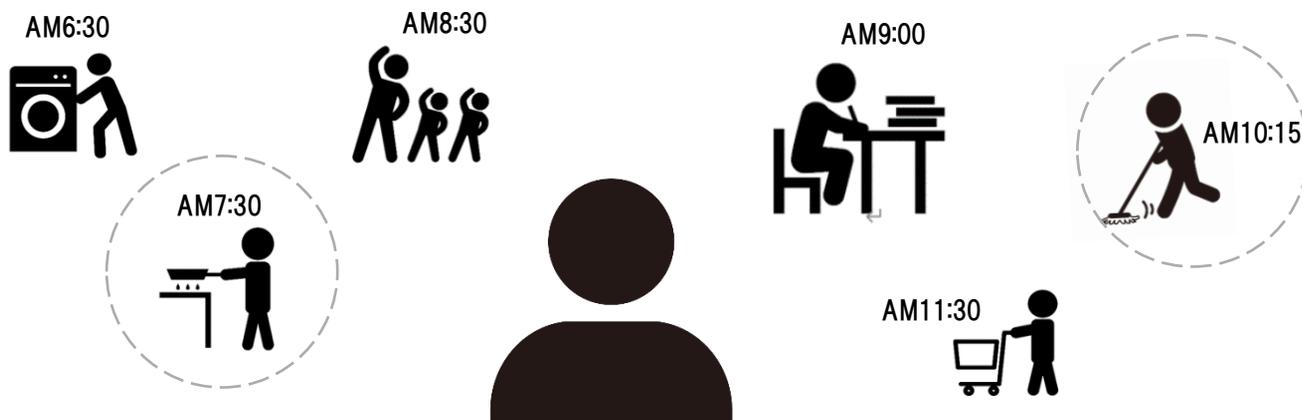
(3) 休みの日はテニスしたり、デートしたりしています。

쉬는 날은 테니스를 치거나 데이트를 하고 있습니다.

ポイント

① 複数の動作の中から一部の例を挙げているので、他にもあるという意味が含まれています。

복수의 동작 중에서 일부의 예시를 나열하고 있기 때문에 이외에도 있다는 의미를 포함하고 있습니다.



午前中 料理を作ったり、掃除したりしました。

오전에 요리를 하기도 하고 청소도 했습니다.

② 通常は複数の動作を例に挙げますが、一つの動作だけ例示して使うこともできます。

일반적으로 복수의 동작을 예시로 나열할 때, 하나의 동작만 예시하여 사용할 수 있습니다.

例: 今週の日曜日は買い物に行ったりします。

이번주 일요일은 쇼핑을 하거나 할 예정입니다.

れんしゅう
練習 1

(1) Vたり、Vたりします。

絵を描く(그림을 그리다) 日記を書く(일기를 쓰다)

雑誌を読む(잡지를 읽다) ラジオを聞く(라디오를 듣다)

(2) Vたり、Vたりしたいです。

テレビを見る(TV를 보다) 漫画を読む(만화를 읽다)

カフェでコーヒーを飲む(카페에서 커피를 마시다) 野球の試合を見る(야구 시합을 보다)

(3) Vたり、Vたりしています。

ニュースを見る(뉴스를 보다) 新聞を読む(신문을 읽다)

公園に散歩に行く(공원에 산책을 가다) 家で映画を見る(집에서 영화를 보다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: 休みの日はいつも何をしていますか。

쉬는 날은 보통 무엇을 합니까?

B: 友達とご飯を食べに行ったり、映画を見に行ったりしています。

친구와 밥을 먹으러 가거나 영화를 보거나 합니다.

(2) A: 今、一番どこに行きたいですか。

지금 어디에 가장 가고 싶습니까?

B: 韓国に行きたいです。

한국에 가고 싶습니다.

A: 韓国で何をしたいですか。

한국에서 무엇을 하고 싶습니까?

B: ソウルでおいしいものを食べたり、買い物したりしたいです。

서울에서 맛있는 것을 먹거나 쇼핑하고 싶습니다.



V たり~V たり (繰り返し)



V 하거나~V 하거나 (반복)

意味

動作や状態が繰り返して交互に起こることを表す。

동작이나 상태가 반복되어 번갈아 일어나는 것을 나타낸다.

接続

V た/なかった+り、V た/なかった+り

暗記

例文

(1) 父は家の中を行ったり、来たりしています。

아빠는 집 안을 왔다 갔다 하고 있습니다.

(2) 子供が電気をつけたり、消したりしています。

아이가 불(전기)을 켜다 껐다 하고 있습니다.

(3) 朝ご飯を食べたり、食べなかったりします。

아침을 먹기도 하고 먹지 않기도 합니다.

ポイント

① 「行く⇔来る」「立つ⇔座る」など対になる言葉が接続してその動作を交互に繰り返すことを表します。

「가다⇔오다」「일어서다⇔앉다」등 한 쌍이 되는 말과 접속하여 그 동작을 번갈아 반복하는 것을 나타냅니다.

② 「~する場合もあれば、~する場合もある」という対照的な場合があるという意味を表すこともでき、この場合は主に肯定形と否定形を並べて使います。

「~할 때도 있고, ~할 때도 있다」라는 대조적일 때가 있다는 의미를 나타낼 수 있으며,

이 경우는 주로 긍정형과 부정형을 나열하여 사용합니다.

例: 忙しい日はお風呂に入ったり、入らなかったりします。

바쁜 날은 목욕을 하기도 하고, 안하기도 합니다.

※①と異なり、必ずしも交互なわけではなく、どちらの場合もあるという意味を表します。

①과 다르며, 반드시 반복되지 않더라도 어느 쪽의 경우도 있다는 의미를 나타냅니다.

※動詞の否定形の作り方はp.157で勉強します。

동사의 부정형을 만드는 방법은 p.157에서 공부합니다.

(1) Vたり、Vたりします

行く(가다)来る(오다)/立つ(일어서다)座る(앉다)

つける(켜다)消す(끄다)/寝る(자다)起きる(일어나다)

勝つ(이기다)負ける(지다)/入れる(넣다)出す(꺼내다)

(2) Vたり、Vなかったりします。

洗濯をする(빨래를 하다)洗濯をしない(빨래를 하지 않는다)

掃除をする(청소를 하다)掃除をしない(청소를 하지 않는다)

会社に行く(회사에 가다)会社に行かない(회사에 가지 않는다)

眼鏡をかける(안경을 쓰다)眼鏡をかけない(안경을 쓰지 않는다)

N/na-A/i-A の「～たり、～たり」

N/na-A/i-A 의 「～하거나 ～하거나」

例示・並列の「～たり、～たり」とは異なり、名詞・形容詞にも接続します。

예시・나열의 「～하거나 ～하거나」와는 다르며 명사・형용사에도 접속합니다.

例:お客様は学生だったり、主婦だったりします。

손님은 학생일 때도 있고, 주부일 때도 있습니다.

この店の野菜は大きかったり、小さかったりします。

이 가게의 야채는 크기도 하고 작기도 합니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 独身	どくしん	독신
<input type="checkbox"/> ~代	~だい	~대
<input type="checkbox"/> 日記	にっき	일기
<input type="checkbox"/> 絵	え	그림
<input type="checkbox"/> 電気	でんき	전기
<input type="checkbox"/> 가스		가스
<input type="checkbox"/> 水道	すいどう	수도
<input type="checkbox"/> 인터넷		인터넷
<input type="checkbox"/> 階段	かいだん	계단
<input type="checkbox"/> 에스칼レーター		에스컬레이터
<input type="checkbox"/> 엘리베이터		엘리베이터
<input type="checkbox"/> 漫画	まんが	만화
<input type="checkbox"/> 雑誌	ざっし	잡지
<input type="checkbox"/> 新聞	しんぶん	신문
<input type="checkbox"/> 비디오		비디오
<input type="checkbox"/> 라디오		라디오
<input type="checkbox"/> 뉴스		뉴스
<input type="checkbox"/> 試合	しあい	시합

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 頭がいい	あたまがいい	머리가 좋다
<input type="checkbox"/> 優しい	やさしい	착하다/친절하다
<input type="checkbox"/> 早い*	はやい	빠르다
<input type="checkbox"/> 速い*	はやい	빠르다
<input type="checkbox"/> 遅い	おそい	느리다
<input type="checkbox"/> 近い	ちかい	가깝다
<input type="checkbox"/> 遠い	とおい	멀다
<input type="checkbox"/> すごい		대단하다

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> とても	매우
------------------------------	----

どうし
動詞 (V)

(I)		
<input type="checkbox"/> 消す	けす	(불을)끄다
<input type="checkbox"/> 勝つ	かつ	이기다
<input type="checkbox"/> 描く	かく	그리다
(II)		
<input type="checkbox"/> つける		(불을)켜다
<input type="checkbox"/> 負ける	まける	지다
<input type="checkbox"/> 入れる	いれる	넣다

※ 「早い」は時間帯や時がはやいという場合に使い、「速い」はスピードや動作がはやいという場合に使います。
「早い」는 세월이나 시간이 빠르다고 말할 때 쓰며,
「速い」는 스피드나 동작이 빠르다는 의미로 사용합니다.

「ます形」から「て形」「た形」を作る方法

「ます形」에서「て형」「た형」을 만드는 방법

この教科書では「辞書形」から「て形(た形)」に変形する方法を勉強しました。

日本語学校や教科書によっては「ます形」から「て形(た形)」に変形する方法で勉強します。

이 교과서에서는 「사전형」에서 「て형 (た형)」으로 변형하는 방법을 공부했습니다.

일본어학교나 교과서에 따라서는 「ます형」에서 「て형 (た형)」으로 변형하는 방법으로 공부합니다.

Ⅱグループ Ⅲグループ: ます形の最後の「ます」を「て」または「た」に変えます。

2 그룹 3 그룹 ます형의 마지막 「ます」를 「て」또는 「た」로 바꿉니다.

例: 食べます → 食べて/食べた 見ます → 見て/見た
 します → して/した 来ます → 来て/来た

I 그룹: 「ます」の前の一字に注目します。「い」「ち」「り」は「って/った」、「び」「み」「に」は「んで/んだ」、「き」は「いて/いた」、「ぎ」は「いで/いだ」、「し」は「して/した」になります。

1 그룹 「ます」의 앞에 한 글자에 주목합니다. 「い」「ち」「り」는 「って/った」, 「び」「み」「に」는 「んで/んだ」, 「き」는 「いて/いた」, 「ぎ」는 「いで/いだ」, 「し」는 「して/した」가 됩니다.

か 買 <small>い</small> ます	よ 呼 <small>い</small> びます	か 書 <small>き</small> ます + いて/いた
ま 待 <small>ち</small> ます + って/った	の 飲 <small>み</small> ます + んで/んだ	およ 泳 <small>ぎ</small> ます + いで/いだ
すわ 座 <small>り</small> ます	し 死 <small>に</small> ます	はな 話 <small>し</small> ます + して/した

※例外(예외) 行いきます → 行いって/行いった

「辞書形」から「て形(た形)」、「ます形」から「て形(た形)」のどちらの方法で覚えてもいいです。

「사전형」에서 「て형 (た형)」, 「ます형」에서 「て형 (た형)」중 원하는 방법으로 외우면 됩니다.

皆さんが新しい単語を覚えるときは、単語帳に書かれている「辞書形」で覚えるのが通常です。

辞書形からさまざまな形に変化できるようになるためにも、本テキストでは辞書形を基本として活用形を勉強していきます。

여러분이 새로운 단어를 외울 때 단어장에 쓰여 있는 「사전형」으로 외우는 것이 일반적입니다.

사전형에서 다양한 형태로 변화가 가능하도록 본 교재에서 사전형을 기본으로 하여 활용형을 공부합니다.



あと ～後

～한 후에/뒤에



意味

「A後で、B」の形で A より B の方が後に行われることを表す。

「A 후에 B」의 형태로 A 보다 B 가 나중에 행해지는 것을 나타낸다.

接続

N の/V た+後 ※N:主に動作を表す名詞 N: 주로 동작을 나타내는 명사

暗記

例文

(1) 授業の後、先生に質問します。

수업이 끝난 후에 선생님에게 질문합니다.

(2) テレビを見た後、夕飯を食べます。

TV 를 본 후에 저녁을 먹습니다.

(3) 大学を卒業した後、アメリカに留学しました。

대학을 졸업한 후에 미국에서 유학을 했습니다.

ポイント

① 後文が非過去の場合でも「た形」に接続します。「辞書形」を使わないように注意しましょう。

뒤의 문장이 과거가 아닌 경우에도 「た형」과 접속합니다. 「사전형」을 사용하지 않도록 주의합니다.

例:		宿題をする後、テレビを見ます。		宿題をした後、テレビを見ます。
		辞書形		た形
		非過去		非過去
		사전형		비과거

숙제를 한 후 TV 를 봅니다.

② 「後に」

時間を表す助詞「に」がつく場合は、そのタイミングに焦点が当たります。

시간을 나타내는 조사 「に」가 붙는 경우 그 타이밍에 초점이 맞춰집니다.

例: 食事した後に、薬を飲んでください。 食事を 한 후에 약을 드세요.

食事が終わったそのタイミングで薬を飲んでほしい場合は「後に」を使った方が自然です。

식사가 끝난 그 타이밍에 약을 먹기 바라는 경우 「後に」를 사용하는 것이 자연스럽습니다.

③ 「後で」

「後」と同じように使うことができますが、「後でご飯を食べましょう。」のように、文頭に使うことができるのは「後で」だけです。

「後」와 동일하게 사용할 수 있지만, 「後でご飯を食べましょう。」와 같이 문장 앞에 사용이 가능한 것은

「後で」뿐입니다.

れんしゅう
練習 1

Nの/Vた^{あと}後、V。

しごと^の仕事(일) ともだち^と友達とお酒を飲む(친구와 술을 마시다)

アルバイト(아르바이트) 少し^{すこ}休む(조금 쉬다)

ばんごはん^を晩御飯を食べる(저녁을 먹다) コンビニ^に行く(편의점에 가다)

せんせい^と先生と話す(선생님과 이야기하다) 決める^き(정하다)

れんしゅう
練習 2

だいがく^を大学を卒業した^{あと}後、日本^にに来ました。

대학을 졸업한 후에 일본에 왔습니다.

けっこん^{する}結婚する(결혼하다)/仕事^をを辞める(일을 그만두다)/子供^が生まれる(아이가 태어나다)

ひらがな^と平仮名と片仮名^をを覚える(히라가나와 가타가나를 외우다)/日本語^をを少し勉強^{する}する(일본어를 조금 공부하다)

れんしゅう
練習 3

A: 仕事^がが終わった^{あと}後、いつも何^{なに}をしますか。

일이 끝난 뒤에 보통 무엇을 합니까?

B: 友達^とと食事^ししたり、買い物^ししたりします。

친구와 식사를 하거나 쇼핑을 합니다.

「Vてから」との^{ちが}違い

「V 하고 나서」와의 차이

「A^{あと}後B」と「A^{ちが}てからB」との^い違いは以下^かです。 「A^{あと}後B」と「A^{ちが}てからB」의 차이는 아래와 같습니다.

・A^{できごと}の出来事^{どうさ}や動作^{あと}の後、B^{いっていきかんづつ}が一定期間^{ばあい}続いている^{つか}場合は「Vてから」を使^{つか}います。

A의 일이나 동작을 한 후, B가 일정기간 계속되고 있는 경우 「Vてから」를 사용합니다.

例:  新しい^{あた}仕事^らを始めた^{しごと}後、毎日^{はじ}遅く^{あと}まで^{まいにち}仕事^{おそ}をしています^{しごと}。

 新しい^{あた}仕事^らを始めて^{しごと}から、毎日^{はじ}遅く^{あと}まで^{まいにち}仕事^{おそ}をしています^{しごと}。

새로운 일을 시작하고 나서 매일 늦게까지 일을 하고 있습니다.

遅く^{おそ}まで^{しごと}仕事^ををしている^{きかん}期間^{づつ}が続^{ほう}いているので、「Vてから」の方が^{しぜん}自然^{です}です。

늦게까지 일을 하는 기간이 계속되고 있기 때문에 「Vてから」가 더 자연스럽게^{입니다}.



まえ ～前



～(하기) 전에

意味

「A前、B」の形で A より B の方が前に行われることを表す。

「A前、B」의 형태로 A 보다 B 가 앞에 행해지는 것을 나타낸다.

接続

N の/V る+前 ※N:主に動作を表す名詞

暗記

例文

(1) 仕事の^{まえ}前、新聞^よを^よ読み^{ます}ます。

일하기 전에 신문을 읽습니다.

(2) 寝る^{まえ}前、日本語^{べんきょう}の^{べんきょう}勉強^をを^しします。

자기 전에 일본어 공부를 합니다.

(3) 大学^{だいがく}に^{にゅうがく}入学^{する}する^{まえ}前、中国^{ちゅうごく}に^す住^{んで}いました。

대학에 입학하기 전에 중국에 살았습니다.

ポイント

① 後文^{こうぶん}が^{かこけい}過去形^{ばあい}の場合^{じしよけい}でも「辞書形^{せつぞく}」に^{けい}接続^{つか}します。「た形^{ちゅうい}」を^{ちゅうい}使^わないよう^にに^{ちゅうい}注意^{しまし}しましょう。

뒤에 문장이 과거형인 경우에도 「사전형」에 접속합니다. 「た형」을 사용하지 않도록 주의합니다.

例: ~~宿題^{しゅくだい}をした^{まえ}前、テレビ^みを見^{ました}ました。~~
た形 過去
た형 과거

宿題^{しゅくだい}を^{まえ}する^{まえ}前、テレビ^みを見^{ました}ました。
辞書形 過去
사전형 과거

숙제를 하기 전에 TV 을 봤어요.

② 「前に」

時間^{じかん}を表^{あらわ}す助詞^{じよし}「に」が^{ばあい}つく^{ばあい}場合は、その^{しやうてん}タイミン^あグに^あ焦点^あが^あ当^あたり^あます。

시간을 나타내는 조사 「に」가 붙는 경우는 그 타이밍에 초점이 맞춰집니다.

例: 食事^{しょくじ}する^{まえ}前^{くすり}に、薬^のを^の飲^{んで}ください。 食事^{しょくじ}하기 ^{まえ}전에 ^의약^을 드세요.

食事^{しょくじ}を^{はじめ}始める^{はじ}その^{くすり}タイミン^のグで^の薬^のを^の飲^{んで}ほしい^{ばあい}場合は「前に」を^{まえ}使^{つか}った^{ほう}方が^{ほう}自然^{しぜん}です。

식사를 시작하는 그 타이밍에 약을 먹기 바라는 경우 「前に」를 사용하는 것이 자연스럽습니다.

れんしゅう
練習 1

Nの/Vる ^{まえ}前、V。

テスト(テスト) ^{たくさん}たくさん ^{べんきょう}勉強する(많이 공부하다)

アルバイト(아르바이트) ^{すこ}少し ^ね寝る(조금 자다)

^{じゅぎょう}授業 ^{はじ}が始まる(수업이 시작되다) ^{たんご}単語 ^{おぼ}を覚える(단어를 외우다)

^{かれし}彼氏 ^あに会う(남자친구를 만나다) ^{びよういん}美容院 ^いに行く(미용실에 가다)

れんしゅう
練習 2

^{いえ}家 ^かを ^{まえ}買う ^{かぞく}前、^{そうだん}家族と相談しました。

집을 사기 전에 가족과 상의했습니다.

^{こいびと}恋人 ^{けっこん}と結婚する(연인과 결혼하다)/^{にほん}日本に ^{りゅうがく}留学する(일본에 유학하다)

^{しごと}仕事を ^や辞める(일을 그만두다)/^{ひっこ}引っ越 ^ししする(이사하다)

れんしゅう
練習 3

(1) A: ^{りゅうがく}留学 ^{まえ}する ^{まえ}前、^{じゅんび}どんな準備をしますか。

유학하기 전에 어떤 준비를 합니까?

B: ^とパスポート ^とを取ったり、^{にほんご}日本語の ^{べんきょう}勉強 ^をしたりします。

여권을 만들거나 일본어 공부를 합니다.

そんざいどうし
存在動詞

존재동사

「～後」「～前」はほとんどの動詞に接続しますが、「ある」「いる」などの存在を表す動詞に接続しません。

「～後」「～前」는 대부분의 동사에 접속하지만, 「ある」「いる」등 존재를 나타내는 동사에는 접속하지 않습니다.

例:  ^{かね}お金 ^{あつた}があった ^{あと}後、^{りょこう}旅行 ^しします。

돈이 있던 후에 여행합니다.

 ^{せんせい}先生 ^いる ^{まえ}前、^{しゅくだい}宿題 ^をします。

선생님이 있기 전에 숙제를 합니다.

「ある」「いる」は「～ている」の形にできないなど、今後の文法学習でも特別な動詞として扱われる場合がありますので注意しましょう。

「ある」「いる」는 「～ている」의 형태로 만들 수 없는 등, 앞으로의 문법 학습에서 특별한 동사로서 다루질 경우가 있으므로 주의합니다.



どうし ふつうけい 動詞 (V) の普通形



동사(V)의 보통형

ふつうけい げんざいこうていけい げんざい ひ ていけい か ここうていけい か こひていけい よつ いっ
普通形は「現在肯定形」「現在否定形」「過去肯定形」「過去否定形」の4つで1セットです。

いま がくしゅう げんざいこうていけい じしょけい か ここうていけい けい べんきょう
今までの学習で、「現在肯定形(辞書形)」と「過去肯定形(た形)」を勉強しました。

こんかい のこ げんざい ひ ていけい けい か こひていけい けい つく かた べんきょう
今回は残りの「現在否定形(ない形)」と「過去否定形(なかった形)」の作り方を勉強しましょう。

보통형은 「현재긍정형」「현재부정형」「과거긍정형」「과거부정형」이 네 가지가 한 세트입니다.

지금까지의 학습에서 「현재긍정형(사전형)」과 「과거긍정형(た형)」을 공부했습니다.

이번에는 남은 「현재부정형(ない형)」과 「과거부정형(なかった형)」을 만드는 방법을 공부합시다.

	ふつうけい 普通形(보통형)	ていねいけい 丁寧形(정중형)
げんざいこうていけい 現在肯定形 현재긍정형	食べる	食べます
げんざい ひ ていけい 現在否定形 현재부정형	食べない	食べません
か ここうていけい 過去肯定形 과거긍정형	食べた	食べました
か こひていけい 過去否定形 과거부정형	食べなかった	食べませんでした

げんざい ひ ていけい けい か こひていけい けい つく かた けい けい おな
「現在否定形(ない形)」と「過去否定形(なかった形)」の作り方も「ます形」や「て形」と同じように、

どうし こと
動詞のグループによって異なります。

「현재부정형(ない형)」과 「과거부정형(なかった형)」을 만드는 방법도 「ます형」이나 「て형」과 같이

동사 그룹에 따라 다릅니다.

Iグループ	IIグループ	IIIグループ

Iグループ : 辞書形の最後の1文字を「a」段の音に変えて、「ない/なかった」をつける。

사전형의 마지막 한 글자를 「a」단의 음으로 바꾸고 「ない/なかった」를 붙인다.

※「ある」の**ない形**は「**あ**ら**ない**」ではなく「**ない**」、**なかった形**は「**あ**ら**な**か**った**」ではなく「**な**か**った**」

「ある」의 **ない形**은 「**아**라**ない**」가 아닌 「**ない**」、**なかった形**은 「**아**라**나**か**った**」가 아닌 「**な**か**った**」

IIグループ : 辞書形の最後の1文字の「る」を「ない/なかった」に変える。

사전형의 마지막 한 글자 「る」를 「ない/なかった」로 바꾼다.

IIIグループ : 「する」→「**し**な**い/し**な**か**っ**た**」 「来る」→「**来**こ**ない/来**こ**な**か**った**」

れんしゅう
練習 I

(1) Iグループ

わかる(알다) ⇒ _____ない

かえ 帰る(돌아가다) ⇒ _____ない

およ 泳ぐ(헤엄치다) ⇒ _____ない

か 買う(사다) ⇒ _____ない

き 切る(자르다) ⇒ _____ない

あ 会う(만나다) ⇒ _____ない

と 泊まる(묵다/숙박하다) ⇒ _____ない

(2) IIグループ

みる(보다) ⇒ _____ない

しら 調べる(조사하다) ⇒ _____ない

お 起きる(일어나다) ⇒ _____ない

す 捨てる(버리다) ⇒ _____ない

(3) IIIグループ

する(하다) ⇒ _____ない

く 来る(오다) ⇒ _____ない

Iグループ		IIグループ		IIIグループ			
-	u	-	る	す	る	く	る
-	a ない	-	ない	し	ない	こ	ない
-	(た形) けい	-	た	し	た	き	た
-	a なかった	-	なかった	し	なかった	こ	なかった

れんしゅう
練習2

(1) ^あ会います(I) (만남니다)

^あ会 う
^あ会 わない
^あ会 った
^あ会 わなかった

(2) ^の飲みます(I) (마십니다)

^の飲 _____
^の飲 _____
^の飲 _____
^の飲 _____

(3) ^ぬ脱ぎます(I) (벗습니다)

^ぬ脱 _____
^ぬ脱 _____
^ぬ脱 _____
^ぬ脱 _____

(4) ^い行きます(I) (갑니다)

^い行 _____
^い行 _____
^い行 _____
^い行 _____

(5) ^き着ます(II) (입습니다)

^き着 _____
^き着 _____
^き着 _____
^き着 _____

(6) ^み見ます(II) (봅니다)

^み見 _____
^み見 _____
^み見 _____
^み見 _____

(7) ^{おぼ}覚えます(Ⅱ) (외웁니다)

^{おぼ} 覚え	_____

(8) ^{わす}忘れます(Ⅱ) (잊어버립니다)

^{わす} 忘れ	_____

(9) します(Ⅲ) (합니다)

(10) ^き来ます(Ⅲ) (옵니다)

**ふつうけいせつぞく
普通形接続**

보통형 접속

**せつぞく
接続**

V 普通形 + から

こんご がくしゅう ^{せつぞく} 接続の形が上記のように記載されている場合は、

^{どうし} V(動詞)の「^{じしょけい}辞書形」「^{けい}ない形」「^{けい}た形」「^{けい}なかった形」の4つの形で^{よつ}接続が可能という意味です。

앞으로의 학습에서 접속의 형태로 위와 같이 기재되어 있는 경우는

V(동사)의 「사전형」「ない형」「た형」「なかった형」이 네 가지 형태로 접속이 가능하다는 의미입니다.

行く

行かない

行った

行かなかった

から

^{ふつうけいせつぞく} 普通形接続は4つの形で^{よつ}接続可能ということ

しっかりと^{りかい}理解しましょう。

보통형 접속은 네 가지의 형태로 접속이 가능하다는 것을

확실하게 이해합니다.



V ないでください



V 하지 말아주세요

意味

ある行為をしないことの指示、依頼、注意。

어떠한 행동을 하지 않는 것을 지시, 의뢰, 주의.

接続

V ないでください

暗記

例文

(1) 写真を撮らないでください。

사진을 찍지 말아주세요.

(2) ここでタバコを吸わないでください。

여기에서 담배를 피지 말아주세요.

(3) 電車の中で電話をしないでください。

전철 안에서 전화를 하지 말아주세요.

ポイント

主に3つの使い方があります。 주로 세 가지 사용법이 있습니다.

(1) 指示(지시) ... 目上の人が目下の人に指示する。

윗사람이 아랫사람에게 지시하다.

(2) 注意(주의) ... 相手が目の前である行為をしていることを注意する。

상대방이 눈 앞에서 행위를 하는 것을 주의하다.

(3) 依頼(의뢰) ... 相手にお願いでする。

상대방에게 부탁을 하다.

「指示」「注意」の意味もあるので、「依頼」の場合は「すみませんが」などの言葉を一緒に使うことが

大切です。

「지시」「주의」의 의미도 있기 때문에 「의뢰」의 경우는 「すみませんが」 등의 표현을 같이 사용하는 것이 중요합니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **Vないでください**。(指示、注意)

うご 動く(움직이다)/**その絵に触る**(그 그림을 만지다)/**ここに服を置く**(여기에 옷을 두다)

しゅくだい わす 宿題を忘れる(숙제를 까먹다)/**写真を撮る**(사진을 찍다)/**財布をなくす**(지갑을 잃어버리다)

(2) **すみませんが、Vないでください**。(依頼)

えいご はな 英語で話す(영어로 이야기하다)/**教室で食事をする**(교실에서 식사하다)

つか スマホを使う(스마트폰을 하다)/**家の前に車を止める**(집 앞에 차를 세우다)

し ドアを閉める(문을 닫다)/**電車で電話をする**(전철에서 전화를 하다)

れんしゅう
練習 2

A: **すみませんが、ここでたばこを吸わないでください**。(依頼)

죄송하지만 여기에서 담배를 피우지 말아주세요. (의뢰)

B: **はい、わかりました**。

네, 알겠습니다.

はいりよ
配慮

배려

「Vないでください」は「指示」「注意」「依頼」以外に、**相手を配慮する**場面で使うことができます。

これらの表現はそのまま暗記するといいでしょ。

「V하지마세요」는 「지시」「주의」「의뢰」 이외에 상대를 배려하는 상황에서 사용할 수 있습니다.

이러한 표현은 그대로 암기하는 것이 좋습니다.

例: **心配しないでください**。(걱정하지 마세요.) **遠慮しないでください**。(사양하지 마세요.)

気にしないでください。(신경 쓰지 마세요.) **無理しないでください**。(무리하지 마세요.)

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 物	もの	사물/물건
<input type="checkbox"/> 荷物	にもつ	짐
<input type="checkbox"/> 鍵	かぎ	열쇠
<input type="checkbox"/> 写真	しゃしん	사진
<input type="checkbox"/> チケット		티켓
<input type="checkbox"/> ビザ		비자
<input type="checkbox"/> パスポート		여권
<input type="checkbox"/> キャッシュカード		현금카드
<input type="checkbox"/> マイナンバーカード		마이넘버카드
<input type="checkbox"/> 健康保険証	けんこうほけんしょう	건강보험증
<input type="checkbox"/> 資料	しりょう	자료
<input type="checkbox"/> レポート		레포트
<input type="checkbox"/> たばこ		담배
<input type="checkbox"/> ごみ		쓰레기
<input type="checkbox"/> 缶	かん	캔
<input type="checkbox"/> 瓶	びん	병
<input type="checkbox"/> ペットボトル		페트병
<input type="checkbox"/> 確認(する)	かくにん	확인(하다)
<input type="checkbox"/> 約束(する)	やくそく	약속(하다)
<input type="checkbox"/> 相談(する)	そうだん	상담(하다)
<input type="checkbox"/> 心配(する)	しんぱい	걱정(하다)
<input type="checkbox"/> 遠慮(する)	えんりよ	사양(하다)
<input type="checkbox"/> 無理(する)*	むり	무리(하다)

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 始まる	はじまる	시작하다
<input type="checkbox"/> 終わる	おわる	끝나다
<input type="checkbox"/> 撮る	とる	찍다
<input type="checkbox"/> 吸う	すう	들이마시다
<input type="checkbox"/> 置く	おく	두다
<input type="checkbox"/> 触る	さわる	만지다
<input type="checkbox"/> 動く	うごく	움직이다
<input type="checkbox"/> なくす		잃어버리다

(II)

<input type="checkbox"/> 辞める	やめる	그만두다
<input type="checkbox"/> 生まれる	うまれる	태어나다
<input type="checkbox"/> 出かける	でかける	외출하다
<input type="checkbox"/> 止める	とめる	세우다/멈추다
<input type="checkbox"/> 忘れる	わすれる	잊어버리다

(III)

<input type="checkbox"/> 気にする	きにする	신경 쓰다
-------------------------------	------	-------

※ 無理(する)は名詞ですが、な形容詞でもあります。そのため、名詞に接続するとき「無理なお願い」のように使います。このように名詞、な形容詞とどちらでも使える単語もあるので注意しましょう。

無理(하다)는 명사이지만 な형용사 이기도 합니다. 그렇기 때문에 명사에 접속할 때 「無理なお願い」와 같이 사용합니다.

이와 같이 명사, な형용사 모두 사용할 수 있는 단어도 있으므로 주의합니다.

「普通形」と「普通体」の違い

「보통형」과 「보통체」의 차이

「普通形」と「普通体」は全く違う意味です。

「보통형」과 「보통체」는 전혀 다른 의미입니다.

普通形	辞書形	(現在肯定形)
보통형	사전형	현재긍정형
	ない形	(現在否定形)
	ない形	현재부정형
	た形	(過去肯定形)
	た形	과거긍정형
	なかった形	(過去否定形)
	なかった形	과거부정형

この4つの形をセットで「普通形」と言います。

이 네 가지 형태를 세트로 「보통형」이라고 말합니다.

普通体 ... 友達と話す言葉。

보통체 친구와 이야기하는 말투

例えば、理由を表す「から」の文法を先生が説明する時、以下のように書きます。

예를 들면, 이유를 나타내는 「から」의 문법을 선생님이 설명할 때 아래와 같이 적습니다.

N 普/i-A 普/na-A 普/V 普/+から

これは「この文法は名詞・な形容詞・い形容詞・動詞の普通形に接続する」という意味なので、

名詞・な形容詞・い形容詞・動詞、それぞれ4つずつ、計16個の接続の形があります。

이것은 「이 문법은 명사・나형용사・이형용사・동사의 보통형에 접속한다」라는 의미이므로,

명사・나형용사・이형용사・동사 각각 4개씩 총 16개의 접속 형태가 있습니다.

例: N	学生だから	学生じゃないから	学生だったから	学生じゃなかったから
Na-A	元気だから	元気じゃないから	元気だったから	元気じゃなかったから
i-A	安いから	安くないから	安かったから	安くなかったから
V	食べるから	食べないから	食べたから	食べなかったから

「普通形」=「普通体」(友達と話す言葉)と勘違いする学習者が多いので、「普通形」は活用形の一つだ

ということをしっかりと覚えましょう。

「보통형」=「보통체」(친구와 이야기하는 말투)라고 착각하는 학습자가 많으므로, 「보통형」은 활용형의 하나라는 것을 확실하게 외웁시다.

~から

~하기 때문에/~해서



意味

「A から B」で A が B の理由や根拠であることを表す。

「A から B」에서 A 가 B 의 이유나 근거라는 것을 나타낸다.

接続

N/na-A/i-A/V 普通形(ふつうけい)+から ※N だ/na-A だ

N と na-A の辞書形は「だ」をつけて接続する。

N 과 na-A 의 사전형은 「だ」를 붙여 접속한다.

暗記

例文

(1) 風邪を引いたから、学校を休みました。

감기에 걸려서 학교를 쉬었습니다.

(2) この店の料理は安くておいしいから、好きです。

이 가게의 요리는 싸고 맛있어서 좋아합니다.

(3) 休みの日だから、友達と遊びに行きたいです。

휴일이기 때문에 친구와 놀러 가고 싶습니다.

ポイント

① 接続の形に注意しましょう。 접속의 형태에 주의합시다.

✕ 安いだから、買いました。 → ○ 安いから、買いました。

싸기 때문에 샀습니다.

② 普通形ではなく、丁寧形で接続することもできますが、その場合は後文は必ず丁寧形です。

보통형이 아닌 정중형으로 접속할 수 있지만, 그 경우 뒤의 문장이 반드시 정중형이 옵니다.

✕ 風邪を引きましたから、休んだ。 → ○ 風邪を引きましたから、休みました。
丁寧形(정중형) 普通形(보통형) 丁寧形(정중형) 丁寧形(정중형)

감기에 걸려서 쉬었습니다.

③ 前提の条件を示すなど、直接理由を表さない「から」の使い方もありますが、

現段階ではこのような使い方もあるということだけ覚えておきましょう。

전제조건을 제시하는 등 직접 이유를 나타내지 않는 「から」의 사용법도 있지만,

지금 단계에서 이와 같은 사용법이 있다는 것만 외워 둡시다.

例: 迎えに行くから、一緒に遊ぼう。 데리러 갈 테니까 같이 놀자.

~ので

~때문에/~(하)니까



意味

「A ので B」で A が B の理由や根拠であることを表す。

「A ので B」에서 A 가 B 의 이유나 근거라는 것을 나타낸다.

接続

N/na-A/i-A/V 普通形+ので

※N な/na-A な

N と na-A の辞書形は「な」をつけて接続する。

N 과 na-A 의 사전형은 「나」를 붙여 접속한다.

暗記

例文

(1) 熱があるので、仕事を休みます。

열이 있기 때문에 일을 쉽니다.

(2) すみませんが、暑いので、エアコンをつけてください。

죄송하지만, 더우니까 에어컨을 켜 주세요.

(3) 暇なので、一緒に映画を見に行きましょう。

한가하니까 같이 영화를 보러 갑시다.

ポイント

① 「な形容詞」と「名詞」の現在肯定形の接続の形は類似文法の「から」と異なるので注意しましょう。

「な형용사」와 「명사」의 현재긍정형의 접속 형태는 비슷한 문법인 「から」와 다르므로 주의합니다.

暇だから、ゲームします。 한가하기 때문에 게임을 합니다。 暇なので、ゲームします。

② 普通形ではなく、丁寧形で接続することもできますが、その場合は後文は必ず丁寧形です。

보통형이 아닌 정중형으로 접속할 수 있지만 그 경우 뒤의 문장은 반드시 정중형이 옵니다.

× 風邪を引きましたので、休んだ。 → ○ 風邪を引きましたので、休みました。
 丁寧形(정중형) 普通形(보통형) 丁寧形(정중형) 丁寧形(정중형)

감기에 걸렸기 때문에 쉬었습니다.

③ 「ので」は丁寧でやさしい印象になるので、相手に何かお願いする、許可を得る、謝るときなどに使うと相手に受け入れてもらいやすいです。

「ので」는 정중하고 부드러운 인상을 주기 때문에, 상대방에게 무언가 부탁을 할 때, 허락을 받을 때, 사과할 때 등에 사용하면 상대방이 받아들이기 쉽습니다.

× 寝るから、電気を消してください。 → ○ 寝るので、電気を消してください。

잘 거기 때문에 불을 꺼주세요.

N/na-A/i-A/V普通形 ^{ふつうけい} ので

あめ 雨(비)	→	_____	_____	_____	_____
ひま 暇(한가하다)	→	_____	_____	_____	_____
いそが 忙しい(바쁘다)	→	_____	_____	_____	_____
かえ 帰る(돌아가다)	→	_____	_____	_____	_____

「から」と「ので」^{ちが}の違い

「から」와 「ので」의 차이

「から」^{とくちよう}の特徴

「から」의 특징

① ^{はな} ^{ことば} ^{つか} **話し言葉**でよく使われる。

구어체로 자주 사용한다.

② ^{しゅかんてき} ^{はな} ^{ひと} ^き ^も ^{あらわ} **主観的に話す人の気持ちを表す。**

주관적으로 이야기하는 사람의 기분을 나타낸다.

「ので」^{とくちよう}の特徴

「ので」의 특징

① 「から」より^{ていねい} ^い ^{かた} ^か ^{ことば} ^{つか}丁寧な言い方で、**書き言葉**でよく使われる。

(^{はな} ^{ことば} ^か **話し言葉も可**)

「から」보다 정중하며, 문어체에서 자주 사용한다.

(구어체도 가능하다.)

② ^{きゃっかんてき} ^{りゆう} ^{けっか} ^{いん} ^が ^{かんけい} ^{じじつ} ^{かんけい} ^{など} ^{あらわ} **客観的に理由と結果の因果関係、事実関係等を表す。**

객관적으로 이유나 결과의 인과관계, 사실관계를 나타낸다.

Q: ^{ちこく} **どうして遅刻しましたか。**

왜 지각을 했습니까?

A: ^{ともだち} ^{ちこく} **友達が遅刻した(から/ので)、^{やくそく} ^{じかん} ^ま ^あ 約束の時間に間に合いませんでした。**

친구가 지각을 해서 약속 시간에 늦었습니다.

「から」を使うと、「間に合わなかったのは友達の^{せきにん} 責任」のような^{はな} ^{ひと} ^き ^も ^{ひょうげん} ^{ばあい} 話す人の気持ちが表現されてしまう場合もあるので、
^{ばあい} ^{じじつ} ^{かんけい} ^{だけ} ^{つた} ^{つか} ^{ほう} このような場合は**事実関係だけを伝える「ので」**を使う方がいいでしょう。

「から」를 사용하면 「늦은 것은 친구의 책임」이라는 화자의 기분이 표현되어지는 경우도 있기 때문에, 이와 같은 경우 사실관계만을 전달하는 「ので」를 사용하는 것이 좋습니다.

③ ^{ぶんまつ} ^{つよ} ^い ^し ^{ひょうげん} ^{つか} **文末に強い意志表現も使える。**

문장 끝에 강한 의지표현도 사용할 수 있다.

例: ^{れい} **うるさいから、テレビを消せ。**

시끄러우니까 TV 꺼.

^{さむ} **寒いから、窓を開けるな。**

추우니까 창문 열지마.

③ ^{ぶんまつ} ^{めいれい} ^{つよ} ^い ^し ^{ひょうげん} ^{つか} **文末に命令など強い意志表現が使えない。**

문장 끝에 명령 등 강한 의지표현을 사용할 수 없다.

例: **×** ^{れい} **うるさいので、テレビを消せ。**

시끄럽기 때문에 TV 를 꺼.

× ^{さむ} **寒いので、窓を開けるな。**

춥기 때문에 창문을 열지마.

~けれども/けれど/けど/が(逆接)



~하지만 (역접)

意味

「A けれども B」で A から予想されることと違う結果が B にくる逆接を表す。

「A けれども B」에서 A 로부터 예상되는 것과 다른 결과가 B 에 오는 역접을 나타낸다.

接続

N/na-A/i-A/V普通形+けれども/けれど/けど/が ※N だ/na-A だ

暗記

例文

(1) 頭が痛いけれども、仕事に行きます。

머리가 아프지만 일을 하러 갑니다.

(2) 日本料理はおいしいけれど、高いです。

일본요리는 맛있지만 비쌉니다.

(3) あの子は小学生だけど、英語がわかります。

저 아이는 초등학생이지만 영어를 할 수 있습니다.

ポイント

① 「けれども」「けれど」「けど」はどれも同じ意味ですが、「けれど」「けど」のように短縮した形の方がより話し言葉になります。「が」は書き言葉として使われることが多いです。

「けれども」「けれど」「けど」는 모두 같은 의미이지만, 「けれど」「けど」와 같이 단축의 형태가 좀 더 회화체 표현이 됩니다. 「が」는 문어체로서 사용되는 경우가 많습니다.

② 普通形ではなく、丁寧形で接続することもできますが、その場合は後文は必ず丁寧形です。

보통형이 아닌 정중형으로 접속할 수 있지만, 그 경우 뒤의 문장은 반드시 정중형이 옵니다.

~~か ぜ ひ がっこう い~~
~~風邪を引きましたが、学校に行った。~~
~~ていねいけい ふつうけい~~
~~丁寧形(정중형) 普通形(보통형)~~

→ ○ か ぜ ひ がっこう い
風邪を引きましたが、学校に行きました。
ていねいけい ていねいけい
丁寧形(정중형) 丁寧形(정중형)

감기에 걸렸지만 학교에 갑니다.

れんしゅう
練習 1

N/na-A/i-A/V普通形 ^{ふつうけい} けれども/けれど/けど/が

にちようび 日曜日(일요일)	→	_____	_____	_____	_____
しず 静か(조용하다)	→	_____	_____	_____	_____
わる 悪い(나쁘다)	→	_____	_____	_____	_____
つか 疲れている(지치다)	→	_____	_____	_____	_____

れんしゅう
練習 2

N/na-A/i-A/V普通形 ^{ふつうけい} けど、N/na-A/i-A/V。

きょう どようび ^{ひと すく}
今日は土曜日(오늘은 토요일) 人が少ない(사람이 적다)

にほんご ^{べんきょう} ^{たいへん} ^{たの}
日本語の勉強は大変(일본어 공부는 힘들다) 楽しい(즐겁다)

りょうり ^{たか}
この料理は高い(이 요리는 비싸다) まずい(맛없다)

あさ ^{はん} ^た ^{なか}
朝ご飯をたくさん食べた(아침밥을 많이 먹었다) お腹がすいた(배가 고프다)

れんしゅう
練習 3

A: ^{にほん} ^{せいかつ} 日本の生活はどうですか。

일본 생활은 어떻습니까?

B: ^{まいにち} ^{たいへん} 毎日大変だけど、おもしろいです。

매일 힘들지만 재미있습니다.

せつぞくし
接続詞

접속사

「けれども」「しかし」「でも」など ^{ぎやくせつ} ^い ^み ^{あらわ} ^{せつぞくし} 逆接の意味を表す接続詞はいくつかあります。

^{げんだん} ^{かい} ^{こま} ^{ちが} ^{りかい} ^{ひつよう} ^{ぎやくせつ} ^{ぶん} ^{つな}
現段階ではそれぞれの細かい違いまで理解する必要はありません。逆接として文を繋げることができる
ことだけ ^{おぼ} 覚えておきましょう。

「けれども」「しかし」「でも」등 역접의 의미를 나타내는 접속사가 몇 가지 있습니다.

지금 단계에서는 각각의 미세한 차이까지 이해할 필요는 없습니다. 역접으로서 문장을 연결하는 것이 가능하
다는 것만 외워 둡시다.



~けれども/けれど/けど/が(対比)

たいひ



~하지만 (대비)

意味

たいひ あらわ 対比を表す。

대비를 나타낸다.

接続

N/na-A/i-A/V普通形+けれども/けれど/けど/が ※Nだ/na-Aだ

暗記

例文

(1) 父はビールは飲むけれども、ワインは飲みません。

아빠는 맥주는 마시지만 와인은 못 마십니다.

(2) 英語は難しいけれど、韓国語は簡単です。

영어는 어렵지만 한국어는 간단합니다.

(3) 今日は暇だけど、明日は忙しいです。

오늘은 한가하지만 내일은 바쁩니다.

ポイント

① 「対比」を表す場合は、対比されるもの助詞は「は」を使います。

「대비」를 나타내는 경우 대비되는 것의 조사는 「は」를 사용합니다.

犬 **は** 好きだけれども、猫 **は** 嫌いです。 犬は 좋아하지만 고양이는 싫습니다.

→ 「犬」と「猫」を対比しているので、直後の助詞は「は」です。

「犬」と「고양이」를 대비하고 있기 때문에 바로 뒤의 조사는 「は」입니다.

② 逆接の場合と同じように、丁寧形で接続することもできます。

역접의 경우와 동일하게 정중형으로 접속할 수도 있습니다.

このパソコンは大きいですが、そのパソコンは小さいです。

丁寧形(정중형)

丁寧形(정중형)

이 컴퓨터는 크지만 그 컴퓨터는 작습니다.

N/na-A/i-A/V普通形 けど、 N/na-A/i-A/V 。

げつようび いそが 月曜日は忙しい(월요일은 바쁘다) きんようび ひま 金曜日は暇だ(월요일은 한가하다)

きのう げんき 昨日は元気じゃなかった(어제는 힘이 없었다) きょう げんき 今日元気(오늘은 건강하다)

わたし しごと 私仕事している(나는 일을 하고 있다)ともだち しごと 友達仕事していない(친구는 일을 하지 않는다)

たいひ じよし
対比の助詞「は」

대비의 조사 「は」

たいひ いみ も じよし つか かた あいて ごかい あた
対比の意味を持つ助詞「は」は使い方によって相手に誤解を与えてしまうことがあります。

대비의 의미를 가진 조사 「は」는 사용법에 따라 상대방에게 오해를 받을 수도 있습니다.

たと あいて かわい おも とき ほ
例えば、相手を可愛いと思った時どうやって褒めますか。

예를 들면, 상대방을 귀엽다고 생각했을 때 어떻게 칭찬을 합니까?



もしこのように褒めたら、相手は嫌な気持ちになるかもしれません。

만약 이와 같이 칭찬한다면 상대방은 기분이 좋지 않을 수도 있습니다.

たいひ つか あいて きょう ほか ひ たいひ き
対比の「は」を使っているので、相手には「今日」と「他の日」を対比しているように聞こえます。

대비의 「は」를 사용하고 있기 때문에 상대방에게는 「오늘」과 「다른 날」을 대비하고 있는 것으로 들립니다.

たと きょう ひかく きょう かわい かわい つた
例えば「今日」と「いつも」を比較して、「今日は可愛いけど、いつもは可愛くない」というように伝わってしまうことがあります。

예를 들면 「오늘」과 「평소」를 대비하여 「오늘은 귀엽지만, 평소는 귀엽지 않다」라고 전달이 될 수가 있습니다.

このような場合は、「今日、可愛いですね」のように

じよし しょうりやく い かた たいひ つか かた ちゅうい
助詞を省略した言い方をします。対比の「は」の使い方には注意しましょう。

이와 같은 경우는 「오늘, 귀엽네요」와 같이

조사를 생략한 표현을 합니다. 대비의 「は」의 사용법에 주의합시다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 熱	ねつ	열
<input type="checkbox"/> 風邪	かぜ	감기
<input type="checkbox"/> 病気	びょうき	병/질병/질환
<input type="checkbox"/> 薬	くすり	약
<input type="checkbox"/> 大人	おとな	어른
<input type="checkbox"/> 子供	こども	어린이
<input type="checkbox"/> 用事	ようじ	일/용무
<input type="checkbox"/> 予定	よてい	예정/일정
<input type="checkbox"/> 遅刻(する)	ちこく	지각(하다)
<input type="checkbox"/> 故障(する)	こしょう	고장(나다)
<input type="checkbox"/> 修理(する)	しゅうり	수리(하다)

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 眠い	ねむい	졸리다
<input type="checkbox"/> 痛い	いたい	아프다
<input type="checkbox"/> 危ない	あぶない	위험하다
<input type="checkbox"/> 都合がいい	つごうがいい	상황이 좋다
<input type="checkbox"/> 都合が悪い	つごうがわるい	상황이 안 좋다
<input type="checkbox"/> 調子がいい	ちょうしがいい	상태가 좋다
<input type="checkbox"/> 調子が悪い	ちょうしがわるい	상태가 안 좋다
<input type="checkbox"/> 気持ちがいい	きもちがいい	기분이 좋다
<input type="checkbox"/> 気持ちが悪い	きもちがわるい	기분이 안 좋다

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> きっと		꼭/반드시
<input type="checkbox"/> たぶん		아마도
<input type="checkbox"/> 全部	ぜんぶ	전부

せつぞくし
接続詞 (Conj)

<input type="checkbox"/> だから		그렇기 때문에
<input type="checkbox"/> けれども		그렇지만/하지만
<input type="checkbox"/> でも		하지만
<input type="checkbox"/> しかし		그러나

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 風邪をひく	かぜをひく	감기에 걸리다
<input type="checkbox"/> お腹がすく	おなかがすく	배가 고프다
<input type="checkbox"/> のどが渴く	のどがかわく	목이 마르다
<input type="checkbox"/> 直す	なおす	고치다

(II)

<input type="checkbox"/> 遅れる	おくれる	늦다/늦어지다
<input type="checkbox"/> 疲れる	つかれる	지치다
<input type="checkbox"/> 壊れる	こわれる	망가지다

まえおき 前置きの「が」「けど」

서두의 「가」「けど」

今回の学習では、「逆接」と「対比」を学びましたが、「前置き」の意味で使われることも多くあります。

이번 학습에서는 「역접」과 「대비」를 배웠지만 「서두」의 의미로서 사용되는 경우도 많이 있습니다.

※通常「~のです」「~んです」という N4 レベルで学習する文法と一緒に使われることが多いです。

일반적으로 「~のです」「~んです」라는 N4 레벨에서 학습하는 문법과 같이 사용하는 경우가 많습니다.

勧誘したり、依頼したりするとき、急に本題だけ言うと相手が驚いてしまうので前置きを入れるといいです。

권유하거나 의뢰를 할 때, 갑자기 본론만 말하면 상대방이 당황하기 때문에 서두를 넣으면 좋습니다.

Left side (Initial state):

Person 1: レストランに行きませんか。レストランへ 가지 않겠습니까?

Person 2: !?

Person 1: 私に日本語を教えてください。저에게 일본어를 가르쳐 주세요。

Person 2: !?

Right side (After using pre-emptive phrases):

Person 1: すてきなレストランを知っているんですが、一緒に行きませんか。 멋진 레스토랑을 알고 있습니다만, 같이 가지 않겠습니까?

Person 2: !?

Person 1: お願いしたいことがあるんですけど、私に日本語を教えてください。 부탁하고 싶은 것이 있는데요, 저에게 일본어를 가르쳐 주세요。

Person 2: !?

このように本題に入る前に少し前置きを入れることで、会話がよりスムーズになります。

이와 같이 본론에 들어가기 전에 서두를 넣음으로써 대화가 보다 더 부드러워집니다.

この使い方は N4 の「~のです」「~んです」の文法を勉強する時に改めて勉強しますが、

会話でよく使う大事な使い方なので、覚えておきましょう。

이 표현은 N4의 「~のです」「~んです」의 문법을 공부할 때 다시 학습할 예정이지만,

회화에서 자주 사용하는 중요한 표현이므로 외워 둡시다.



とき ~時 ~(할) 때



意味

「A時B」で B の動作または状態がいつのことかを表す。

「A 할 때 B」에서 B 의 동작 또는 상태가 언제 일어난 일인가를 나타낸다.

接続

N/na-A/i-A/V普通形+時

※N の/na-A な

N の辞書形は「の」、na-A の辞書形は「な」をつけて接続する。

N 의 사전형은 「의」、na-A 의 사전형은 「나」를 붙여 접속한다.

暗記

例文

(1) 新宿に行った時、友達に会いました。

신주쿠에 갔을 때 친구를 만났습니다.

(2) 暇な時、家で漫画を読んだり、ゲームをしたりします。

한가할 때 집에서 만화를 읽거나 게임을 합니다.

(3) 大学生の時、初めて海外旅行をしました。

대학생 때 처음으로 해외여행을 했습니다.

ポイント

① 「時」の前が「辞書形」か「た形」かによって、動作が行われる順番が変わるので注意しましょう。

「때」의 앞에 오는 것이 「사전형」인지 「타형」인지에 따라 동작이 행해지는 순서가 바뀌므로 주의합시다.

Vる 時

例: 沖縄に行く時、水着を買います。

오кина와에 갈 때 수영복을 살 예정입니다.



水着を買う

수영복을 사다



沖縄に行く

오кина와에 가다

「水着を買う」のが先
「수영복을 사다」가 먼저

B→A

Vた 時

例: 沖縄に行った時、水着を買いました。

오кина와에 갔을 때 수영복을 샀습니다.



沖縄に行く

오кина와에 가다



水着を買う

수영복을 사다

「沖縄に行く」のが先
「오кина와에 가다」가 먼저

A→B

② 後文が現在形か過去形かの違いは、今までの学習と同様に発話時点で

現在(または未来)のことか過去のことかという違いです。

뒤의 문장이 현재형인가 과거형인가의 차이는 지금까지의 학습과 동일하게 발화시점으로, 현재(또는 미래)의 일인가 과거의 일인가의 차이입니다.



かんこく い とき みやげ か
韓国に行った時、お土産を買います。
 한국에 갔을 때 기념선물을 살 예정입니다.

げんざい みらい はなし
現在(未来)の話
 (お土産未購入)
 현재(미래)의 이야기
 (기념선물 미구입)



かんこく い とき みやげ か
韓国に行った時、お土産を買いました。
 한국에 갔을 때 기념선물을 샀습니다.

か こ はなし
過去の話
 (お土産購入済)
 과거의 이야기
 (기념선물 구입완료)

③ 上記のように、「時」に接続する品詞が動詞の場合は、現在形か過去形で意味が異なるので

注意が必要ですが、他の品詞と接続する場合や、存在の意味を表す動詞「ある」「いる」と接続する場合は現在形でも過去形でも同じ意味です。

위와 같이 「때」에 접속하는 품사가 동사인 경우는 현재형이나 과거형으로 의미가 다르기 때문에 주의가 필요하지만, 다른 품사와 접속하는 경우나 존재의 의미를 나타내는 동사 「ある」「いる」와 접속하는 경우는 현재형과 과거형 모두 같은 의미입니다.

れい がっこう とき せんせい あ
例: 学校にいる時、先生に会いました。
 Ⅱ
 がっこう とき せんせい あ
学校にいた時、先生に会いました。
 (학교에 있을 때 선생님을 만났습니다.)

「いる時」でも「いた時」でも意味は同じです。
 「있을 때」와 「있었을 때」 모두 의미는 같습니다.

れい わか とき
例: 若い時、よくテニスをしました。
 Ⅱ
 わか とき
若かった時、よくテニスをしました。
 (젊었을 때 자주 테니스를 쳤습니다.)

「若い時」でも「若かった時」でも意味は同じです。
 「젊었을 때」와 「젊었을 때」 모두 의미는 같습니다.

れんしゅう
練習 1

N/na-A/i-A/V 普通形 ^{ふつうけい} ^{とき} 時、 N/na-A/i-A/V

^{がくせい} ^{いっしょうけんめいべんきょう}
学生(학생) 一生懸命勉強した(열심히 공부했다)

^{ひま} ^{こうえん} ^{さんぽ}
暇(한가하다) 公園を散歩する(공원을 산책하다)

^{わか} ^{がいこく} ^す
若い(젊다) 外国に住んでいた(외국에 살았었다)

^ね ^{でんき} ^け
寝る(자다) 電気を消す(불을 끄다)

れんしゅう
練習 2

(1) ^{ともだち} ^{あそ} ^{とき} ^{たの}
友達と遊んでいる時、とても楽しいです。

친구와 놀 때 매우 즐겁습니다.

^{こいびと} ^{いっしょ} ^か ^{もの}
恋人と一緒にいる(애인과 함께 있다)/ネットで買い物している(인터넷에서 쇼핑을 하고 있다)

^{しごと} ^{あと} ^{さけ} ^の
仕事の後、お酒を飲んでいる(일이 끝난 후 술을 마시고 있다)

スマホでゲームしている(스마트폰으로 게임을 하고 있다)

(2) ^{ひま} ^{とき} ^{かぞく} ^{でんわ}
暇な時、家族に電話をかけます。

한가할 때 가족에게 전화를 겁니다.

^{びょうき} ^{しごと} ^{やす}
病氣(병, 질병)/仕事が休み(일을 쉬다)/さびしい(외롭다, 쓸쓸하다)

^{げんき} ^{りょこう}
元氣がない(기운이 없다)/旅行した(여행을 했다)

(3) ^{こども} ^{とき} ^{こうえん} ^{あそ}
子供の時、よく公園で遊びました。

어렸을 때 자주 공원에서 놀았습니다.

^{がっこう} ^{やす} ^{かぞく} ^{ゆうえんち} ^い
学校を休んだ(학교를 쉬었다)/家族と遊園地に行った(가족과 놀이공원에 갔다)

^{ともだち} ^{うみ} ^{およ} ^{ちず} ^み
友達と海で泳いだ(친구와 바다에서 수영을 했다)/地図を見た(지도를 봤다)

(1) A: 大学生の時、よく何をしていましたか。

대학생 때 주로 무엇을 했습니까?

B: よくバイトをしていました。

주로 아르바이트를 했습니다.

どうですか…^{こま}困った^{とき}時の^{ほうほう}方法・^{たいさく}対策等を^{しつもん}質問する^{とき}時に^{つか}使います。

どうですか…^{こま}困란할 때 ^{ほうほう}방법・^{たいさく}대책 등을 물을 때 사용합니다。

(2) A: パスポートをなくしたときは、どうですか。

여권을 잃어버렸을 때는 어떻게 해야합니까?

B: 交番に行きます。

경찰서에 갑니다.

「～ときは」 = 「～^{ばあい}場合は」

「～때는」 = 「～경우는」

助詞「は」がつくと、「～の^{ばあい}場合は」という^{いみ}意味で^{つか}使うことができます。

조사「は」가 붙으면 「～의 ^{경우는}경우는」이라는 의미로 사용할 수 있습니다.

例: 遅刻するときは、メールしてください。

지각을 할 때는 메일을 보내주세요.

困ったときは、先生に^{れんらく}連絡してください。

곤란할 때는 선생님에게 연락해 주세요.

※「～の^{ばあい}場合は」の意味で使われる場合は、^{つうじょう}通常「時」は「^{とき}とき」とひらがなで^か書きます。

「～의 ^{경우는}경우는」의 의미로 사용하는 경우 보통 「^{とき}時」는 「^{とき}とき」라고 히라가나로 씁니다.



どうし めいししゅうしょく 動詞の名詞修飾



동사의 명사수식

名詞、な形容詞、い形容詞の名詞修飾の学習は以前しました。今回は動詞の名詞修飾を学習します。

まず最初に動詞以外の名詞修飾の復習をしましょう。

동사, な형용사, 이형용사의 명사수식 학습은 이전에 했습니다. 이번에는 동사의 명사수식을 학습할 예정입니다.

먼저 동사 이외의 명사수식의 복습을 해 봅시다.

めいし めいししゅうしょく 名詞の名詞修飾



にほんご
日本語
N



きょうかしょ
教科書
N

일본어 교과서

명사의 명사 수식

けいようし めいししゅうしょく な形容詞の名詞修飾



すてき
na-A



ぼうし
帽子
N

멋진 모자

나형용사의 명사 수식

けいようし めいししゅうしょく い形容詞の名詞修飾



たか
高い
i-A



とけい
時計
N

비싼 시계

이형용사의 명사 수식

5,000,000,000

どうし めいししゅうしょく 動詞の名詞修飾

「動詞+名詞」の場合は、動詞の普通形に接続します。

「동사+명사」의 경우는 동사의 보통형에 접속합니다.



べんきょう
勉強しています + 人

→

べんきょう
勉強している 人

공부하고 있는 사람

べんきょう
勉強していません + 人

→

べんきょう
勉強していない 人

공부하지 않고 있는 사람

べんきょう
勉強していました + 人

→

べんきょう
勉強していた 人

공부하고 있었던 사람

べんきょう
勉強していませんでした + 人

→

べんきょう
勉強していなかった 人

공부하고 있지 않았던 사람

(1) ^{あか} ^{ふく} ^き ^{ひと} ^{わたし} ^{ちち}
赤い服を着ている人は私の父です。

빨간 옷을 입고 있는 사람은 저의 아버지입니다.

(2) ^{かのじょ} ^{つく} ^{りょうり} ^{いちばん} ^す
彼女が作った料理が一番好きです。

그녀가 만들어준 요리가 제일 좋습니다.

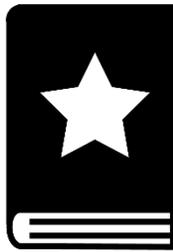
(3) ^{べんきょう} ^{たんご} ^{わす}
勉強した単語を忘れました。

공부한 단어를 잊어버렸습니다.

ポイント

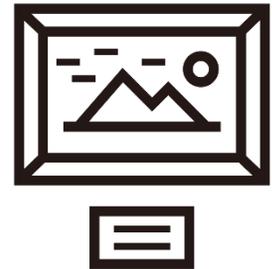
① ^{しゅうしょく} ^{めいし} ^{せつめい}
修飾した名詞がどのようなものであるかを説明します。

^{ともだち} ^か ^{ほん}
友達が買いました + 本
친구가 샀습니다 책



これは ^{ともだち} ^か ^{ほん}
友達が買った本 です。
이것은 친구가 산 책입니다.

^{ちち} ^か ^え
父が描きました + 絵
아버지가 그렸습니다 그림



これは ^{ちち} ^か ^え
父が描いた絵 です。
이것은 아버지가 그린 그림입니다.

② ^{めいし} ^{しゅうしょく} ^{せつ} ^{なか} ^{しゅご} ^{じょし} ^{おも} ^{つか}
名詞修飾節の中の主語の助詞は、主に「が」を使います。

명사수식절의 주어의 조사는 주로 「가」를 사용합니다.

例: ^{れい} ^{かのじょ} ^{つく} ^{りょうり} ^た
彼女が作った料理を食べたいです。

그녀가 만들어준 요리를 먹고 싶습니다.

※この「が」は「の」に変えることもできるので、「^{かのじょ} ^{つく} ^{りょうり} ^た ^い
彼女の作った料理を食べたいです。」とすることもできます。

이 「가」는 「의」로 바꿀 수 있기 때문에, 「^{かのじょ} ^{つく} ^{りょうり} ^た
彼女の作った料理を食べたいです。」라고 말할 수도 있습니다.

いま ^{がくしゅう} ^{ぶんけい} ^{ふつうけい} ^{かたち} ^か ^{れんしゅう}
今まで学習した文型の N を V普通形+N の形に変えて練習していきましょう。

지금까지 학습한 문형의 N 을 V普通形+N 의 형태로 바꾸어 연습해 봅시다.

(1) **V普通形+N** は **N/na-A/i-A**

例: **赤い服を着ている人は私の父です。**(빨간 옷을 입고 있는 사람은 저의 아버지입니다.)

黄色いズボンをはいている女の人は私の妹(노란 바지를 입고 있는 여자) **私の妹**(나의 여동생)

昨日買った果物(어제 산 과일) **甘い**(달다)

私が飼っている猫(내가 기르고 있는 고양이) **とても元気**(매우 건강하다)

(2) **これ/それ/あれ** は **V普通形+N**

例: **これは私が買ったペンです。**(이것은 제가 산 펜입니다.)

これ(이것) **私が作った料理**(내가 만든 요리)

それ(그것) **友達が描いた漫画**(친구가 그린 만화)

あれ(저것) **先週買った時計**(지난주에 산 시계)

(3) **V普通形+N** を **V**

例: **昨日買った漫画を読みます。**(어제 산 만화를 읽습니다.)

壊れたテレビ(망가진 TV) **捨てる**(버리다)

昨日買ったたばこ(어제 산 담배) **吸う**(피우다)

先週勉強した文法(지난주 공부한 문법) **復習する**(복습하다)

(4) **場所** に **V普通形+N** が **V(あります・います)**

例: **家に使っていないパソコンがあります。**(집에 사용하지 않는 컴퓨터가 있습니다.)

教室(교실) **学生が描いた絵**(학생이 그린 그림) **ある**(있다)

駅(역) **赤い服を着ている人**(빨간 옷을 입고 있는 사람) **いる**(있다)

会議室(회의실) **会議している人**(회의하고 있는 사람) **いる**(있다)

(1) A: ^{ひと たなか} どの人が田中さんですか。

어느 분이 다나카씨 입니까?

B: ^{くろ ぼうし} 黒い帽子をかぶっている^{ひと} 人です。

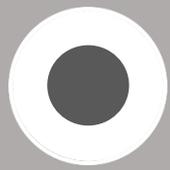
검은 모자를 쓰고 있는 사람입니다.

(2) A: ^{あしたひま} 明日暇ですか。

내일 한가합니까?

B: すみません。^{あした} 明日は^{ともだち} 友達と^{としょかん} 図書館で^{べんきょう} 勉強する^{よてい} 予定があります。

죄송합니다. 내일은 친구와 도서관에서 공부를 할 예정입니다.



おも ~と~と思います

~라고 생각하다



意味

はな ひと いけん すいりょう あいて つた
話す人の意見や推量を相手に伝える。

화자의 의견이나 추측을 상대방에게 전달하다

接続

N/na-A/i-A/V普通形+~とおも

※Nだ/na-Aだ

N、na-Aの辞書形は「だ」をつけて接続する。

N、na-A의 사전형은 「だ」를 붙여 접속한다.

暗記

例文

いまわたし りょうしん いえ おも
(1) 今私の両親は家にいると思います。

지금 저의 부모님은 집에 있을 것입니다.

たなか きょうがっこう こ おも
(2) 田中さんは今日学校に来ないと思います。

다나카씨는 오늘 학교에 오지 않을 것이라고 생각합니다.

かれ にじゅうごさい おも
(3) 彼はだいたい25歳ぐらいだと思います。

그는 대략 25 살 정도일 것이라고 생각합니다.

ポイント

① 助詞「と」は引用を表します。

조사「と」는 인용을 나타냅니다.

② 「~と~と思います」は話す人の意見や推量を伝える時に使うので、主語が第三者の時は、「~と~と思います」ではなく、「~と~と思っています」を使います。

「~라고 생각합니다」는 화자의 의견이나 추측을 전달할 때 사용하므로 주어가 제 3자인 경우에는, 「~と~と思います」가 아닌 「~と~と思っています」를 사용합니다.

Aさんは日本語は難しいと思っています。

A 씨는 일본어는 어렵다고 생각하고 있습니다.

日本語は難しい...

일본어는 어려워...



③ 否定の表し方は二つあります。 부정을 나타내는 방법은 두 가지가 있습니다.

(1) 日本語は難しくないと思います。

(2) 日本語は難しいと思いません。

일본어는 어렵지 않다고 생각합니다.

일본어는 어렵다고 생각하지 않습니다.

他の人が「日本語は難しい」と言った時に否定する時は(2)を使う場合が多いなど、

状況によって使い方は異なりますが、今回の学習では(1)の形で学習します。

다른 사람이 「일본어는 어렵다」라고 말했다 때 부정을 하는 경우 (2)를 사용하는 경우가 많으며, 상황에 따라 사용법은 다르지만 이번 학습에서는 (1)의 형태로 학습할 예정입니다.

N/na-A/i-A/V 普通形 と思います。

あの人はたぶん**独身**(저 사람은 아마 독신이다)

日本の**コンビニ**は**便利**(일본의 편의점은 편리하다)

韓国の**ドラマ**は**おもしろい**(한국 드라마는 재미있다)

スマホは**とても役に立つ**(스마트폰은 매우 도움이 되다)

A: **私は日本語は漢字が難しい**と思います。Bさんはどう思いますか。

저는 일본어는 한자가 어렵다고 생각합니다. B 씨는 어떻게 생각합니까?

B: **私も難しい**と思います。/**私は文法が難しい**と思います。

저도 어렵다고 생각합니다./ 저는 문법이 어렵다고 생각합니다.

「～と言う」「～^{かんが}考える」

「～라고 말한다」「～라고 생각한다」

引用を表す助詞に続く動詞は「**思う**」だけではありません。「**言う**」や「**考える**」などの動詞にも使われます。

인용을 나타내는 조사에 이어지는 동사는 「**思う**」 뿐만이 아닙니다. 「**言う**」나 「**考える**」 등의 동사에도 사용됩니다.

例: **彼は明日雨が降ると言いました。**

그는 내일 비가 온다고 말했습니다.

勉強は大変だと考える人が多いです。

공부는 힘들다고 생각하는 사람이 많습니다.

※この引用を表す「と」は、話し言葉ではよく「**って**」に言い換えられます。

이 인용을 나타내는 「と」는 회화에서 「**って**」로 바꾸어 말하는 경우가 많습니다.

例: **彼は明日雨が降るって言いました。**

그는 내일 비가 온다고 말했습니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 外国	がいこく	외국
<input type="checkbox"/> 海外	かいがい	해외
<input type="checkbox"/> 地図	ちず	지도
<input type="checkbox"/> 運転(する)	うんてん	운전(하다)
<input type="checkbox"/> 転勤(する)	てんきん	전근(가다)
<input type="checkbox"/> 会議(する)	かいぎ	회의(하다)
<input type="checkbox"/> 乾杯(する)	かんぱい	건배(하다)
<input type="checkbox"/> お祈り(する)	おいのり	기도(하다)
<input type="checkbox"/> 予習(する)	よしゅう	예습(하다)
<input type="checkbox"/> 復習(する)	ふくしゅう	복습(하다)
<input type="checkbox"/> 試験(する)	しけん	시험(보다)
<input type="checkbox"/> テスト(する)		테스트(보다)

けいようし
な形容詞 (na-A)

<input type="checkbox"/> 一生懸命	いっしょうけんめい	열심히
-------------------------------	-----------	-----

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 若い	わかい	젊다
<input type="checkbox"/> さびしい		외롭다
<input type="checkbox"/> 悲しい	かなしい	슬프다
<input type="checkbox"/> うれしい		기쁘다

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> 初めて	はじめて	처음으로
<input type="checkbox"/> だいたい		대략/대충

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 思う	おもう	생각하다
<input type="checkbox"/> 役に立つ	やくにたつ	도움이 되다

(II)

<input type="checkbox"/> (電話を)かける	でんわをかける	(전화를)걸다
-----------------------------------	---------	---------

ちやくせついんよう かんせついんよう
直接引用と間接引用

직접인용과 간접인용

こんかい がくしゅう いんよう じょし べんきょう ほか ひと はな いんよう ばあい
今回の学習で引用の助詞「と」を勉強しましたが、他の人が話していたことを引用する場合、
ちやくせついんよう かんせついんよう ふた ほうほう
「直接引用」と「間接引用」の二つの方法があります。

이번 학습에서 인용의 조사「と」를 공부했습니다만, 다른 사람이 말했던 것을 인용하는 경우
「직접인용」과 「간접인용」 두 가지 방법이 있습니다.

■ **直接引用** ... 他人の発話をそのまま引用、他人の発話を「 」で囲む必要があります。

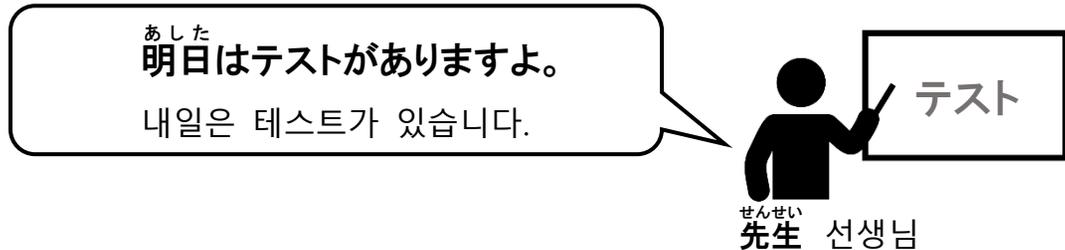
직접인용 다른 사람의 발화를 그대로 인용, 다른 사람의 발화를 「 」안에 넣을 필요가 있습니다.

■ **間接引用** ... 他人の発話を自分の言葉でまとめた引用です。

간접인용 다른 사람의 발화를 자신의 말로 정리한 인용입니다.

ちやくせついんよう
直接引用

직접인용



＼そうですか/
그런가요

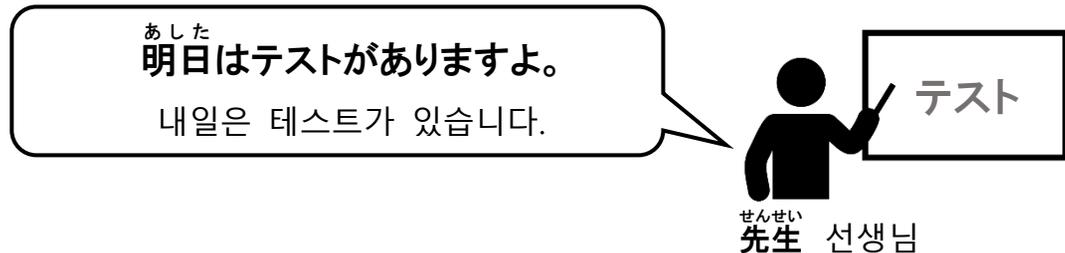
がくせい
学生B
학생 B

がくせい
学生A
학생 A



かんせついんよう
間接引用

간접인용

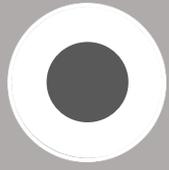


＼そうですか/
그런가요

がくせい
学生B
학생 B

がくせい
学生A
학생 A





na-A に V/i-A < V



na-A(하)게 V/i-A(하)게 V

意味

動作の様子、状態を詳しく説明する。

동작의 모습, 상태를 자세하게 설명한다.

接続

na-A に V / i-A(い) < V

※い形容詞の「いい」は「よく」になります。

い형용사의 「いい」는 「よく」가 됩니다.

暗記

例文

(1) 静かに話しましょう。

조용하게/조용히 이야기합니다.

(2) 字を大きく書いてください。

글자를 크게 써 주세요.

(3) 彼は毎日忙しく働いています。

그는 매일 바쁘게 일하고 있습니다.

ポイント

「na-A に」「i-A <」の形で、動作の様子や状態を説明する副詞と同じ使い方ができます。

「na-A に」「i-A <」의 형태로 동작의 모양이나 상태를 설명하는 부사와 같은 사용법으로 쓸 수 있습니다.

例: ゆっくり歩きます。

천천히 걸습니다.

例: まっすぐ歩きます。

똑바로 걸습니다.

「ゆっくり」「まっすぐ」は副詞です。歩く様子を説明しています。

「천천히」「똑바로」는 부사입니다. 걷는 모습을 설명하고 있습니다.

この副詞と同じイメージで以下を見てみましょう。

이 부사와 같은 이미지로 아래 예시를 살펴봅시다.

例: 静かに歩きます。

조용히 걸습니다.

例: 速く歩きます。

빨리 걸습니다.

「静かに(na-A に)」「速く(i-A <)」も歩く様子を説明しています。

「조용히(na-A に)」「빨리(i-A <)」 모두 걷는 모습을 설명하고 있습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) na-A に V。

じょうず 上手(능숙하다, 잘하다) 歌う(노래 부르다) / 静か(조용하다) 勉強する(공부하다)

ていねい 丁寧(정중하다, 정성스럽다) 書く(쓰다) / 大切(소중하다) 使う(사용하다)

(2) i-A < V。

はや 速い(빠르다) 走る(달리다) / 大きい(크다) 書く(쓰다)

たの 楽しい(즐겁다) 仕事する(일하다) / おいしい(맛있다) 料理する(요리하다)

れんしゅう
練習 2

テストの勉強をするから、早く起きます。

시험 공부를 해야 하기 때문에 빨리 일어날 예정입니다.

あさろくじ ひこうき の 朝6時の飛行機に乗る(아침 6시의 비행기를 타다)

あさはん 朝ご飯をゆっくり食べたい(아침 밥을 천천히 먹고 싶다)

れんしゅう
練習 3

(1) A: 大切に使っているものがありますか。

소중히 사용하고 있는 것이 있습니까?

B: はい、父にもらった時計を大切に使っています。

네, 아버지에게 받은 시계를 소중히 사용하고 있습니다.

(2) A: 時間がないので、早く食べてください。

시간이 없으니 빨리 드세요.

B: わかりました。

알겠습니다.



N になります / na-A になります / i-A くなります



N 가 되다 / na-A 하게 되다 / i-A 해지다

意味

しぜん へんか あらわ
自然な変化を表す。

자연스러운 변화를 나타낸다.

接続

N になる / na-A になる / i-A (い) くなる

暗記

例文

おとうと だいがく そつぎょう あと せんせい
(1) 弟は大学を卒業した後、すぐ先生になりました。

남동생은 대학을 졸업한 후 바로 선생님이 되었습니다.

(2) バスケットボールが上手になりました。

농구를 잘하게 되었습니다.

(3) だんだん寒くなります。

점점 추워집니다.

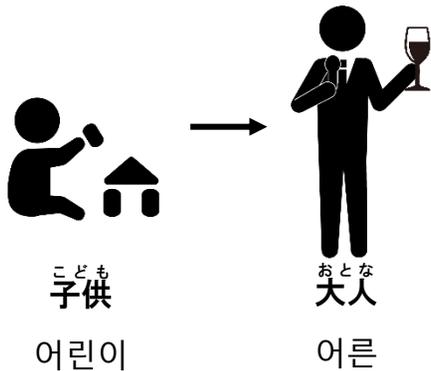
ポイント

「なる」は物事の自然な変化を表します。

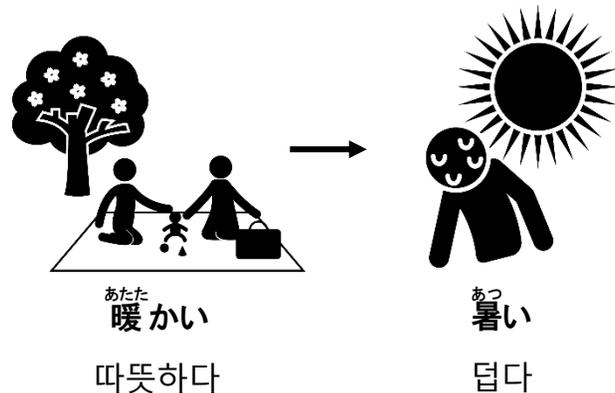
めいし けいようし けいようし せつぞく ぐたいてき へんか せつめい
名詞、な形容詞、い形容詞と接続して、具体的にどのように変化するのかを説明します。

「なる」는 어떠한 일의 자연스러운 변화를 나타냅니다.

명사, な형용사, い형용사와 접속하여 구체적으로 어떻게 변화하는가를 설명합니다.



おとな
大人になります。
어른이 됩니다.



あつ
暑くなります。
더워집니다.

れんしゅう
練習 1

に...^{へんか}変化の^{けっか}結果を表す^{あらわ}助詞。^{じょし}

に...변화의 결과를 나타내는 조사.

(1) **N** になります。

おとな ^{かいしゃいん} / ^{ともだち}
大人(어른) / 会社員(회사원) / 友達(친구)

はる ^{びょうき}
春(봄) / 病氣(병, 질병, 질환) / インフルエンザ(인플루엔자)

(2) **na-A** になります。

じょうず ^{へた} / ^{しず}
上手(능숙하다) / 下手(서투르다) / 静か(조용하다)

げんき ^{けんこう} / ^す
元氣(건강하다) / 健康(건강하다) / 好き(좋아하다)

(3) **i-A** くなります。

あか ^{くら} / ^{いそが}
明るい(밝다) / 暗い(어둡다) / 忙しい(바쁘다)

いい(좋다) / やわらかい(부드럽다) / ^{かた}
固い(딱딱하다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: ^{しょうらいなに}将来何になりたいですか?

장래에 무엇이 되고 싶습니까?

B: ^{しょうがっこう} ^{せんせい}小学校の先生になりたいです。

초등학교 선생님이 되고 싶습니다.

(2) A: ^{こども} ^{とき} ^{なに}子供の時、何になりたかったですか?

어렸을 때 무엇이 되고 싶었습니까?

B: ^{いしや}医者になりたかったです。

의사가 되고 싶었습니다.



na-A にします/i-A します



na-A 하게 하다/i-A 하게 하다

意味

人の意志で状態を変化させることを表す。

사람의 의지로 상태를 변화시키는 것을 나타낸다.

接続

na-A にする/i-A(い)くする ※N+にする

暗記

例文

(1) 部屋をきれいにします。

방을 깨끗하게 합니다.

(2) 寝る時、部屋を暗くします。

잘 때 방을 어둡게 합니다.

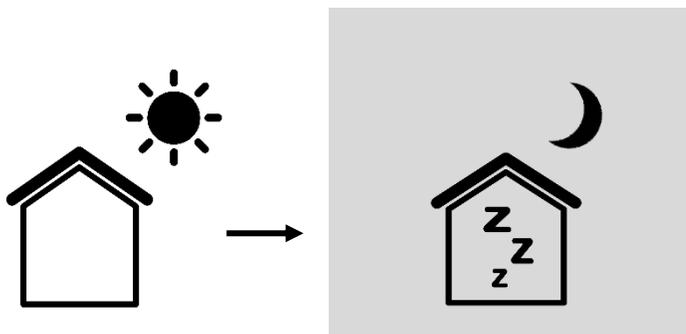
(3) テレビの音を大きくしてください。

TV 소리를 크게 해주세요.

ポイント

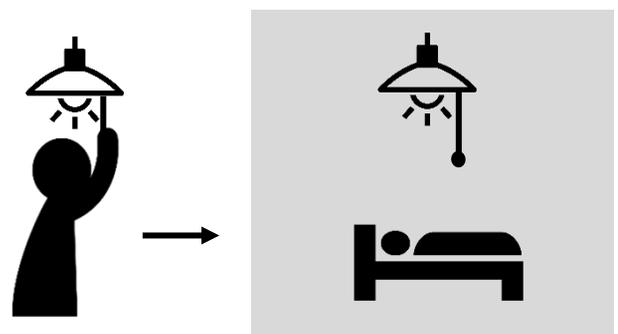
「na-A になる」「i-A くなる」が自然な変化を表していたことに対して、「na-A にする」「i-A くる」は人の意志で変化させることを表しています。

「na-A になる」「i-A くなる」가 자연스러운 변화를 나타내고 있는 것에 비하여, 「na-A にする」「i-A くる」는 사람의 의지로 변화시키는 것을 나타내고 있습니다.



暗くなります。(夜になって自然に暗く変化した。)

어두워집니다. (밤이 되어 자연스럽게 어두워졌다.)



暗くします。(人が電気を消して暗く変化した。)

어둡게 합니다. (사람이 불을 꺼서 어두워졌다.)

※「N+にする」という形もありますが、主に「決定」の意味で使われることが多いので、次の回で詳しく学習します。

「N+にする」라는 형태도 있지만 주로 「결정」의 의미로 사용되는 경우가 많기 때문에 다음에 자세하게 학습할 예정입니다.

れんしゅう
練習 1

(1) na-A にします。

しず
静か(조용하다)/きれい(깨끗하다)

かんたん たいせつ
簡単(간단하다)/大切(소중하다)

(2) i-A くします。

おお あま なが
大きい(크다)/甘い(달다)/長い(길다)

おそ あつ つめ
遅い(늦다)/熱い(뜨겁다)/冷たい(차갑다)

れんしゅう
練習 2

A: すみません、味が薄いので、濃くしてください。

죄송하지만, 맛이 싱거우니 진하게 해 주세요.

B: いいですよ。

알겠습니다.

ばい
倍にする

배로 하다

「Nにする」の形で量を変化させる以下の表現はこの回で覚えておきましょう。

「Nにする」의 형태로 양을 변화시키는 아래의 표현은 이번 회차에서 외워 둡시다.

はんぶん れい ほん はんぶん
・半分(반) 例: ご飯を半分にします。

밥(의 양)을 반으로 하겠습니다.

にばい れい しゅくだい にばい
・二倍(두 배) 例: 宿題を二倍にします。

숙제를 두 배로 하겠습니다.

さんばい れい きんがく さんばい
・三倍(세 배) 例: 金額を三倍にします。

금액을 세 배로 하겠습니다.



Nにします(^{けってい}決定)



N으로 하다(결정)

意味

^{はな} ^{ひと} ^{いし} ^{けってい}
話す人の意志で決定をする。

화자의 의지로 결정을 하다.

接続

N+にする

暗記

例文

(1) ^{きょう} ^{ひる}今日の昼ごはんはラーメンにします。

오늘 점심은 라면으로 하겠습니다.

(2) ^{らいしゅう}テストは来週にします。

테스트는 다음주로 하겠습니다.

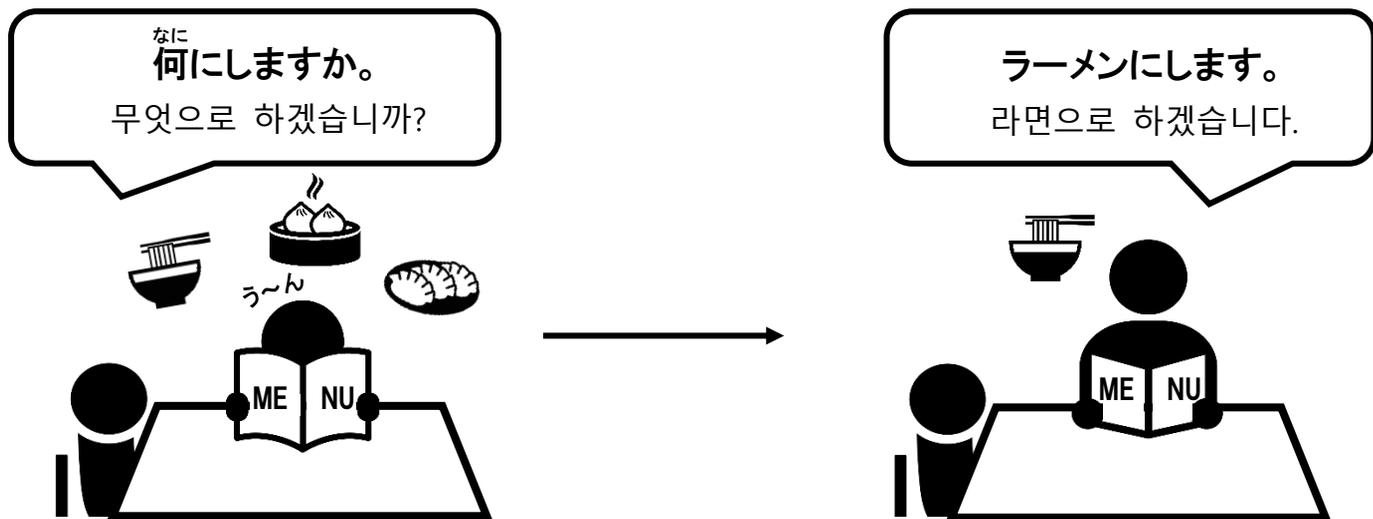
(3) ^{きょう} ^{くるま} ^き今日は車で来たから、^{ちや}お茶にします。

오늘은 차를 타고 왔으니 차로 하겠습니다.

ポイント

① ^{せんたくし} ^{なか} ^{えら} ^{けってい} ^{とき} ^{つか}いくつかの選択肢の中から選んで決定する時に使います。

몇 가지의 선택지 중에서 고른 후 결정할 때 사용합니다.



② 「N+する」のⅢグループの動詞のNは使えません。

「N+する」의 3 그룹 동사 N은 사용할 수 없습니다.

※Ⅲグループの動詞の場合は、「Nすることにする」という形^{かたち}で決定を表すことができますが、これはN4^{がくしゅう}で学習します。

3 그룹 동사의 경우는 「Nすることにする」라는 형태로 결정을 나타낼 수 있지만, 이것은 N4 에서 학습할 예정입니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N にします。

ビール(맥주)/うどん(우동)

あした ちか みせ
明日(내일)/近くのお店(가까운 가게)

(2) N にしましょう。

みず ちゃ ぎょうざ
水とお茶(물과 차)/ラーメンと餃子(라면과 교자)

げつようび じ ゆうめい
月曜日の9時(월요일 9시)/有名なレストラン(유명한 레스토랑)

れんしゅう
練習 2

(1) A: レストランのメニューを見て何にしますか。

(레스토랑의 메뉴를 보고) 무엇으로 하겠습니까?

B: サンドイッチとコーヒーにします。

샌드위치와 커피로 하겠습니다.

(2) A: もうすぐ先生の誕生日なので、プレゼントを買いに行きましょう。いつがいいですか。

곧 선생님의 생일이니 선물을 사러 갑시다. 언제가 좋습니까?

B: 今週の土曜日はどうですか。

다음주 토요일은 어떻습니까?

A: いいですね。今週の土曜日にしましょう。

좋네요. 다음주 토요일로 합시다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 字	じ	글자
<input type="checkbox"/> 音	おと	소리
<input type="checkbox"/> インフルエンザ		인플루엔자
<input type="checkbox"/> 春	はる	봄
<input type="checkbox"/> 夏	なつ	여름
<input type="checkbox"/> 秋	あき	가을
<input type="checkbox"/> 冬	ふゆ	겨울
<input type="checkbox"/> 半分	はんぶん	반
<input type="checkbox"/> 倍	ばい	배
<input type="checkbox"/> 将来	しょうらい	장래/미래
<input type="checkbox"/> メニュー		메뉴

けいようし
な形容詞 (na-A)

<input type="checkbox"/> 上手	じょうず	잘하다/능숙하다
<input type="checkbox"/> 下手	へた	서투르다
<input type="checkbox"/> 大切	たいせつ	소중하다
<input type="checkbox"/> むだ		낭비/쓸데없다
<input type="checkbox"/> 丁寧	ていねい	정중하다/정성껏
<input type="checkbox"/> 健康	けんこう	건강하다

けいようし
い形容詞 (i-A)

<input type="checkbox"/> 熱い	あつい	뜨겁다
<input type="checkbox"/> 冷たい	つめたい	차갑다
<input type="checkbox"/> 明るい	あかるい	밝다
<input type="checkbox"/> 暗い	くらい	어둡다
<input type="checkbox"/> (味が)濃い	(あじが)こい	(맛이)진하다
<input type="checkbox"/> (味が)薄い	(あじが)うすい	(맛이)싱겁다
<input type="checkbox"/> 固い	かたい	딱딱하다
<input type="checkbox"/> やわらかい		부드럽다

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> だんだん		점점
<input type="checkbox"/> すぐ		금방
<input type="checkbox"/> もうすぐ		곧
<input type="checkbox"/> もう少し	もうすこし	조금 더
<input type="checkbox"/> 全然	ぜんぜん	전혀
<input type="checkbox"/> あまり		그다지

どうし
動詞 (V)

(I)		
<input type="checkbox"/> なる		되다

ふくし しゅるい
副詞の種類

부사의 종류

こんかい けいようし ふくしてきようほう がくしゅう
今回は形容詞の副詞的用法を学習しましたが、副詞についてももう少し詳しく説明します。

이번에는 형용사의 부사적용법을 학습해 보았습니다만 부사에 대해 좀 더 자세하게 설명하겠습니다.

ふくし さんしゅるい
副詞には三種類あります。

부사에는 세 종류가 있습니다.

ふくし しゅるい
< 副詞の種類 >

부사의 종류

じょうたい ふくし
① 情態副詞

ゆっくり (천천히) すぐ (금방)、まっすぐ (똑바로, 곧장) など

どうさ じょうたい くわ あらわ ふくし
動作の状態を詳しく表す副詞です。

동작의 상태를 자세하게 나타내는 부사입니다.

「どきどき」「わくわく」などのオノマトペも副詞に入ります。

「두근두근」「울렁울렁」 등의 의성어도 부사에 들어갑니다.

れい すす
例: **まっすぐ** 進んでください。(똑)바로 직진해 주세요.

ていど ふくし
② 程度副詞

とても (매우)、もっと (더욱, 좀 더)、ちょっと (조금) など

じょうたい せいしつ ていど りょう あらわ ふくし
状態、性質の程度や量を表す副詞です。

상태, 성질의 정도나 양을 나타내는 부사입니다.

ふくし つうじょうどうし けいようし しゅうしょく ていど ふくし めいし ふくし しゅうしょく
副詞は通常動詞や形容詞を修飾しますが、程度副詞は名詞や副詞も修飾できます。

부사는 보통 동사나 형용사를 수식하지만, 정도부사는 명사나 부사도 수식할 수 있습니다.

れい ある
例: **もっと** **ゆっくり** 歩いてください。더욱 천천히 걸어주세요.

もっと **左** です。 좀 더 왼쪽입니다。
N

ちんじゅつ ふくし
③ 陳述副詞

ぜんぜん 全然 (전혀)、あまり (그다지)、たぶん (아마) など

ぶん うし き ことば うちけ すいりょう い み あらわ ふくし
文の後ろに決まった言葉が付き、打消し、推量などの意味を表す副詞です。

문장의 뒤에 정해진 말이 붙으며 부정하거나 수량 등의 의미를 나타내는 부사입니다.

れい ぜんぜん うちけ えいが ぜんぜん おもしろ
例: **全然** ~ない 【打消し】 この映画は**全然**面白くありません。

전혀 ~하지 않다 【부정】 이 영화는 전혀 재미있지 않습니다.

たぶん ~だろう 【推量】 田中さんは**たぶん**学校に来ないだろう。

아마 ~(할) 것이다. 【추측】 다나카씨는 아마 학교에 오지 않을 것이다.



Aは/Aのほうが Bより~です



A는/A가 B보다 ~입니다

意味

AとBの性質に優劣、大小、程度に差があることを表す。

A와 B의 성질에 우열, 대소, 정도에 차이가 있는 것을 나타낸다.

接続

AはBより/AのほうがBより

暗記

例文

(1) 彼女は私より背が高いです。

그녀는 저 보다 키가 큼니다.

(2) 東京は大阪より人が多いです。

도쿄는 오사카보다 사람이 많습니다.

(3) 今日のほうが昨日より寒いです。

오늘이 어제보다 춥습니다.

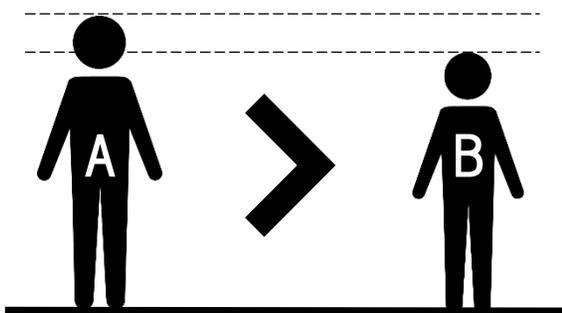
ポイント

① 「より」は比較を表す助詞です。

「より」는 비교를 나타내는 조사입니다.

どちらのほうが背が高いですか。

어느 쪽이 키가 큼니까?

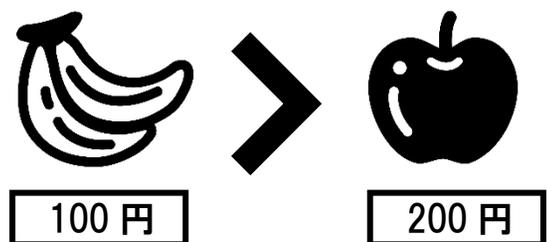


AさんはBさんより背が高いです。

A 씨는 B 씨보다 키가 큼니다.

どちらのほうが安いですか。

어느 쪽이 싸니까?



バナナはりんごより安いです。

바나나는 사과보다 싸니까.

② 語順を変えたり、「は」を「のほうが」に置き換えることができます。

어순을 바꾸거나 「は」를 「のほうが」로 대체할 수 있습니다.

- ・ AさんはBさんより背が高いです
- ・ BさんよりAさんは背が高いです。
- ・ AさんのほうがBさんより背が高いです。
- ・ BさんよりAさんのほうが背が高いです。

この4つの文はすべて同じことを表しています。

이 네 문장은 모두 같은 의미입니다.

A のほうが B より na-A/i-A です。

おとうと わたし まじめ
弟 (남동생) 私 (나) 真面目 (성실하다)

せんしゅう きょう かんたん
先週のテスト (지난주 테스트) 今日のテスト (오늘의 테스트) 簡単 (간단하다)

ほっかいどうとうきょう みどり おお
北海道 (홋카이도) 東京 (도쿄) 緑が多い (자연이 많다)

このチーム (이 팀) あのチーム (저 팀) つよ
強い (강하다)

A: 田中さんと佐藤さん、どちらのほうが背が高いですか。

다나카씨와 사토씨 중 어느 쪽이 더 키가 큼니까?

B: (田中さんより)佐藤さんのほうが背が高いです。

(다나카씨 보다) 사토씨가 더 키가 큼니다.

※二つの物事に差がないときは、以下のように「同じぐらい」を使って表すことができます。

田中さんは佐藤さんと 同じぐらい 背が高いです。

두 가지 일에 차이가 없을 때는 아래와 같이 「同じぐらい」를 사용하여 표현할 수 있습니다.

다나카씨는 사토씨와 비슷한 정도로 키가 큼니다.

ひかく ぶんぽう つか めいし どうし
比較の文法で使える名詞・動詞

비교의 문법에서 사용할 수 있는 명사·동사

A は B より N/V 。 A のほうが B より N/V 。

じょうき めいし どうし ひかく ぶんぽう つか
上記のように名詞(N)も動詞(V)も比較の文法で使うこともできます。

위와 같이 명사(N)와 동사(V) 모두 비교의 문법으로 사용할 수 있습니다.

めいし ていどせい も めいし ふくし しゅうしょく めいし つか
名詞: 程度性を持つ名詞(「とても」などの副詞で修飾できる名詞)だけ使えます。

명사 : 정도성을 갖는 명사(「とても」등의 부사로 수식할 수 있는 명사)만 사용할 수 있습니다.

れい あね いもうと びじん
例: 姉は妹より美人です。

たなか さとう おもしろ ひと
田中さんは佐藤さんより面白い人です。

언니는 여동생보다 미인입니다.

다나카씨는 사토씨보다 재미있는 사람입니다.

どうし ふくし けいようし せつぞく ばあい つか
動詞: 副詞・形容詞に接続する場合に使えます。

동사 : 부사·형용사에 접속하는 경우에 사용할 수 있습니다.

れい かれ わたし た
例: 彼は私よりたくさん食べました。

おとうと あに はや ばし
弟は兄より速く走れます。

그는 저보다 많이 먹습니다.

남동생은 형보다 빨리 달릴 수 있습니다.

※比較文では、動詞の「可能形」がよく使われます。

비교문에서는 동사의 「가능형」이 자주 사용됩니다.



AはBほど～ません



A는 B 만큼/정도로 ~하지 않습니다

意味

AとBは同じ性質を持っているが、その性質に優劣、大小、程度に差があることを表す。

A와 B는 같은 성질을 가지고 있지만, 그 성질에 우열, 대소, 정도에 차이가 있는 것을 나타낸다.

接続

AはBほど～ない

暗記

例文

(1) 私は彼女ほど背が高くありません。

저는 그녀만큼 키가 크지 않습니다.

(2) 大阪は東京ほど人が多くありません。

오사카는 도쿄만큼 사람이 많지 않습니다.

(3) 昨日は今日ほど寒くありませんでした。

어제는 오늘만큼 춥지 않았습니다.

ポイント

① 文末は必ず否定文になります。

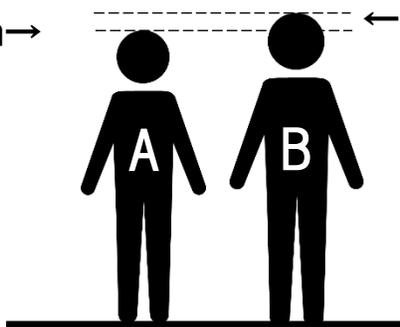
문장의 뒤에는 반드시 부정문이 옵니다.

② 「Aは(のほうが)Bより～」と同様に、AとBを比較している文ですが、
「AはBほど～」は、前提として「AもBも、どちらも～である」という意味を含みます。

「Aは(のほうが)Bより～」와 동일하게 A와 B를 비교하고 있는 문장이지만,

「AはBほど～」는 전제로서 「A와 B, 모두～이다」라는 의미를 포함합니다.

195cm → ← 198cm



AさんもBさんも背が高いけど、
Bさんのほうが高い。

A 씨와 B 씨 모두 키가 크지만,
B 씨가 더 크다.

例: AさんはBさんほど背が高くありません。

A 씨는 B 씨만큼 키가 크지 않습니다.

そのため、「亀はうさぎほど速くありません。」のような文は誤用です。

그렇기 때문에 「거북이는 토끼만큼 빠르지 않습니다」와 같은 문장은 잘못된 용법입니다.

れんしゅう
練習 1

A は B ほど na-A/i-A ません。

べんきょう しごと たいへん
勉強(공부) 仕事(일) 大変(힘들다)

にほん かんこく す
日本のドラマ(일본드라마) 韓国のドラマ(한국드라마) 好き(좋아하다)

つき ちきゅう おお
月(달) 地球(지구) 大きい(크다)

とうきょう ほんこん ぶっか たか
東京(도쿄) 香港(홍콩) 物価が高い(물가가 비싸다)

れんしゅう
練習 2

A: B さんはとても足が速いですね。

B 씨는 발(걸음)이 매우 빠르네요.

B: (私 は) 田中さんほど(足が)速くありません。

(저는) 다나카씨만큼 (발이) 빠르지 않습니다.



いちばん XでAが一番～です



X에서 A가 가장/제일 ~입니다

意味

みつ いじょう ものごと ひかく いちばん あらわ
三つ以上の物事(X)を比較して、Aが一番ということを表す。

세 가지 이상의 일(X)을 비교하여 A가 최고라는 것을 나타낸다.

接続

Xで/Xの中で Aが一番～

暗記

例文

にほん やま ふじさん いちばんたか
(1) 日本の山で富士山が一番高いです。

일본의 산 중에서 후지산이 가장 높습니다.

おんがく なか いちばん す
(2) 音楽の中で J-POPが一番好きです。

음악 중에서 J-POP을 제일 좋아합니다.

どうぶつ なか ぞう いちばん す
(3) 動物の中で象が一番好きです。

동물 중에서 코끼리가 제일 좋습니다.

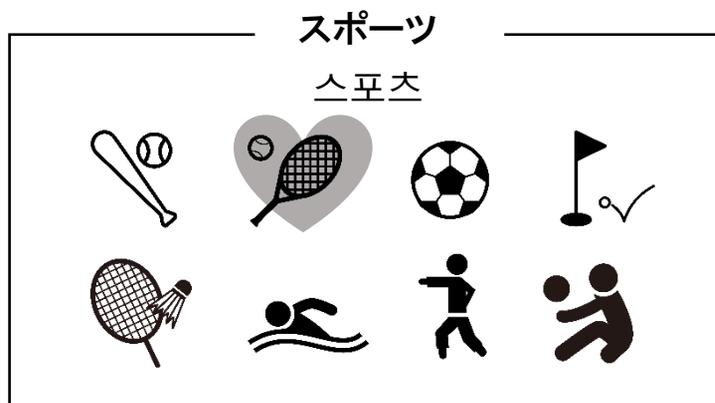
ポイント

① 「Xで」は場所を表す名詞に、「Xの中で」は人数や範囲などを表す名詞につきます。

※ただし、両方使える場合も多いので、初級の段階では二つの言い方があることだけ覚えましょう。

「Xで」는 장소를 나타내는 명사에, 「Xの中で」는 인원이나 범위 등을 나타내는 명사에 붙습니다.

※단, 둘 다 사용할 수 있는 경우도 많으므로 초급 단계에서는 두 가지 표현이 있다는 것만 외읍시다.



スポーツの中で1番テニスが好きです。

스포츠 중에서 테니스를 가장 좋아합니다.

スポーツで1番テニスが好きです。

스포츠에서 테니스를 가장 좋아합니다.

② AとBの二つを比較する場合の疑問文は「どちら」をしましたが、三つ以上の中から選ぶときは、物＝「どれ」、人＝「誰」、場所＝「どこ」、時間＝「いつ」を使います。

A와 B 두 가지를 비교하는 경우의 의문문은 「どちら」를 사용했지만, 세 가지 이상 안에서 선택할 때는

物＝「어느 것」、人＝「누구」、場所＝「어디」、時間＝「언제」를 사용합니다.

また、選択肢が提示されていない不特定多数から選ぶときは「何」を使います。

또한, 선택지가 제시되지 않은 불특정다수에서 선택할 때는 「何」를 사용합니다.

例: 音楽の中で何が一番好きですか。 음악 중에서 무엇을 가장 좋아합니까?

れんしゅう
練習 1

X ^{なか}の中で A ^{いちばん}が一番 ^{na-A/i-A}na-A/i-A です。

^{にほんりょうり}日本料理(일본요리) ^{すし}寿司(초밥) ^す好き(좋아하다)

^{きせつ}季節(계절) ^{なつ}夏(여름) ^{きら}嫌い(싫어하다)

クラスメイト(반 친구) ^{さとう}佐藤さん(사토씨) ^{かっこいい}かっこいい(멋있다)

^{せんせい}先生(선생님) ^{たなかせんせい}田中先生(다나카 선생님) ^{やさ}優しい(다정하다)

れんしゅう
練習 2

(1)A: りんごとみかんといちご ^{なか}の中で ^{いちばん}どれが一番好きですか。

사과와 귤, 딸기 중에 어느 것이 가장 좋습니까?

B: りんご ^{いちばん}が一番好きです。

사과가 가장 좋습니다.

(2)A: クラスメイト ^{なか}の中で ^{だれ}誰 ^{いちばん}が一番 ^{じょうず}ダンスが上手ですか。

반 친구 중에서 누가 제일 춤을 잘 춥니까?

B: 田中さん ^{いちばん}が一番 ^{じょうず}(ダンスが)上手です。

다나카씨가 가장 (춤) 잘 춥니다.

(3)A: 食べ物 ^たで ^{もの}何が ^{なに} ^{いちばん}が一番好きですか。

음식 중에서 무엇을 가장 좋아합니까?

B: ハンバーグ ^{いちばん}が一番好きです。

햄버그를 가장 좋아합니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 季節	きせつ	계절
<input type="checkbox"/> チーム		팀
<input type="checkbox"/> グループ		그룹
<input type="checkbox"/> 生活	せいかつ	생활
<input type="checkbox"/> 物価	ぶつか	물가
<input type="checkbox"/> 交通	こうつう	교통
<input type="checkbox"/> 世界	せかい	세계
<input type="checkbox"/> 地球	ちきゅう	지구
<input type="checkbox"/> 月	つき	달
<input type="checkbox"/> 太陽	たいよう	태양
<input type="checkbox"/> ポップス		팝송
<input type="checkbox"/> J-POP		J-POP
<input type="checkbox"/> K-POP		K-POP
<input type="checkbox"/> ロック		록
<input type="checkbox"/> クラシック		클래식
<input type="checkbox"/> ジャズ		재즈

けいようし
な形容詞 (na-A)

大変 たいへん 힘들다

けいようし
い形容詞 (i-A)

多い おおい 많다

少ない すくない 적다

(緑が)多い みどりがおおい (자연이)많다

(緑が)少ない みどりがすくない (자연이)적다

強い つよい 강하다

弱い よわい 약하다

「上手」「下手」「得意」「苦手」の使い方

「上手」「下手」「得意」「苦手」의 사용법

上手・下手

잘하다·서투르다

どちらも身体的技能に関わることに使います。

두 가지 모두 신체적 기능에 관련된 것에 대하여 사용합니다.

「上手」は自分や家族のことを言うときは、自慢しているように聞こえるのであまり使いません。

「下手」は相手に使えません。

「上手」는 자신이나 가족에 대해 말할 때 자랑하는 것처럼 들리기 때문에 그다지 사용하지 않습니다.

「下手」는 상대에게 사용하지 않습니다.

得意・苦手

잘하다·서투르다/싫어하다

どちらも自分にも相手にも使うことができ、身体的技能に関わらないことでも使います。

두 가지 모두 자신과 상대에게 사용할 수 있으며, 신체적 기능에 관련된 것에도 사용합니다.

「苦手」は技能が低いときに使えますが、それに加えて「嫌だ」「嫌いだ」の気持ちも含まれます。

そのため、「納豆が苦手です。」のように嫌いな気持ちを表す時にも使えます。

「苦手」는 기능이 낮을 때 사용할 수 있지만, 거기에 더해 「싫다」「싫어하다」라는 감정도 포함됩니다.

그렇기 때문에 「納豆를 싫어합니다。」와 같이 싫어하는 감정을 나타낼 때도 사용할 수 있습니다.

「勉強」は身体的技能ではないので、間違い。

「 공부」는 신체적 기능이 아니기 때문에 틀림.

例: ~~勉強が上手です。~~ → 勉強が得意です。 공부를 잘합니다.

~~野菜が下手です。~~ → 野菜が苦手です。 야채를 싫어합니다.

「下手」は嫌いな気持ちを表すことはできないので、間違い。

「下手」는 싫어하는 감정을 나타낼 수 없기 때문에 틀림.

今回勉強した比較の文の場合は、自分や相手を直接評価しているわけではないので、

どれも使うことができます。

이번에 공부한 비교 문장의 경우 자신이나 상대를 직접 평가하고 있는 것이 아니기 때문에

모두 사용할 수 있습니다.

例: 私 は彼よりテニス が上手/得意 です。 저는 그 보다 테니스를 잘 칩니다.

彼は私よりテニス が下手/苦手 です。 그는 저 보다 테니스를 못 칩니다.



どうし めいしか 動詞の名詞化(こと・の)



동사의 명사화(こと・の)

意味

どうし めいしか
動詞の名詞化

동사의 명사화

接続

ふつうけい
V普通形+こと/の

ポイント

①「こと」「の」を使って、動詞を名詞にすることができます。

「Nが好きです/嫌いです」という形を勉強しました。(例:旅行が好きです)

「映画を見る」のが好きな場合は、何と云えばいいでしょうか。

「こと」「の」를 사용하여 동사를 명사화 할 수 있습니다.

「N이 좋습니다/싫습니다」라는 문법을 공부했습니다. (예 :여행을 좋아합니다)

「영화를 보는」것을 좋아하는 경우는 뭐라고 말하면 좋을까요?

「好きです」は必ず名詞に接続するので、「映画を見るが好きです」と言うことはできません。

このような時、動詞を名詞化して「映画を見るのが好きです」「映画を見ることが好きです」と言います。

「好きです」는 반드시 명사에 접속하기 때문에 「映画を見るが好きです」라고 말할 수 없습니다.

이럴 때 동사를 명사화해서 「映画を見るのが好きです」「映画を見ることが好きです」라고 말합니다.

「Nはi-Aです」という形も勉強しました。(例:日本語は難しいです)

「日本語を話す」のが難しい場合は、何と云えばいいでしょうか。

「Nはi-Aです」라는 문법도 공부했습니다. (예 :일본어는 어렵습니다)

「일본어로 말하는」것이 어려운 경우는 뭐라고 말하면 좋을까요?

このような時、動詞を名詞化して

「日本語を話すのは難しいです」「日本語を話すことは難しいです」と言います。

이럴 때 동사를 명사화해서 「日本語を話すのは難しいです」「日本語を話すことは難しいです」라고 말합니다.



えいが み す
映画を見る V が好きです。

→



えいが み す
映画を見る N の/こと が好きです。

영화를 보는 것을 좋아합니다.



にほんご はな むずか
日本語を話す V は難しいです。

→



にほんご はな むずか
日本語を話す N の/こと は難しいです。

일본어로 이야기하는 것은 어렵습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **V普通形+こと/の** **が**好きです。

いえ えいが み (집에서 영화를 보다) / ともだち さけ の 友達とお酒を飲む (친구와 술을 마시다)

どうぶつ しゃしん と (동물 사진을 찍다) / うみ さかな つ 海で魚を釣る (바다에서 물고기를 낚다)

(2) **V普通形+こと/の** **は** **na-A/i-A** **です**。

まいにちしごと (매일 일을 하다) たいへん 大変 (힘들다)

くら みち ある (어두운 길을 걷다) きけん 危険 (위험하다)

にほん せいかつ (일본에서 생활하다) おもしろ 面白い (재미있다)

にほんご うた うた (일본어 노래를 부르다) むずか 難しい (어렵다)

れんしゅう
練習 2

A: 日本語を勉強すること/のは面白いですか。

일본어를 공부하는 것은 재미있습니까?

B: はい、面白いです。/いいえ、面白くありません。

네, 재미있습니다. /아니요, 재미없습니다.



「こと」と「の」の使い分け



「こと」と「の」의 사용법

「こと」と「の」は多くの場合置き換えられます。しかし、どちらかしか使えないことがあります。

先にそのケースを紹介합니다。一つ一つの詳細は次回以降学習していきます。

「こと」と「の」는 대부분 대체가 가능합니다. 그러나 어느 한 쪽만 사용할 수 있는 경우가 있습니다.

먼저 그 케이스를 소개하겠습니다. 각각의 상세한 설명은 이후에 연습해 갑시다.

「こと」しか使えない場合

① 「名詞1」は「名詞2(～こと)」です/だ」の形の場合。

「명사 1」는「명사 2(～こと)」입니다/이다」의 형태의 경우

× 趣味は漫画を読むの**です**。 → ○ 趣味は漫画を読む**こと**です。

취미는 만화를 읽는 것입니다.

× 仕事は日本語を教える**の**です。 → ○ 仕事は日本語を教える**こと**です。

직업(하는 일)은 일본어를 가르치는 것입니다.

② 「～ことができる」(可能の意味を表す文法)、「～ことにする」(決定の意味を表す文法)など、

「こと」が文法の一部になっている場合。

「～ことができる」(가능의 의미를 나타내는 문법), 「～ことにする」(결정의 의미를 나타내는 문법) 등,

「こと」가 문법의 일부가 되어 있는 경우

× 私は英語を話す**の**ができます。 → ○ 私は英語を話す**こと**ができます。

저는 영어를 할 수 있습니다.

× 私は大阪に行く**の**にしました。 → ○ 私は大阪に行く**こと**にしました。

저는 오사카에 가기로 했습니다.

「の」しか使えない場合

① ~の + 知覚動詞(見る、見える、聞く、聞こえる、など)の場合。

~の + 감각동사(보다, 보이다, 듣다, 들리다 등)의 경우

× **女**の人が散歩している**こと**が見えます。 → ○ **女**の人が散歩している**の**が見えます。

여자가 산책하고 있는 것이 보입니다.

× **子供**が歌っている**こと**が聞こえました。 → ○ **子供**が歌っている**の**が聞こえました。

아이가 노래하고 있는 것이 들렸습니다.

② ~のは○○です。「○○」の部分を強調する文の場合。

~のは○○입니다。「○○」의 부분을 강조하는 문장의 경우

× **私**が注文した**こと**はラーメンです。 → ○ **私**が注文した**の**はラーメンです。

제가 주문한 것은 라면입니다.

× **休**んだ**こと**は風邪を引いた**から**です。 → ○ **休**んだ**の**は風邪を引いた**から**です。

(회사, 직장 등을) 쉬 이유는 감기에 걸렸기 때문입니다.



N1 は N2 です



N1 는 N2 입니다

意味

「N1 は N2 です」の N2 は「V普通形+こと」

「N1 는 N2 입니다」의 N2 는 「V 보통형 +こと」

接続

N1 は N2(V普通形+こと)です

暗記

例文

(1) 趣味は映画を見ることです。

취미는 영화를 보는 것입니다.

(2) 父の仕事は英語を教えることです。

아빠의 직업은 영어를 가르치는 것입니다.

(3) 私の夢はアメリカに住むことです。

제 꿈은 미국에 사는 것입니다.

ポイント

① 「N1 は N2(V普通形+こと)です/だ」の形の時、「こと」は「の」に置き換えることができません。

「N1 는 N2(V 보통형+こと)です/だ」의 형태일 때, 「こと」는 「의」로 대체할 수 없습니다.



私の趣味は映画を見るのです。



私の趣味は映画を見ることです。

제 취미는 영화를 보는 것입니다.



私の趣味は ゴルフをすることです。

N

N

제 취미는 골프를 치는 것입니다.



私の夢は 自分のお店を開くことです。

N

N

제 꿈은 제 가게를 여는 것입니다.

れんしゅう
練習 1

N1 は N2(V普通形+こと) です。

しゅみ 趣味(취미)	---	ダンスをする(댄스를 추다)/ ^{きって} 切手 ^{あつ} を集める(우표를 모으다)
ゆめ 夢(꿈)	---	^{かいしゃ} 会社 ^{つく} を作る(회사를 만들다)/ ^{ふじさん} 富士山 ^{のぼ} に登る(후지산에 오르다)
しごと 仕事(일/직업)	---	^{にほんご} 日本語 ^{おし} を教える(일본어를 가르치다)/ ^{なお} パソコン ^{を直す} (컴퓨터를 고치다)

れんしゅう
練習 2

(1) A: Bさんの^{しゅみ}趣味^{なん}は何ですか。

B 씨의 취미는 무엇입니까?

B: (私の^{わたし}趣味^{しゅみ}は) 色々な^{いろいろ}神社^{じんじや}に行く^いことです。

(제 취미는) 다양한 신사에 가는 것입니다.

(2) A: Bさんの^{ゆめ}夢^{なん}は何ですか。

B 씨의 꿈은 무엇입니까?

B: (私の^{わたし}夢^{ゆめ}は) お金^{かね}持ち^{もち}になる^{なる}ことです。

(제 꿈은) 부자가 되는 것입니다.



~ことができます

~할 수 있다



意味

かのう いみ あらわ
可能の意味を表す。

가능의 의미를 나타낸다.

接続

V る+ことができる

暗記

例文

(1) 私はギターを弾くことができます。

저는 기타를 칠 수 있습니다.

(2) 姉は車を運転することができます。

언니/누나는 차를 운전할 수 있습니다.

(3) ここで写真を撮ることができません。

이 곳에서 사진을 찍을 수 없습니다.

ポイント

① 「ことができる」の「こと」も動詞の名詞化です。この場合は「の」を使うことができません。

「ことができる」의 「こと」도 동사의 명사화입니다. 이 경우는 「の」를 사용할 수 없습니다.

② 可能の意味は二つに分けられます。

・ **能力可能** その人が持つ能力として可能かどうかを表します。

능력가능 그 사람이 가진 능력으로서 가능한지 불가능한지를 나타냅니다.

・ **状況可能** その状況から可能かどうかを表します。

상황가능 그 상황으로부터 가능한지 불가능한지를 나타냅니다.

能力可能の例 능력가능의 예



がっこう かよ れんしゅう
(学校に通ってたくさん練習したから)
くるま うんてん
車を運転することができます。

(학교에 다니면서 많이 연습했기 때문에)

차를 운전할 수 있습니다.

状況可能の例 상황가능의 예



きょう さけ の
(今日はお酒を飲んでいないから)
くるま うんてん
車を運転することができます。

(오늘은 술을 마시지 않았기 때문에)

차를 운전할 수 있습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **V**ることができます。/**V**ることができません。(能力可能 のうりょくかのう 능력가능)

えいご はな
英語を話す(영어를 하다)

くるま しゅうり
車を修理する(차를 수리하다)

バドミントンをする(배드민턴을 치다)

うんてん
バスを運転する(버스를 운전하다)

(2) **V**ることができます。/**V**ることができません。(状況可能 じょうきょうかのう 상황가능)

がっこう きょうかしょ か
学校で教科書を買う(학교에서 교과서를 사다)

にほんご か
日本語のクラスを変える(일본어 클래스를 바꾸다)

としょかん つか
図書館でパソコンを使う(도서관에서 컴퓨터를 사용하다)

かね
ATMでお金をおろす(ATM에서 돈을 인출하다)

れんしゅう
練習 2

A: どんな料理を作ることができますか。

어떤 요리를 만들 수 있습니까?

B: カレーを作ることができます。

카레를 만들 수 있습니다.



かのうけい つく かた 可能形の作り方



가능형을 만드는 방법

「V る+ことができる」という文法を勉強しましたが、動詞自体の形を変化させて、可能の意味を表すことができます。その動詞の形を「可能形」と言います。

「V る+ことができる」라는 문법을 공부했습니다만 동사자체의 형태를 변화시켜 가능의 의미를 나타낼 수 있습니다. 그 동사의 형태를 「가능형」이라고 합니다.

かのうけい つく かた 可能形の作り方

가능형을 만드는 방법

Iグループ	IIグループ	IIIグループ

Iグループ : 辞書形の最後の1文字を「e」段の音に変えて、「る」をつける。

사전형의 마지막 한 글자를 「e」단의 음으로 바꾸고 「る」를 붙인다.

IIグループ : 辞書形の最後の1文字の「る」を「られる」に変える。

사전형의 마지막 한 글자「る」를 「られる」로 바꾼다.

IIIグループ : 「する」→「できる」「来る」→「こられる」

かのうけい どうし 可能形にできない動詞

無意志動詞や可能の意味が含まれる動詞は可能形にできません。

무의지동사나 가능의 의미를 포함한 동사는 가능형으로 만들 수 없습니다.

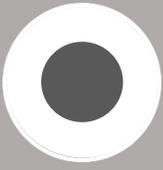
- 無意志動詞** : 始まる(시작되다), 終わる(끝나다), 生まれる(태어나다) ...
 무의지동사
- 可能の意味が含まれる動詞** : 間に合う(시간에 맞다), 足りる(충분하다), わかる(알다) ...
 可能의 의미가 포함된 동사



授業が始まれます。
約束の時間に間に合えます。



授業が始まります。(수업이 시작됩니다.)
約束の時間に間に合います。(약속시간에 맞습니다.)



かのうけい 可能形

가능형



意味

かのう いみ あらわ
可能の意味を表す。

暗記

가능의 의미를 나타낸다.

例文

(1) **私は日本語が話せます。**

저는 일본어를 할 수 있습니다.

(2) **ここで本が借りられます。**

이 곳에서 책을 빌릴 수 있습니다.

(3) **先週覚えた単語が思い出せません。**

지난주 외운 단어가 생각이 나지 않습니다.

ポイント

① 可能形の直前の助詞が「を」の場合、「が」に変えます。

가능형의 바로 앞에 조사가 「を」인 경우 「が」로 바꿀 수 있습니다.

・ **日本語を話せます** → **日本語が話せる。**

일본어를 할 수 있습니다

・ **漢字を書けます** → **漢字が書ける。**

한자를 쓸 수 있습니다.

② 「Vる+ことができる」の文法と同じように「能力可能」「状況可能」、二つの意味で使うことができます。

「Vる+ことができる」의 문법과 같이 「능력가능」「상황가능」 두 가지 의미로 사용할 수 있습니다.

のうりよくかのう れい
能力可能の例 能力가능의 예



がっこう かよ れんしゅう
(学校に通ってたくさん練習したから)
車が運転できます。

(학교에 다니면서 많이 연습했기 때문에)
차를 운전할 수 있습니다.

じょうきょうかのう れい
状況可能の例 상황가능의 예



きょう さけ の
(今日はお酒を飲んでいないから)
車が運転できません。

(오늘은 술을 마시지 않았기 때문에)
차를 운전할 수 없습니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N が V(可能形)

漢字を書く(한자를 쓰다)/ピアノを弾く(피아노를 치다)

ビールを飲む(맥주를 마시다)/日本語の歌を歌う(일본어 노래를 부르다)

(2) N 助詞 V(可能形)

自転車に乗る(자동차에 타다) 先生に会う(선생님을 만나다)

学校へ行く(학교에 가다) プールで泳ぐ(수영장에서 수영을 하다)

れんしゅう
練習 2

(1) スマホで漫画が読めます。

스마트폰으로 만화를 읽을 수 있습니다.

電車の時間を調べる(전철 시간을 알아보다)/きれいな写真を撮る(예쁜 사진을 찍다)

ゲームをする(게임을 하다)/友達にメッセージを送る(친구에게 메시지를 보내다)

(2) アメリカに10年ぐらい住んでいたから、英語が話せます。

미국에 10년 정도 살았었기 때문에 영어를 할 수 있습니다.

一生懸命勉強した(열심히 공부했다)/彼女がアメリカ人(여자친구가 미국인)

カナダで生まれた(캐나다에서 태어났다)/海外に留学した(해외에서 유학했다)

れんしゅう
練習 3

A: 日本語の歌が歌えますか。

일본어 노래를 부를 수 있습니까?

B: はい、いっぱい練習したから、歌えます。/いいえ、歌えません。

네, 많이 연습했기 때문에 부를 수 있습니다. /아니요, 못 부릅니다.

めいし
名詞 (N)

<input type="checkbox"/> 楽器	がっき	악기
<input type="checkbox"/> ピアノ		피아노
<input type="checkbox"/> ギター		기타
<input type="checkbox"/> バイオリン		바이올린
<input type="checkbox"/> コンサート		콘서트
<input type="checkbox"/> ライブ		라이브
<input type="checkbox"/> イベント		이벤트
<input type="checkbox"/> 趣味	しゆみ	취미
<input type="checkbox"/> プール		수영장
<input type="checkbox"/> ゲーム		게임
<input type="checkbox"/> 切手	きって	우표
<input type="checkbox"/> 封筒	ふうとう	봉투
<input type="checkbox"/> ATM		ATM
<input type="checkbox"/> 夢	ゆめ	꿈
<input type="checkbox"/> 釣り(する)	つり	낚시(하다)
<input type="checkbox"/> ゲーム(する)		게임(하다)
<input type="checkbox"/> 参加(する)	さんか	참가(하다)

けいようし
な形容詞 (na-A)

<input type="checkbox"/> 色々	いろいろ	여러가지
-----------------------------	------	------

ふくし
副詞 (Adv)

<input type="checkbox"/> いっぱい		많이
-------------------------------	--	----

どうし
動詞 (V)

(I)

<input type="checkbox"/> 弾く	ひく	(피아노,기타)를 치다
<input type="checkbox"/> 思い出す	おもいだす	생각나다
<input type="checkbox"/> 間に合う	まにあう	(제 시간에) 맞다

(II)

<input type="checkbox"/> 集める	あつめる	모으다
<input type="checkbox"/> 足りる	たりる	충분하다
<input type="checkbox"/> 変える	かえる	바꾸다

「ら抜き」言葉

「ら생략」표현

Ⅱグループの可能形「Vられる」とⅢグループの「来る」の可能形「来られる」の「ら」は、話し言葉ではよく省略され、多くの日本人は「Vれる」「来れる」と言います。

これを「ら」抜き言葉と言います。

2 그룹 가능형 「Vられる」와 3 그룹 「来る」의 가능형 「来られる」의 「ら」는 회화체에서 자주 생략하며, 많은 일본인들은 「Vれる」「来れる」라고 말합니다.

あした あさ 7時 がっこう へ 来れる？
明日朝7時に学校に来れる？

내일 아침 7시에 학교에 올 수 있어?

7時！？私 は 起きれない と思う…。

7시!? 나는 못 일어날 것 같아



※「来られる」「起きられない」が正しい日本語です。

「来れる」「起きれない」가 올바른 표현입니다.

どうしてこのような言葉が生まれたのでしょうか。

まだ皆さんは学習していませんが、これから尊敬を表す「Vられる」、受身を表す「Vられる」を学習します。これらと区別するために、「ら抜き言葉」が生まれたと言われています。

어째서 이러한 말이 생겨났을까요?

아직 여러분은 학습하지 않았지만 이제부터 존경을 나타내는 「Vられる」, 수동태를 나타내는 「Vられる」를 학습할 예정입니다. 이들을 구별하기 위해 「ら抜き言葉」가 생겨난 것이라고 합니다.

ただし、「ら」抜き言葉は正しいと認められた表現ではなく、試験などでは間違いと判断されてしまうことがあるので、注意してください。ただし、多くの日本人も「ら」抜き言葉を使っているため、知っておいた方がいいでしょう。

단, 「ら」抜き言葉는 올바른 표현으로 인정되지 않으며, 시험 등에서는 틀린 것으로 판단되기 때문에 주의하십시오. 단, 많은 일본인도 「ら」抜き言葉を 사용하고 있기 때문에 알아 두는 것이 좋겠습니다.



みます、聞こえます(自発)

보이다, 들리다 (자발)



意味

自然とそうなるという意味を表す。

자연스럽게 그렇게 된다는 의미를 나타낸다.

接続

N+が見える/聞こえる

暗記

例文

(1) 窓から富士山が見えます。

창문으로 후지산이 보입니다.

(2) (電話で)もしもし。私の声が聞こえますか。

(전화로)여보세요. 제 목소리 들리십니까?

(3) 隣の教室から先生の声が聞こえます。

옆 교실에서 선생님의 목소리가 들립니다.

ポイント

① 「Nが見えます/Nが聞こえます」のように主体を表す助詞「が」を使います。

「N이 보입니다/N이 들립니다」와 같이 주체를 나타내는 조사 「가」를 사용합니다.

② 「見る」と「見える」、「聞く」と「聞こえる」の区別に注意しましょう。

「見る(보다)」와 「見える(보이다)」, 「聞く(듣다)」와 「聞こえる(들리다)」의 구분에 주의합니다.

自然と目の前に発生した出来事の場合は自発を表す動詞「見える」「聞こえる」を使います。

자연스럽게 눈 앞에 발생하는 일의 경우 자발을 나타내는 동사 「見える」「聞こえる」를 사용합니다.

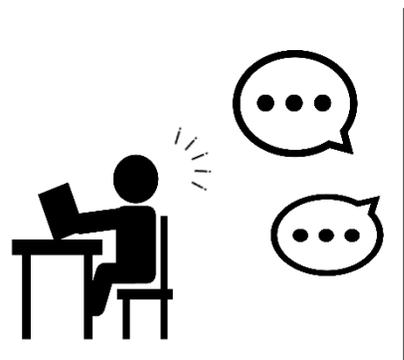


例:(道を歩いている時に空を見て)

あっ、虹が見えます!

예: (길을 걷고 있을 때 하늘을 보고)

앗, 무지개가 보여요!



例:(聞く意志がない状態で自然に)

となりの部屋から声が聞こえます。

예: (들을 의지가 없는 상태에서 자연스럽게)

옆방에서 목소리가 들립니다.

れんしゅう
練習 1

(1) N ^みが見えます。

^{おお こうえん}大きい公園(큰 공원)/^{つぎ}きれいな月(예쁜 달)/^{ちち かいしゃ}父の会社(아버지 회사)

^{いえ}となりの家(옆 집)/^{さんぽ}散歩している人(산책하고 있는 사람)

^{しんぶん}新聞を^よ読んで^{おとこ}いる男^{ひと}の人(신문을 읽고 있는 남자)

(2) N ^きが聞こえます。

^{おんがく}音楽(음악)/^{せんせい こえ}先生の声(선생님의 목소리)/^{むし こえ}虫の声(벌레 소리)

^{あめ おと}雨の音(빗소리)/^ひギターを^{おと}弾いている音(기타치는 소리)/^{りょうり}料理を^{おと}している音(요리하는 소리)

れんしゅう
練習 2

(1) A: Bさんの部屋の窓から何が見えますか。

B 씨의 방 창문으로 뭐가 보입니까?

B: 東京タワーが見えます。

도쿄타워가 보입니다.

(2) A: 最近全然寝られません。

최근 전혀 (잠을) 잘 수 없습니다.

B: どうしてですか?

어째서 인가요?

A: 毎晩となりの部屋からピアノを弾いている音が聞こえるからです。

매일 밤 옆집에서 피아노를 치는 소리가 들리기 때문입니다.



ちかくどうし み き き ~の+知覚動詞(見る、見える、聞く、聞こえる)



~の+지각동사(보다, 보이다, 듣다, 들리다)

せつぞく
接続

ふつうけい
N(V普通形+の)+を/が+知覚動詞
ちかくどうし

あんき
暗記

れいぶん
例文

(1) せんせい ^{せい}スーパーに入るのを見ました。

선생님이 슈퍼마켓에 들어가는 것을 보았습니다.

(2) いもうと ^{こうえん}公園で遊んでいるのが見えます。

여동생이 공원에서 놀고 있는 것이 보입니다.

(3) そと ^{だれ}外で誰かが話しているのが聞こえます。

밖에서 누군가가 이야기하고 있는 것이 들립니다.

ポイント

① 「N(V普通形+の)+知覚動詞」の形の時、「の」は「こと」に置き換えることができません。

知覚動詞は「見る」「見える」「聞く」「聞こえる」などがあります。

ほか ^{かん}感じる「気づく」などありますが、今は N5 で学習するこの4つの動詞だけ覚えましょう。

「N(V 보통형+의)+지각동사」의 형태일 때 「의」는 「것」로 대체할 수 없습니다.

지각동사는 「見る(보다)」「見える(보이다)」「聞く(듣다)」「聞こえる(들리다)」 등이 있습니다.

이 밖에도「感じる(느끼다)」「気づく(깨닫다)」 등이 있습니다만, 지금은 N5 에서 학습하는 이 네 가지 동사만 외웁시다.

② 「見る」「聞く」は対象を表す助詞「を」、「見える」「聞こえる」は主体を表す助詞「が」を使います。

「見る(보다)」「聞く(듣다)」는 대상을 나타내는 조사「を」, 「見える(보이다)」「聞こえる(들리다)」는 주체를 나타내는 조사「が」를 사용합니다.

• せんせい ^{まえ}コンビニの前で立っているの **を** 見ました。

선생님이 편의점 앞에 서 있는 것을 보았습니다.

• せんせい ^{まえ}コンビニの前で立っているの **が** 見えました。

선생님이 편의점 앞에 서 있는 것이 보였습니다.

※この助詞の違いは「自動詞」と「他動詞」の違いが関係していますが、詳しくは N4 で学習します。

이 조사의 차이는 「자동사」와 「타동사」의 차이가 관련되어 있지만 자세한 것은 N4 에서 학습합니다.

れんしゅう
練習 1

(1) **V普通形** のを **み** ました。

先生がたばこを吸っている(せんせい が たばこを す っている) (선생님이 담배를 피고 있다)

友達がレストランで食事している(ともだち が レストランで しよくじ している) (친구가 레스토랑에서 식사를 하고 있다)

田中さんがスーパーに入る(たなか さんが すーぱーに はい 入る) (다나카씨가 슈퍼마켓에 들어가다)

(2) **V普通形** のが **み** えました。

子供が公園で遊んでいる(こども が こうえん で あそ んでいる) (아이가 공원에서 놀고 있다)

犬が公園を走っている(いぬ が こうえん を はし っている) (개가 공원에서 달리고 있다)

高校生がジョギングしている(こうこうせい が じょぎんぐに している) (고등학생이 조깅을 하고 있다)

れんしゅう
練習 2

※ Bさんは**双眼鏡**で何かを**ずっと**と**み**ています。(B 씨는 쌍원경으로 무언가를 계속 보고 있습니다.)

A: Bさん、何を**み**ていますか。

B 씨, 무엇을 보고 있습니까?

B: 鳥が飛んでいるのを**み**ています。

새가 날고 있는 것을 보고 있습니다.



~のは X です / X からです(強調)



~の는 X 입니다 / X 이기 ため입니다(강조)

意味

X を強調して言いたい場合に使う

X 를 강조하여 말하고 싶은 경우에 사용한다.

接続

~のは X です

暗記

例文

(1) 先週一緒に遊園地に行ったのは田中さんです。

지난주 함께 놀이공원에 갔던 것(사람)은 다나카씨입니다.

(2) 私達が初めて会ったのは東京です。

우리들이 처음 만난 것(곳)은 도쿄입니다.

(3) 私が日本語を勉強しているのは、日本が好きだからです。

내가 일본어를 공부하고 있는 것은(이유는) 일본을 좋아하기 ため입니다.

ポイント

① 「~のは X です」の形の時、「の」は「こと」に置き換えることができません。

「~のは X です」의 형태일 때, 「의」는 「것」로 대체할 수 없습니다.

② 強調したい要素により、以下のように文を変換することができます。

강조하고 싶은 요소에 따라 아래와 같이 문장을 바꿀 수 있습니다.

例: 昨日田中さんはこの本を学校で買いました。

어제 다나카씨는 이 책을 학교에서 샀습니다.

- 昨日この本を学校で買ったのは 田中さんです。
- 田中さんがこの本を学校で買ったのは 昨日です。
- 昨日田中さんが学校で買ったのは この本です。
- 昨日田中さんがこの本を買ったのは 学校(で)です。

③ 理由を強調したい場合は、「~のは X からです」という形で表せます。

이유를 강조하고 싶은 경우는 「~のは X からです」라는 형태로 나타낼 수 있습니다.

例: 風邪を引いたから、昨日学校を休みました。

감기에 걸렸기 때문에 어제 학교를 쉬었습니다.

- 昨日学校を休んだのは、風邪を引いたからです。

(1) **V普通形**のは、**N**です。

わたし か
私が買った(내가 샀다) **このペン**(이 펜)

わたし べんきょう にほんご
私が勉強したい(내가 공부하고 싶다) **日本語**(일본어)

たなか す
田中さんが住んでいる(다나카씨가 살고 있다) **アメリカ**(미국)

せんせい の あか くるま
先生が乗っている(선생님이 타고 있다) **赤い車**(빨간 차)

(2) **V普通形**のは、**N/na-A/i-A/V普通形**からです。

じかん なつやす
時間がたくさんある(시간이 많이 있다) **夏休み**(여름휴가)

とうきょう す べんり
東京に住んでいる(도쿄에 살고 있다) **便利**(편리하다)

あした い いそが
明日パーティーに行けない(내일파티에 갈 수 없다) **忙しい**(바쁘다)

にほんご べんきょう しごと つか
日本語を勉強している(일본어를 공부하고 있다) **仕事で使う**(일 할 때 사용하다)

A: **風邪を引いたから学校を休みましたか。**

감기에 걸려서 학교를 쉬었습니까?

B: **学校を休んだのは、お腹が痛かったからです。**

학교를 쉬는 것은 배가 아팠기 때문입니다.

けいようし めいしか
形容詞の名詞化(na-A/i-A+こと/の)

형용사의 명사화 (na-A/i-A+こと/の)

どうし
動詞だけでなく、**形容詞も名詞化**することができます。

동사 뿐만 아니라, 형용사도 명사화 할 수 있습니다.

れい わたし す いぬ
例: **私が好きなのは、犬**です。

N
제가 좋아하는 것은 개입니다.

りょうり たか ざいりょう つか
この料理が**おいしいの**は、**高い材料**を使っているからです。

N
이 요리가 맛있는 것은(이유는) 비싼 재료를 사용했기 때문입니다.